

**『第五次大阪狭山市総合計画』の策定に関する
市民意識調査 結果報告書**

令和元年 10 月

大阪狭山市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査の設計	1
4 回収結果	1
II. 調査結果	2
◆ あなたご自身のことについて	2
◆ 大阪狭山市の印象などについて	8
◆ 『大阪狭山らしさを創出する 自立と協働のまち』について	18
◆ 『健康で安心して暮らし続けられる 思いやりのあるまち』について	29
◆ 『人と自然が共生する 環境にやさしいまち』について	42
◆ 『ともに学び 世代をつないで 人を育むまち』について	52
◆ 『にぎわいがあり 安全で快適な暮らしのあるまち』について	63
◆ 『みんなで創る 持続可能なまち』について	93
◆ 重点分野等について	98
◆ 人口減少対策について	103
◆ 自治基本条例について	122
◆ 自由意見	153
◆ 大阪狭山市が取り組んでいる施策についての満足度・重要度まとめ	160
アンケート調査票	176

◆報告書の見方

- 各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下 1 位で表示しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- グラフ中の N は構成比を表示する際の母数を示す。合計には無回答を含むため、各項目の合計と一致しない場合がある。
- 複数回答の場合は、各設問の調査数を母数とした比率を示し、合計は 100%にならない。
- 図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。
- 属性別の分析においては、「その他」、「無回答」を除外している。さらに、性別では「男性、女性と答えることに抵抗を感じる」を、地区別では「わからない」を除外している。
- 記述式の回答では、一人の回答者が複数の内容について記述していることがあるため、件数と回答者数は一致しない場合がある。

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、第五次大阪狭山市総合計画策定の基礎資料とするため、市民を対象にアンケート調査を行い、市の現状や将来のまちづくりに対する意識やニーズを把握することを目的とします。

2 調査項目

- ◆ あなたご自身のことについて（9問）
- ◆ 大阪狭山市の印象などについて（4問）
- ◆ 『大阪狭山らしさを創出する 自立と協働のまち』について（8問）
- ◆ 『健康で安心して暮らし続けられる 思いやりのあるまち』について（6問）
- ◆ 『人と自然が共生する 環境にやさしいまち』について（6問）
- ◆ 『ともに学び 世代をつないで 人を育むまち』について（4問）
- ◆ 『にぎわいがあり 安全で快適な暮らしのあるまち』について（13問）
- ◆ 『みんなで創る 持続可能なまち』について（4問）
- ◆ 重点分野等について（2問）
- ◆ 人口減少対策について（8問）
- ◆ 自治基本条例について（12問）
- ◆ 大阪狭山市のまちづくりについて（自由意見）

計 77問

3 調査の設計

調査対象地域	大阪狭山市全域
調査対象	大阪狭山市内在住の16歳以上の市民3,000人
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	配布・回収：郵送
調査時期	平成31年4月24日（水）～令和元年5月10日（金）

4 回収結果

配布数	3,000件
回収数	1,148件
回収率	38.3%

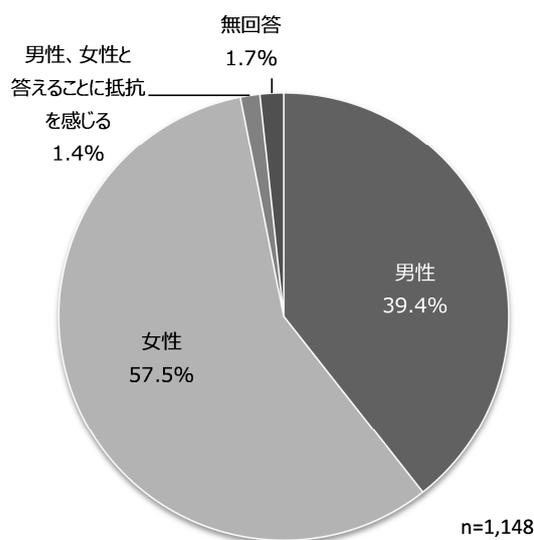
II 調査の結果

◆ あなた自身のことについて

1. あなたの性別は（○は1つ）

回答者の性別は、「男性」が39.4%、「女性」は57.5%となっており、「女性」の比率が高い。

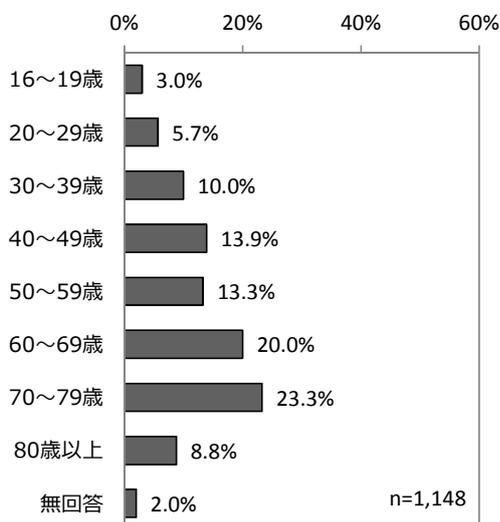
調査数	1,148	100.0%
男性	452	39.4%
女性	660	57.5%
男性、女性と答えることに抵抗を感じる	16	1.4%
無回答	20	1.7%



2. あなたの年齢は（○は1つ）

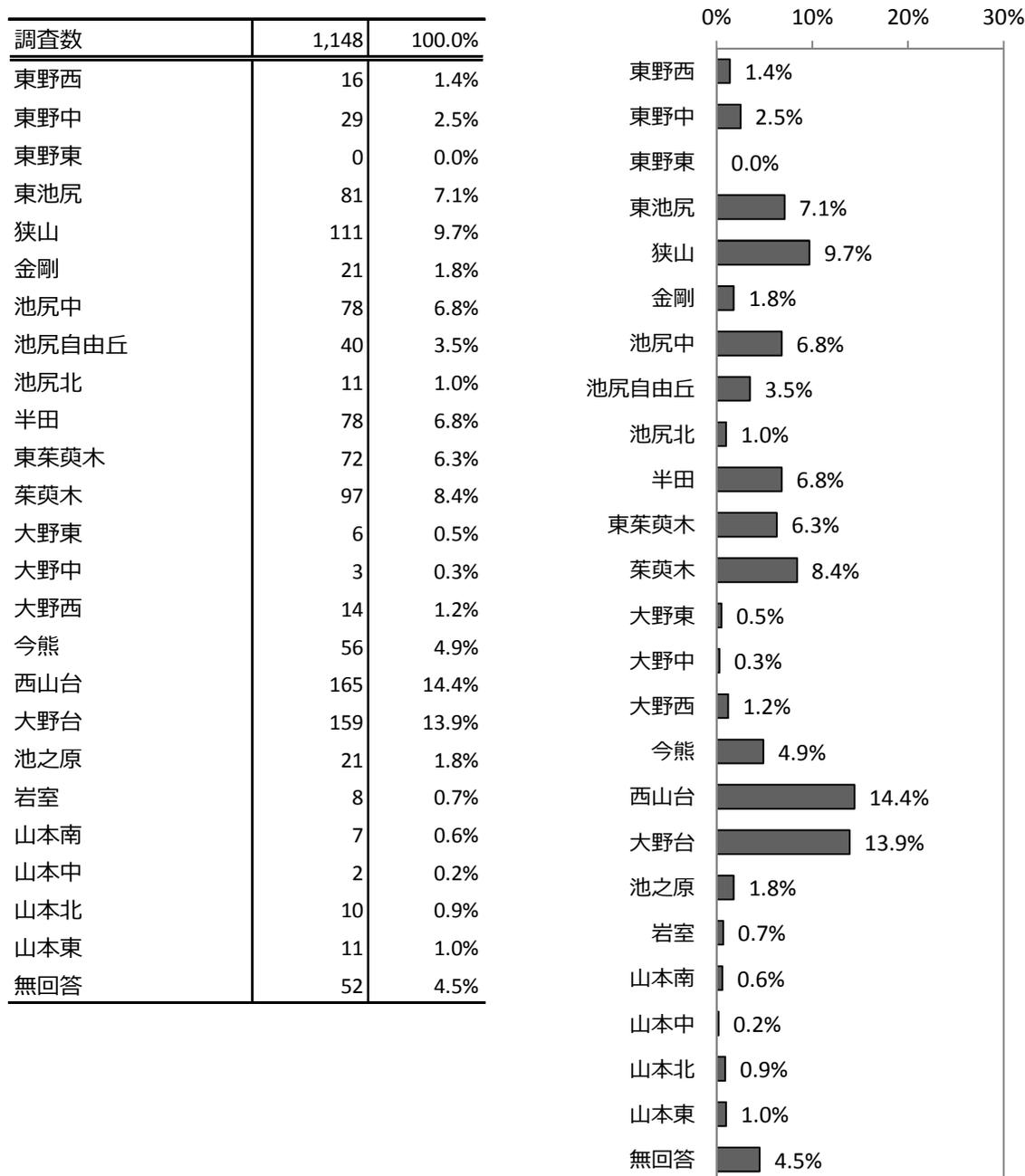
回答者の年齢は「70～79歳」が23.3%で最も多く、「60～69歳」が20.0%、「40～49歳」が13.9%、「50～59歳」が13.3%、「30～39歳」が10.0%、「80歳以上」が8.8%、「20～29歳」が5.7%、「16～19歳」が3.0%となっている。

調査数	1,148	100.0%
16～19歳	34	3.0%
20～29歳	65	5.7%
30～39歳	115	10.0%
40～49歳	160	13.9%
50～59歳	153	13.3%
60～69歳	230	20.0%
70～79歳	267	23.3%
80歳以上	101	8.8%
無回答	23	2.0%



3. あなたのお住まいの地区名は（○は1つ）

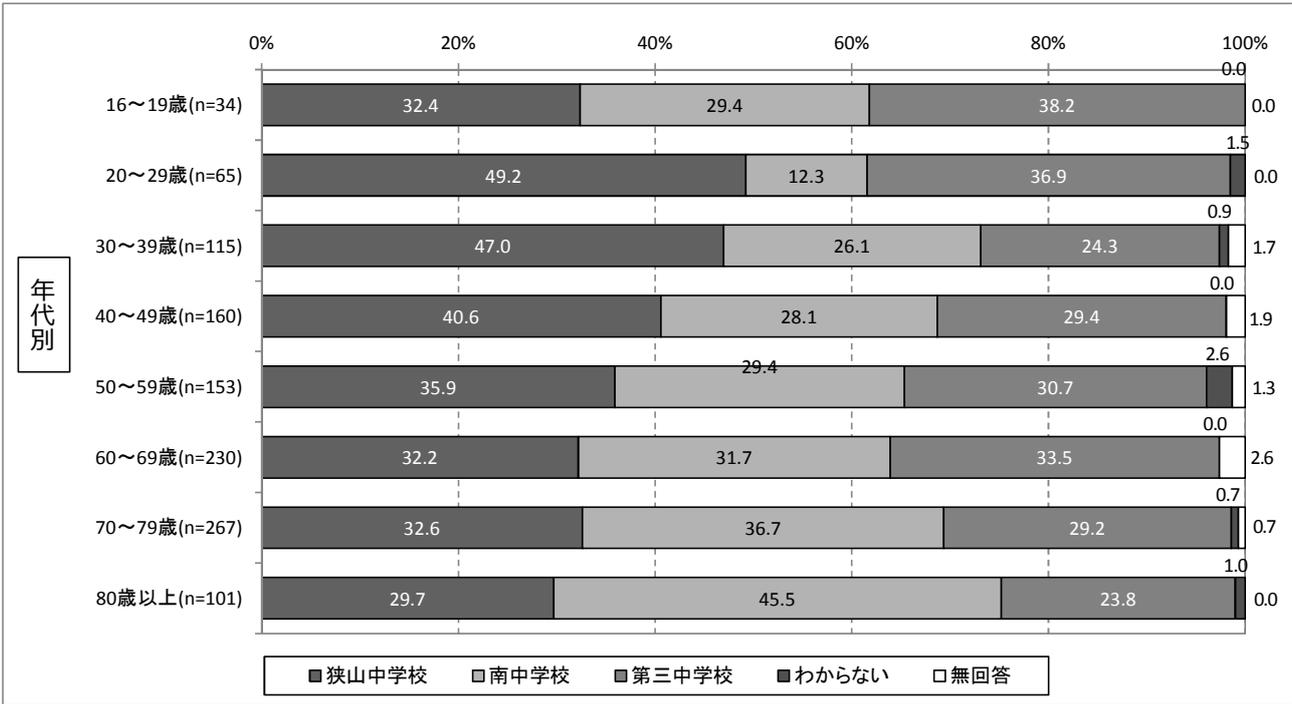
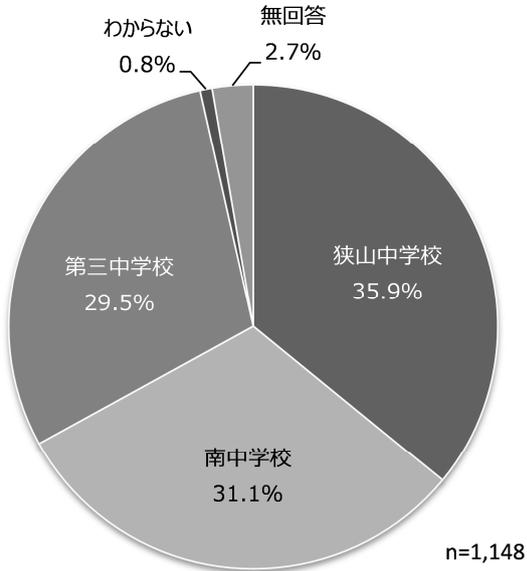
居住地区は「西山台」が14.4%で最も多く、「大野台」が13.9%、「狭山」が9.7%で続いている。



4. あなたのお住まいの中学校区は（○は1つ）

居住中学校区は「狭山中学校」が35.9%で最も多く、「南中学校」が31.1%、「第三中学校」が29.5%で続いている。

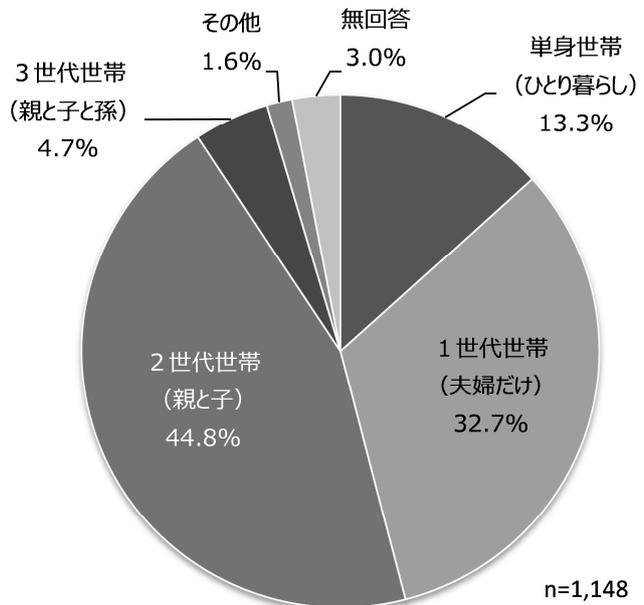
調査数	1,148	100.0%
狭山中学校	412	35.9%
南中学校	357	31.1%
第三中学校	339	29.5%
わからない	9	0.8%
無回答	31	2.7%



5. 同居されている家族の構成は（○は1つ）

家族構成は「2世代世帯（親と子）」が44.8%で最も多く、「1世代世帯（夫婦だけ）」が32.7%、「単身世帯（ひとり暮らし）」が13.3%が続いている。

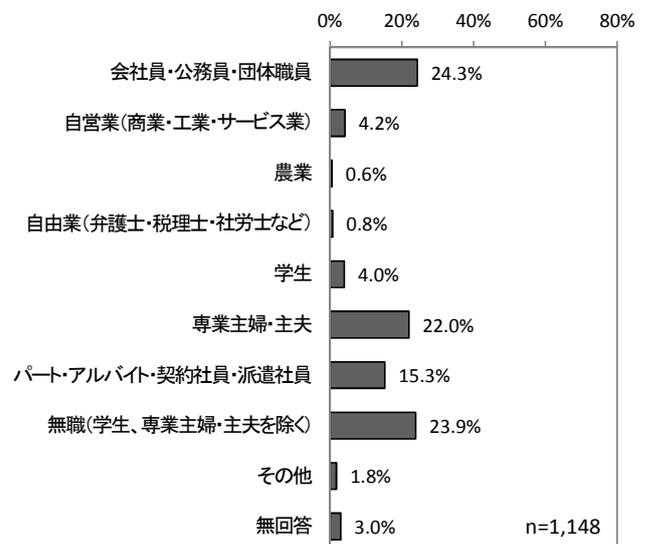
調査数	1,148	100.0%
単身世帯（ひとり暮らし）	153	13.3%
1世代世帯（夫婦だけ）	375	32.7%
2世代世帯（親と子）	514	44.8%
3世代世帯（親と子と孫）	54	4.7%
その他	18	1.6%
無回答	34	3.0%



6. あなたのお仕事は（○は1つ）

職業は「会社員・公務員・団体職員」が24.3%で最も多く、「無職（学生、専業主婦・主夫を除く）」が23.9%、「専業主婦・主夫」が22.0%が続いている。

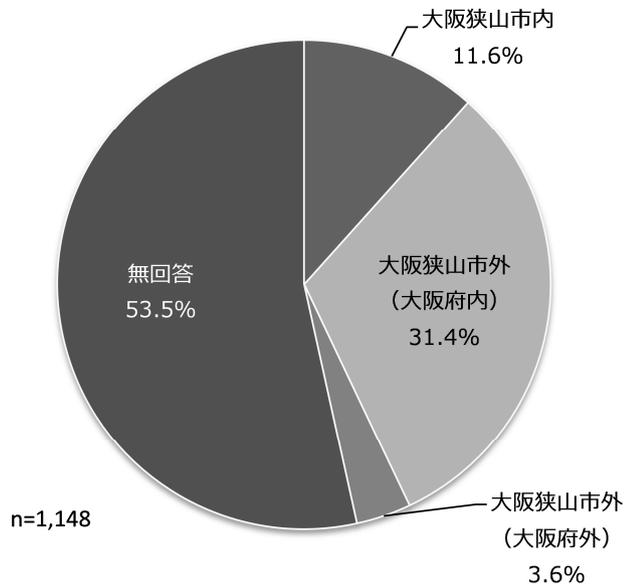
調査数	1,148	100.0%
会社員・公務員・団体職員	279	24.3%
自営業（商業・工業・サービス業）	48	4.2%
農業	7	0.6%
自由業（弁護士・税理士・社労士など）	9	0.8%
学生	46	4.0%
専業主婦・主夫	253	22.0%
パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	176	15.3%
無職（学生、専業主婦・主夫を除く）	274	23.9%
その他	21	1.8%
無回答	35	3.0%



7. あなたの職場、通学先は 【働いている方、学生の方のみお答えください】（○は1つ）

職場、通学先は「無回答」を除くと、「大阪狭山市外（大阪府内）」が 31.4%で最も多く、「大阪狭山市内」が 11.6%、「大阪狭山市外（大阪府外）」が 3.6%で続いている。

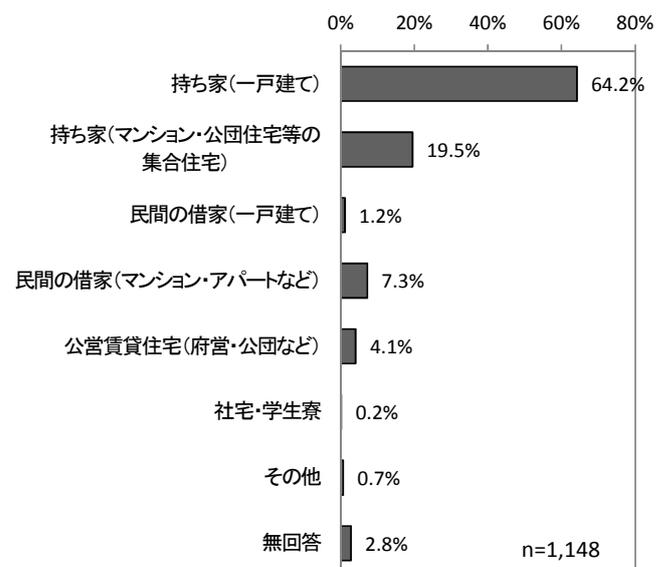
調査数	1,148	100.0%
大阪狭山市内	133	11.6%
大阪狭山市外（大阪府内）	360	31.4%
大阪狭山市外（大阪府外）	41	3.6%
無回答	614	53.5%



8. あなたがお住まいの住居は（○は1つ）

住居形態は、「持ち家（一戸建て）」が 64.2%で最も多く、「持ち家（マンション・公団住宅等の集合住宅）」が 19.5%で続いている。

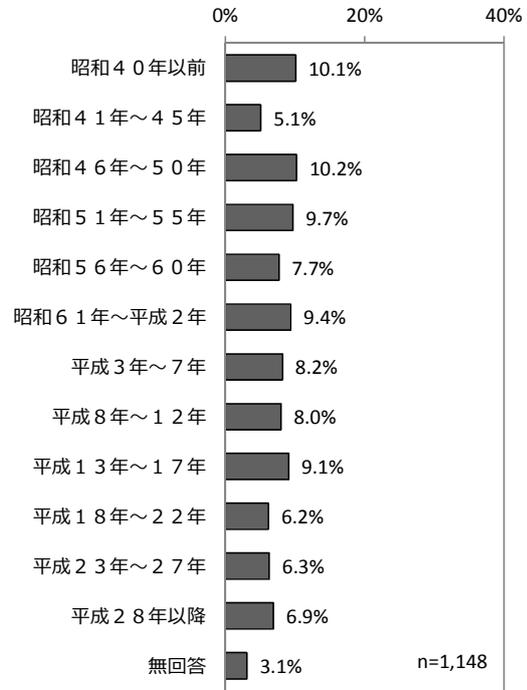
調査数	1,148	100.0%
持ち家（一戸建て）	737	64.2%
持ち家（マンション・公団住宅等の集合住宅）	224	19.5%
民間の借家（一戸建て）	14	1.2%
民間の借家（マンション・アパートなど）	84	7.3%
公営賃貸住宅（府営・公団など）	47	4.1%
社宅・学生寮	2	0.2%
その他	8	0.7%
無回答	32	2.8%



9. あなたはいつ頃から大阪狭山市に住んでいますか（○は1つ）

居住開始時期は「昭和46年～50年」が10.2%で最も多く、「昭和40年以前」が10.1%、「昭和51年～55年」が9.7%で続いている。

調査数	1,148	100.0%
昭和40年以前	116	10.1%
昭和41年～45年	59	5.1%
昭和46年～50年	117	10.2%
昭和51年～55年	111	9.7%
昭和56年～60年	88	7.7%
昭和61年～平成2年	108	9.4%
平成3年～7年	94	8.2%
平成8年～12年	92	8.0%
平成13年～17年	105	9.1%
平成18年～22年	71	6.2%
平成23年～27年	72	6.3%
平成28年以降	79	6.9%
無回答	36	3.1%



◆ 大阪狭山市の印象などについて

問 1 - 1 あなたにとって、大阪狭山市は住みよいまちだと思いますか。(○は1つ)

【全体】

「住みよい」が70.3%で最も多い。『住みよい』（「非常に住みよい」と「住みよい」の計）は84.0%となり、全体の8割以上が大阪狭山市を「住みよいまちである」と感じている。

『住みよい』は、平成21年に比べて3.1ポイント、平成27年に比べて1.7ポイント増加している。

【性別】

性別による大きな違いはみられない。

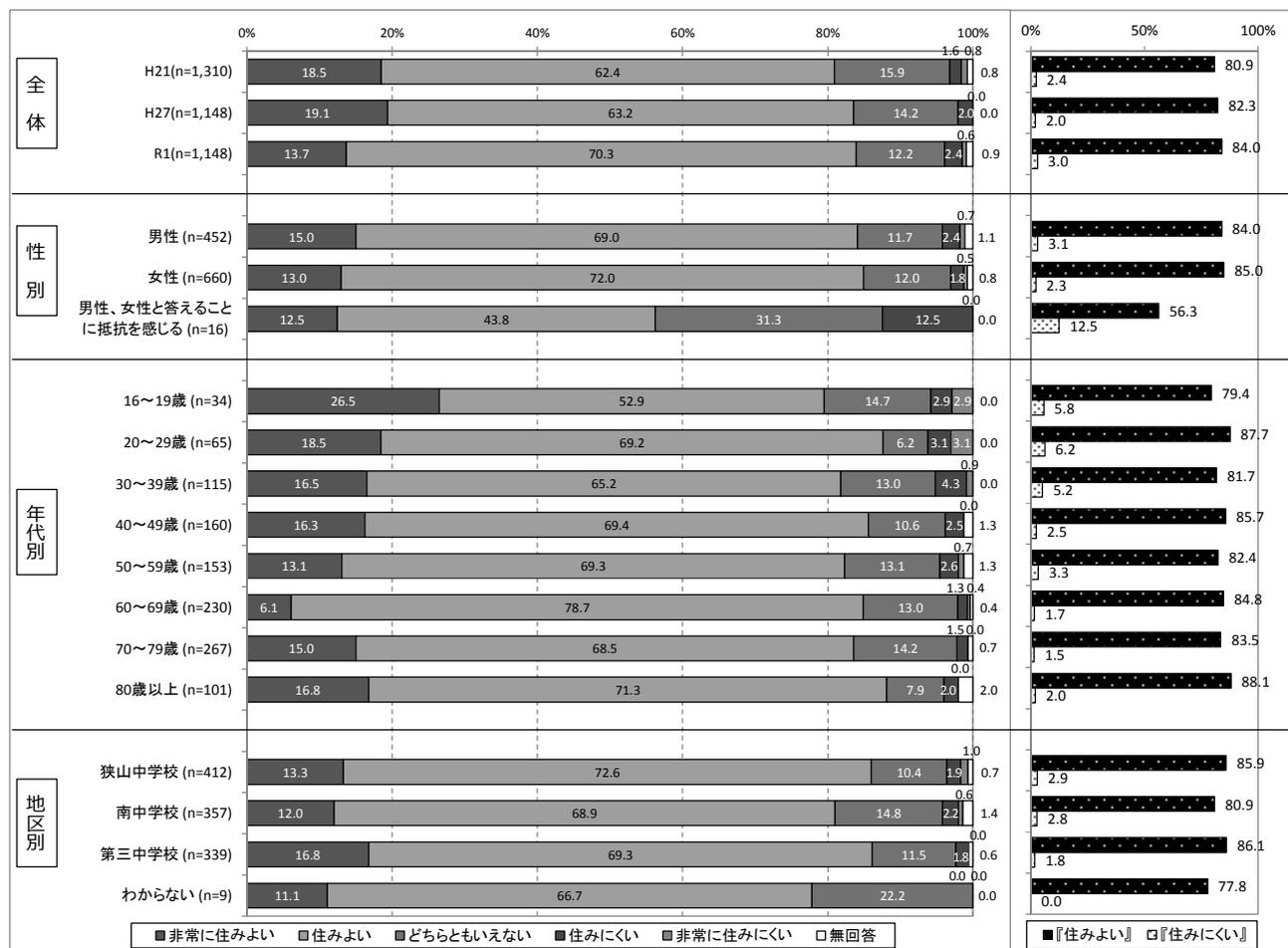
【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ「非常に住みよい」の比率が高い。

60歳代は、他の年代に比べ「住みよい」の比率が高い。

【地区別】

有意な差は認められないが、南中学校区は他の地区に比べ『住みよい』の比率が低い。



問1-2 現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

【全体】

「現在の場所に住み続けたい」が72.1%で最も多い。『市内で住み続けたい』（「現在の場所に住み続けたい」と「市内で引っ越したい」の計）は78.8%となり、全体の8割近くが市内での定住を考えている。

「現在の場所に住み続けたい」は、平成21年に比べて、2.8ポイント、平成27年に比べて2.3ポイント増加している。

「市外へ引っ越したい」は、平成21年に比べて1.4ポイント、平成27年に比べて0.1ポイント減少している。

【性別】

性別による大きな違いはみられない。

【年齢別】

10歳代と50歳代は、他の年代に比べ「わからない」の比率が高い。

20歳代は、他の年代に比べ『市外へ引っ越したい』（「市外へ引っ越したい」と同一）の比率が高い。

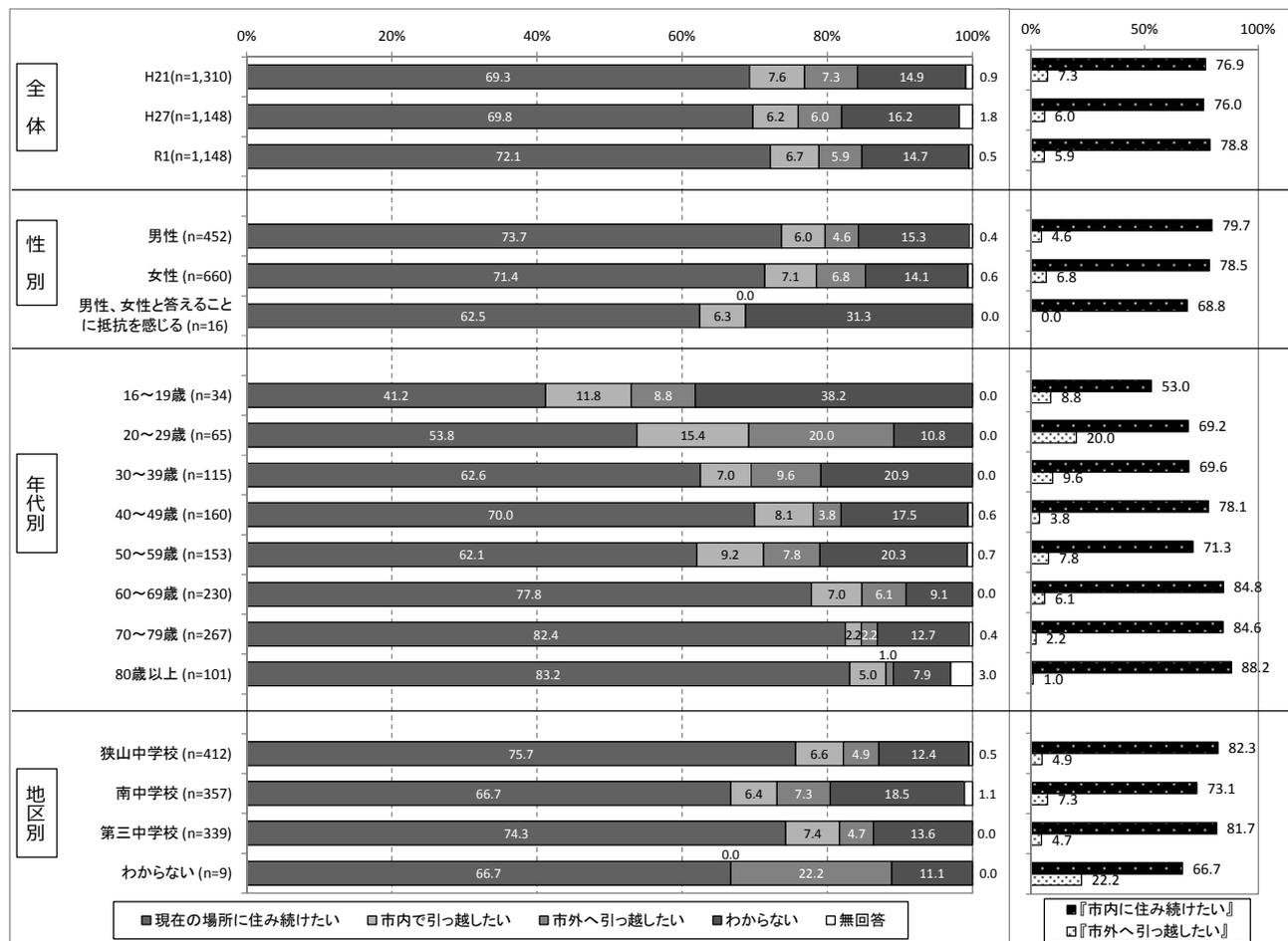
60歳代以上は、他の年代に比べ『市内で住み続けたい』の比率が高い。

「現在の場所に住み続けたい」では、概ね年代が高くなるほど比率が高くなっている。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ『市内で住み続けたい』の比率が高い。

南中学校区は、他の地区に比べ『市内で住み続けたい』の比率が低い。



問 1 - 3 問 1 - 2 で「1.現在の場所に住み続けたい」と答えた方にお聞きします。それはどのような理由からですか。(〇は 3 つまで)

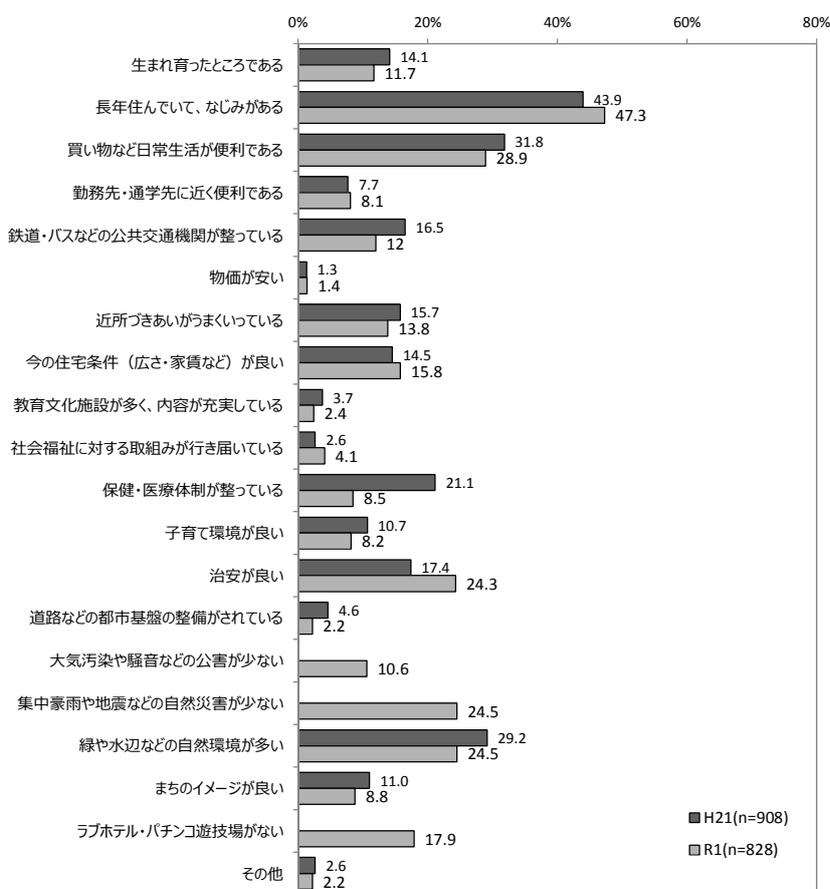
【全体】

「長年住んでいて、なじみがある」が 47.3%で最も多く、「買い物など日常生活が便利である」が 28.9%、「集中豪雨や地震などの自然災害が少ない」と「緑や水辺などの自然環境が多い」が 24.5%で続いている。

「長年住んでいてなじみがある」は、平成 21 年に比べて 3.4 ポイント増加している。

「治安が良い」は、平成 21 年に比べて 6.9 ポイント増加している。

一方、「保健・医療体制」は平成 21 年に比べて 12.6 ポイント減少している。



【性別】

男性は、女性に比べ「今の住宅条件（広さ・家賃など）が良い」、「保健・医療体制が整っている」の比率が高い。

女性は、男性に比べ「近所づきあいがうまくいっている」の比率が高い。

【年齢別】

10 歳代は、他の年代に比べ「生まれ育ったところである」、「勤務先・通学先に近く便利である」、「治安が良い」の比率が高い。

30 歳代は、他の年代に比べ「子育て環境が良い」と「まちのイメージが良い」の比率が高い。

40 歳代は、他の年代に比べ「子育て環境が良い」、「緑や水辺などの自然環境が多い」、「まちのイメージ

が良い」の比率が高い。

50歳代は、他の年代に比べ「まちのイメージが良い」の比率が高い。

70歳代は、他の年代に比べ「長年住んでいて、なじみがある」、「社会福祉に対する取組みが行き届いている」、「保健・医療体制が整っている」、「大気汚染や騒音などの公害が少ない」、「集中豪雨や地震などの自然災害が少ない」の比率が高い。

80歳以上は、他の年代に比べ「長年住んでいて、なじみがある」、「社会福祉に対する取組みが行き届いている」、「保健・医療体制が整っている」の比率が高い。

「生まれ育ったところである」と「勤務先・通学先に近く便利である」では、概ね年代が低くなるほど比率が高くなっている。

「子育て環境が良い」と「まちのイメージが良い」は、子育て世代で比率が高くなっている。

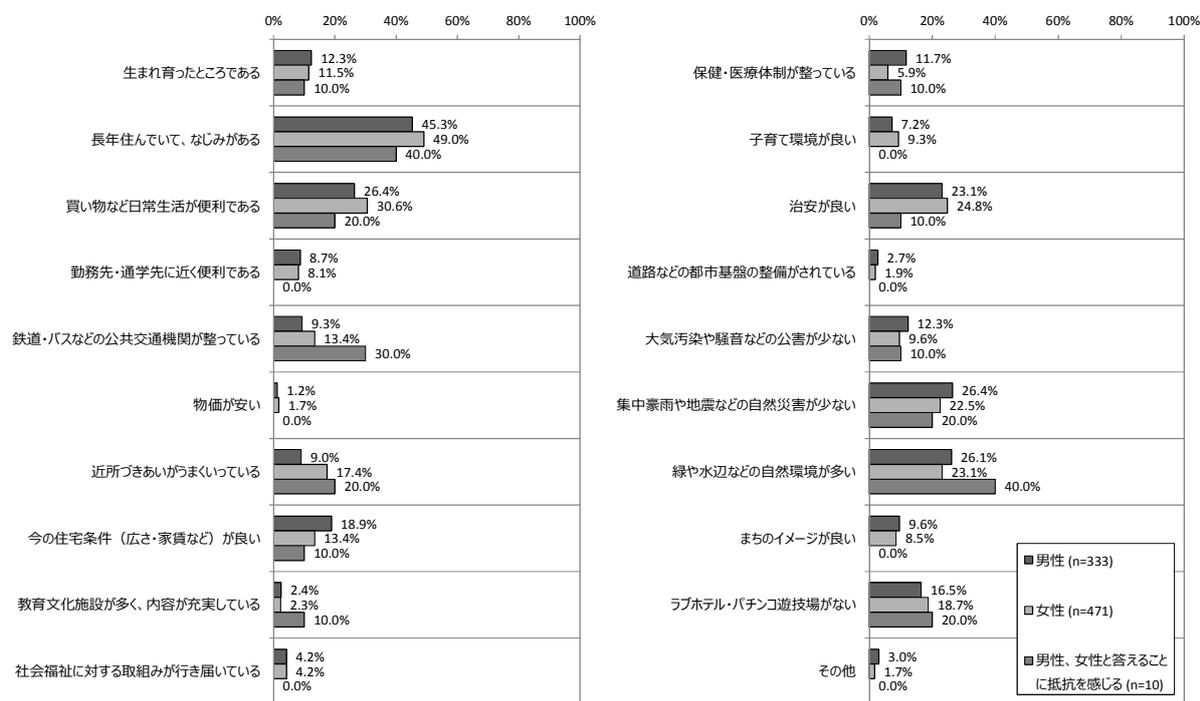
【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「鉄道・バスなどの公共交通機関が整っている」、「子育て環境が良い」、「緑や水辺などの自然環境が多い」の比率が高い。

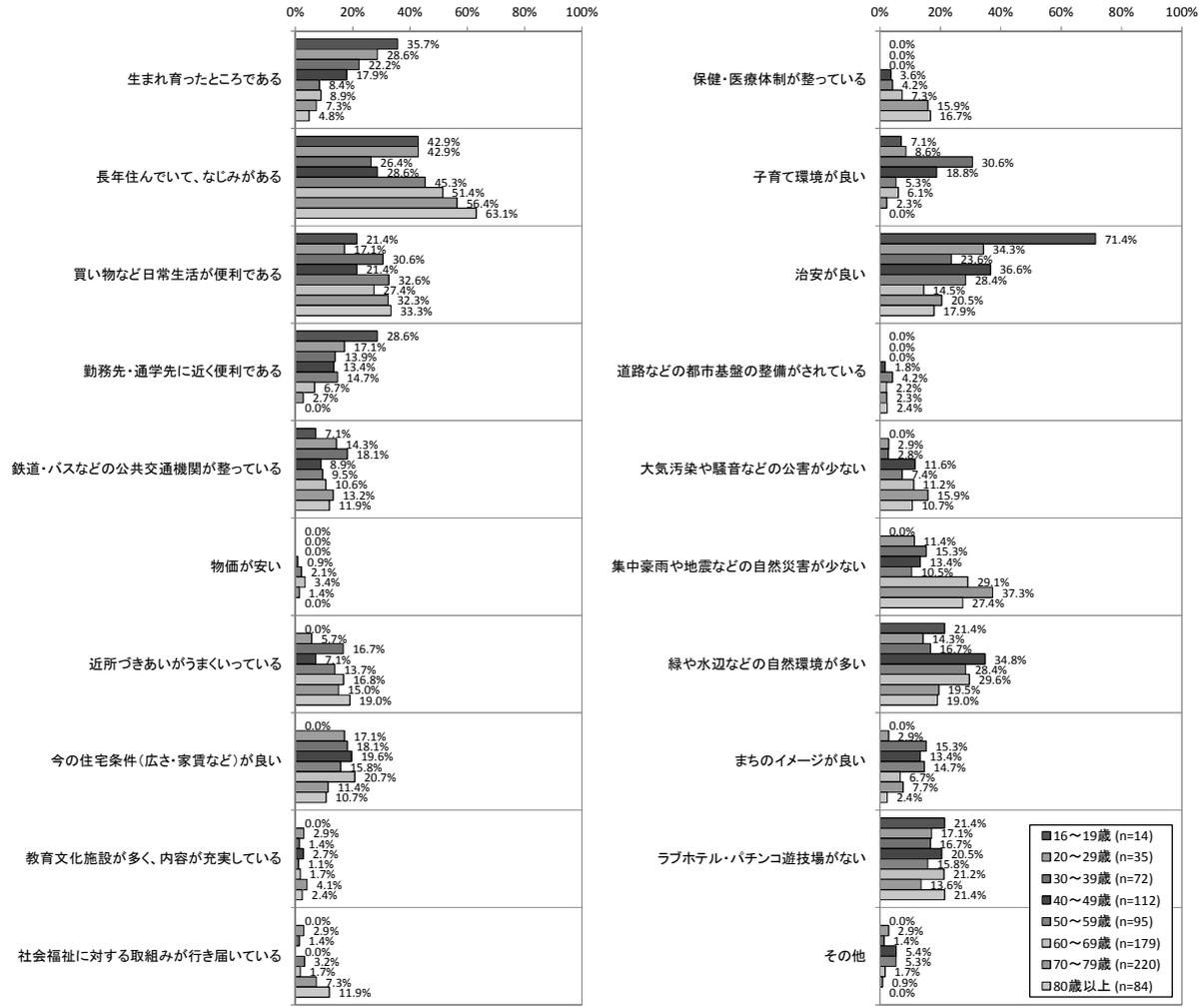
南中学校区は、他の地区に比べ「長年住んでいて、なじみがある」、「今の住宅条件（広さ・家賃など）が良い」、「社会福祉に対する取組みが行き届いている」、「道路などの都市基盤の整備がされている」の比率が高い。

第三中学校区は、他の地区に比べ「買い物など日常生活が便利である」の比率が高い。

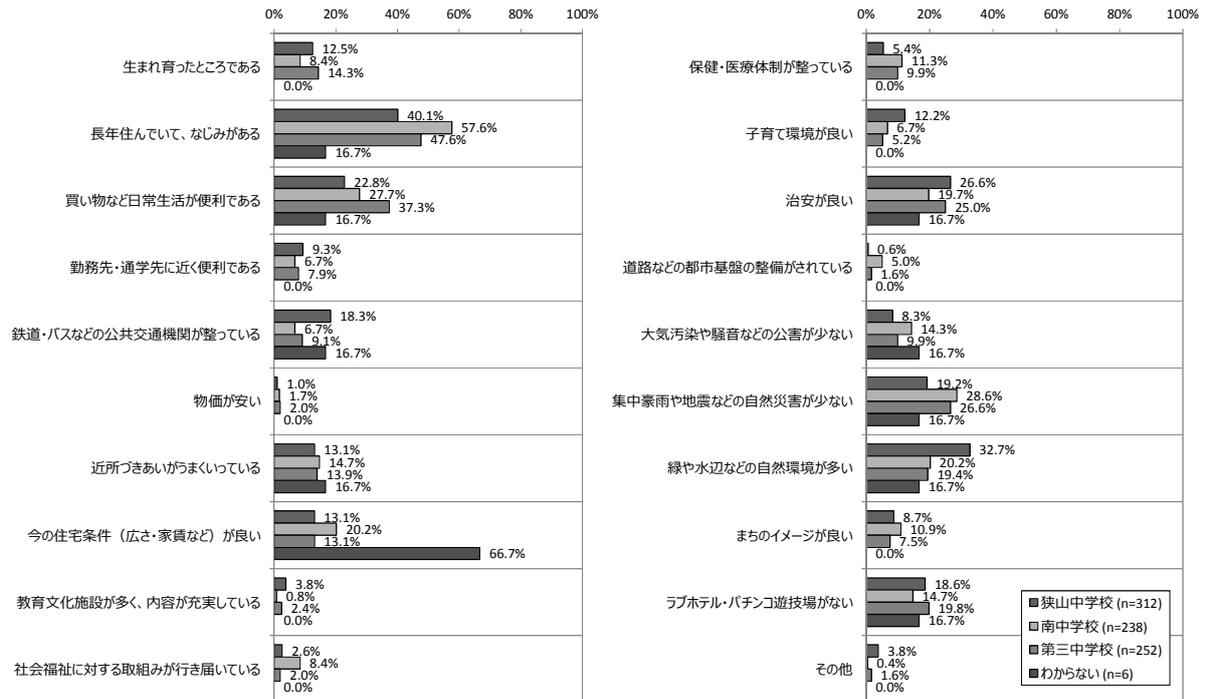
性別



年齢別



地区別



【その他について】

その他には、18件（回答者は18人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。最も多いのは「親族がいる」で、次に多いのが「家がある」である。

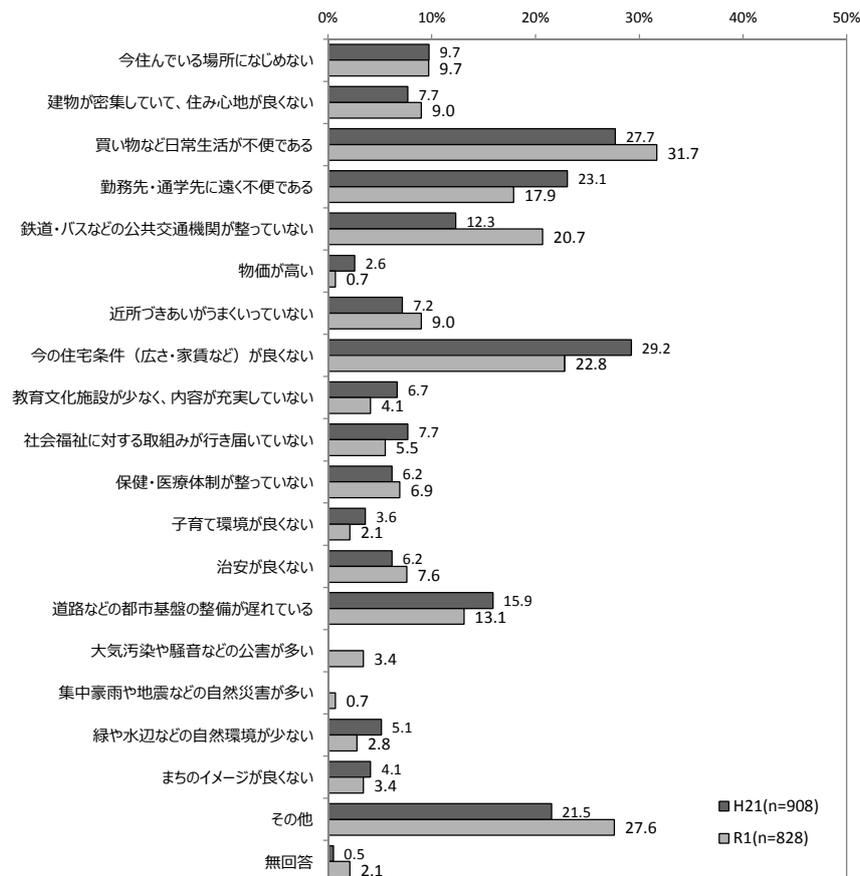
カテゴリー	件数	記述内容
親族がいる	6	実家が近い。
		祖母宅が近い。
		親がいる。
		妹家族、伯母が近くに住んでいる。
		娘が結婚して近くに居るから。
		嫁ぎ先の為しかたない。
家がある	5	持家を購入したため。
		家を建てた。
		義父が買った家。いつまでも住みたい。
		持家が大阪狭山市である。
		持家なので。
経済的な事情	2	住宅ローンが残っているから。 移動費用面。
年齢的な事情	1	年齢的に行く所がない。
立地がよい	2	駅から近い。
		駅が近い。
景観がよい	1	街の景観が好き。
自然環境がよい	1	あまの街道等の自然に恵まれる。

問1-4 問1-2で「2. 市内で引っ越したい」または「3. 市外へ引っ越したい」と答えた方にお聞きします。それはどのような理由からですか。(○は3つまで)

【全体】

「買い物など日常生活が不便である」が31.7%で最も多く、「今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない」が22.8%で続いている。

平成21年に比べて「今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない」は6.4ポイント、「勤務先・通学先に遠く不便である」は5.2ポイント減少している。「鉄道・バスなどの公共交通機関が整っていない」は8.4ポイント増加している。



【性別】

男性は、女性に比べ「まちのイメージが良くない」の比率が高い。

有意な差は認められないが、女性は「買い物など日常生活が不便である」、「近所づきあいがうまくいっていない」、「教育文化施設が少なく、内容が充実していない」の比率が高い。

【年齢別】 ※10歳代と80歳以上の回答者数が少ないため、16～29歳、70歳以上に分類しなおして考察している。

60歳代は、他の年代に比べ「大気汚染や騒音などの公害が多い」の比率が高い。

70歳以上は、他の年代に比べ「近所づきあいがうまくいっていない」の比率が高い。

有意差は認められなかったが、10歳代～20歳代は「買い物など日常生活が不便である」の比率が高く、

30歳代は「建物が密集していて、住み心地が良くない」、「勤務先・通学先に遠く不便である」、「今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない」、「保健・医療体制が整っていない」の比率が高い。40歳代は「勤務先・通学先に遠く不便である」、「今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない」、「まちのイメージが良くない」の比率が高く、50歳代は「建物が密集していて、住み心地が良くない」、「勤務先・通学先に遠く不便である」、「鉄道・バスなどの公共交通機関が整っていない」、「今の住宅条件（広さ・家賃など）が良

くない」、「保健・医療体制が整っていない」の比率が高い。60歳代は「建物が密集して、住み心地が良くない」、「買い物など日常生活が不便である」、「緑や水辺などの自然環境が少ない」の比率が高く、70歳以上は「今住んでいる場所になじめない」、「買い物など日常生活が不便である」、「鉄道・バスなどの公共交通機関が整っていない」、「道路などの都市基盤の整備が遅れている」の比率が高い。

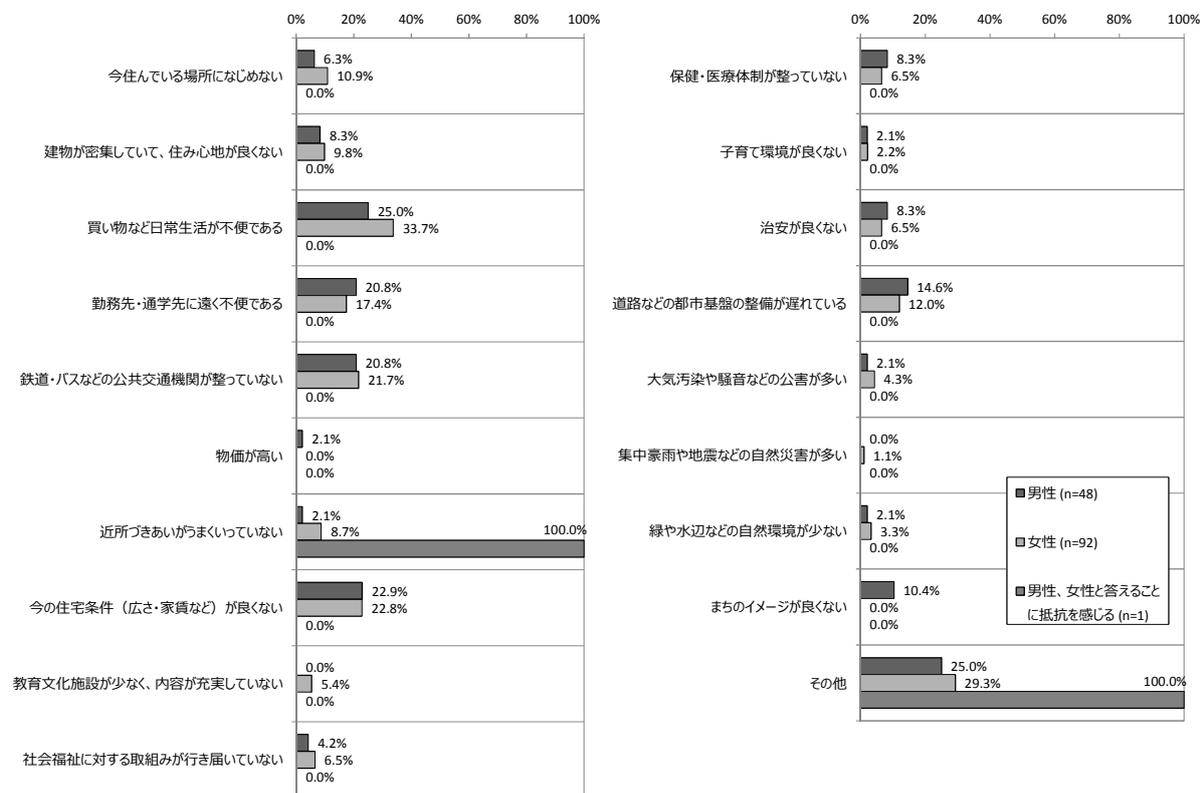
「買い物など日常生活が不便である」は、運転をしない年代で比率が高くなっている。

【地区別】

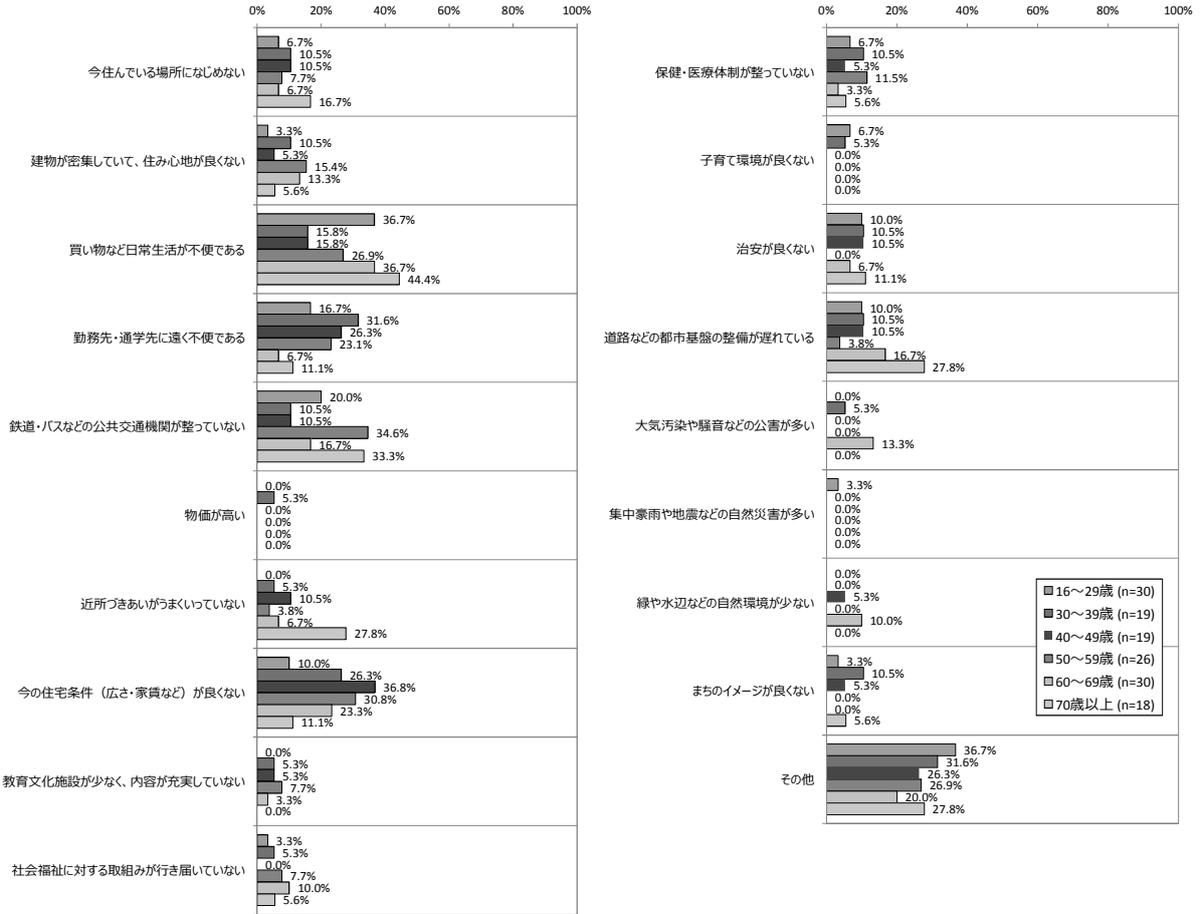
狭山中学校区は他の地区に比べ「建物が密集して、住み心地が良くない」の比率が高く、第三中学校区は低い。

有意差は認められなかったが、狭山中学校区は「今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない」、「保健・医療体制が整っていない」、「道路などの都市基盤の整備が遅れている」の比率が高く、「勤務先・通学先に遠く不便である」、「鉄道・バスなどの公共交通機関が整っていない」、「近所づきあいがうまくいっていない」の比率が低い。また、第三中学校区は「勤務先・通学先に遠く不便である」、「治安が良くない」の比率が高い。

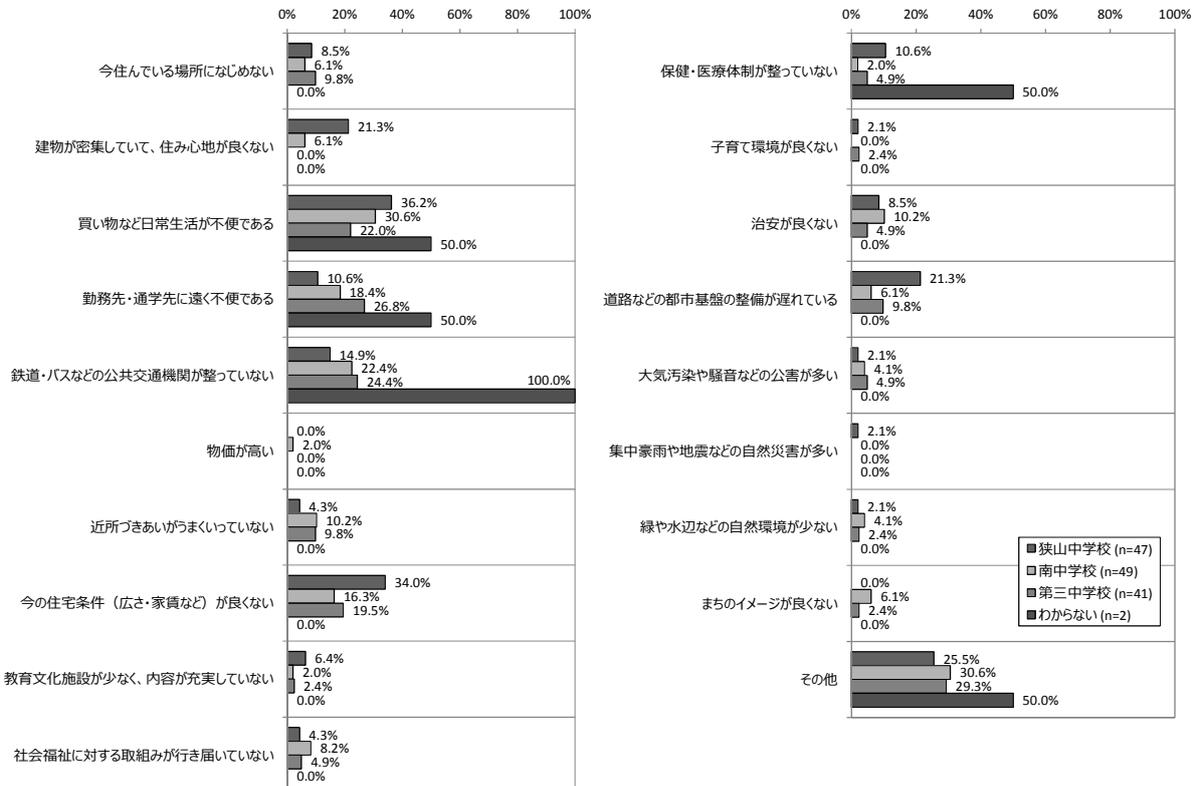
性別



年齢別



地区別



【その他について】

その他には、41件（回答者は40人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。最も多いのは「行政への不満」で、次に多いのが「環境がよくない」である。

カテゴリー	件数	主な記述内容
行政への不満	9	家庭ゴミの個数制限。
		大阪狭山市民と他市民との差別化ができていない。他市民を優遇すぎ(例)塾代、受講料。
		大阪狭山市から離れたくはないが、近々入籍予定なので新婚家賃補助がある市へ引っ越しを考えている。
		若年層への優遇がない。
		福祉が近隣の市町村より遅れている。マンションでの車いす生活がとても不便。
		防犯対策が不安である。
環境がよくない	6	税金が高い。
		グラウンドの砂ぼこりがひどすぎる。
		田が多く自然が良かったのに次々と住宅が建つ。
		予告なしに地上波のテレビが数日間毎年見られなくなるため。
		害虫が多い。
交通の便がよくない	4	周辺が田んぼが多く頻繁に雑草(わらなど)を燃やしており、灰が洗たく物についたり、窓をあけて換気もできない。煙で公園で子供を遊ばすことができない。近所の方は、同じように思っている。
		車がないと生活しづらい。
		鉄道の連絡が悪い
		大阪市内まで時間がかかる。
立地がよくない	4	終電が早い。
		最寄り駅まで歩いていける距離だが、もう少し駅近に住みたい。
		坂道が多く、老人には住みやすい環境とはいえない。バス停へ行くにも10分以上かかるので車がないと無理だが、車の運転も無理。せめて坂道の少ない所へ。
近隣トラブル	4	カラオケバーが深夜4時をすぎてもかなりの騒音で子育てする環境として良くない。
		団地なので近隣問題が発生しやすい。
		犬、猫の飼主のマナーが悪い。
仕事の都合	2	就職のため。
		仕事の関係で市外に出る必要があるため。
独立	2	一人暮らしするため。
Uターン	2	実家にもどるため。
家の購入、売却	2	市内に住む親と同居するため。
		マイホームの購入を検討中のため。
移住したい	2	持ち家なので、家族数減少のため、引っ越しを検討中。
		他でも住んでみたい。
魅力がない	2	与論島、沖縄、宮古島、石垣島方面へ。冬が寒いので暖かい南の島へ移住を考えている。
		狭山池以外何も無い。
コミュニティが希薄	1	近大病院移転で活性化が見込めない。
商業施設がない	1	自治会へ加入できる所へ引っ越したい。
	1	大型のスーパー等の施設がない。

◆ 『大阪狭山らしさを創出する 自立と協働のまち』 について

問2-1 あなたは、大阪狭山市のまちづくりに関心がありますか。(○は1つ)

【全体】

「関心がある」が 47.1%で最も多くなっている。「おおいに関心がある」と「関心がある」を合わせると 54.6%となり、全体の 5 割以上が大阪狭山市のまちづくりに関心を持っている。

【性別】

有意な差は認められないが、男性は女性に比べ『関心がある』（「おおいに関心がある」と「関心がある」の計）の比率が高い。

【年齢別】

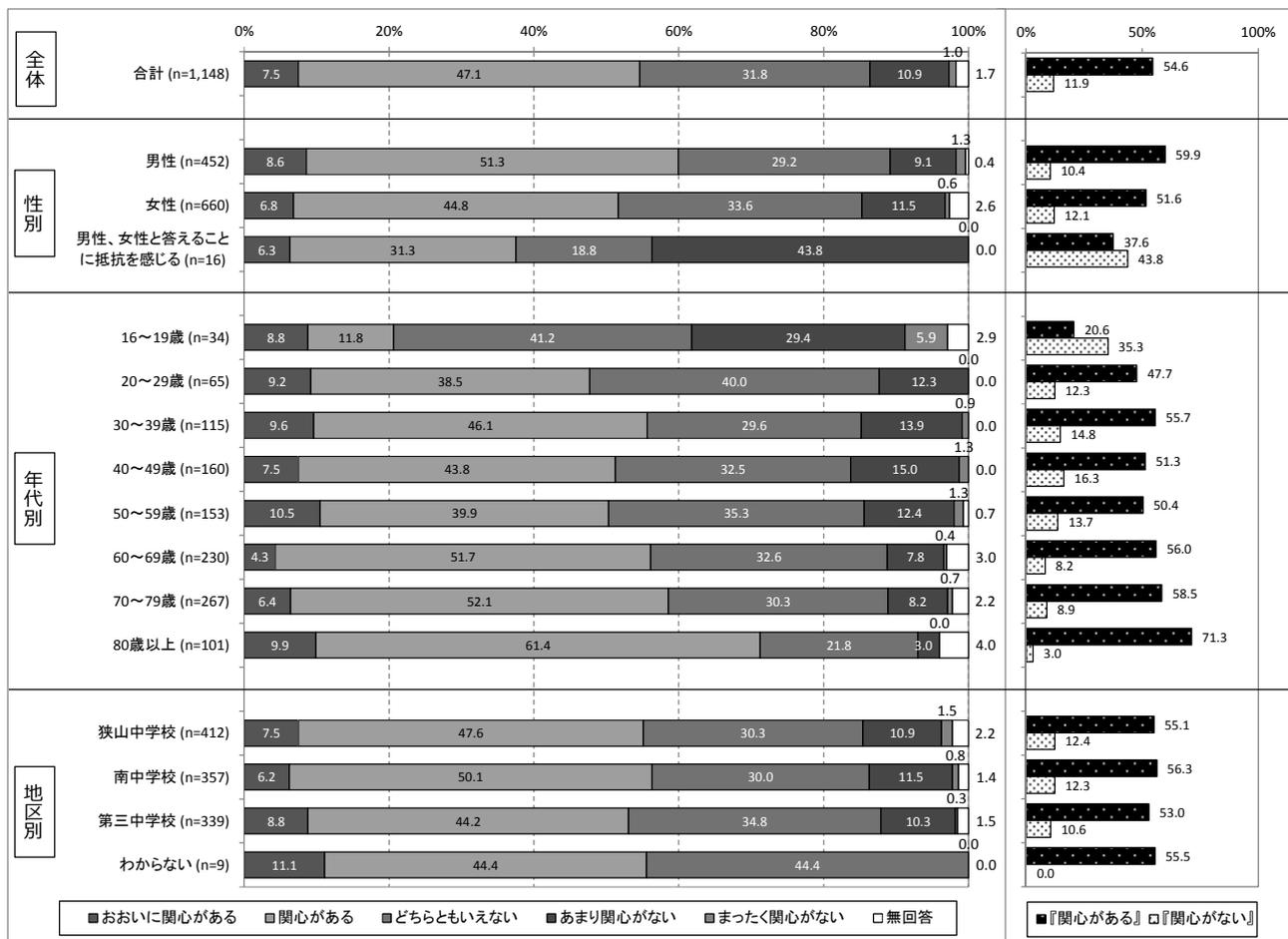
10 歳代は、他の年代に比べ『関心がない』（「あまり関心がない」と「まったく関心がない」の計）の比率が高い。

80 歳以上は、他の年代に比べ『関心がある』の比率が高い。

『関心がない』は、概ね年齢が低くなるほど比率が低くなっている。

【地区別】

地区による違いは見られない。



問2-2 あなたの地域活動（自治会、まちづくり円卓会議、PTA、子ども会、地域清掃など）への参加についてお聞きします。（○は1つ）

【全体】

「つきあい程度に参加している」が40.7%で最も多くなっている。「積極的に参加している」と「つきあい程度に参加している」を合わせると50.9%となり、全体の5割以上が地域活動に参加している。

「積極的に参加している」は、平成21年に比べて3.8ポイント、平成27年に比べて1.8ポイント減少し、「まったく参加していない」は、平成21年に比べて3.1ポイント、平成27年に比べて3.9ポイント増加しており、地域活動に参加している人は、過去の調査の時よりも減少している。

【性別】

女性は、男性に比べ『参加している』（「積極的に参加している」と「つきあい程度に参加している」の計）の比率が高い。

【年齢別】

10歳代～40歳代は、他の年代に比べ『参加していない』（「あまり参加していない」と「まったく参加していない」）の比率が高い。

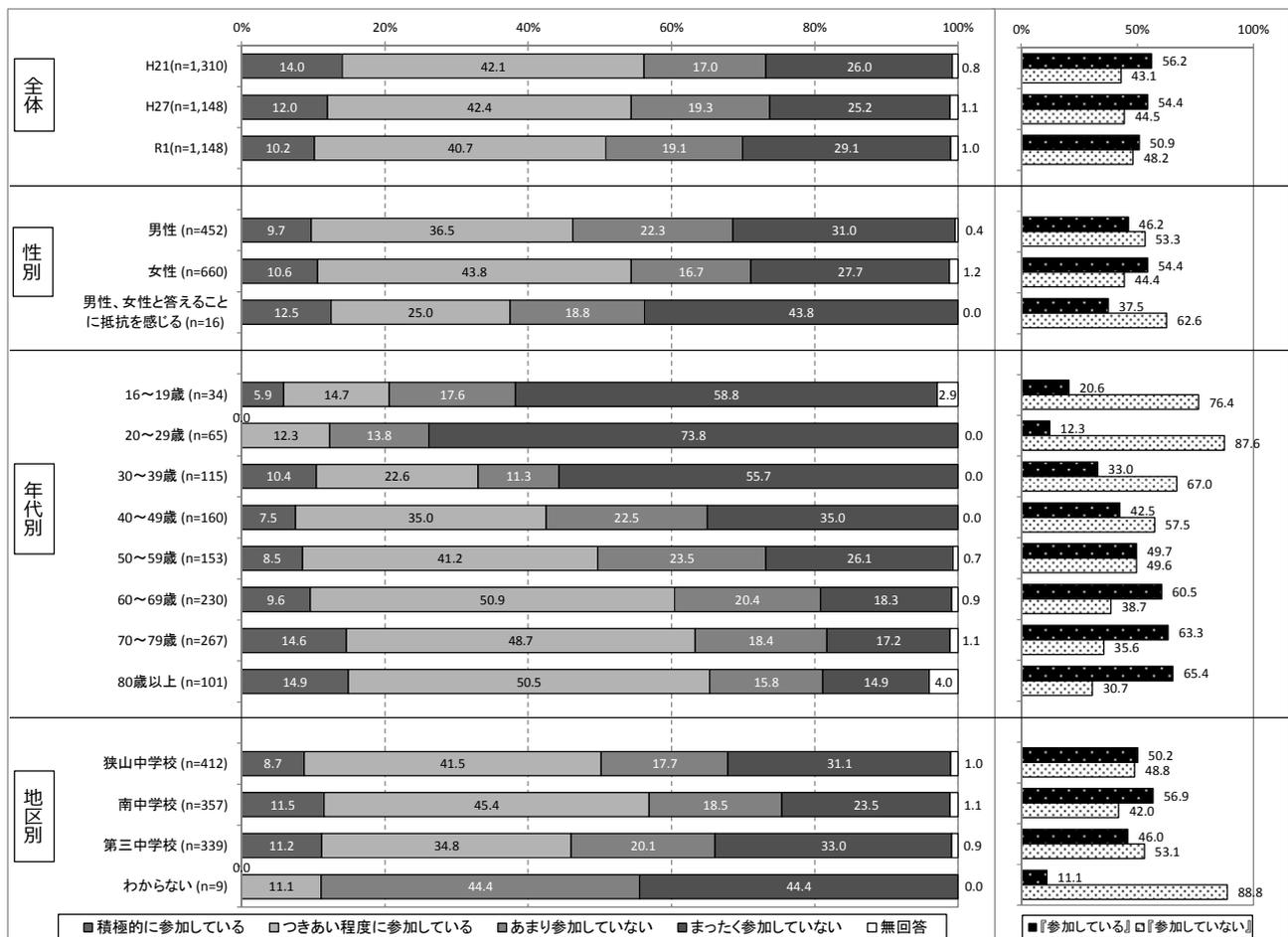
60歳代以上は、他の年代に比べ『参加している』の比率が高い。

『参加している』は、概ね年代が高くなるほど比率が高くなっている。

【地区別】

南中学校区は、他の年代に比べ『参加している』の比率が高い。

第三中学校区は、他の年代に比べ『参加していない』の比率が高い。



問2-3 あなたは、地域活動（自治会、まちづくり円卓会議、PTA、子ども会、地域清掃など）の必要性について、どんな感想をお持ちですか。（〇は1つ）

【全体】

「ある程度は必要」が 65.2%で最も多くなっている。「おおいに必要」、「ある程度は必要」、「どちらかという必要」を合わせると 91.8%となり、全体の 9 割以上が地域活動の必要性を感じている。

「おおいに必要」は、平成 21 年に比べて 5 ポイント減少し、「ある程度は必要」は、6.1 ポイント増加している。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

10 歳代は、他の年代に比べて「あまり必要とは思わない」の比率が高い。

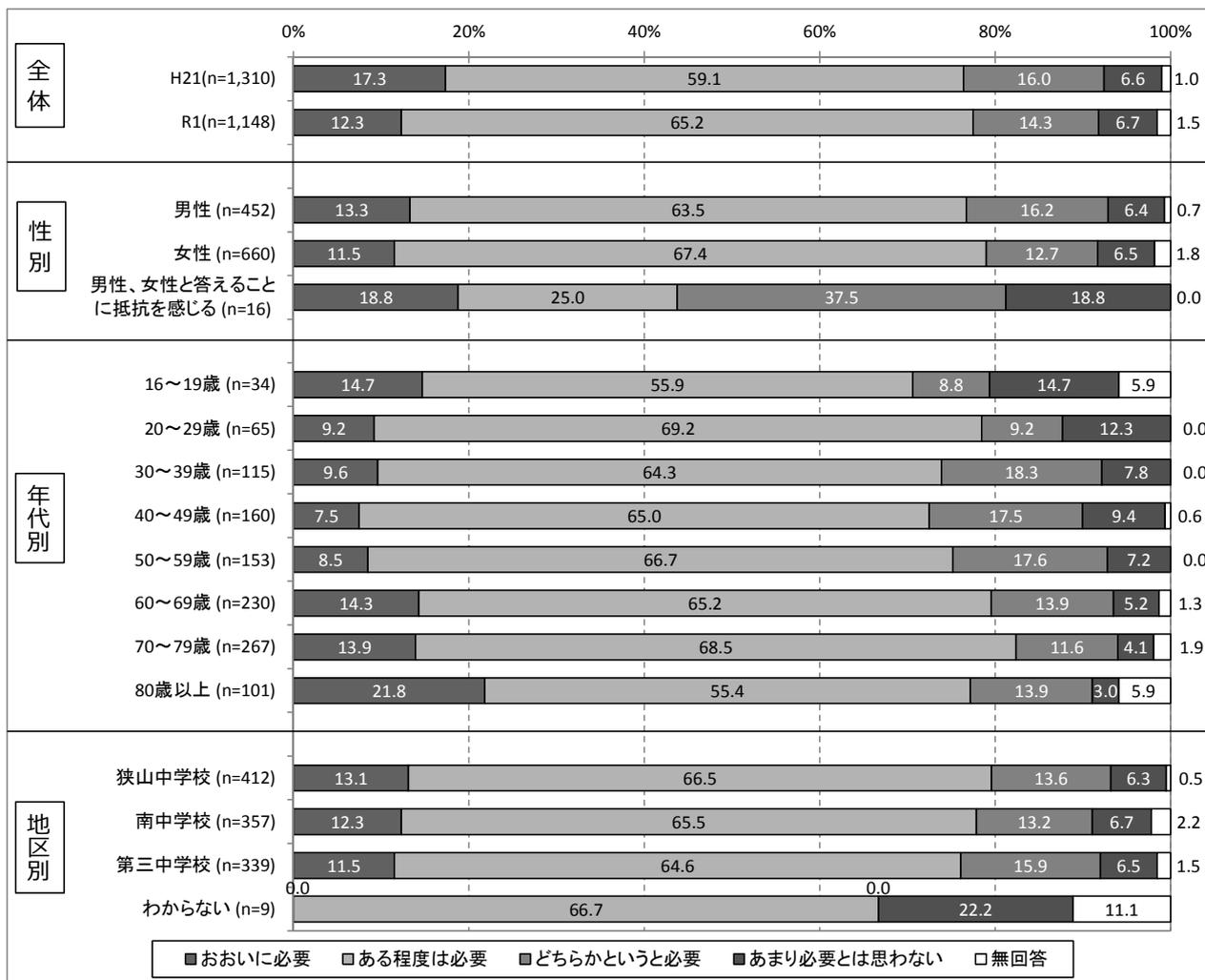
40 歳代は、他の年代に比べ「おおいに必要」の比率が低い。

80 歳以上は、他の年代に比べ「おおいに必要」の比率が高い。

「あまり必要とは思わない」は、年齢が低くなるほど比率が高くなっている。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



問2-4 あなたのボランティア活動やNPO（非営利組織）活動への参加についてお聞きます。（〇は1つ）

【全体】

「参加したことはない」が64.8%で最も多く、「参加したことがある」が24.7%、「参加している」が9.5%で続いている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

20歳代は、他の年代に比べ「参加している」の比率が低い。

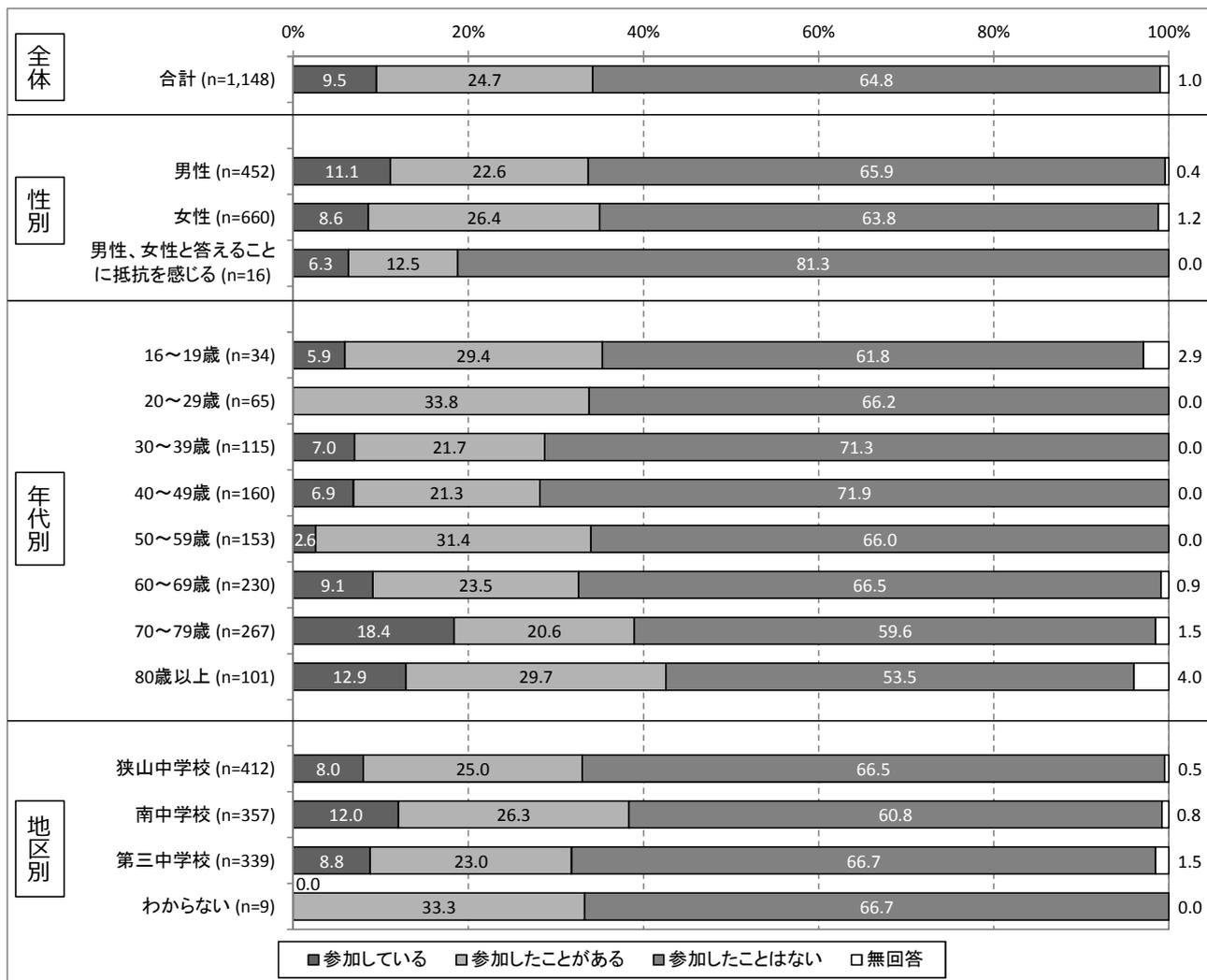
50歳代は、他の年代に比べ「参加したことがある」の比率が高く、「参加している」の比率が低い。

70歳代は、他の年代に比べ「参加している」の比率が高い。

80歳以上は、他の年代に比べ「参加したことはない」の比率が低い。

【地区別】

有意な差は認められないが、南中学校区は他の地区に比べ「参加している」の比率が高い。



問2-5 あなたは、今後、ボランティア活動やNPO（非営利組織）に参加したいと思いますか。（〇は1つ）

【全体】

「機会があれば参加したい」が35.5%で最も多くなっている。「ぜひ参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせると38.8%となり、全体の4割近くがボランティア活動やNPO（非営利組織）への参加に意欲的である。

【性別】

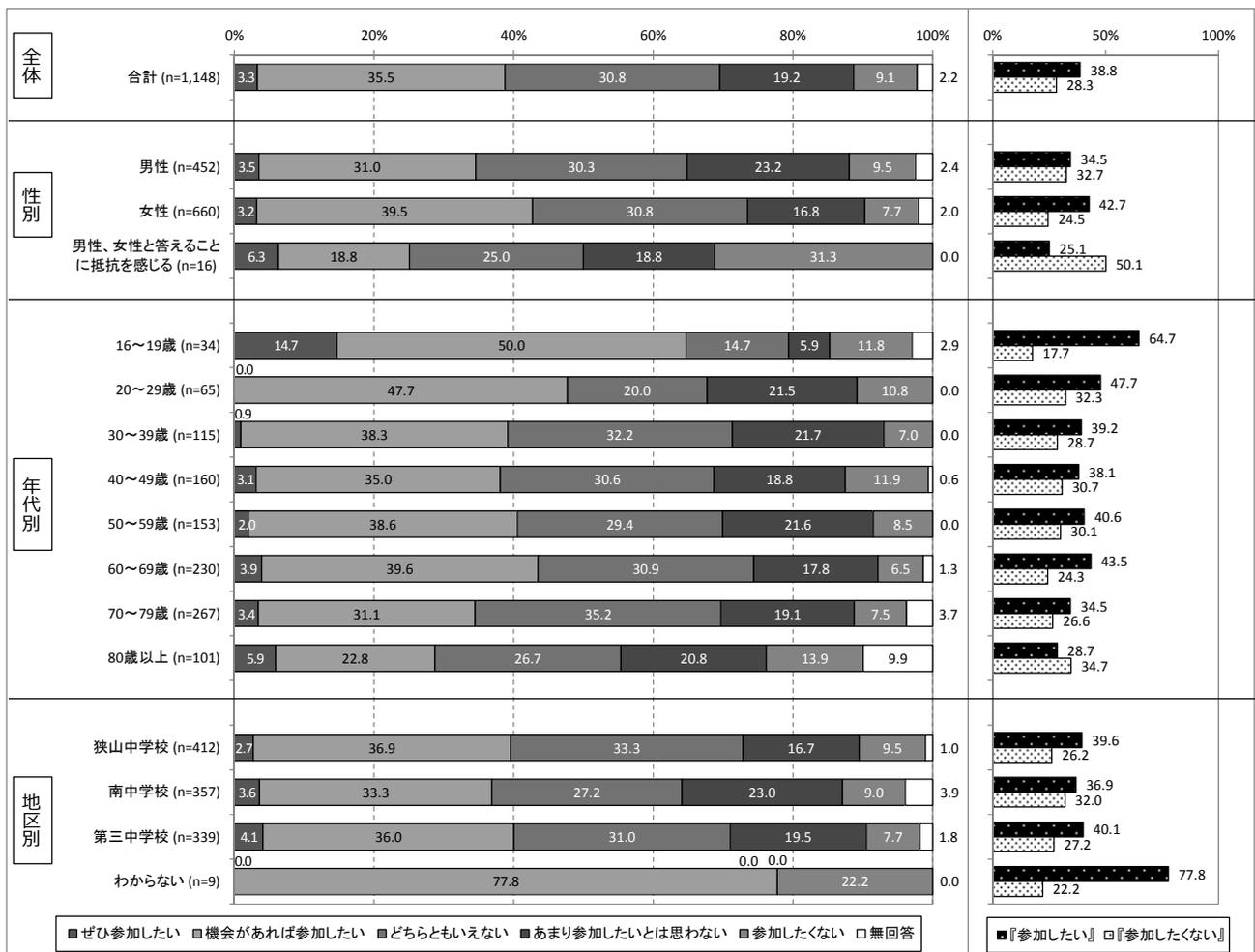
女性は、『参加したい』（「ぜひ参加したい」と「機会があれば参加したい」の計）の比率が高い。

【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ『参加したい』の比率が高い。

【地区別】

有意な差は認められないが、狭山中学校区は他の地区に比べ「あまり参加したいとは思わない」の比率が低く、南中学校区は比率が高い。



問2-6 あなたは、日頃、生活の中で地域の人と次のような交流がありますか。(〇はそれぞれ1つ)

①同世代との交流

【全体】

「あいさつをする程度」が60.9%で最も多く、「相談したり助けあったりする」が28.4%で続いている。

【性別】

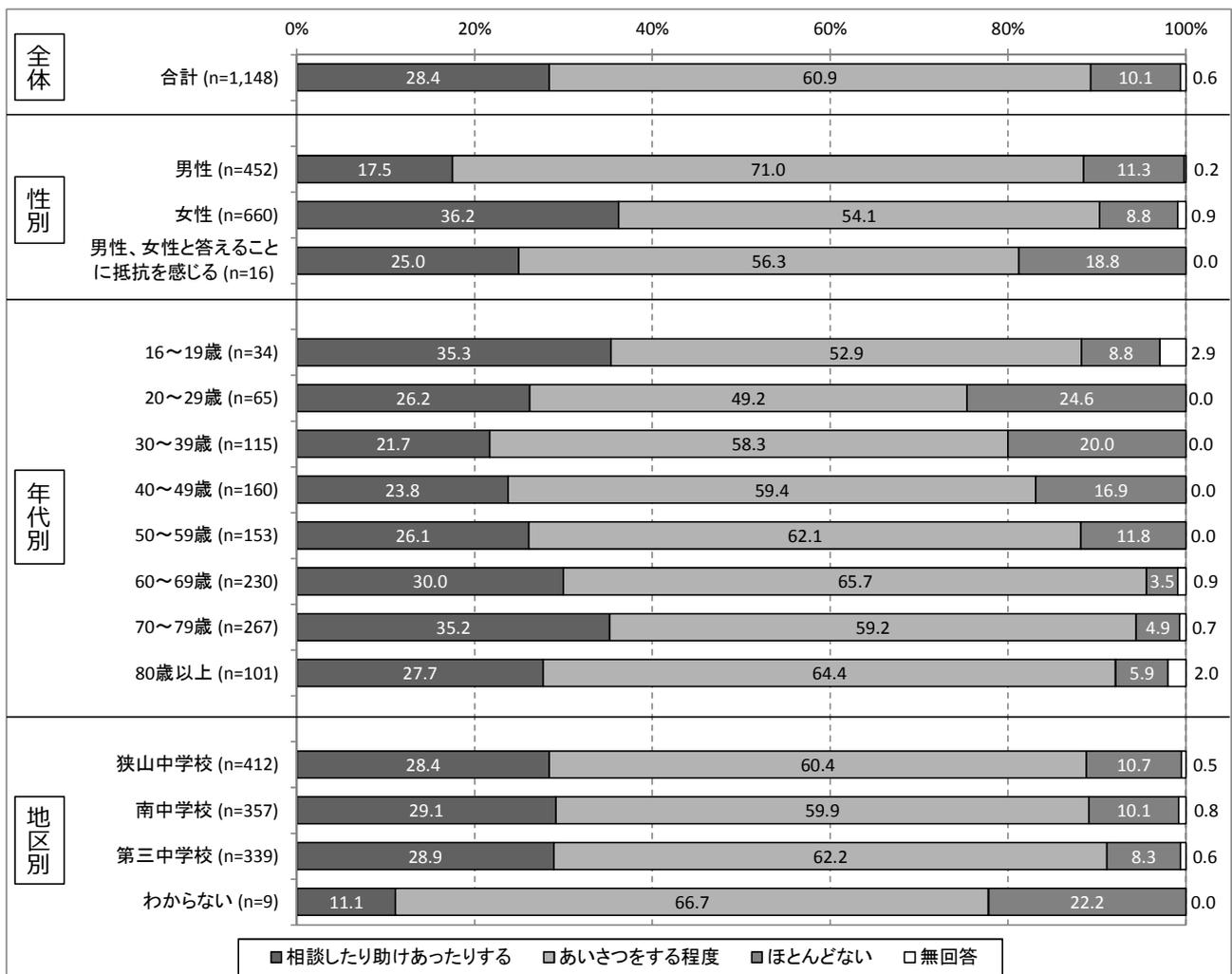
「相談したり助けあったりする」では女性の比率が高く、「あいさつをする程度」では男性の比率が高い。

【年齢別】

「相談したり助けあったりする」では70歳代の比率が高く、「ほとんどない」では、20歳代～40歳代の比率が高い。

【地区別】

同世代との交流について、地区による大きな違いはない。



②世代を超えた交流

【全体】

「あいさつをする程度」が67.9%で最も多く、「ほとんどない」が17.4%が続いている。

【性別】

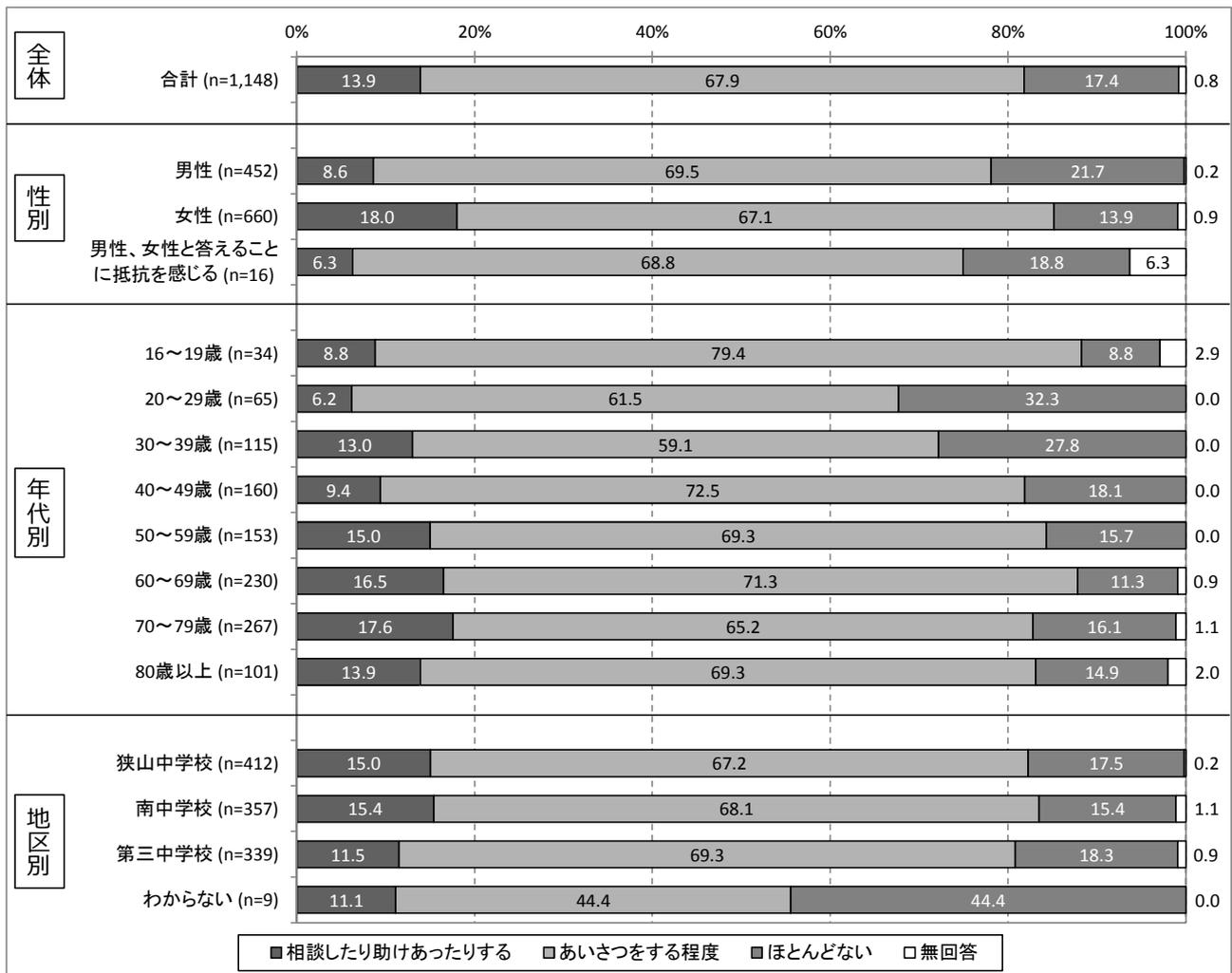
「相談したり助けあったりする」では女性の比率が高く、「ほとんどない」では男性の比率が高い。

【年齢別】

「ほとんどない」では、20歳代～30歳代の比率が高い。

【地区別】

世代を超えた交流について、地区による大きな違いは見られない。



③周辺地域の方との交流

【全体】

「あいさつをする程度」が65.0%で最も多く、「ほとんどない」が18.7%で続いている。

【性別】

「相談したり助けあったりする」では、女性の比率が高い。

【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ「相談したり助けあったりする」の比率が低い。

20歳代～30歳代は、他の年代に比べ「ほとんどない」の比率が高い。

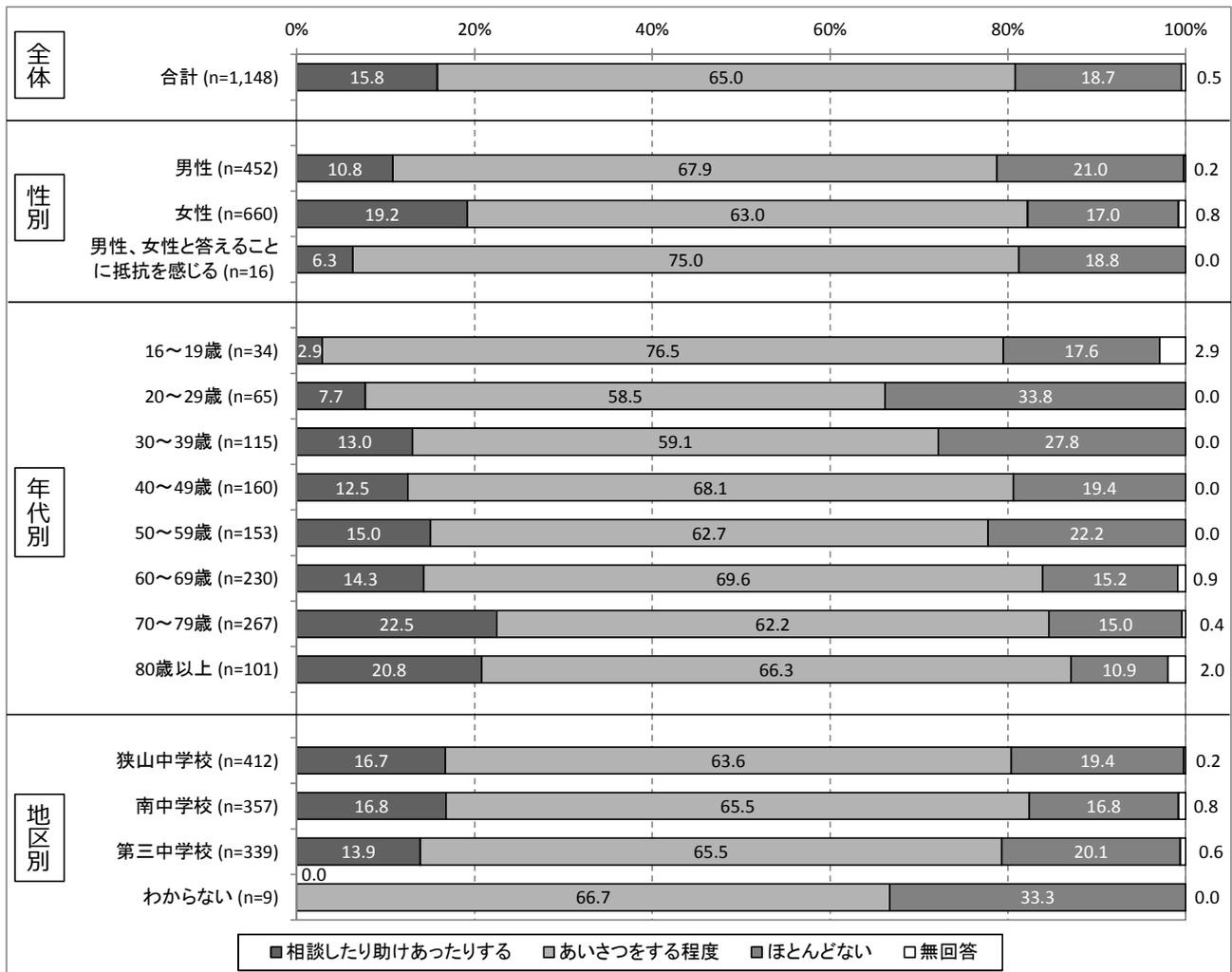
70歳代は、他の年代に比べ「相談したり助けあったりする」の比率が高い。

80歳以上は、他の年代に比べ「ほとんどない」の比率が低い。

「相談したり助けあったりする」は、概ね年齢が高くなるほど比率が高くなっている。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



**問2-7 あなたの日頃の考えについて、あてはまるものを選んでください。
(項目ごとに○は1つずつ)**

①市民一人ひとりの人権意識は高くなっている

【全体】

「少し思う」が29.3%で最も多く、「わからない」が26.7%、「あまり思わない」が26.6%で続いている。

【性別】

有意な差は認められないが、男性は女性に比べ「そう思う」の比率が高い。

【年齢別】

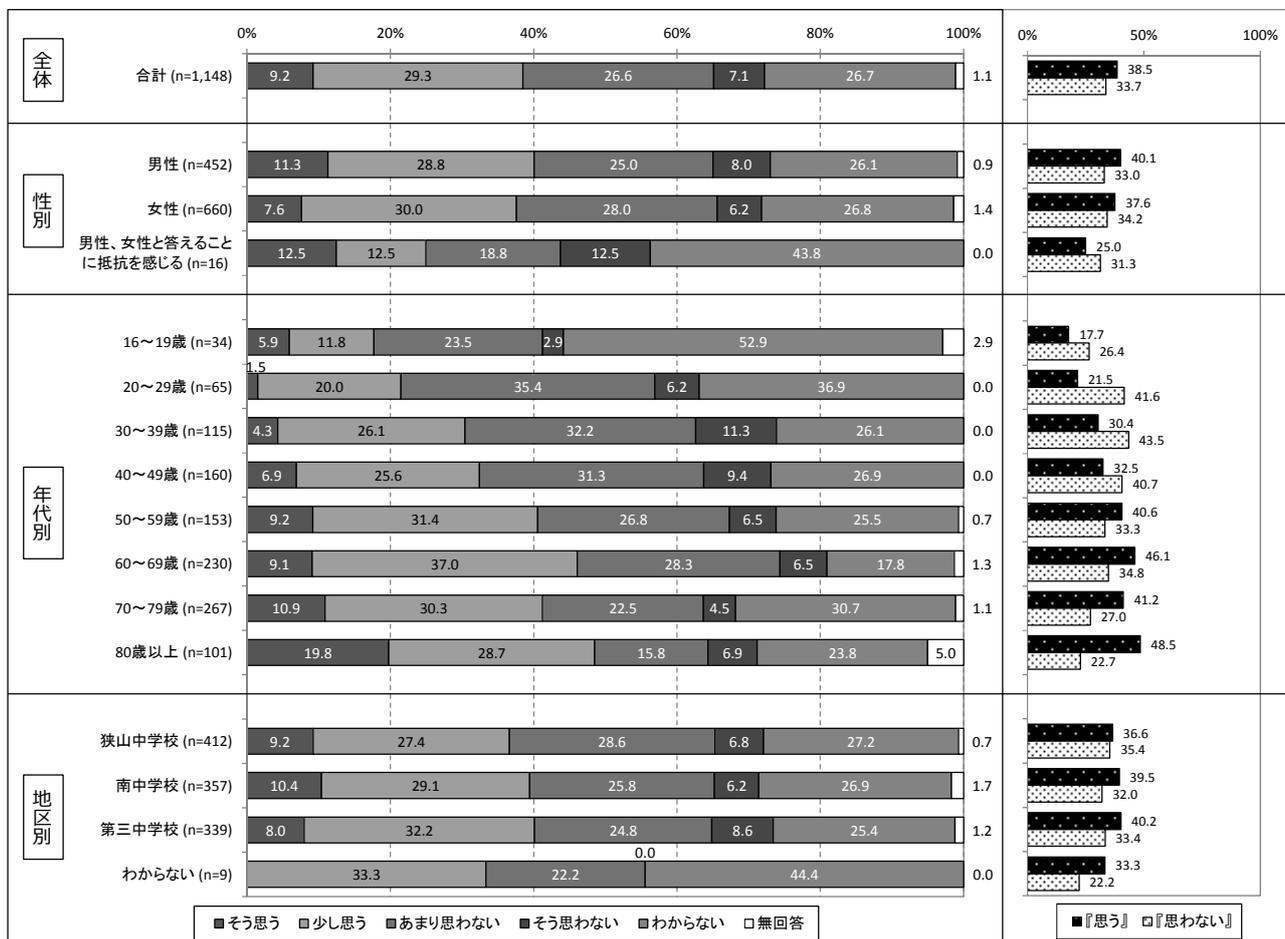
30歳代は、他の年代に比べ『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）の比率が高い。

70歳代以上は、他の年代に比べ『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）の比率が高い。

『思う』は、概ね年齢が高くなるほど比率が高くなっている。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



②男女や性別にかかわらず、共に個性や能力を発揮できる社会になっている

【全体】

「少し思う」が34.8%で最も多く、「あまり思わない」が28.1%、「わからない」が18.7%が続いている。

【性別】

有意な差は認められないが、女性は男性に比べ「あまり思わない」の比率が高い。

【年齢別】

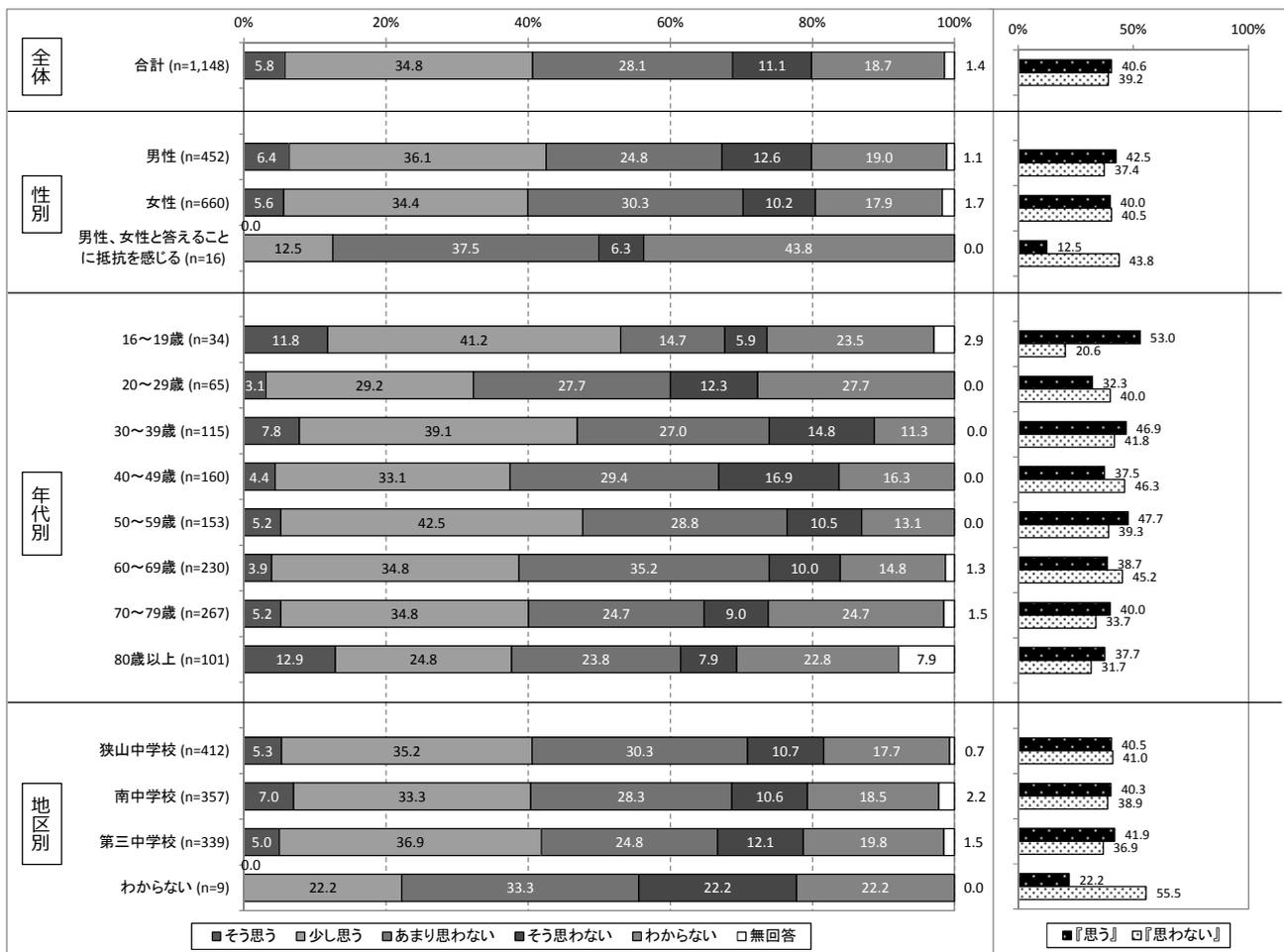
10歳代は、他の年代に比べ『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）の比率が低い。

60歳代は、他の年代に比べ『思わない』の比率が高い。

有意な差は認められないが、10歳代、30歳代、50歳代で『思う』の比率が高い。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。

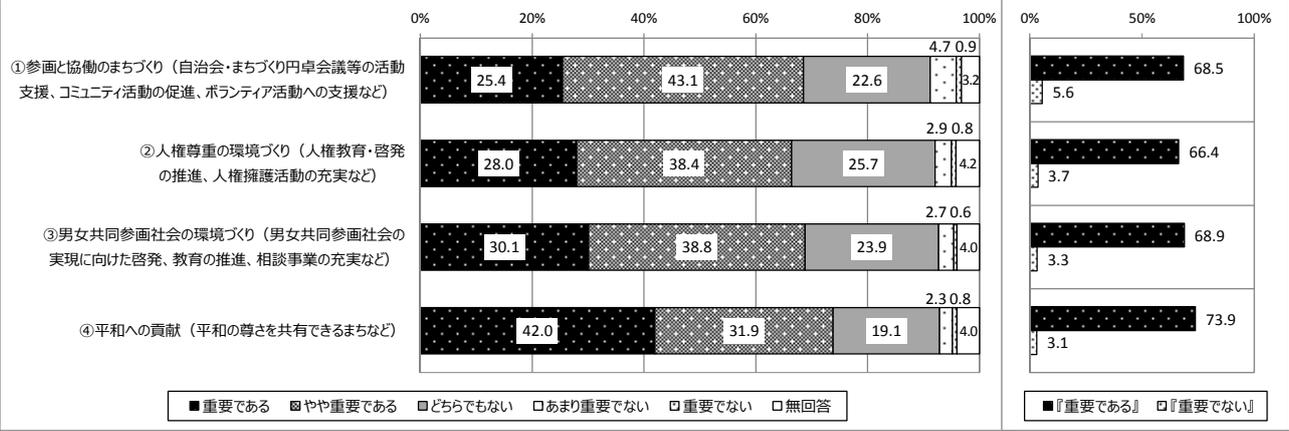


問2-8 現在、大阪狭山市が取り組んでいる次の施策について、その重要度と現状についての満足度をお聞きします。あてはまるものをお選びください。(項目ごとに○は1つずつ)

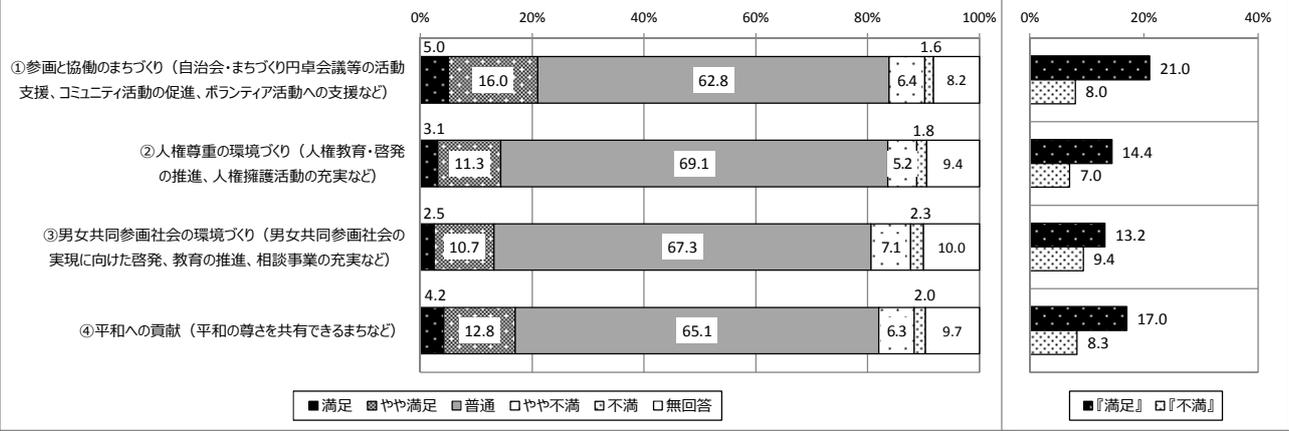
「重要である」と「やや重要である」を合わせた重要度が最も高いものは「平和への貢献（平和の尊さを共有できるまちなど）」（73.9%）で、「男女共同参画社会への環境づくり（男女共同参画社会の実現に向けた啓発、教育の推進、相談事業の充実など）」（68.9%）が続いている。

「満足」と「やや満足」を合わせた満足度が最も高いものは「参画と協働のまちづくり（自治会・まちづくり円卓会議等の活動支援、コミュニティ活動の促進、ボランティア活動への支援など）」（21.0%）で、「平和への貢献（平和への尊さを共有できるまちなど）」（17.0%）が続いている。

【重要度】



【満足度】



◆ 『健康で安心して暮らし続けられる 思いやりのあるまち』 について

問3-1 あなたが大阪狭山市で生活する上で、次のことについてどのように思いますか。
(項目ごとに○は1つずつ)

①自分の健康づくりを意識している

【全体】

『思う』(「そう思う」と「少し思う」の計)は85.2%で、全体の8割以上が自分の健康づくりを意識している。

【性別】

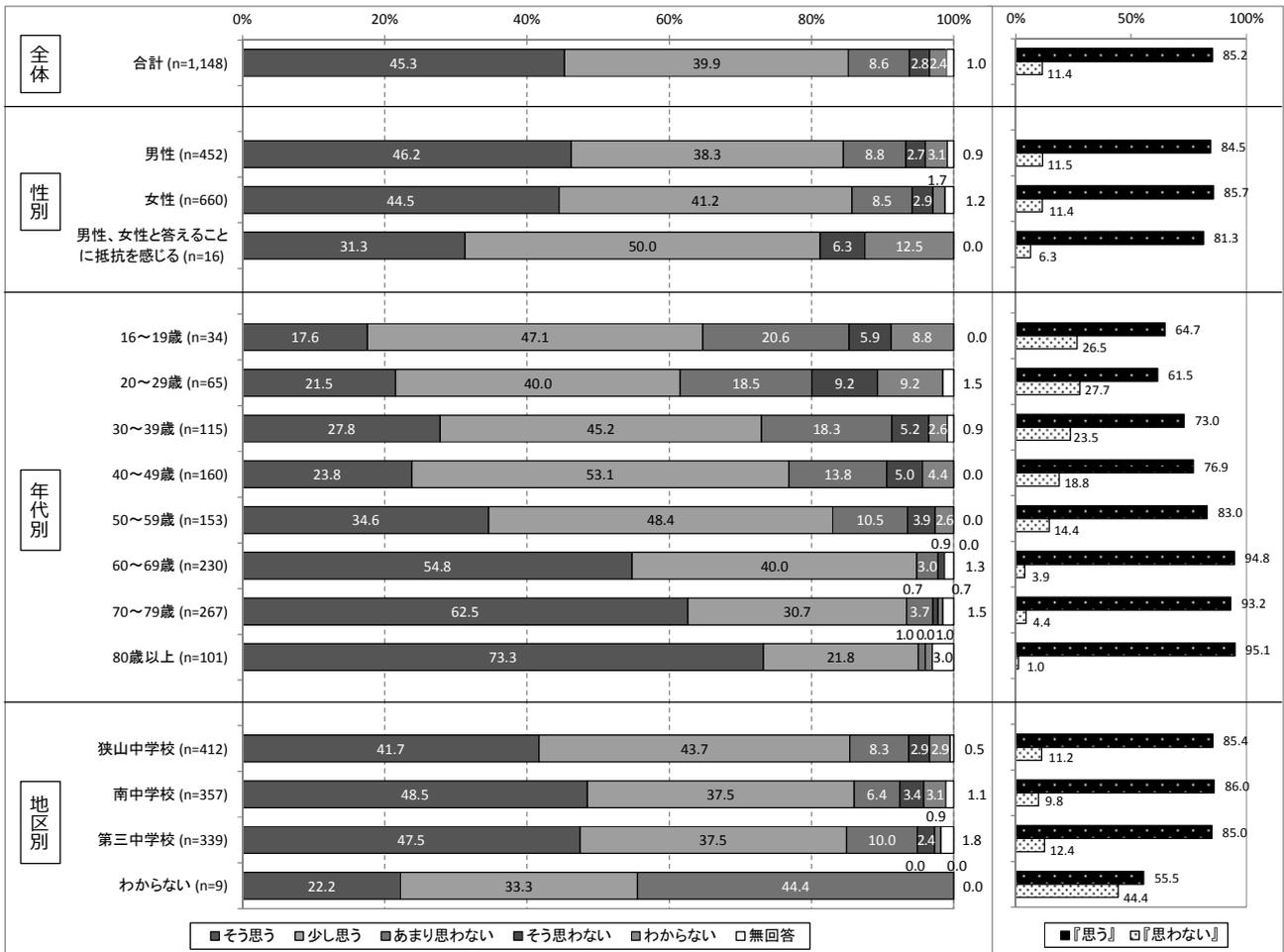
性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

60歳代以上は他の年代に比べ『思う』では比率が高く、10歳代~40歳代は『思わない』の比率が高い。「そう思う」は、概ね年代が高くなるほど比率が高くなっている。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



②適切な医療サービスを身近で受けられる体制が整っている

【全体】

『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）は70.2%で、全体の7割以上が適切な医療サービスを身近で受けられる体制が整っていると思っている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

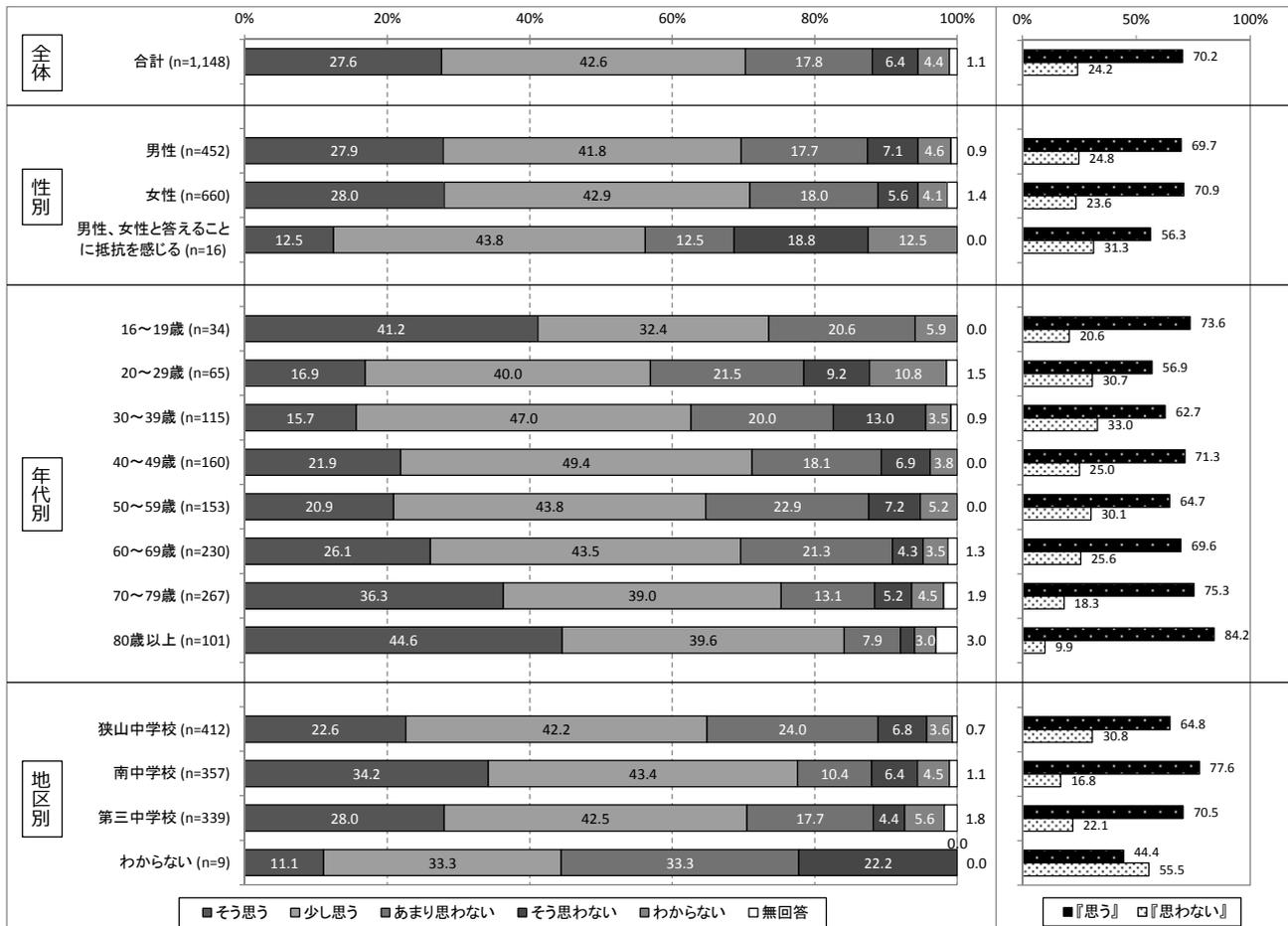
30歳代は、他の年代に比べ『思わない』の比率が高い。

70歳代以上は、他の年代に比べ『思う』の比率が高い。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）の比率が高い。

南中学校区は、他の地区に比べ『思う』ではの比率が高い。



③あなたの住んでいる地域では、市民がともに支えあう仕組みが整っている

【全体】

『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）は47.5%で、『思う』を上回っている。

【性別】

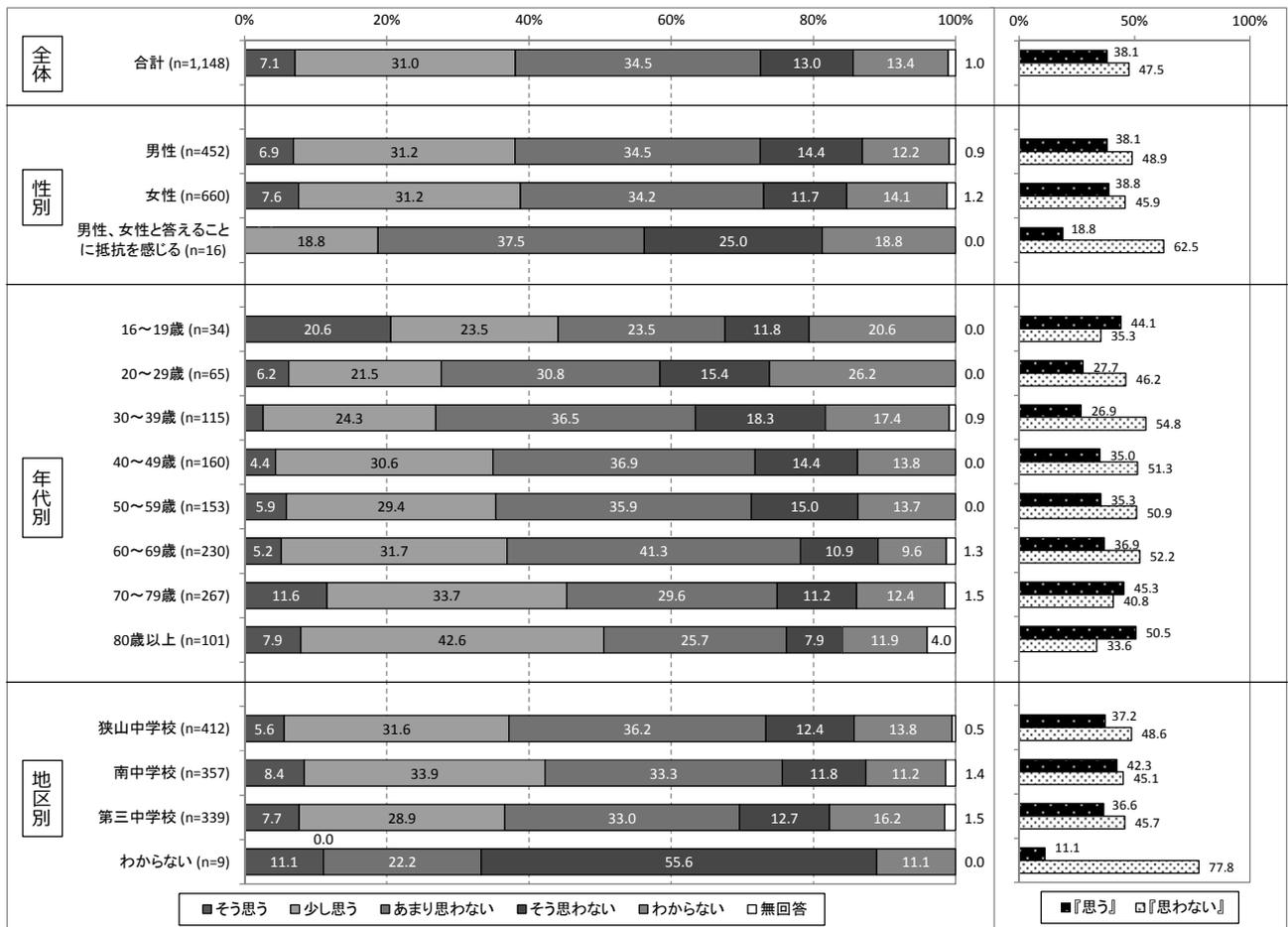
性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

70歳代以上は、他の年代に比べ『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）の比率が高い。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



問3-2 あなたは、大阪狭山市のがん検診を受診したことがありますか。(〇は1つ)

【全体】

「ない」が59.9%で最も多く、「ある」の39.3%を上回っている。

【性別】

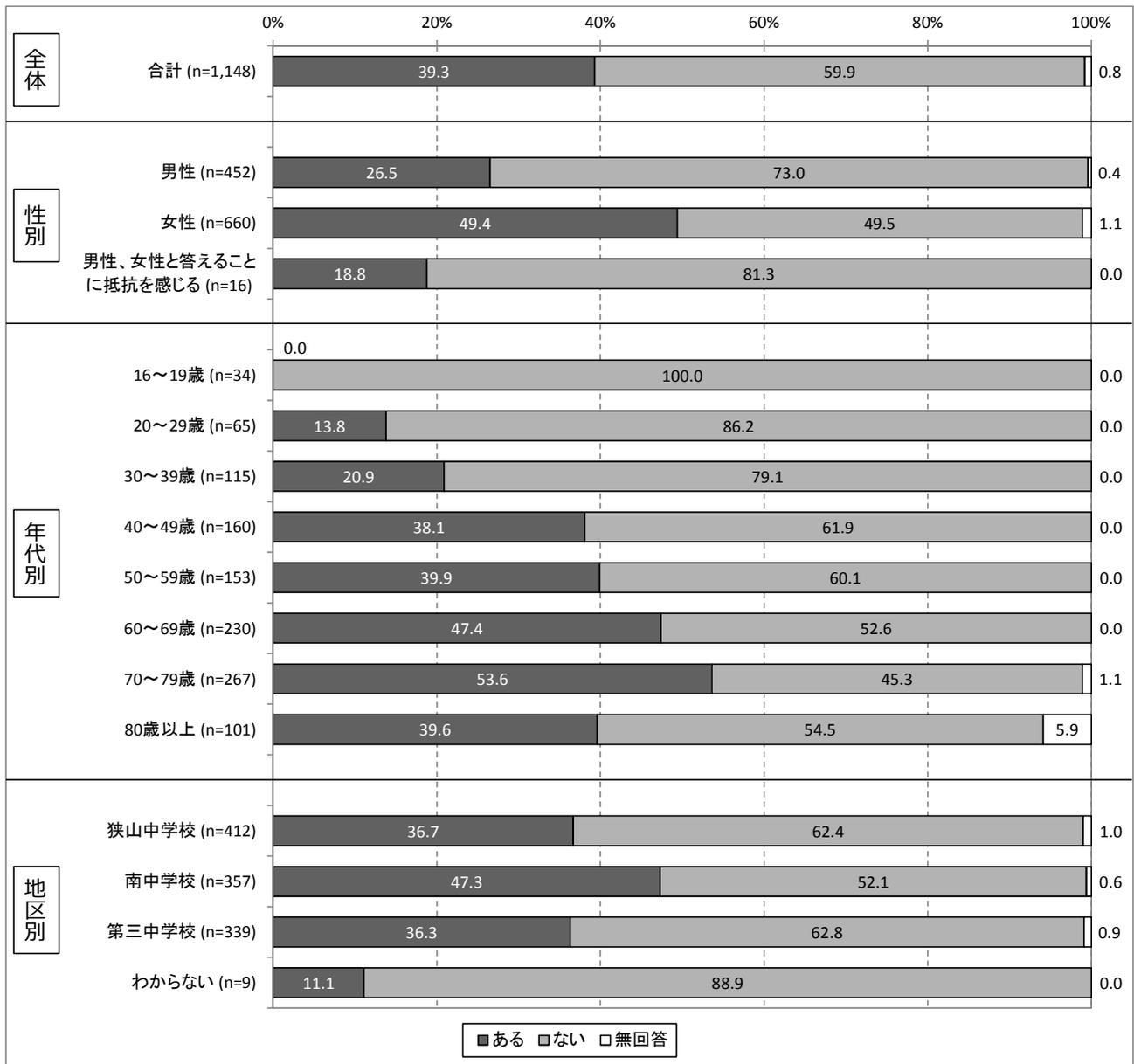
女性は、男性に比べ「ある」の比率が高い。

【年齢別】

60歳代～70歳代は他の年代に比べ「ある」の比率が高く、10歳代～30歳代は低い。

【地区別】

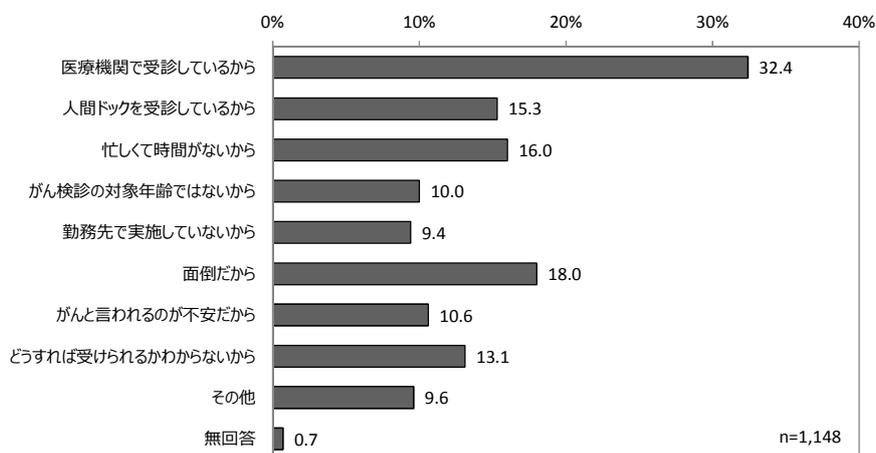
南中学校区は、他の地区に比べ「ある」の比率が高い。



**問3-3 問3-2で「2. ない」と答えた方にお聞きします。受診したことがない理由は何ですか。
(〇は3つまで)**

【全体】

「医療機関で受診しているから」が32.4%で最も多く、「面倒だから」が18.0%、「忙しくて時間がないから」が16.0%で続いている。



【性別】

男性は、女性に比べ「人間ドックを受診しているから」、「勤務先で実施していないから」比率が高い。有意な差は認められないが、女性は「医療機関で受診しているから」、「忙しくて時間がないから」の比率が高い。

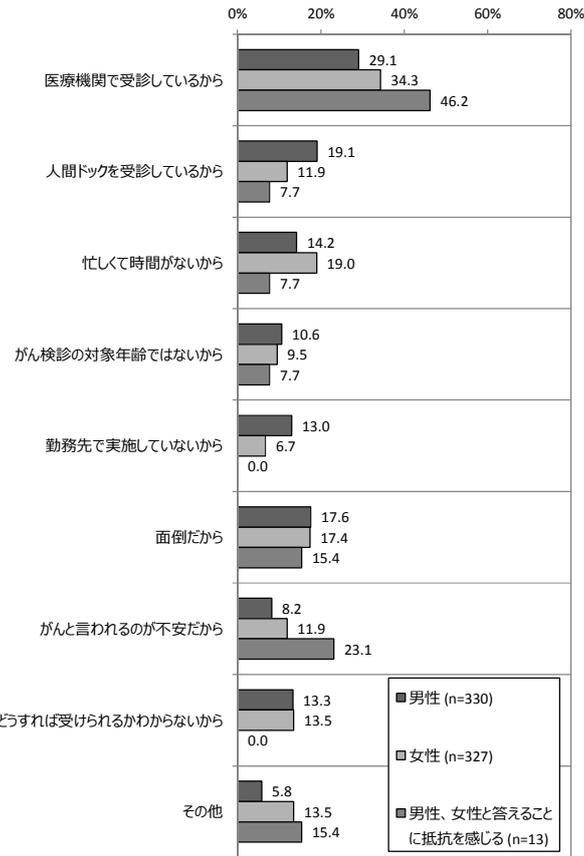
【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ「がん検診の対象年齢ではないから」の比率が高い。
 20歳代は、他の年代に比べ「忙しくて時間がないから」、「がん検診の対象年齢ではないから」、「どうすれば受けられるかわからないから」の比率が高い。
 30歳代は、他の年代に比べ「がん検診の対象年齢ではないから」と「どうすれば受けられるかわからないから」の比率が高い。
 40歳代は、他の年代に比べ「忙しくて時間がないから」の比率が高い。
 50歳代は、他の年代に比べ「人間ドックを受診しているから」比率が高い。
 60歳代は、他の年代に比べ「人間ドックを受診しているから」と「がんと言われるのが不安だから」の比率が高く、「どうすれば受けられるかわからないから」の比率が低い。
 70歳代以上は、他の年代に比べ「医療機関で受診しているから」の比率が高い。
 有意な差は認められないが、10歳代、30歳、80歳以上は「面倒だから」の比率が低い。
 「医療機関で受診しているから」は、年齢が高くなるほど比率が高くなっている。

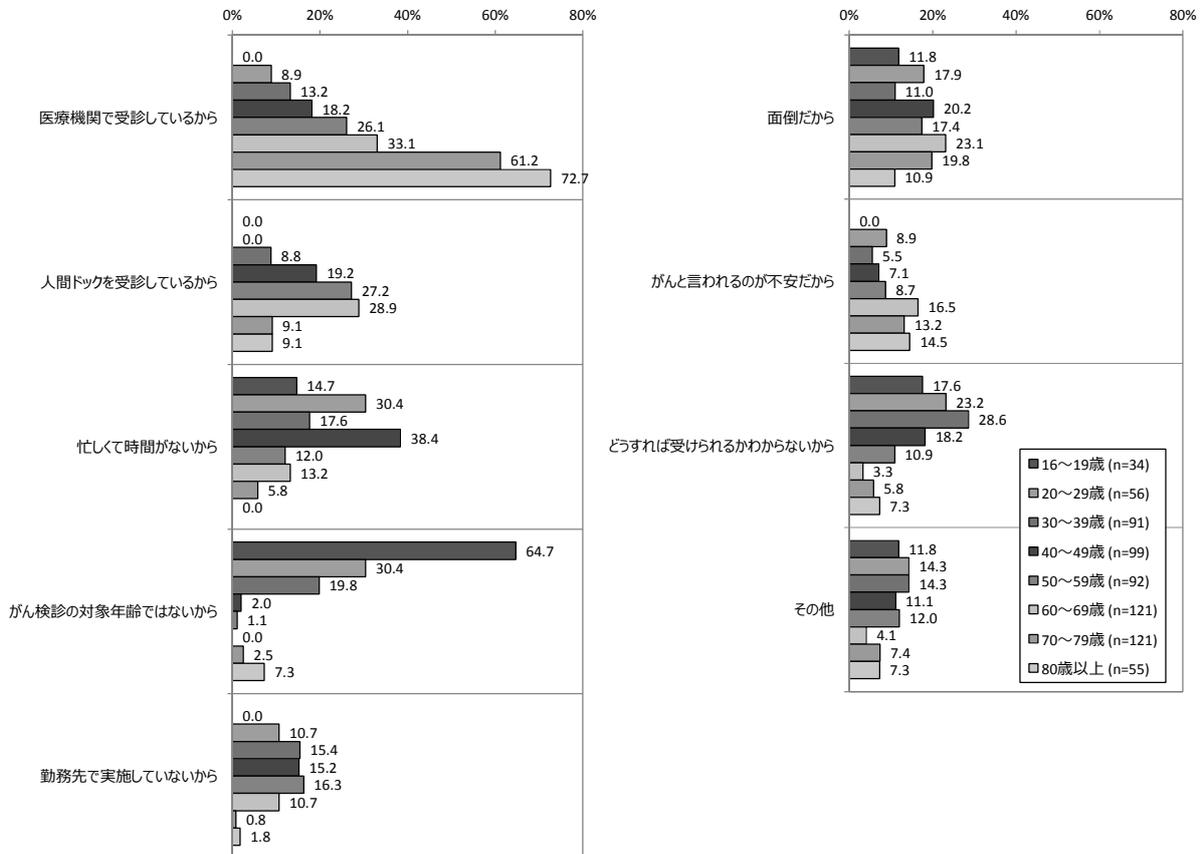
【地区別】

有意な差は認められないが、狭山中学校区は「忙しくて時間がないから」の比率が高い。また、南中学校区は「医療機関で受診しているから」の比率が高く、第三中学校区は低い。

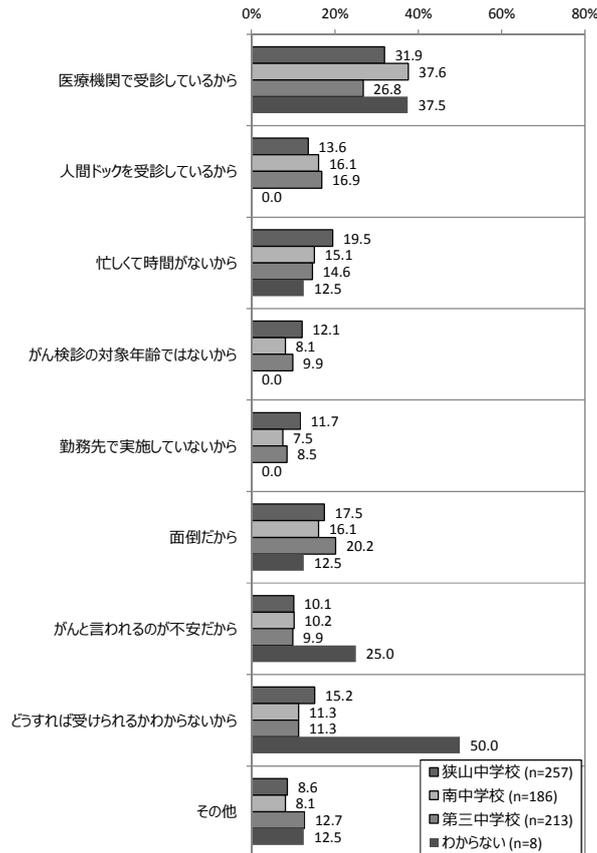
性別



年齢別



地区別



【その他について】

その他には、64 件（回答者は 64 人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。最も多いのは「勤務先で実施」で、次に多いのが「必要ない・受けたくない」である。

カテゴリー	件数	主な記述内容
勤務先で実施	16	勤務先で受けているから
必要ない・受けたくない	13	がんの早期発見に全く興味がないから。
		必要性を感じていない。
		がんにかかれば運命と思ってあきらめる。
		無駄な放射線を浴びたりしたくない。
		わざわざ病気をさがしたくない。
転入して間もない	6	最近引っ越して来たから。
知らない・わからない	6	がん検診を知らなかった。
		受診方法を知らないから。
対象年齢に満たない	5	対象年齢でないため
金銭的な事情	3	がんと言われた時、お金がないので治療が出来ない。生活が苦しいから。
		費用がかかる
受診の予定	3	今後市民税で実施する検診を受診予定。
		退職したので今年からは受診する予定。
別の健診を受診	3	妊婦健診を受診。
面倒	3	行くのに不便。
		予約手続きがややこしい。
案内が届いていない	2	40 の歳にチケットが来なかった。
		対象年齢になったばかりだから。案内が来ていないから。
医療機関がない	1	適当な医療機関がない。
都合が合わない	1	時間・日が合わない。
その他	2	

問3-4 あなたは、大阪狭山市において、子どもや高齢者、障がいのある人などが暮らしやすい環境が整っていると思いますか。(〇は1つ)

【全体】

「どちらともいえない」が36.8%で最も多く、「ややそう思う」が33.5%が続いている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると42.2%となり、全体の4割以上が大阪狭山市は子どもや高齢者、障がいのある人などが暮らしやすい環境が整っていると考えている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

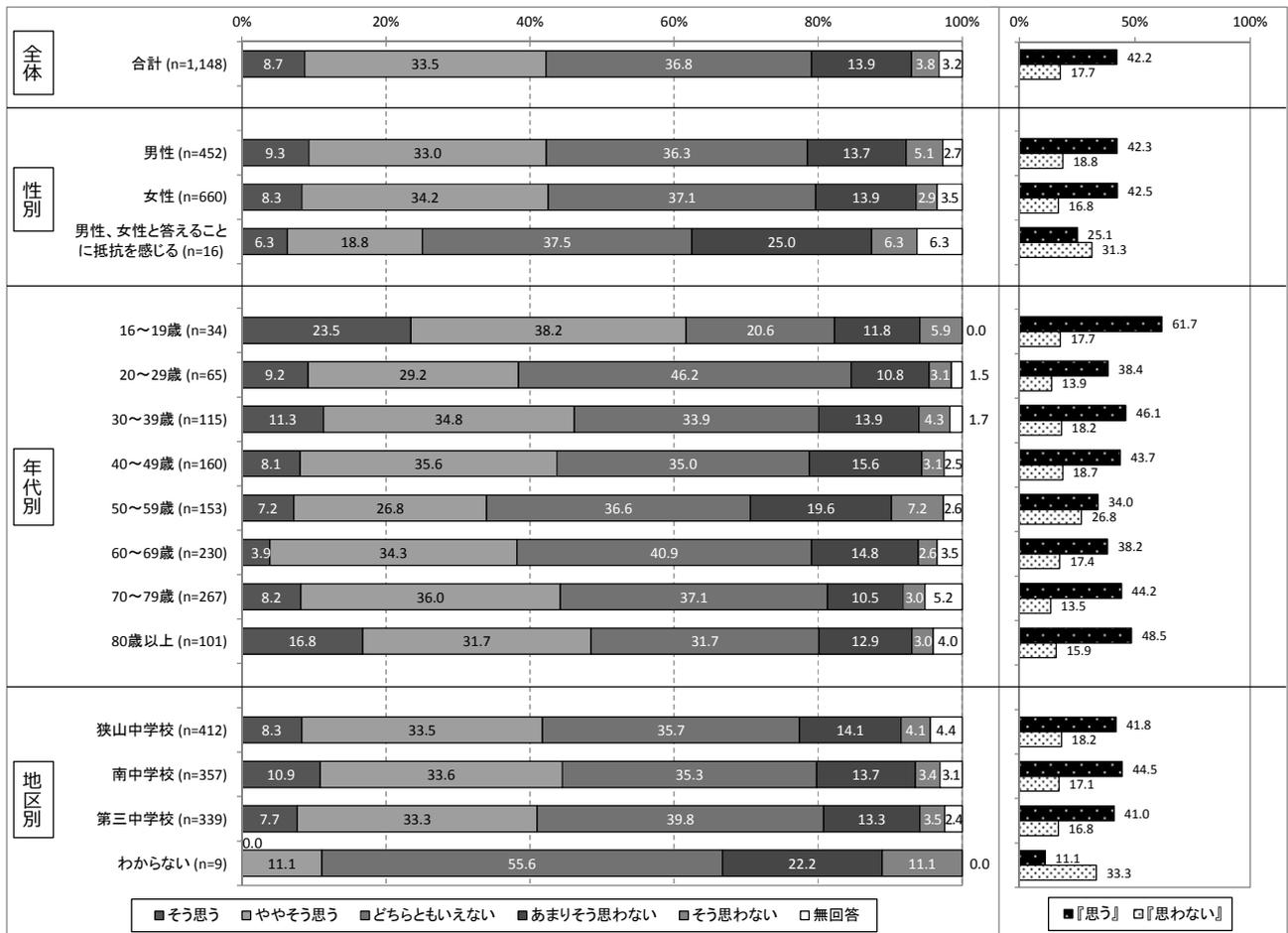
【年齢別】

『思う』（「そう思う」と「ややそう思う」の計）では、10歳代の比率が高い。

『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）では、50歳代の比率が高い。

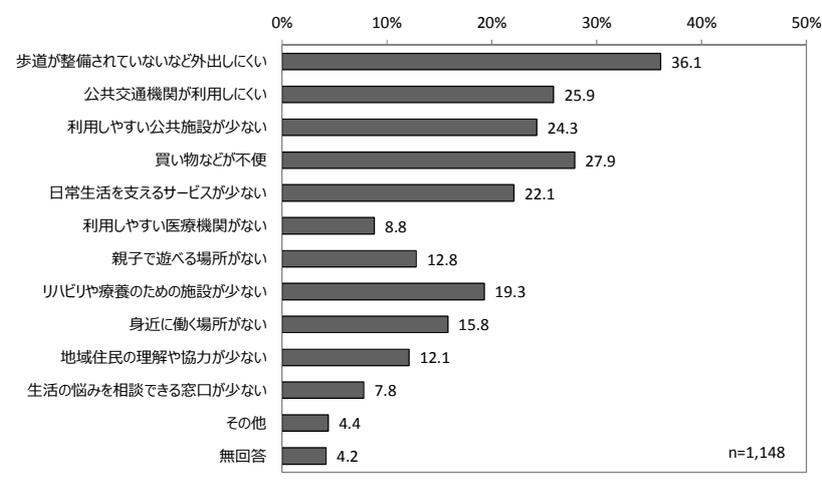
【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



問3-5 あなたは、子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちにするための課題は何だと思えますか。(〇は3つまで)

「歩道が整備されていないなど外出しにくい」が36.1%で最も多く、「買い物などが不便」が27.9%、「公共交通機関が利用しにくい」が25.9%で続いている。



【性別】

女性は、男性に比べ「買い物などが不便」の比率が高い。

【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ「親子で遊べる場所がない」の比率が高い。また、有意な差は認められないが、「日常生活を支えるサービスが少ない」の比率が高く、「歩道が整備されていないなど外出しにくい」、「公共交通機関が利用しにくい」、「身近に働く場所がない」の比率が低い。

20歳代は、他の年代に比べ「日常生活を支えるサービスが少ない」と「リハビリや療養のための施設が少ない」の比率が低い。また、有意な差は認められないが「生活の悩みを相談できる窓口が少ない」の比率が低い。

30歳代は、他の年代に比べ「親子で遊べる場所がない」の比率が高く、「買い物などが不便」と「リハビリや療養のための施設が少ない」の比率が低い。また、有意な差は認められないが、「日常生活を支えるサービスが少ない」、「生活の悩みを相談できる窓口が少ない」の比率が低い。

40歳代は、他の年代に比べ「歩道が整備されていないなど外出しにくい」と「身近に働く場所がない」の比率が高い。また、有意な差は認められないが、「日常生活を支えるサービスが少ない」の比率が低い。

50歳代は、他の年代に比べ「買い物などが不便」と「リハビリや療養のための施設が少ない」の比率が高い。また、有意な差は認められないが、「地域住民の理解や協力が少ない」の比率が低い。

70歳代は、他の年代に比べ「生活の悩みを相談できる窓口が少ない」の比率が高く、「歩道が整備されていないなど外出しにくい」、「買い物などが不便」、「身近に働く場所がない」の比率が低い。

80歳以上は、他の年代に比べ「歩道が整備されていないなど外出しにくい」、「親子で遊べる場所がない」、「身近に働く場所がない」の比率が低い。

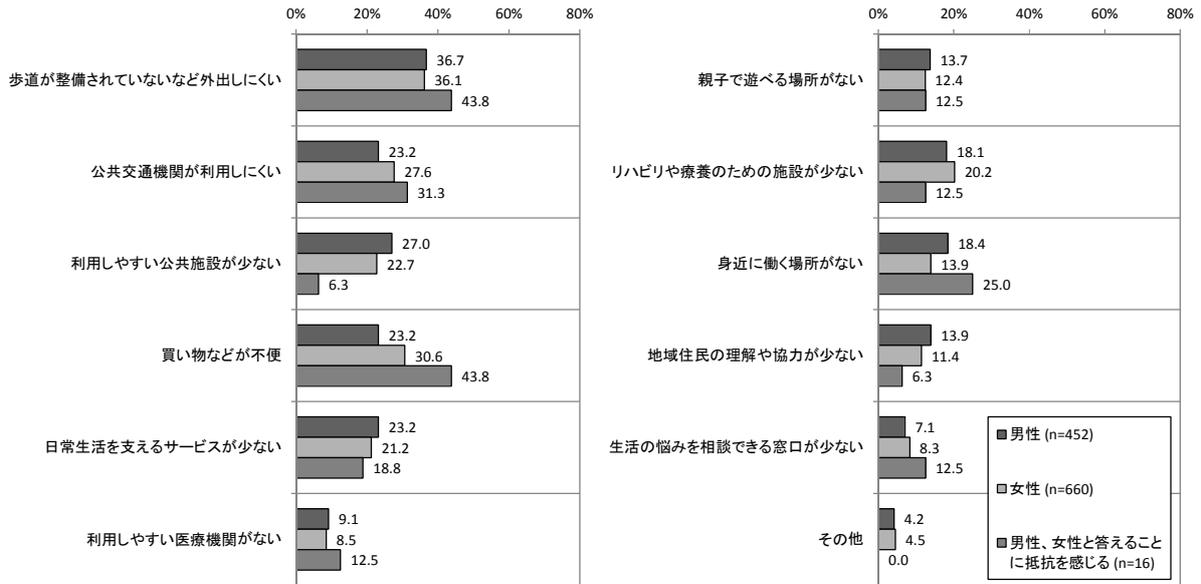
【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「買い物などが不便」の比率が高い。

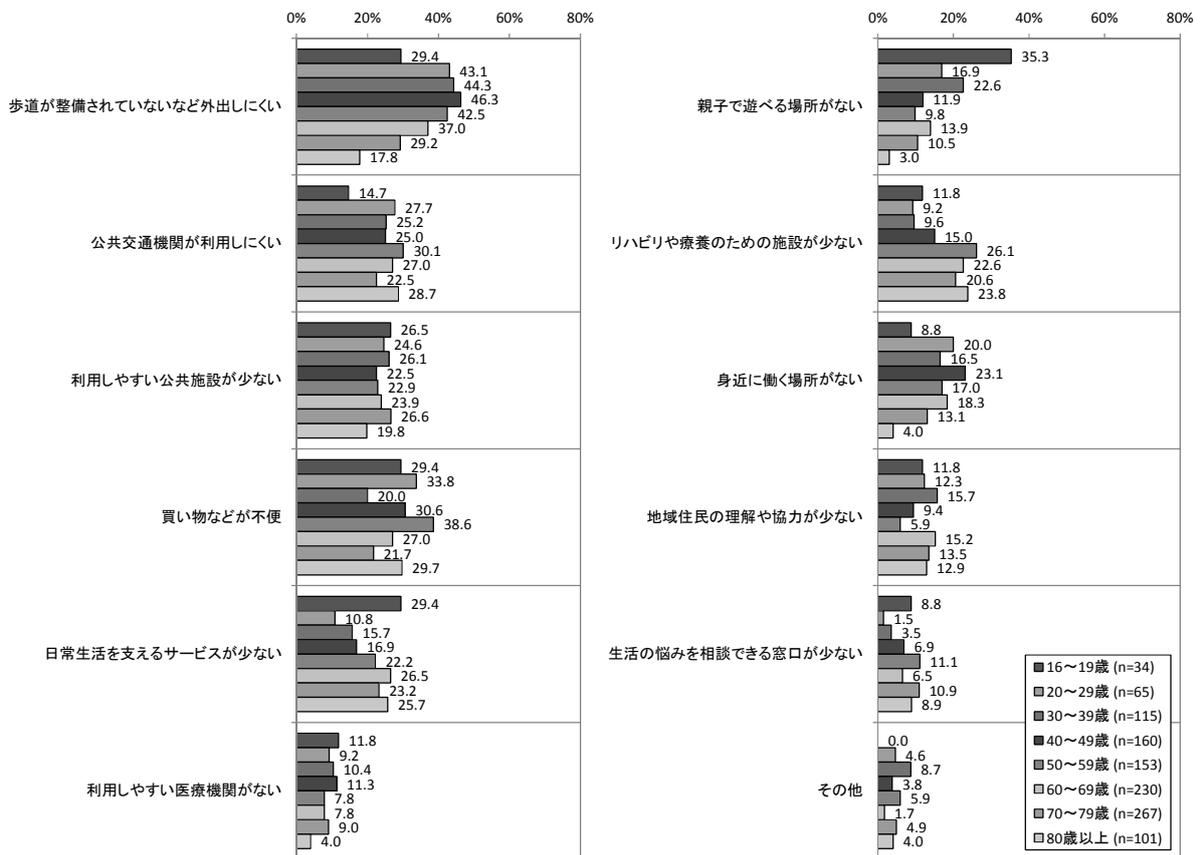
南中学校区は、他の地区に比べ「日常生活を支えるサービスが少ない」、「生活の悩みを相談できる窓口が少ない」の比率が高い。

第三中学校区は、他の地区に比べ「歩道が整備されていないなど外出しにくい」、「公共交通機関が利用しにくい」の比率が高い。

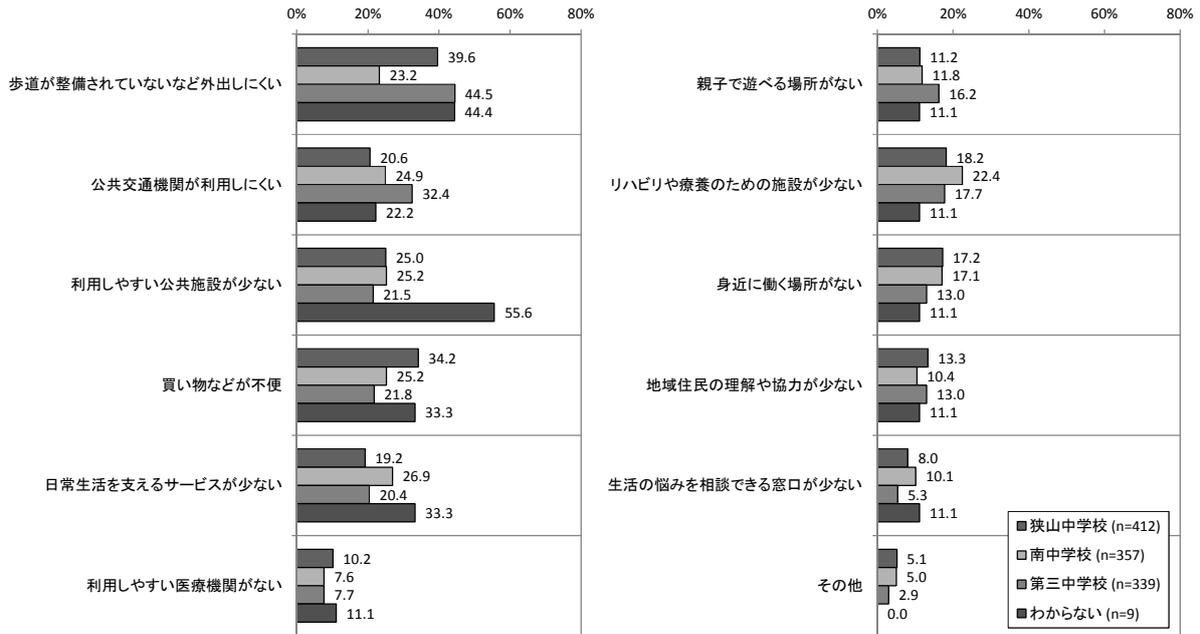
性別



年齢別



地区別



【その他について】

その他には、50件（回答者は50人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

最も多いのは「子育て支援について」で、次に多いのが「公共交通、駅等について」、「公共施設について」である。

カテゴリー	件数	主な記述内容
子育て支援について	6	子どもの医療費助成を引き延ばして欲しい。
		多胎児育児への支援。
		子どもにとっての保育。どうして全て幼保一元化するのか。
		子どもを安心して預ける施設を増やす。
		学童の待機解消。
		6才までの教育に力を入れる。
公共交通、駅等について	5	金剛駅の東口にエレベーターがほしい。
		公共交通を利用するも、困難な人に対するの対策がない。
		市バスが分かりにくい。
		市バスの本数を増やして欲しい。
		循環バスの多様化。
公共施設について	5	図書館が1ヶ所だけは少ない。
		お金がかからない体操出来る所を増やしてほしい、保健所のはつつ体操のようなもの。
		キャッチボールできる公園がない。
		公園が汚い。
		市民であれば「ふれあいの里」の無料化。
道路について	4	自転車道がない。
		道路の不整備。
		主要道の交通規制。
		道が狭い。
高齢者支援について	2	高齢者が散歩の途中で休憩できるよう、イスを設置して、イスやトイレの場所の地図を配る。足の悪い人も安心して散歩できるように。
		「老人が生活しやすい=全ての人にやさしい町」。老人の移動手段の確保等。
坂について	2	坂が多く車がないと暮らしぶらい。
文化活動について	2	サークルは多いが指導があるクラブ少ない。(写真クラブ)
		地域活動(体操、歌)などの広報をふやしてほしい。

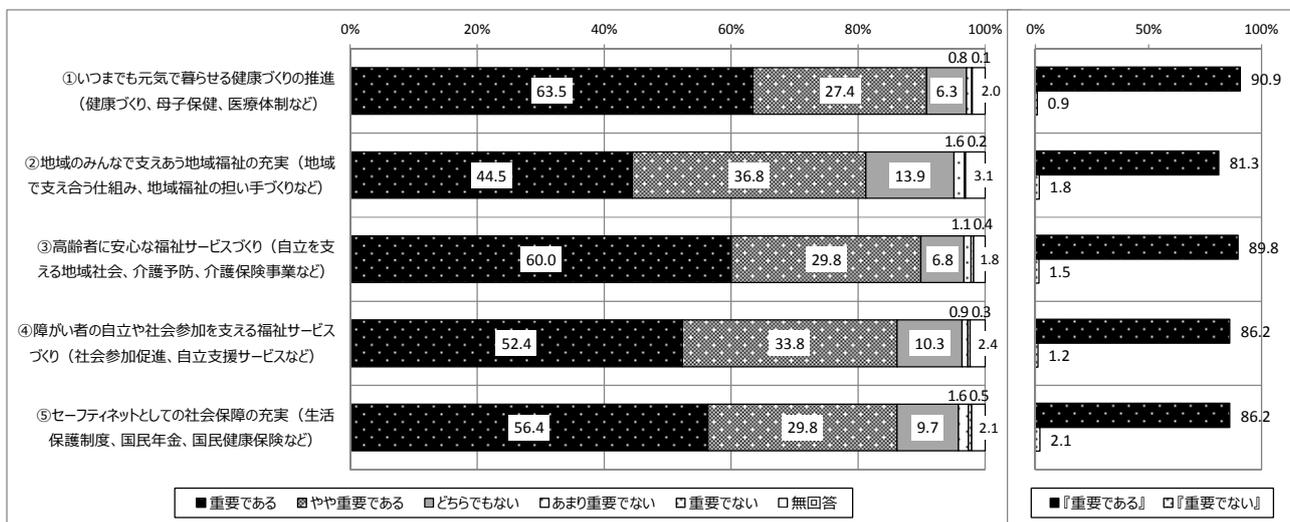
カテゴリー	件数	主な記述内容
防災・防犯について	2	被災時の避難生活対応。 防犯設備が無く不安。
マナーについて	2	公共の場での禁煙(道路、公園等)がすすんでいない タバコのポイ捨てが多い
近大病院について	1	近大移転が大きい
コミュニティについて	1	近所付き合いが希薄
市役所職員について	1	役所の人に相談した事があるが、役に立つ人ではなかった。もっと尊敬できる人をおくべき
障がい者支援について	1	特に障がい者について、彼ら自身の情報が少ない
商業施設について	1	西池尻地区には市場が一つもない
地域格差について	1	暮らしやすい所としにくい所の差をなくし、平等に、道路整備、施設づくりをして欲しい。
協働について	1	各家庭での協力
特になし	6	
わからない	7	

問3-6 現在、大阪狭山市が取り組んでいる次の施策について、その重要度と現状についての満足度をお聞きします。あてはまるものをお選びください。(項目ごとに○は1つずつ)

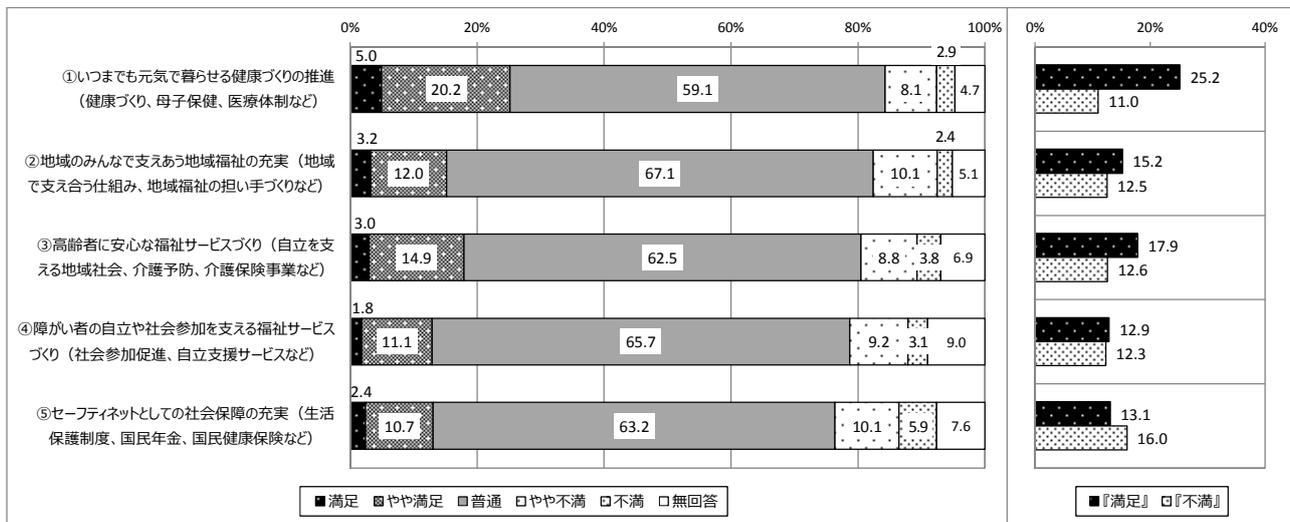
「重要である」と「やや重要である」を合わせた重要度が最も高いものは「いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進（健康づくり、母子保健、医療体制など）」（90.9%）で、「高齢者に安心な福祉サービスづくり（自立を支える地域社会、介護予防、介護保険事業など）」（89.8%）が続いている。

「満足」と「やや満足」を合わせた満足度が最も高いものは「いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進（健康づくり、母子保健、医療体制など）」（25.2%）で、「高齢者に安心な福祉サービスづくり（自立を支える地域社会、介護予防、介護保険事業など）」（17.9%）が続いている。

【重要度】



【満足度】



◆ 『人と自然が共生する 環境にやさしいまち』について

問4-1 あなたの日頃の行動や考えについて、あてはまるものをお選びください。
(項目ごとに○は1つずつ)

①ごみの分別回収や地域の資源回収に努めている

【全体】

『思う』(「そう思う」と「少し思う」の計)は94.0%で、全体の9割以上がごみの分別回収や地域の資源回収に努めている。

【性別】

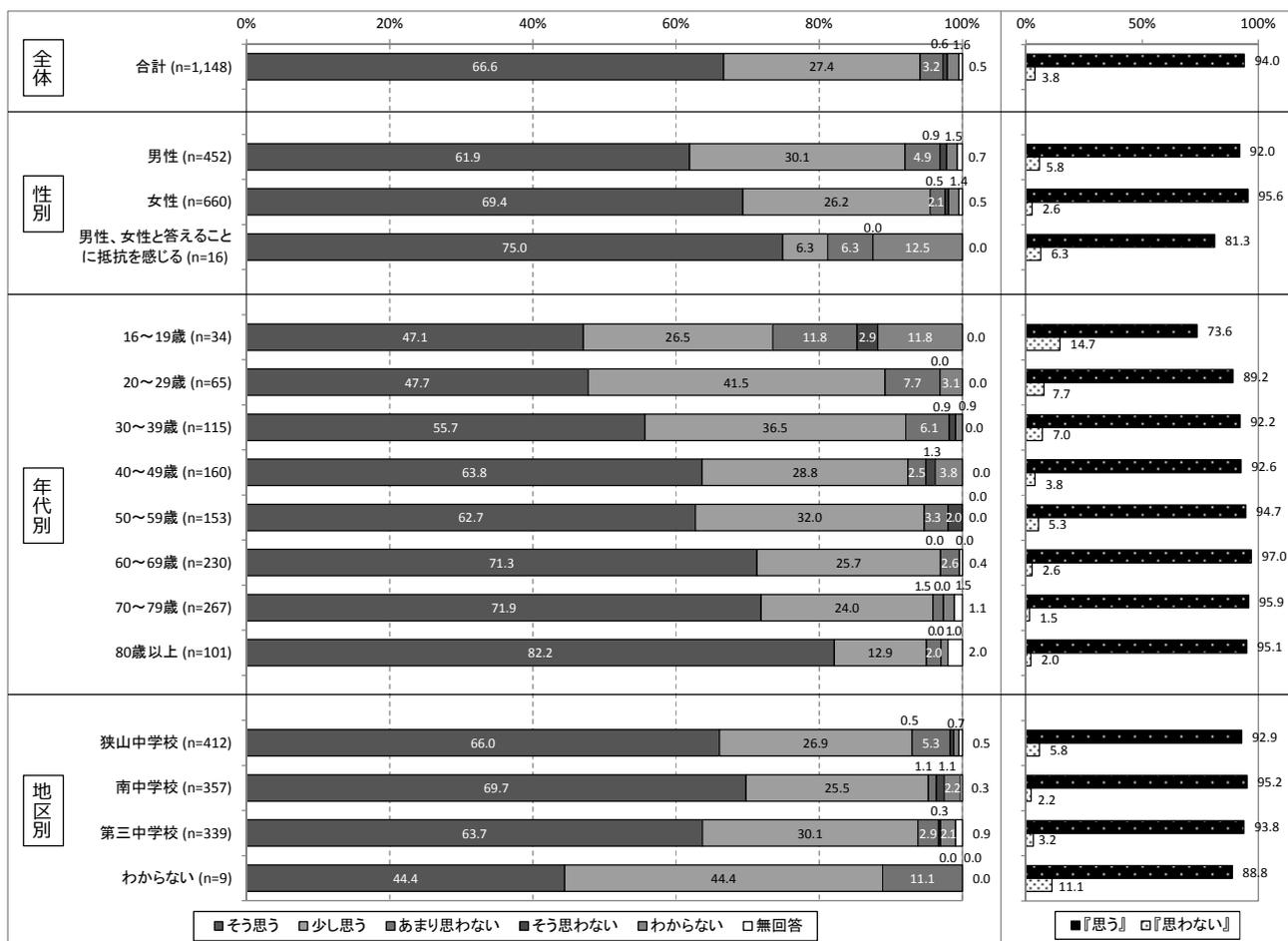
女性は、男性に比べ『思う』の比率が高い。

【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ『思わない』(「あまり思わない」と「そう思わない」の計)の比率が高い。
60歳代～70歳代は、他の年代に比べ『思う』の比率が高い。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ『思わない』の比率が高い。



②日常生活において環境に配慮した行動を心がけている

【全体】

『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）は90.1%で、全体の9割以上が日常生活において環境に配慮した行動を心がけている。

【性別】

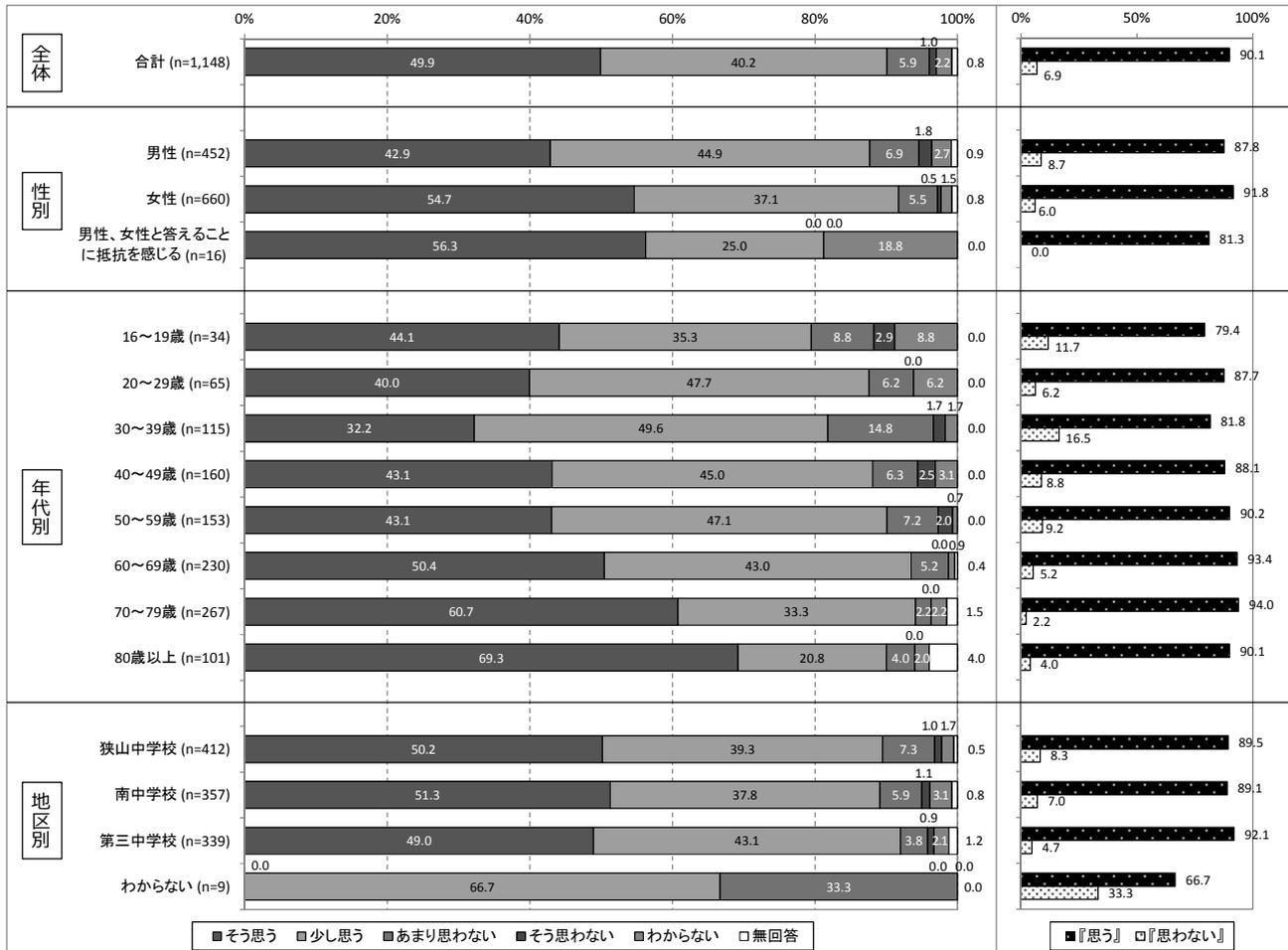
女性は、男性に比べ「そう思う」の比率が高い。

【年齢別】

70歳代は、他の年代に比べ『思う』の比率が高く、10歳代と30歳代は低くなっている。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



**問4-2 あなたが大阪狭山市で生活する上で、次のことについてどのように思いますか。
(項目ごとに○は1つずつ)**

①あなたがお住まいの地域のまちなみは美しい

【全体】

『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）は78.1%で、全体の8割近くが住んでいる地域のまちなみを美しいと思っている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

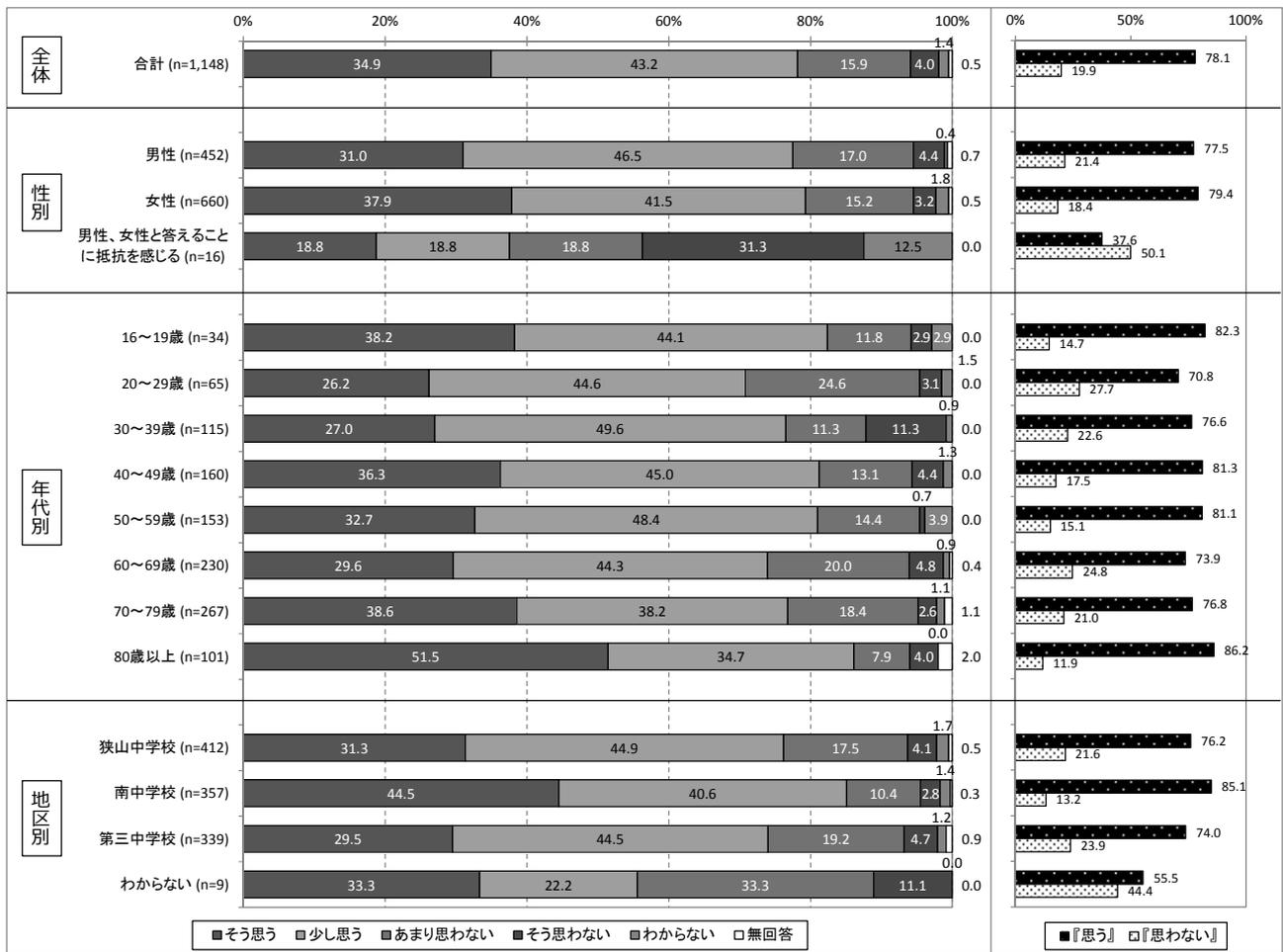
20歳代は、他の年代に比べ「あまり思わない」の比率が高い。

30歳代は、他の年代に比べ「そう思わない」の比率が高い。

80歳以上は、他の年代に比べ「そう思う」の比率が高い。

【地区別】

南中学校区は、他の地区に比べ『思う』の比率が高く、第三中学校区は、『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）の比率が高い。



②水辺や緑のそれぞれの特性を生かした魅力ある空間が確保できている

【全体】

『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）は 69.5%で、全体の 7 割近くが水辺や緑のそれぞれの特性を生かした魅力ある空間が確保できていると思っている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

30 歳代は、他の年代に比べ「そう思わない」の比率が高い。

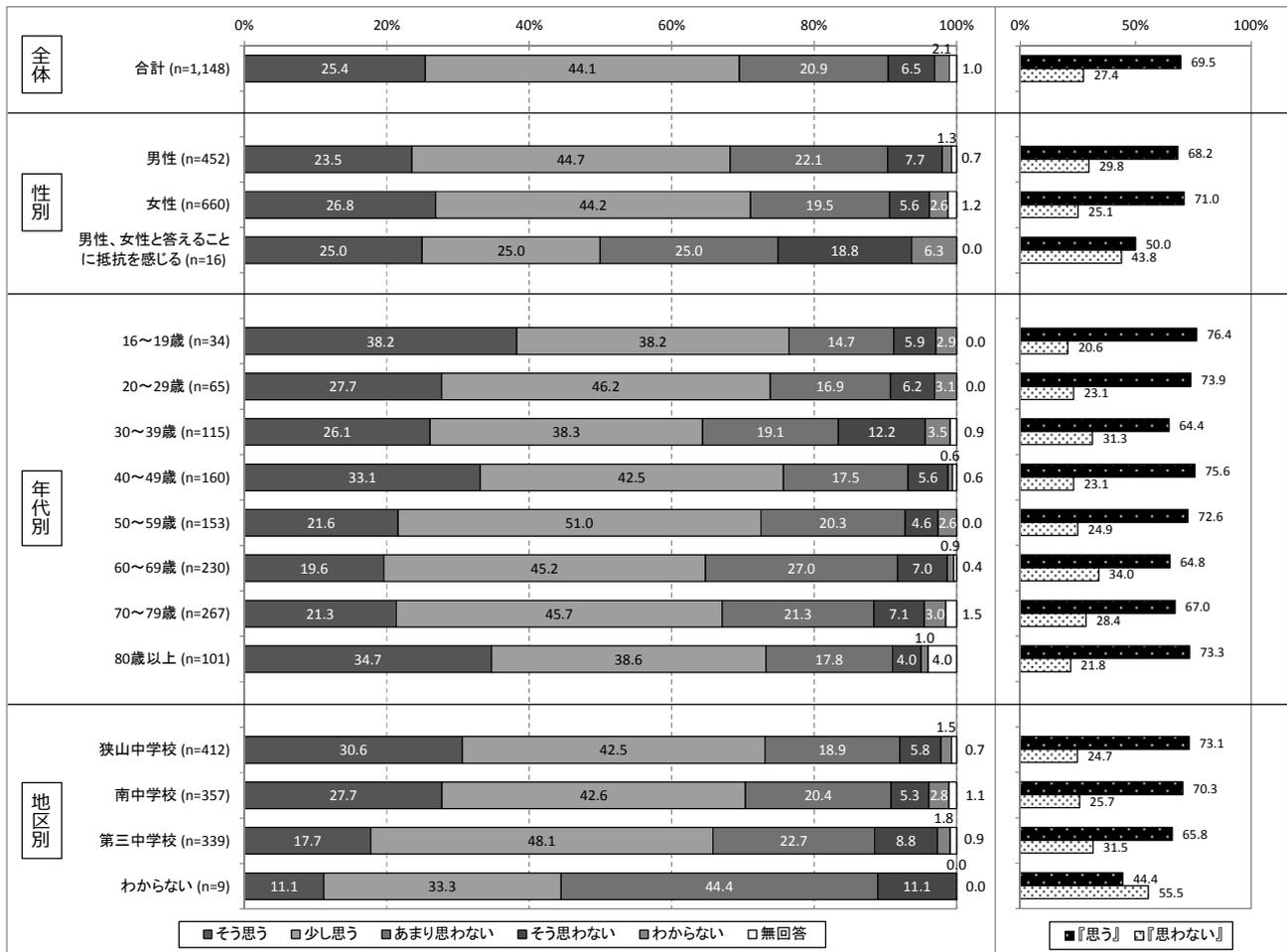
40 歳代と 80 歳以上は、他の年代に比べ「そう思う」の比率が高い。

60 歳代は、他の年代に比べ「あまり思わない」の比率が高い。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「そう思う」の比率が高い。

第三中学校区は、他の地区に比べ「そう思わない」の比率が高い。



問4-3 あなたは、大阪狭山市内の水辺を身近に感じますか。(○は1つ)

【全体】

「まあまあ身近である」が44.2%で最も多くなっている。「身近である」と「まあまあ身近である」を合わせると71.6%となり、全体の7割以上が大阪狭山市内の水辺を身近に感じている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

10歳代～20歳代は、他の年代に比べ「身近である」の比率が高い。

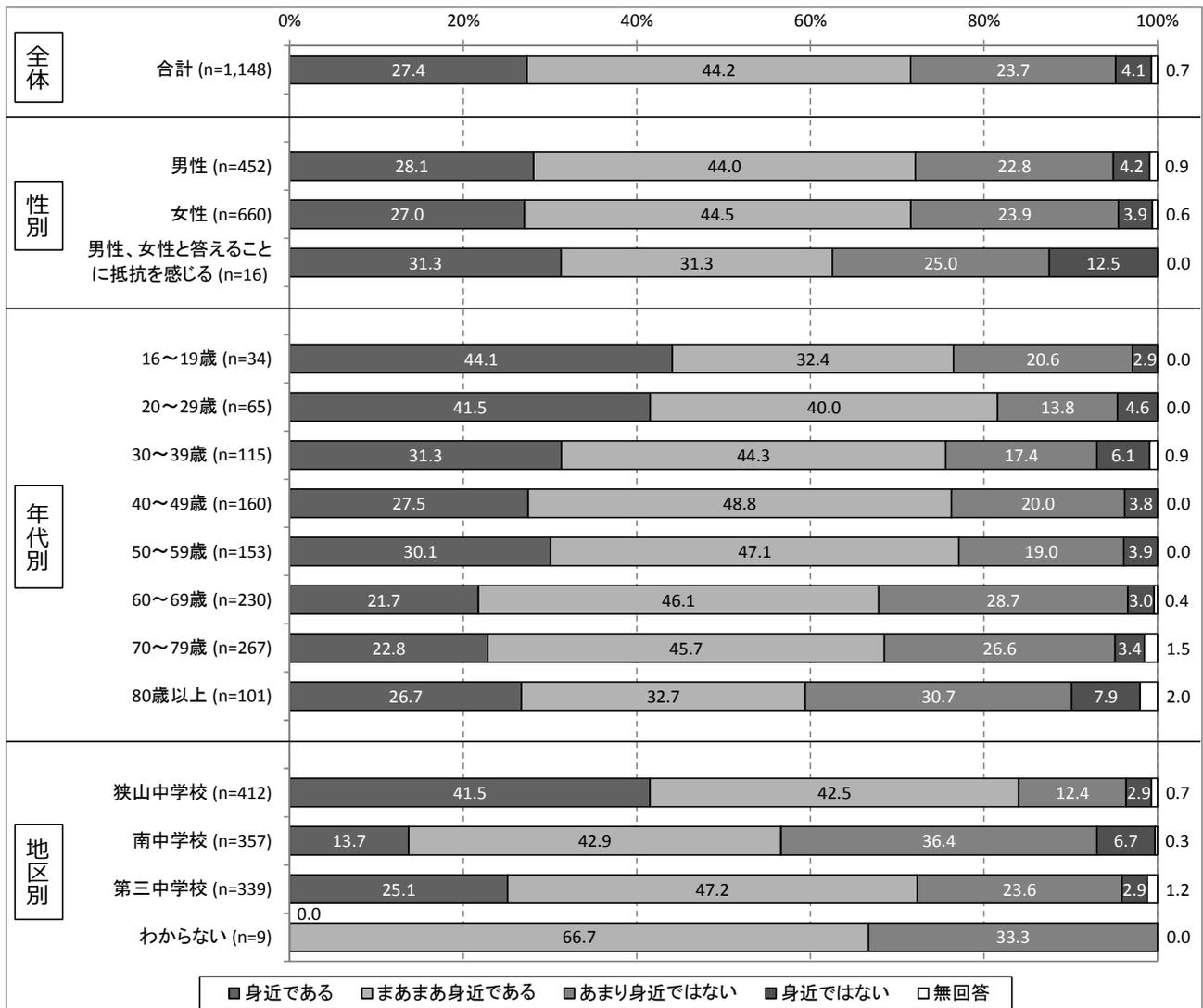
60歳代は、他の年代に比べ「あまり身近ではない」の比率が高い。

80歳以上は、他の年代に比べ「身近ではない」の比率が高い。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「身近である」の比率が高い。

南中学校区は、他の地区に比べ「あまり身近ではない」と「身近ではない」の比率が高い。



問4-4 あなたは、大阪狭山市内で緑の豊かさを身近に感じますか。(○は1つ)

【全体】

「まあまあ身近である」が52.9%で最も多くなっている。「身近である」と「まあまあ身近である」を合わせると81.5%となり、全体の8割以上が大阪狭山市内で緑の豊かさを身近に感じている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

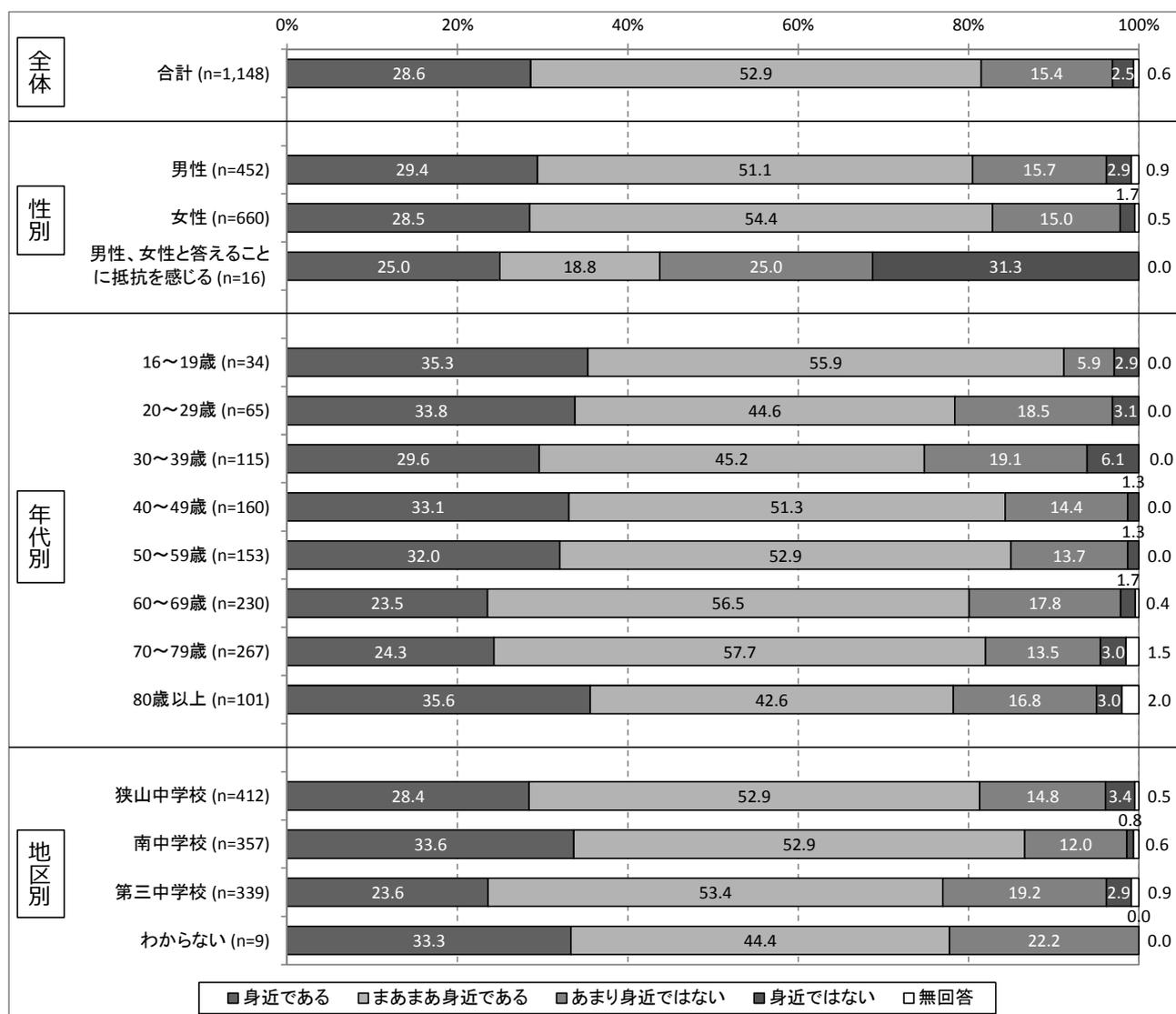
【年齢別】

年齢による大きな違いは見られない。

【地区別】

南中学校区は、他の地区に比べ「身近である」の比率が高い。

第三中学校区は、他の地区に比べ「あまり身近ではない」の比率が高い。



問4-5 もっとも親しんでいる、身近であると感じる水辺・緑はどこですか。
 (○はそれぞれ1つずつ)

◎ **水辺**

【全体】

「狭山池」が78.8%で最も高くなっている。

【性別】

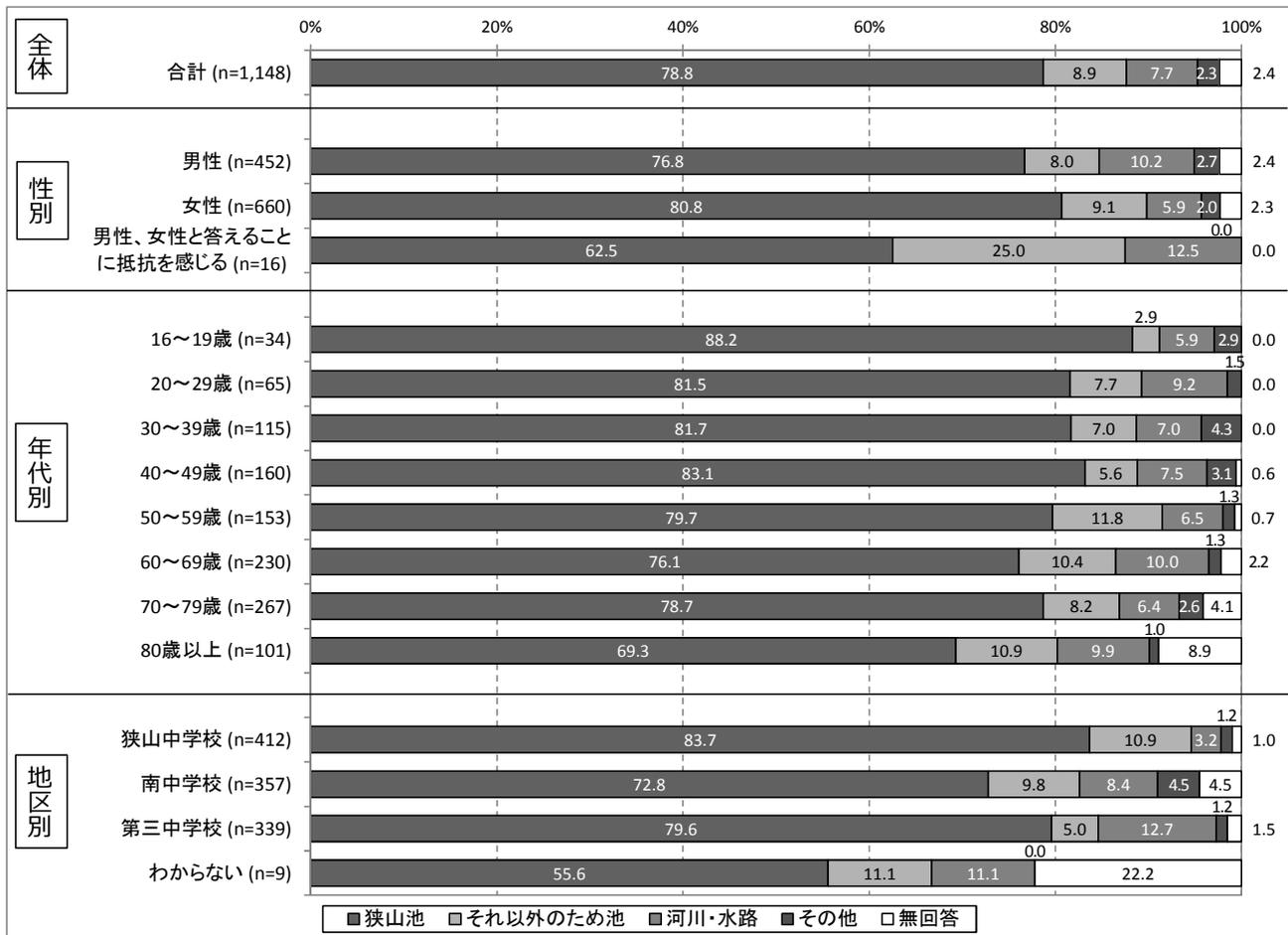
男性は、女性に比べ「河川・水路」の比率が高い。

【年齢別】

年齢による大きな違いは見られない。

【地区別】

第三中学校区は、他の地区に比べ「河川・水路」の比率が高い。



【その他について】

その他には、17件（回答者は17人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

記述内容	件数
田	2
二ツ池	1
近大前の池	1
副池	1
市外の池	1
河内長野	1
わからない	2
なし	8

◎ 緑

【全体】

「公園」が42.3%で最も高くなっており、「あまの街道」が25.6%が続いている。

【性別】

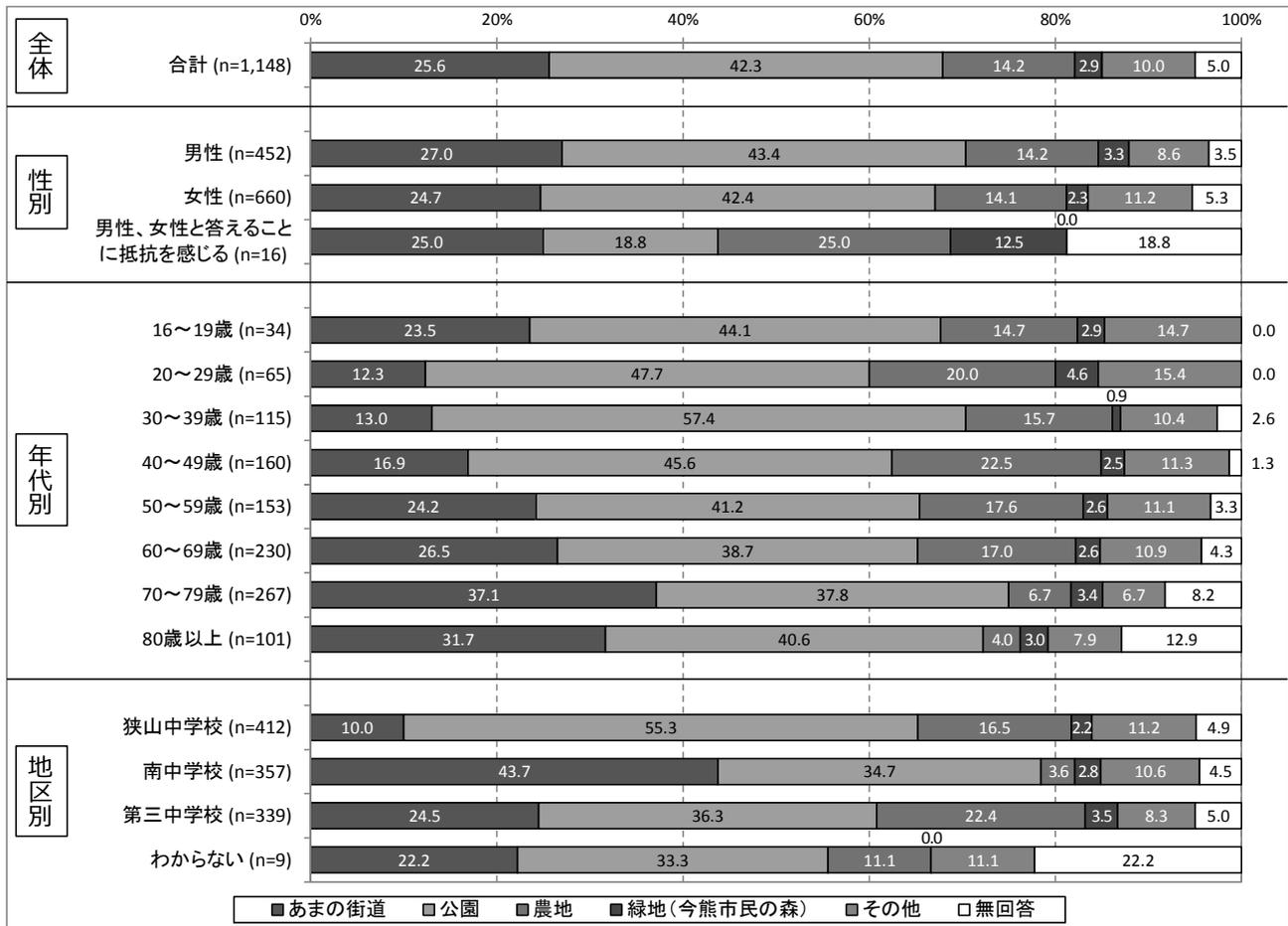
性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

30歳代は、他の年代に比べ「公園」の比率が、40歳代は「農地」の比率が、70歳代以上は「あまの街道」の比率が高い。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「公園」の比率が、南中学校区は「あまの街道」の比率が、第三中学校区は「農地」の比率が高い。



【その他について】

その他には、96件（回答者は94人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。最も多いのは「狭山池・副池・池」で、次に多いのが「街路樹」、「自宅周辺・庭」である。

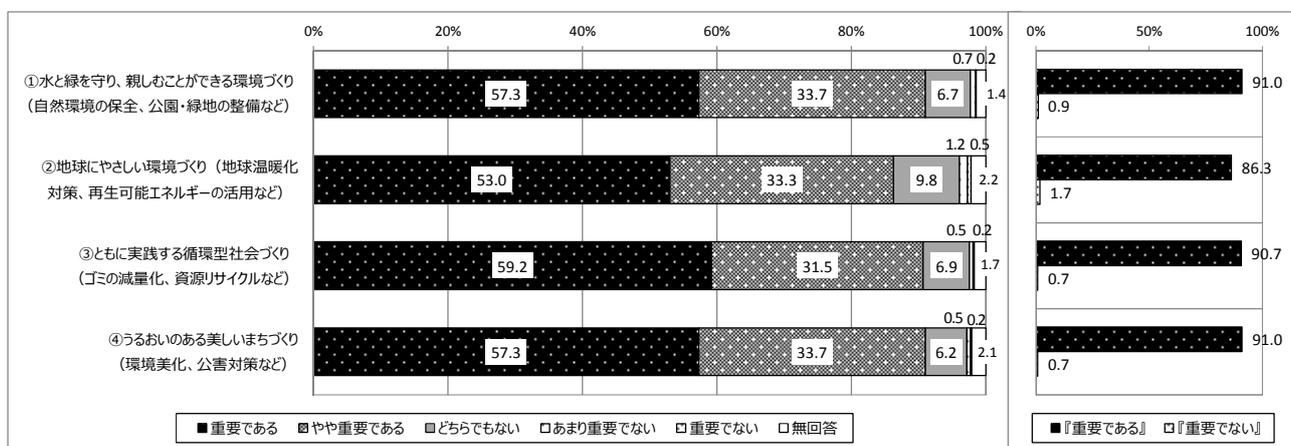
記述内容	件数	記述内容
狭山池・副池・池	20	狭山池
		副池
		池
		隣接市池
街路樹	14	街路樹
		沿道の並木
		街道の木・花
自宅周辺・庭	14	自宅
		家の庭
		マンション付近
		マンション中庭の樹
陶器山	6	陶器山
狭山神社	5	狭山神社
緑道・遊歩道	5	副池アンデレ橋
		副池遊歩道
		三津屋緑道
公園	3	ふれあいの里
		公園
西除川	2	西除川の周辺
桜並木	2	家の前の桜並木
		南海桜並木線路
帝塚山学院大学	2	帝塚山学院大学の丘
山並み	2	家から見える山々
その他	6	狭山藩陣屋跡
		田んぼ
		街並
		道路
		南海沿線
		堺市に比べ少ない
わからない・知らない	2	
ない	13	

問4-6 現在、大阪狭山市が取り組んでいる次の施策について、その重要度と現状についての満足度をお聞きします。あてはまるものをお選びください。(項目ごとに○は1つずつ)

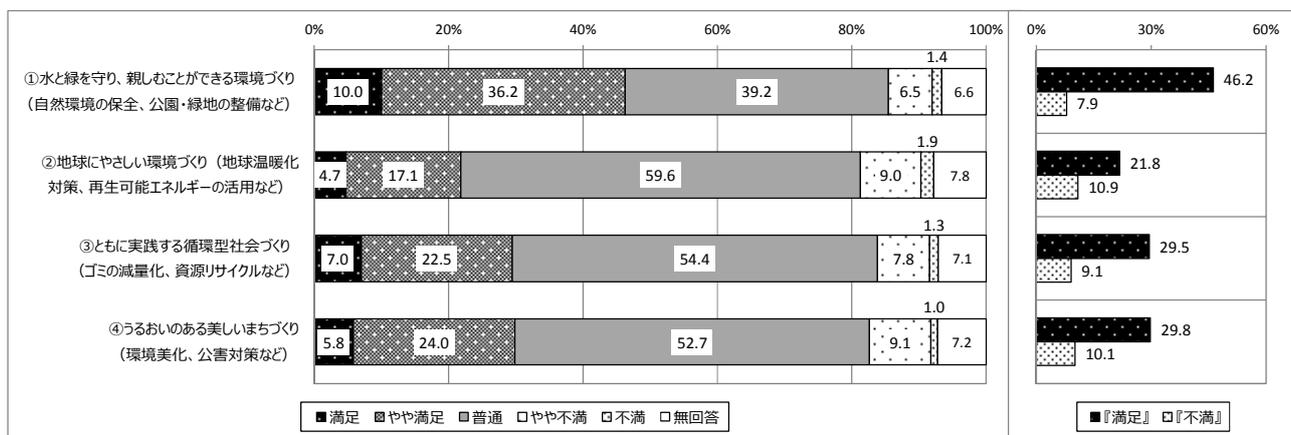
「重要である」と「やや重要である」を合わせた重要度が最も高いものは「水と緑を守り、親しむことができる環境づくり(自然環境の保全、公園・緑地の整備など)」と「うるおいのある美しいまちづくり(環境美化、公害対策など)」(91.0%)である。

「満足」と「やや満足」を合わせた満足度が最も高いものは「水と緑を守り、親しむことができる環境づくり(自然環境の保全、公園・緑地の整備など)」(46.2%)で、「うるおいのある美しいまちづくり(環境美化、公害対策など)」(29.8%)が続いている。

【重要度】



【満足度】



◆ 『ともに学び 世代をつないで 人を育むまち』 について

問5-1 あなたは大阪狭山市内の歴史や伝統文化について興味がありますか。(○は1つ)

【全体】

「やや興味がある」が36.6%で最も多くなっている。「興味がある」と「やや興味がある」を合わせると51.5%となり、全体の5割以上が大阪狭山市内の歴史や伝統文化について興味を持っている。

【性別】

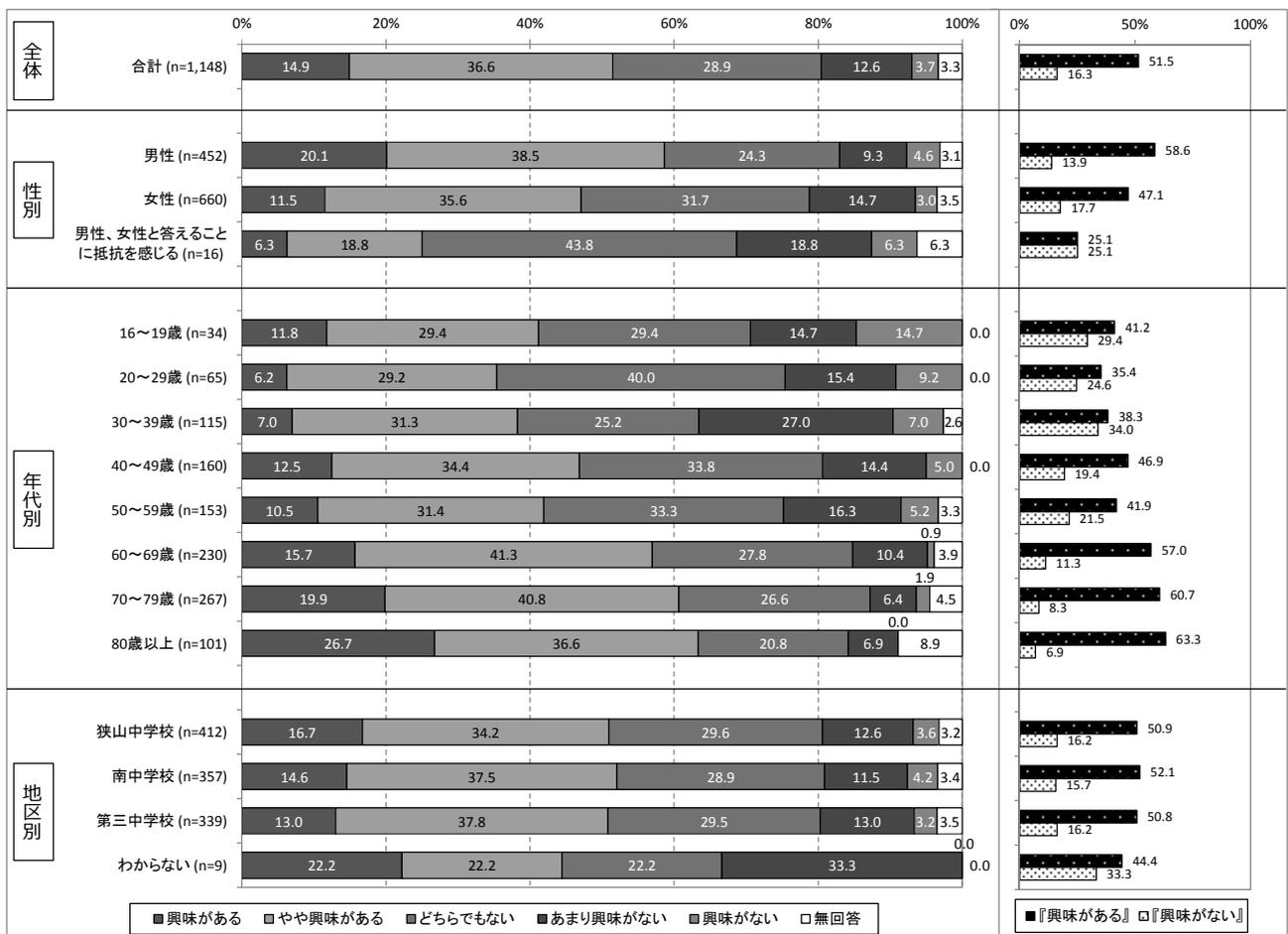
男性は、女性に比べ『興味がある』（「興味がある」と「やや興味がある」の計）の比率が高い。

【年齢別】

10歳代と30歳代は、他の年代に比べ『興味がない』の比率が高く、60歳代以上は『興味がある』の比率が高い。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



問5-2 あなたは大阪狭山市の教育について、どのように思われますか。(項目ごとに○は1つずつ)

①市が実施している小学校や中学校での学力向上に関する施策は充実している

【全体】

『思う』(「そう思う」と「少し思う」の計)は34.4%で、『思わない』(「あまり思わない」と「そう思わない」の計)を上回っている。

【性別】

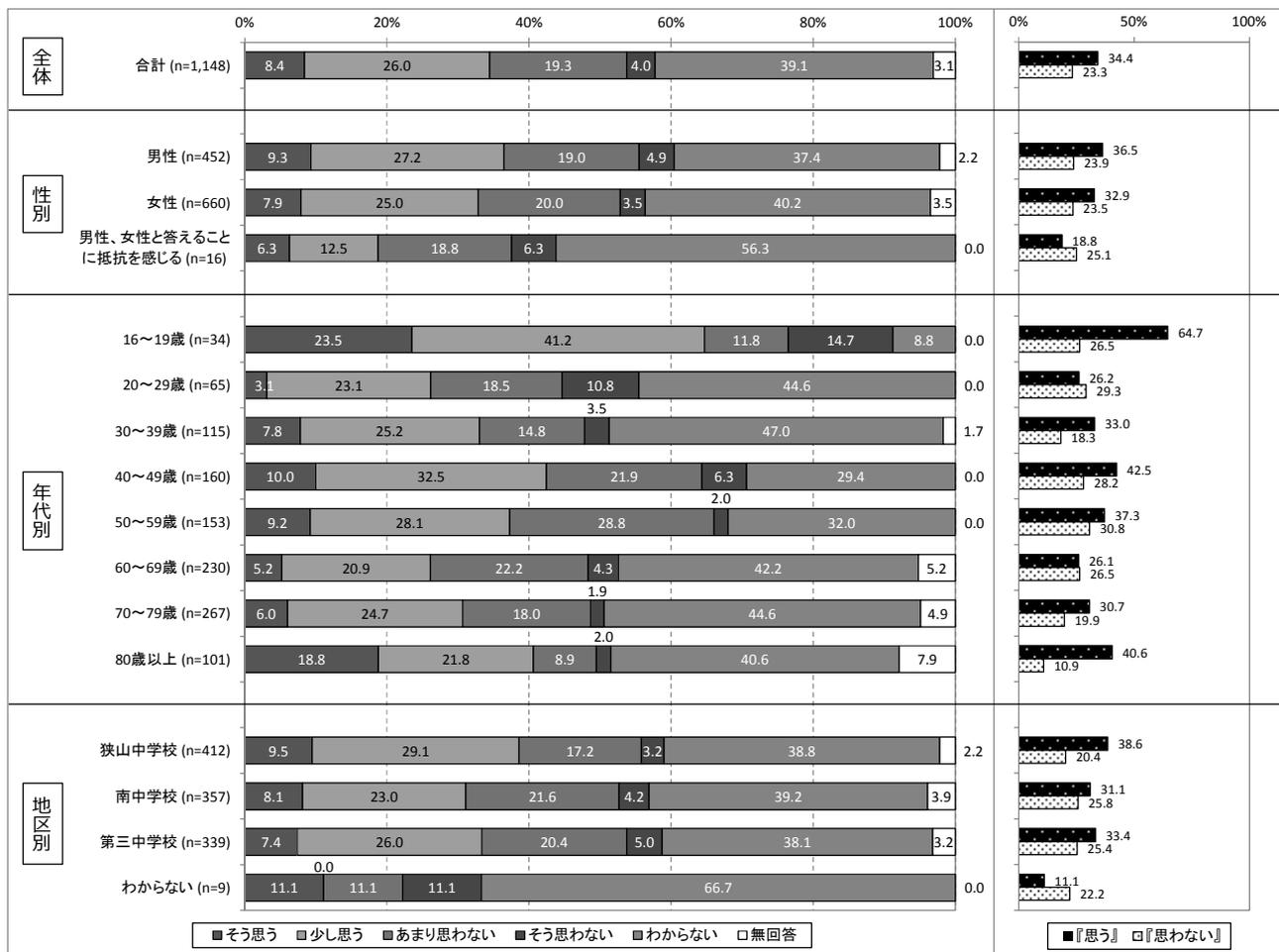
性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

10歳代と40歳代は、他の年代に比べ『思う』の比率が高く、50歳代は『思わない』の比率が高い。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



②市立小中学校の安全管理や学習環境など教育施設的环境が整っている

【全体】

『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）は40.0%で、『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）を上回っている。

【性別】

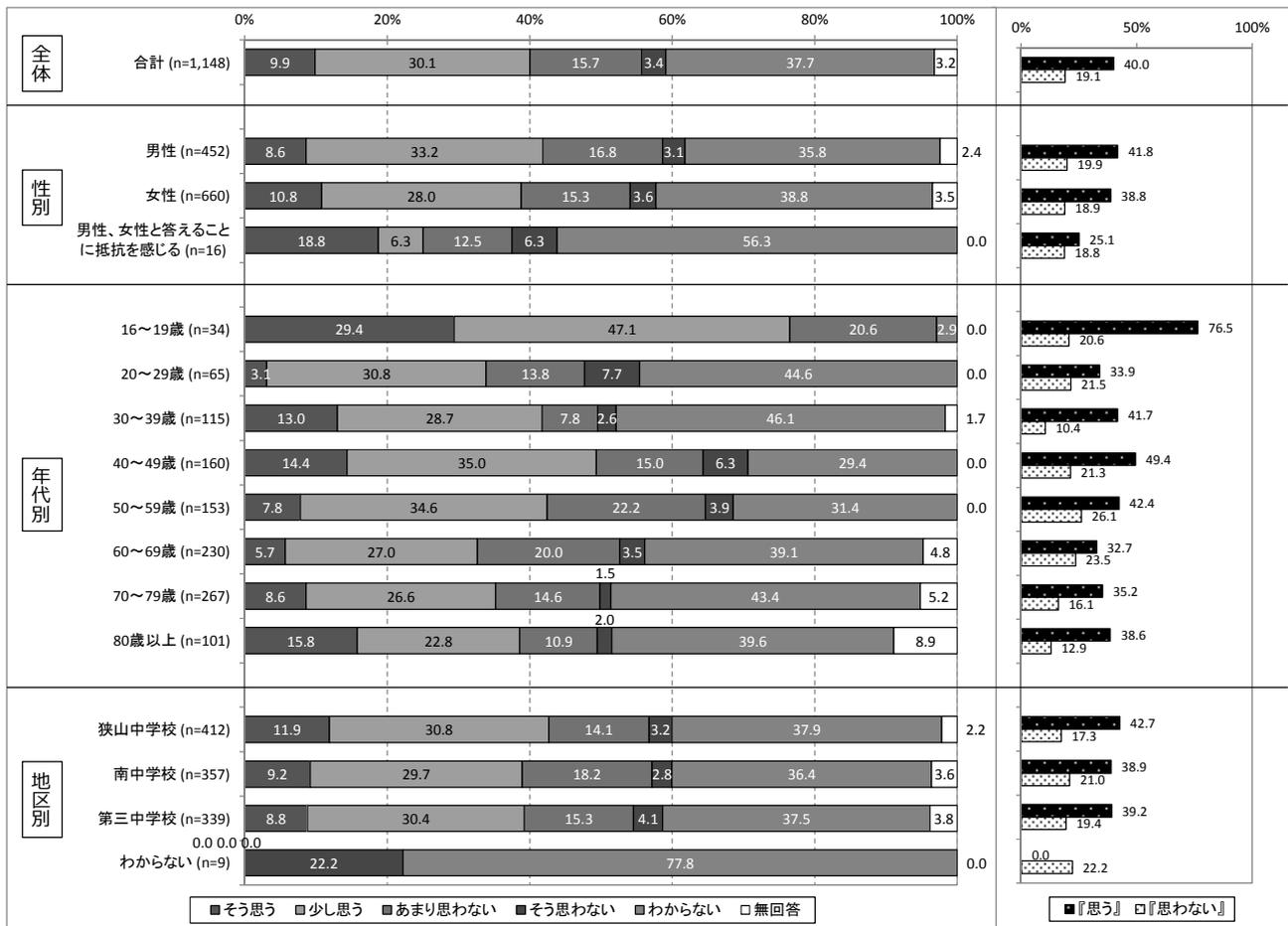
性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

10歳代と40歳代は、他の年代に比べ『思う』の比率が高く、50歳代～60歳代は『思わない』の比率が高い。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



③市立小中学校には相談しやすい雰囲気がある

【全体】

『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）が 25.1%、『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）が 26.0%となっている。

【性別】

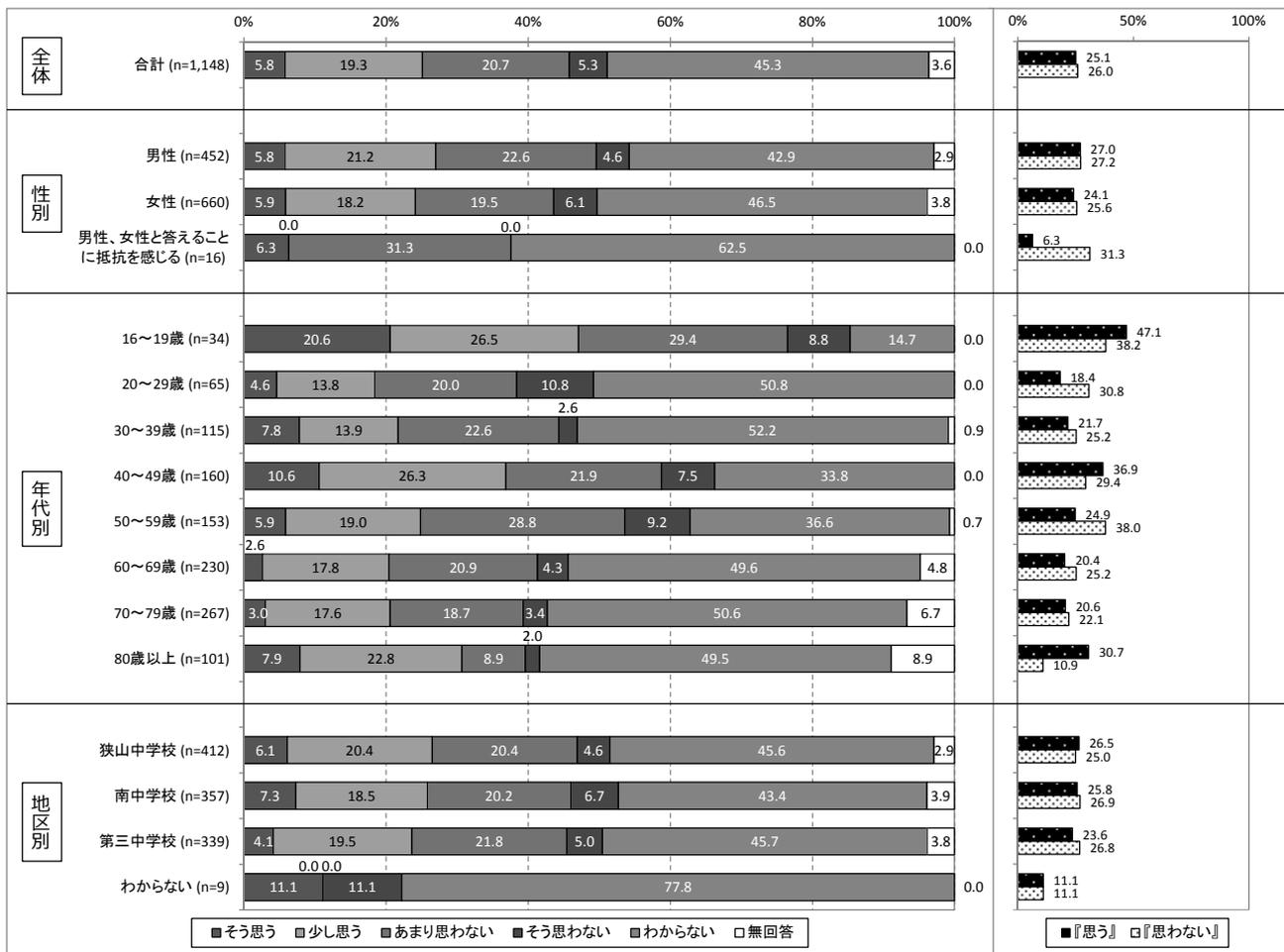
性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

10 歳代と 40 歳代は、他の年代に比べ『思う』の比率が高く、50 歳代は『思わない』の比率が高い。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



④学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っている

【全体】

『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）は42.8%で、『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）を上回っている。

【性別】

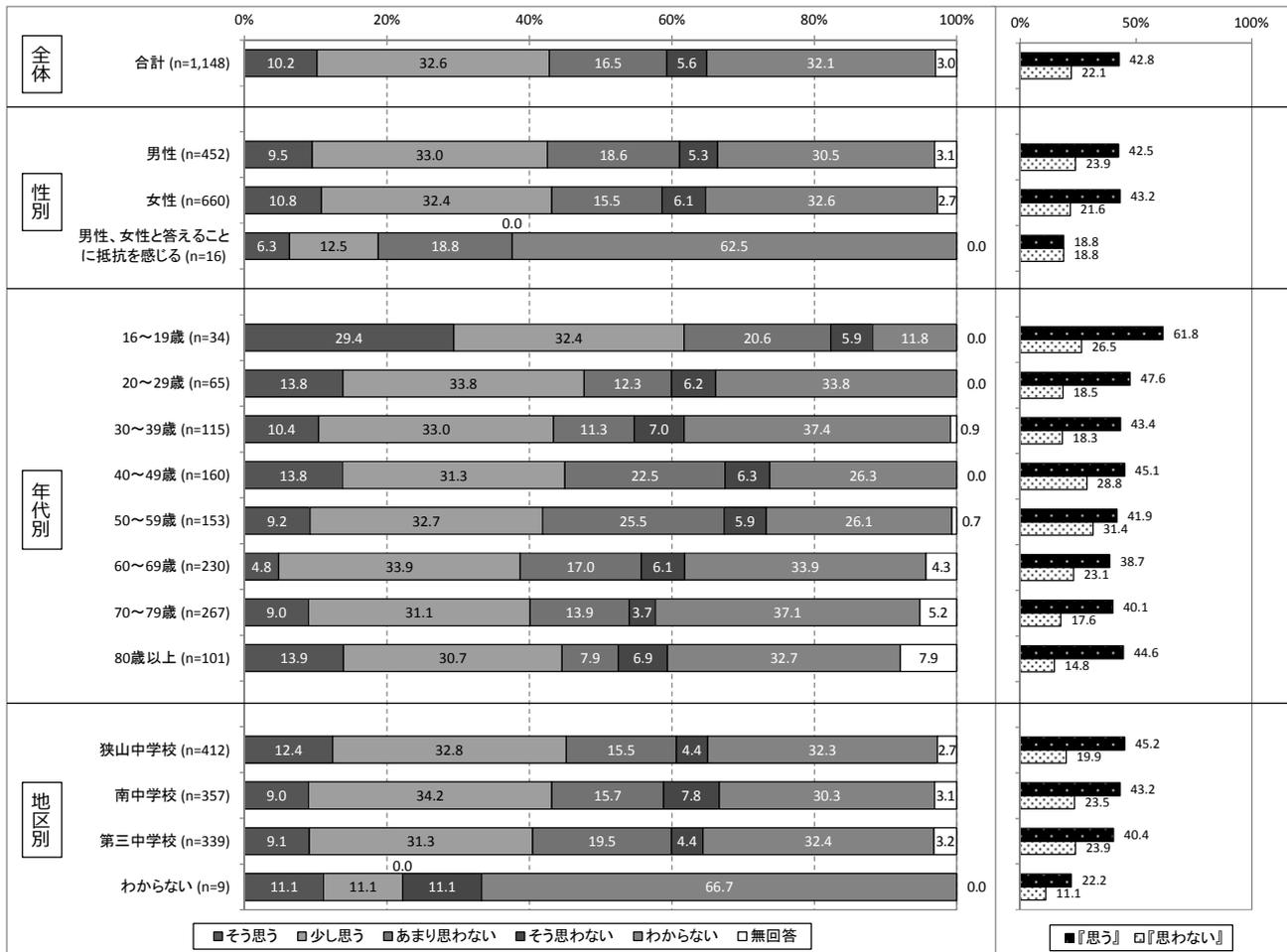
性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ『思う』の比率が高く、50歳代は『思わない』の比率が高い。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



⑤図書館や公民館などにおいて生涯学習のための機会が整っている

【全体】

『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）は48.6%で、『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）を上回っている。

【性別】

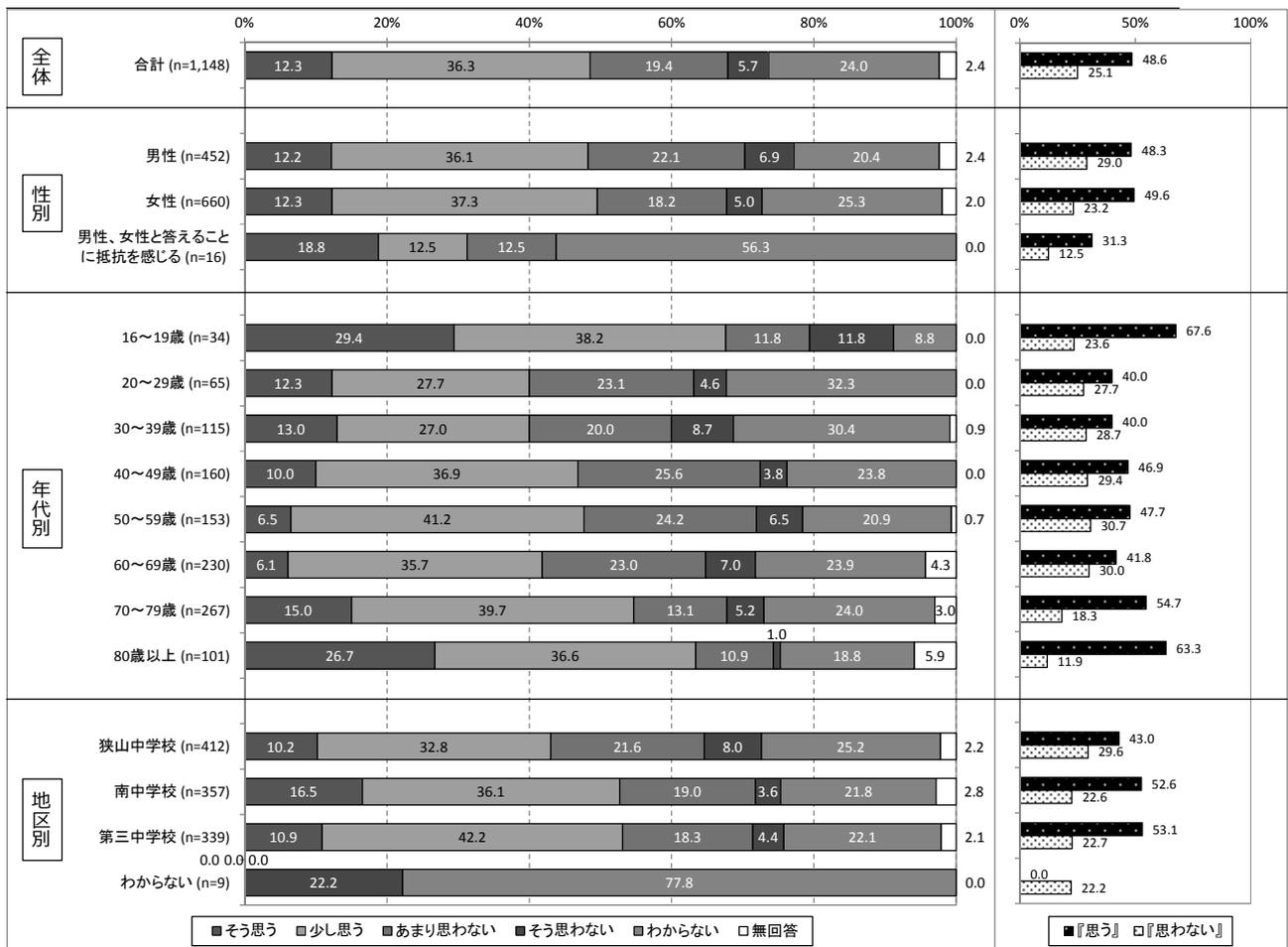
性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

10歳代と70歳代以上は、他の年代に比べ『思う』の比率が高い。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ『思わない』の比率が高い。



問5-3 あなたの過去一年間の行動や活動についてお聞きします。あてはまるものをお選びください。(項目ごとに○は1つずつ)

①学習活動(習い事、講座・講習会など)に参加したことがありますか

【全体】

「いいえ」は65.2%で、全体の6割以上が学習活動に参加したことがない。

【性別】

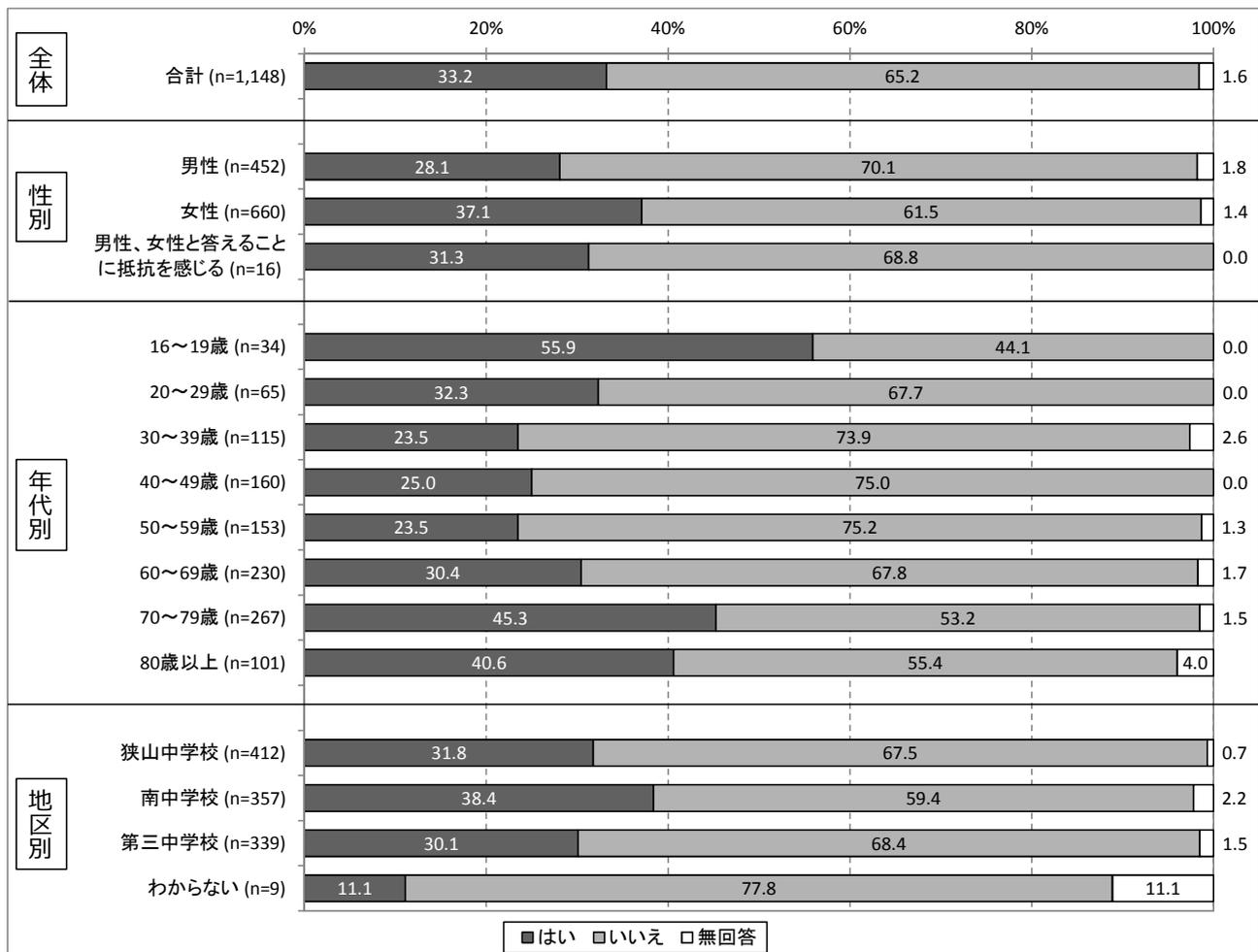
男性は、女性に比べ「いいえ」の比率が高い。

【年齢別】

10歳代と70歳代は、他の年代に比べ「はい」の比率が高く、30歳代～50歳代は「いいえ」の比率が高い。

【地区別】

南中学校区は、他の地区に比べ「はい」の比率が高い。



②スポーツ活動（テニス、スポーツクラブなど）に参加したことがありますか

【全体】

「いいえ」は76.5%で、全体の8割近くがスポーツ活動に参加したことがない。

【性別】

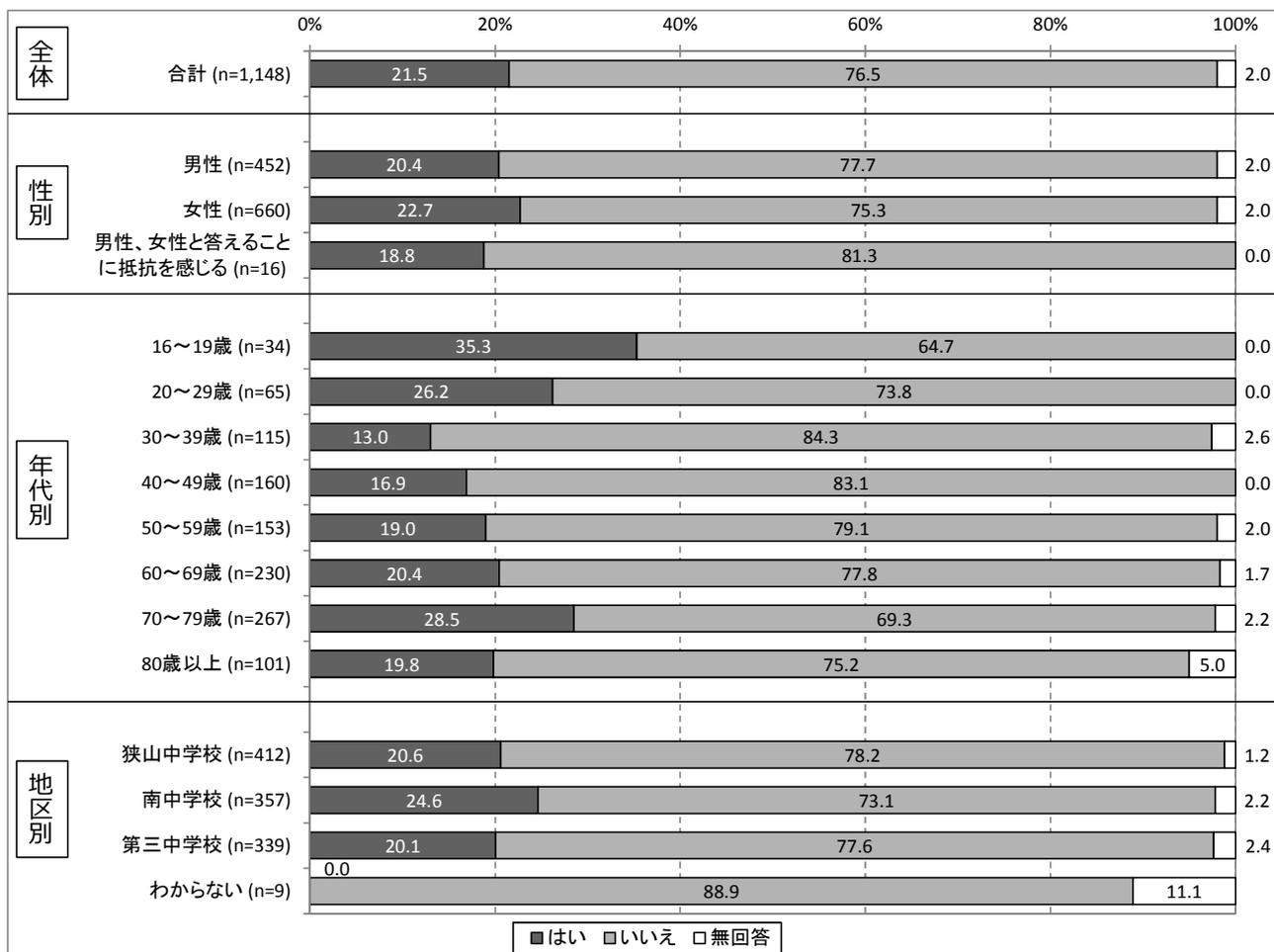
性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

30歳代は、他の年代に比べ「いいえ」の比率が高く、70歳代は「はい」の比率が高い。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



③文化・芸術活動（自ら行ったり、鑑賞するなど）に参加したことがありますか

【全体】

「いいえ」は57.1%で、全体の6割近くが文化・芸術活動に参加したことがない。

【性別】

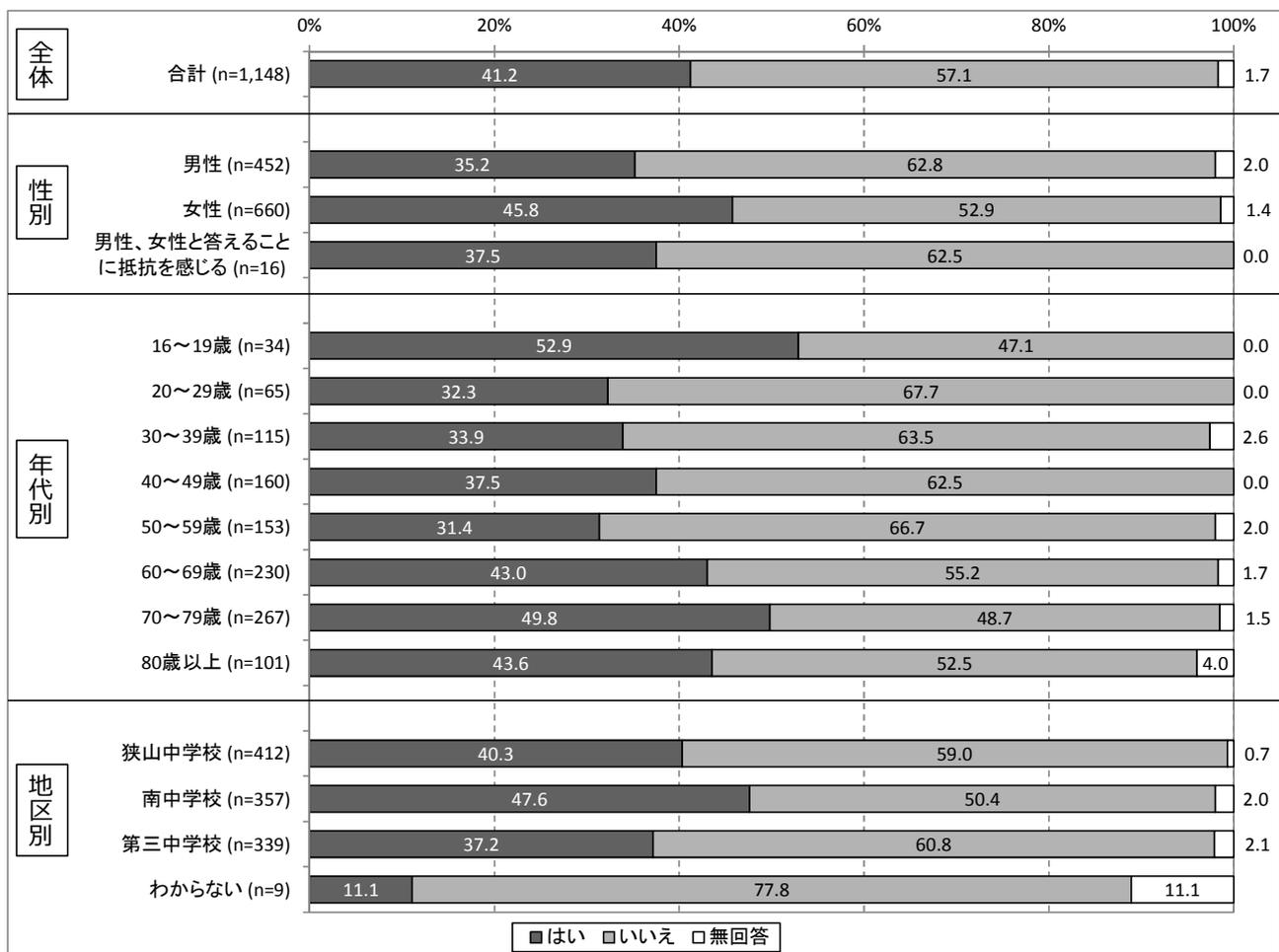
男性は、女性に比べ「いいえ」の比率が高い。

【年齢別】

50歳代は、他の年代に比べ「いいえ」の比率が高く、70歳代は「はい」の比率が高い。

【地区別】

南中学校区は、他の地区に比べ「はい」の比率が高い。

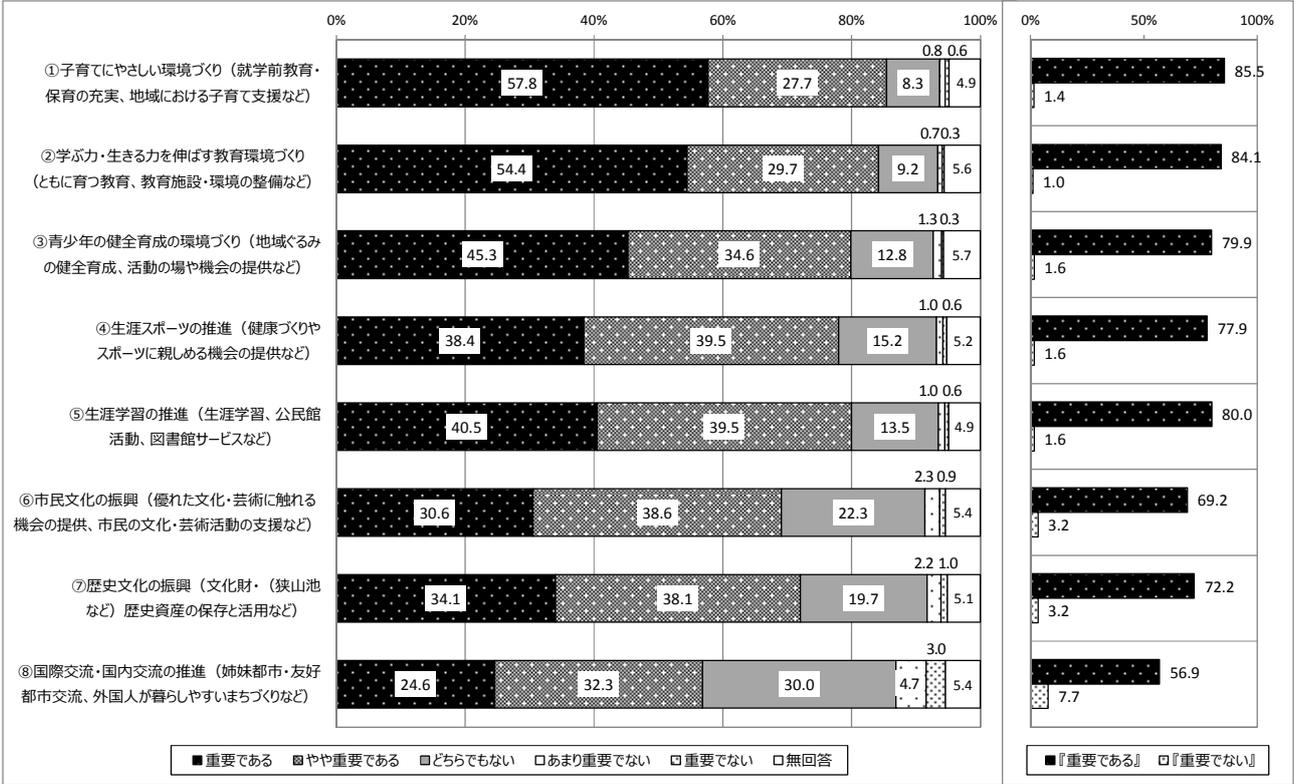


問5-4 現在、大阪狭山市が取り組んでいる次の施策について、その重要度と現状についての満足度をお聞きます。あてはまるものをお選びください。(項目ごとに○は1つずつ)

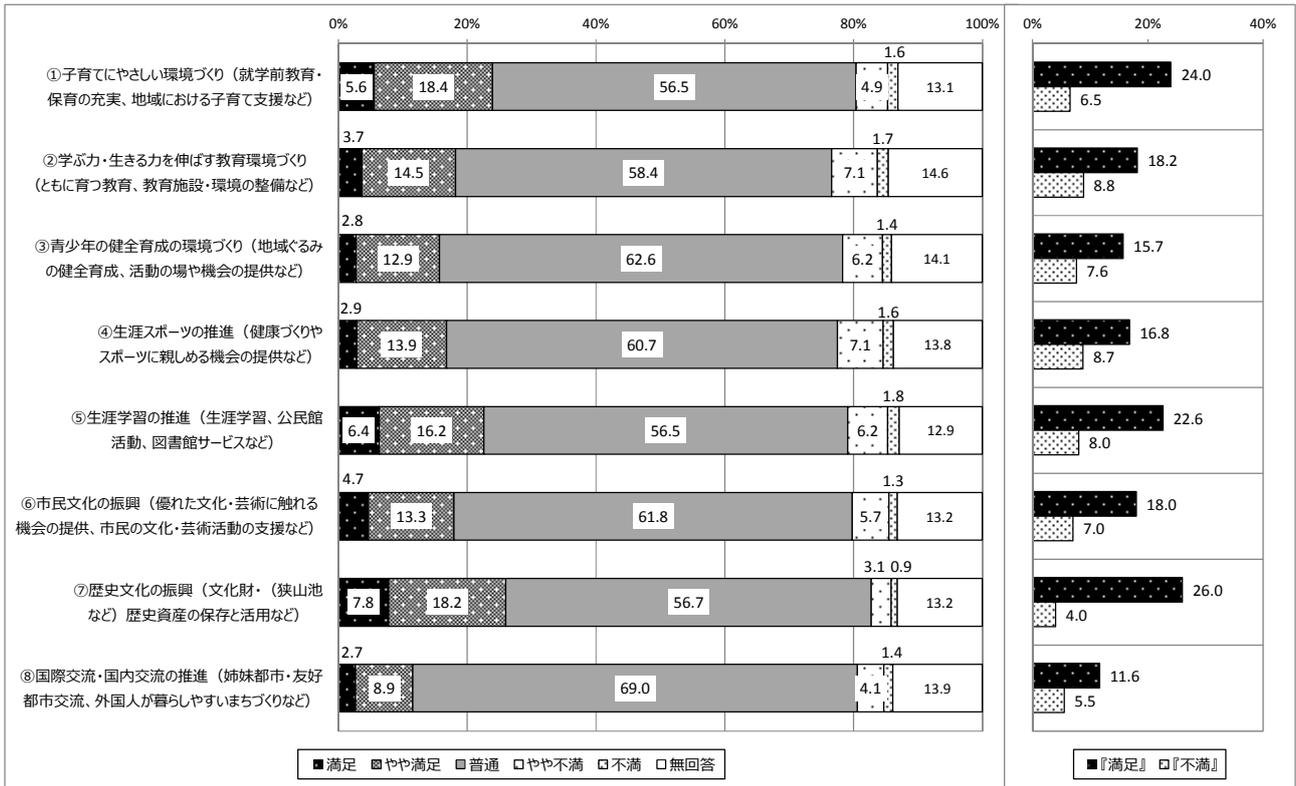
「重要である」と「やや重要である」を合わせた重要度が最も高いものは「子育てにやさしい環境づくり（就学前教育・保育の充実、地域における子育て支援など）」(85.5%)で、「学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり（ともに育つ教育、教育施設・環境の整備など）」(84.1%)が続いている。

「満足」と「やや満足」を合わせた満足度が最も高いものは「歴史文化の振興（文化財・(狭山池など)歴史資源の保存と活用など）」(26.0%)で、「子育てにやさしい環境づくり（就学前教育・保育の充実、地域における子育て支援など）」(24.0%)が続いている。

【重要度】



【満足度】



◆ 『にぎわいがあり 安全で快適な暮らしのあるまち』 について

問6-1 あなたは、大阪狭山市の中心市街地として、にぎわいのある拠点となる地区が必要だと思いますか。(〇は1つ)

【全体】

「必要だと思う」が44.4%で最も多く、「必要ないと思う(現在の状況でよい)」が37.5%が続いている。

【性別】

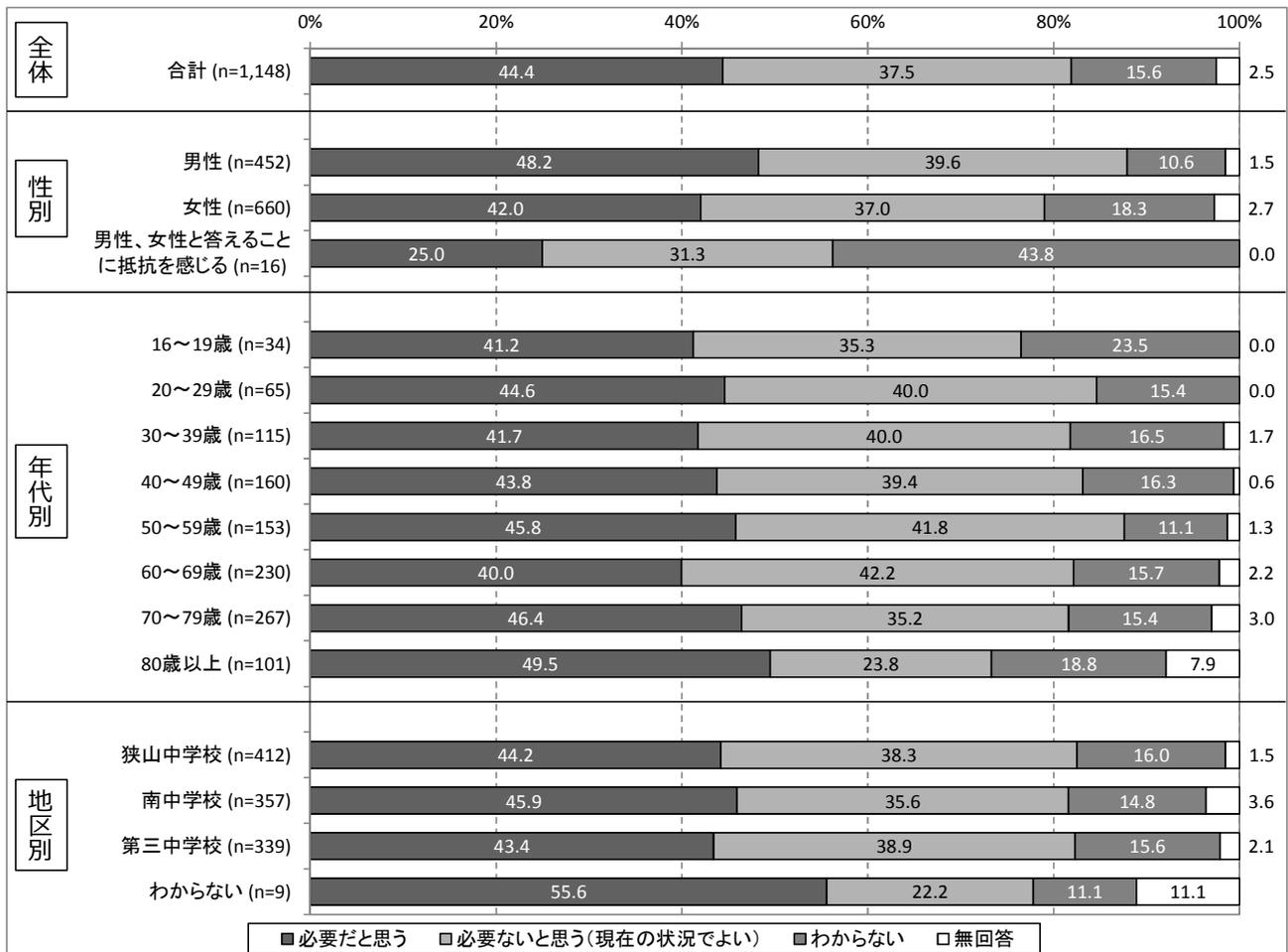
女性は、男性に比べ「わからない」の比率が高い。

【年齢別】

年齢による大きな違いは見られない。

【地区別】

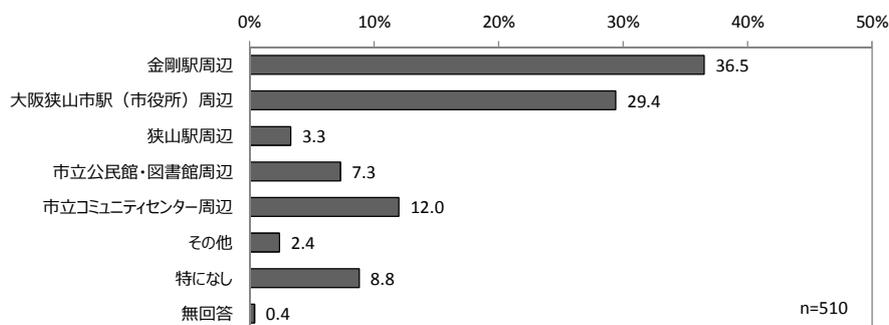
地区による大きな違いは見られない。



問6-2 問6-1で「1. 必要だと思う」と答えた方にお聞きします。あなたは、大阪狭山市内の中心市街地はどこだと思いますか。(〇は1つ)

【全体】

「金剛駅周辺」が 36.5%で最も多く、「大阪狭山市駅（市役所）周辺」が 29.4%、「市立コミュニティセンター周辺」が 12.0%で続いている。



【性別】

年齢による大きな違いは見られない。

【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ「特になし」の比率が高く、「大阪狭山市駅（市役所）周辺」の比率が低い。

20歳代と40歳代は、他の年代に比べ「市立コミュニティセンター周辺」の比率が低い。

50歳代は、他の年代に比べ「狭山駅周辺」の比率が高く、「市立公民館・図書館周辺」の比率が低い。

80歳以上は、他の年代に比べ「市立コミュニティセンター周辺」の比率が高い。

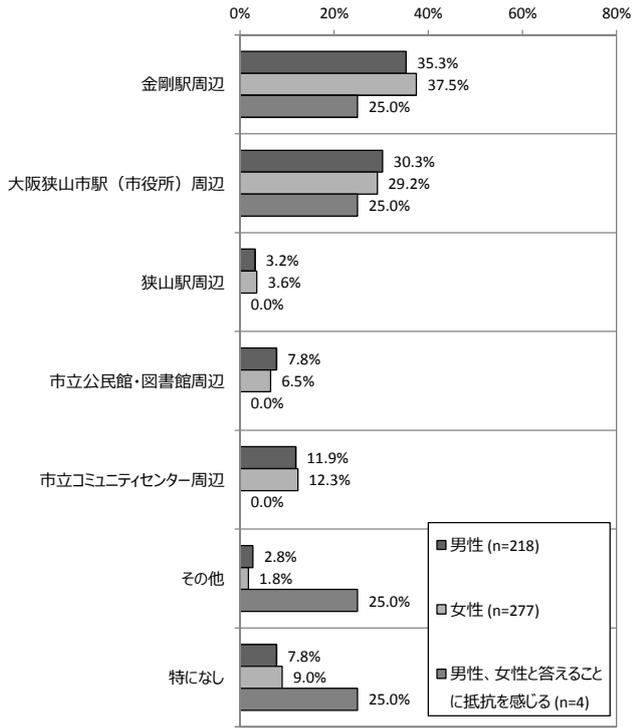
【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「大阪狭山市駅（市役所）周辺」と「狭山駅周辺」の比率が高い。

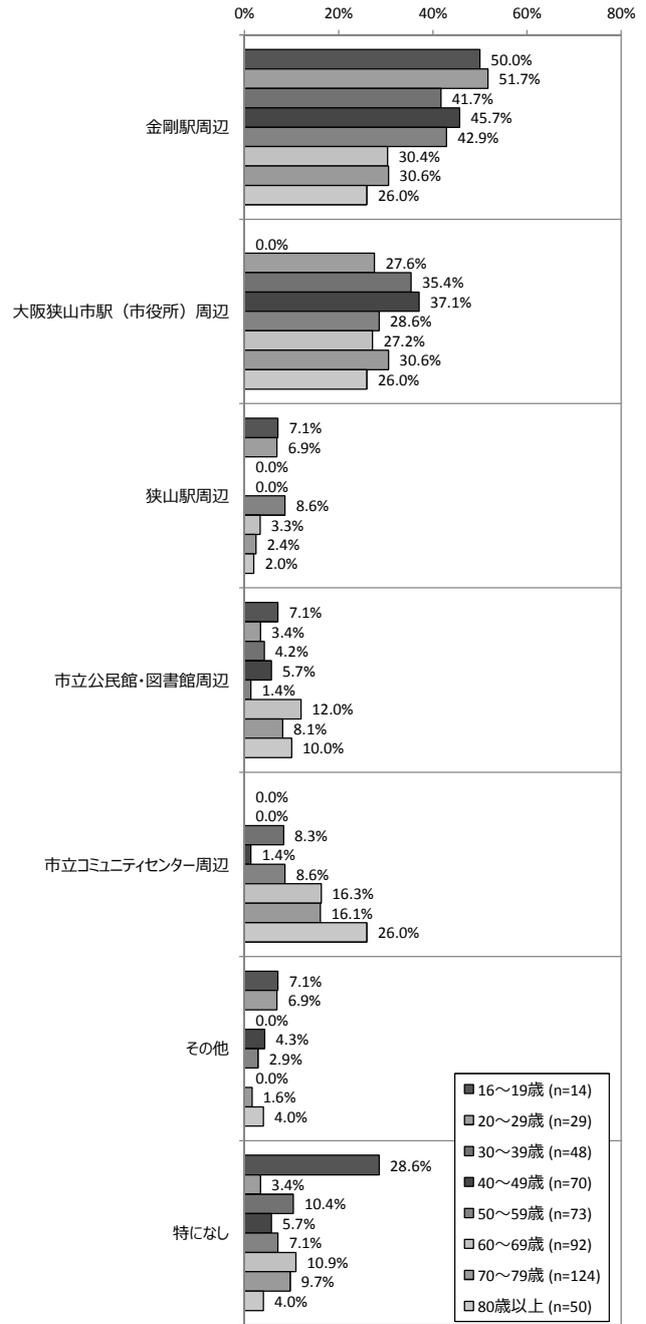
南中学校区は、他の地区に比べ「市立公民館・図書館周辺」と「市立コミュニティセンター周辺」の比率が高い。

第三中学校区は、他の地区に比べ「金剛駅周辺」の比率が高い。

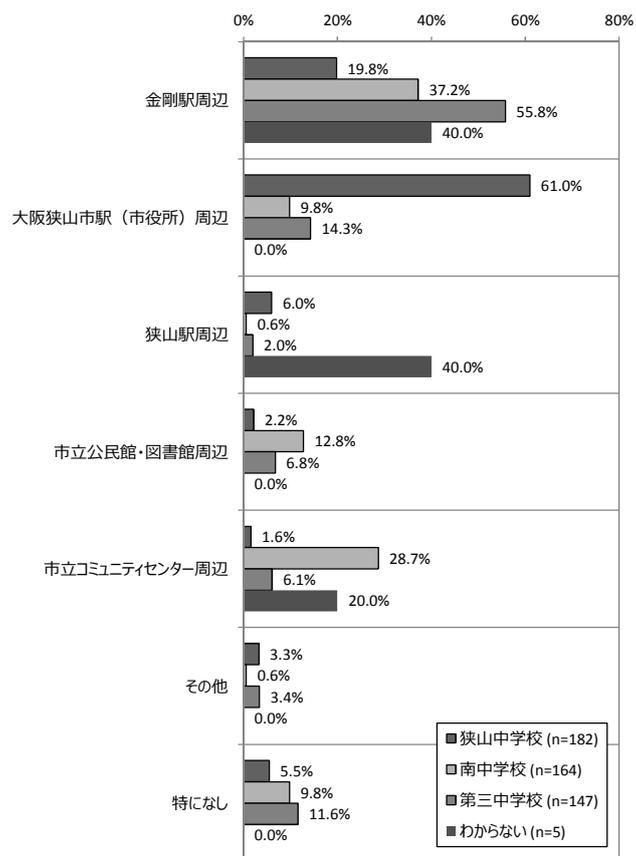
性別



年齢別



地区別



【その他について】

その他には、12件（回答者は12人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

記述内容	件数
310号線沿い	4
近大病院や帝塚山学院大学の跡地	2
狭山池周辺	2
金剛団地等の人口減少地	1
大鳥池周辺。	1
さやま荘	1
亀の甲周辺	1

問6-3 大阪狭山市の都市計画では、市街化を促進する区域である「市街化区域」と市街化を抑制する区域である「市街化調整区域」を設定して、秩序ある市街地の形成と環境の保全を図っています。あなたは、市街化調整区域（市街化を抑制する区域）について、今後、どのようにすることが望ましいと思いますか。（〇は1つ）

【全体】

「貴重な緑の空間や農業生産の場として今後も保全していく」が47.8%で最も多く、「ある程度の市街地の拡大を認める」が25.3%で続いている。

【性別】

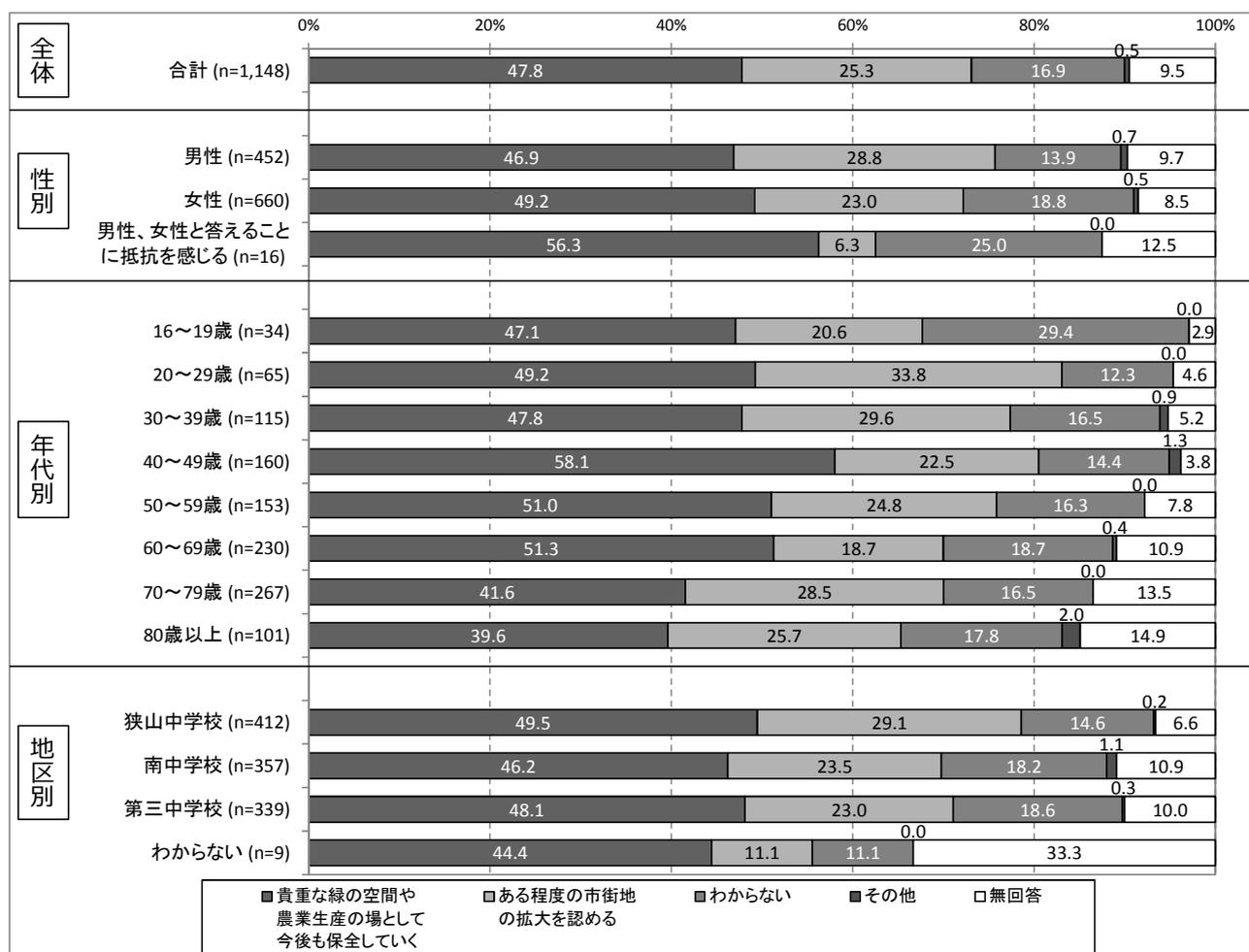
男性は、女性に比べ「ある程度の市街地の拡大を認める」の比率が高い。

【年齢別】

年齢による大きな違いは見られない。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



【その他について】

その他には、5件（回答者は5人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

記述内容
今のままでよい。
これでよい。
今の環境を維持しながら、治安が守れる程度で、コミュニティが広がる環境整備や施設の設置がいいのではないかと。
どちらかといえば森があった方がよいが、様子を見るべき。
大学2校が減り、病院の移転。大阪狭山市の特徴がほとんど無くなった。残念。

◎「ある程度の市街地の拡大を認める」と回答された方にお聞きします。どのような用途を認めるべきだと思いますか

【全体】

「商業施設」が68.6%で最も多く、「住宅地」が21.0%で続いている。

【性別】

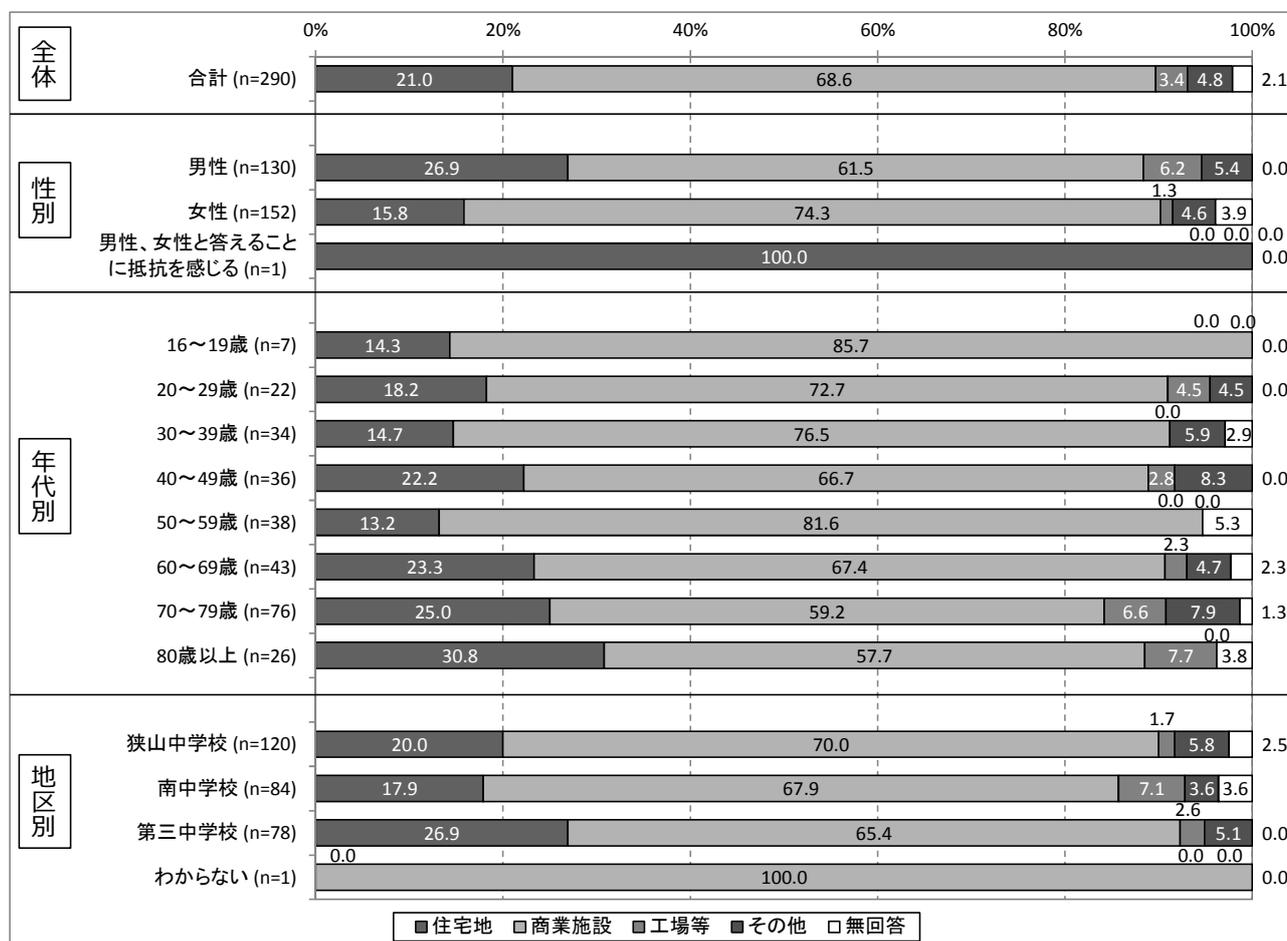
男性は「住宅地」と「工場等」の比率が高く、女性は「商業施設」の比率が高い。

【年齢別】

年齢による大きな違いは見られない。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



【その他について】

その他には、14件（回答者は14人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

記述内容	件数	記述内容
公園	2	いつでも誰でも行ける大きな公園。リす公園はお金がかかる。中央公園はソフトが使っている時は遊べない。
		公園
ショッピングセンター	2	子育て世代から高齢者まで楽しめるようなショッピングセンターなど。カラオケなどはダメ。
		スーパーなどの買い物施設
娯楽施設	2	娯楽
		老人が一日中もしくは宿泊もかねた娯楽又はリラクゼーション施設等
ホテル	2	ホテル観光客用
		ホテル等
医療施設	1	医療施設
企業誘致	1	企業誘致
運動場	1	運動場等
その他	2	地域の特性に応じた用途
		いずれでもよい。調整区域のせいで何も活かせず放置した私有地が荒れ放題の雑草まみれになっていたり、竹林が密集している様子に、いつも将来どうなるのか不安。
わからない	1	よくわからない

問6-4 あなたが大阪狭山市で生活する上で、次のことについてどのように思いますか。(項目ごとに○は1つつ)

① 駅周辺がそれぞれの地域特性をいかした魅力ある空間である

【全体】

『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）は67.9%で、全体の7割近くが駅周辺を地域特性をいかした魅力ある空間であるとは思っていない。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ「わからない」の比率が高い。

40歳代は、他の年代に比べ「少し思う」の比率が高い。

50歳代は、他の年代に比べ「そう思わない」の比率が高い。

60歳代は、他の年代に比べ「あまり思わない」の比率が高い。

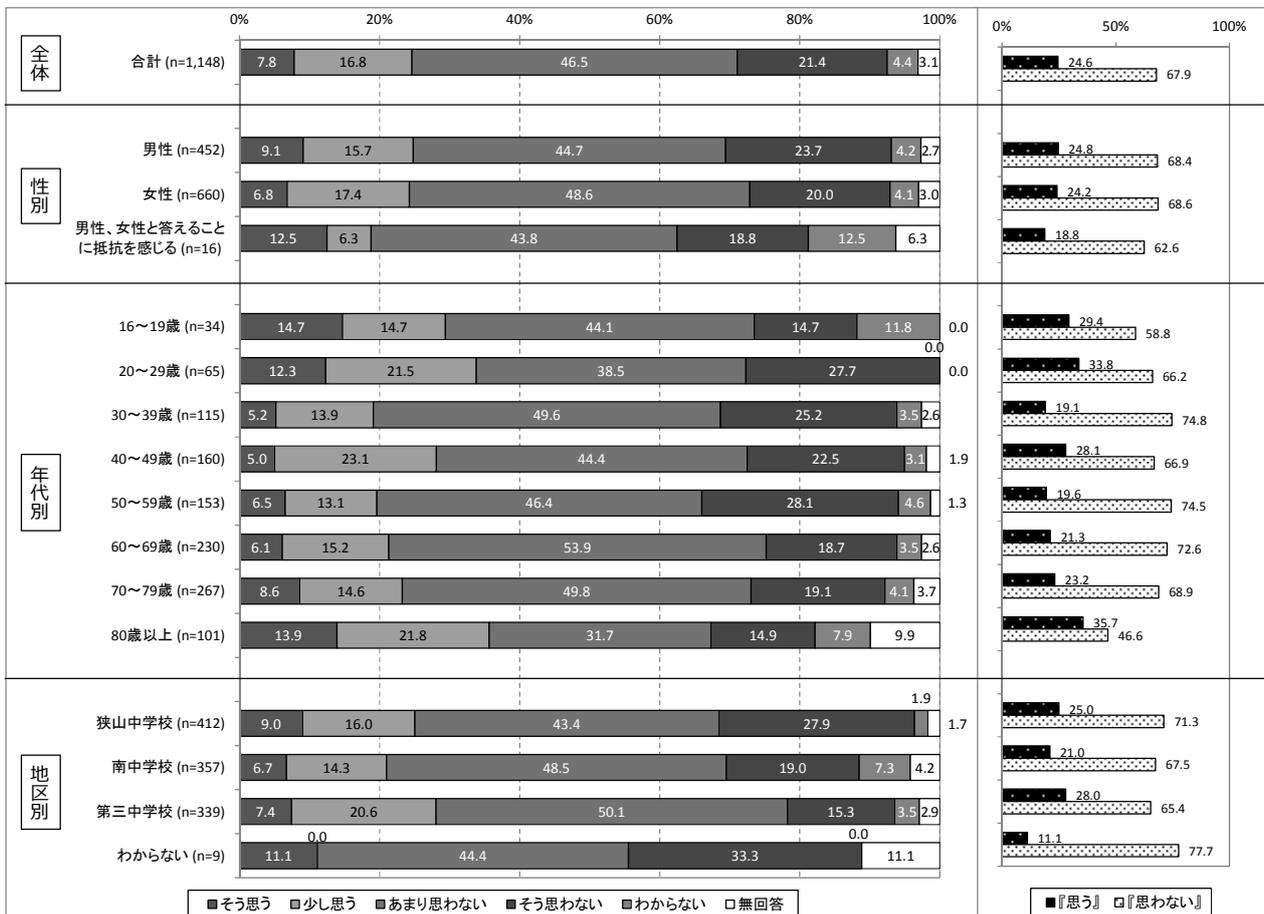
80歳以上は、他の年代に比べ「そう思う」、「わからない」、『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）の比率が高い。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「そう思わない」の比率が高い。

南中学校区は、他の地区に比べ「わからない」の比率が高い。

第三中学校区は、他の地区に比べ「少し思う」の比率が高い。



②大阪狭山市内の道路について、安全な歩行者空間が確保できている

【全体】

『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）は66.9%で、全体の7割近くが市内の道路が安全な歩行者空間を確保できているとは思っていない。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

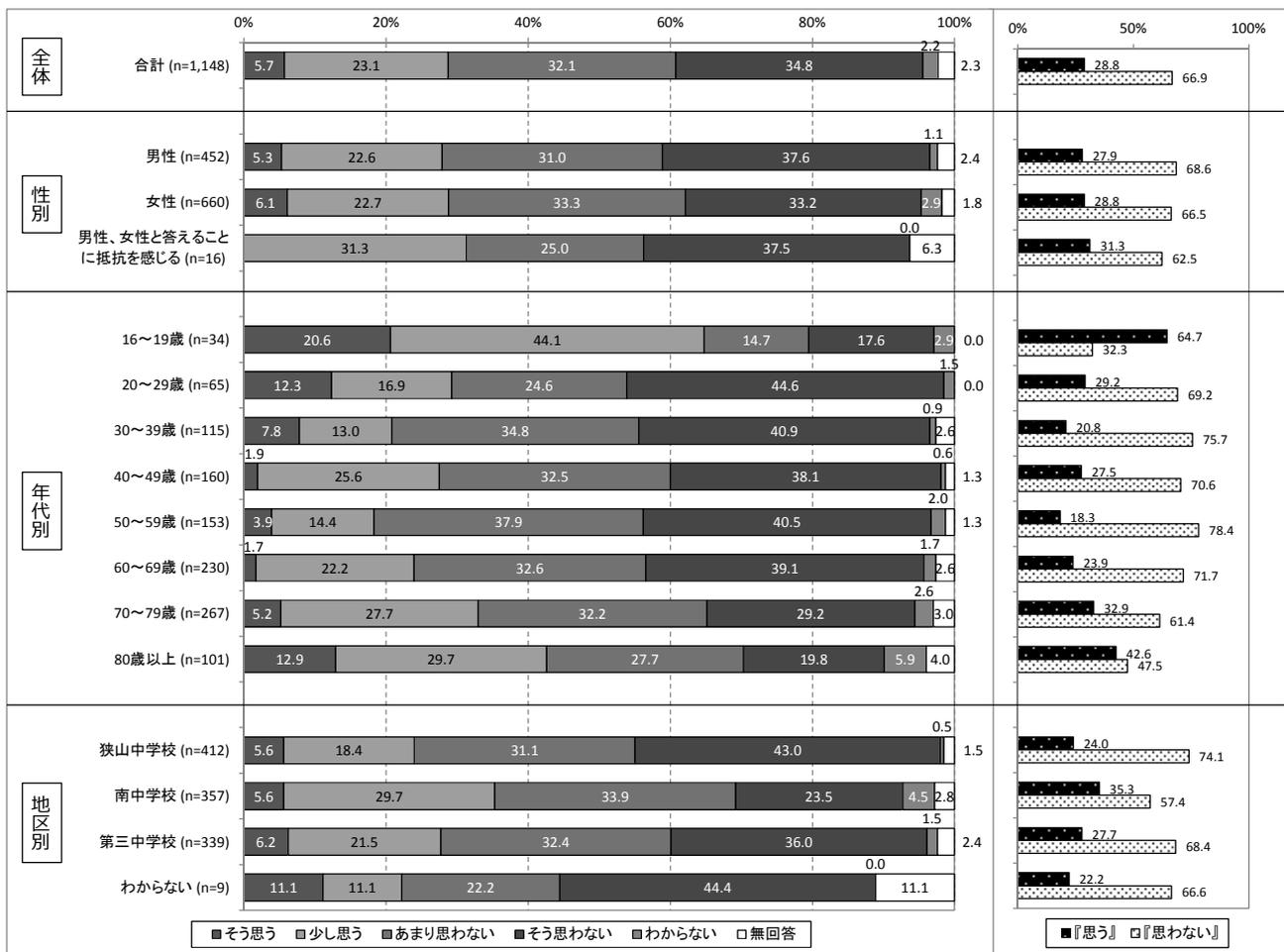
【年齢別】

10歳代と80歳以上は、他の年代に比べ『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）の比率が高い。
30歳代と50歳代以上は、他の年代に比べ『思わない』の比率が高い。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ『思わない』の比率が高い。

南中学校区は、他の地区に比べ『思う』の比率が高い。



問6-5 あなたは、空き家対策が必要だと思いますか。(○は1つ)

【全体】

「必要だと思う」が79.4%で最も多くなっている。

【性別】

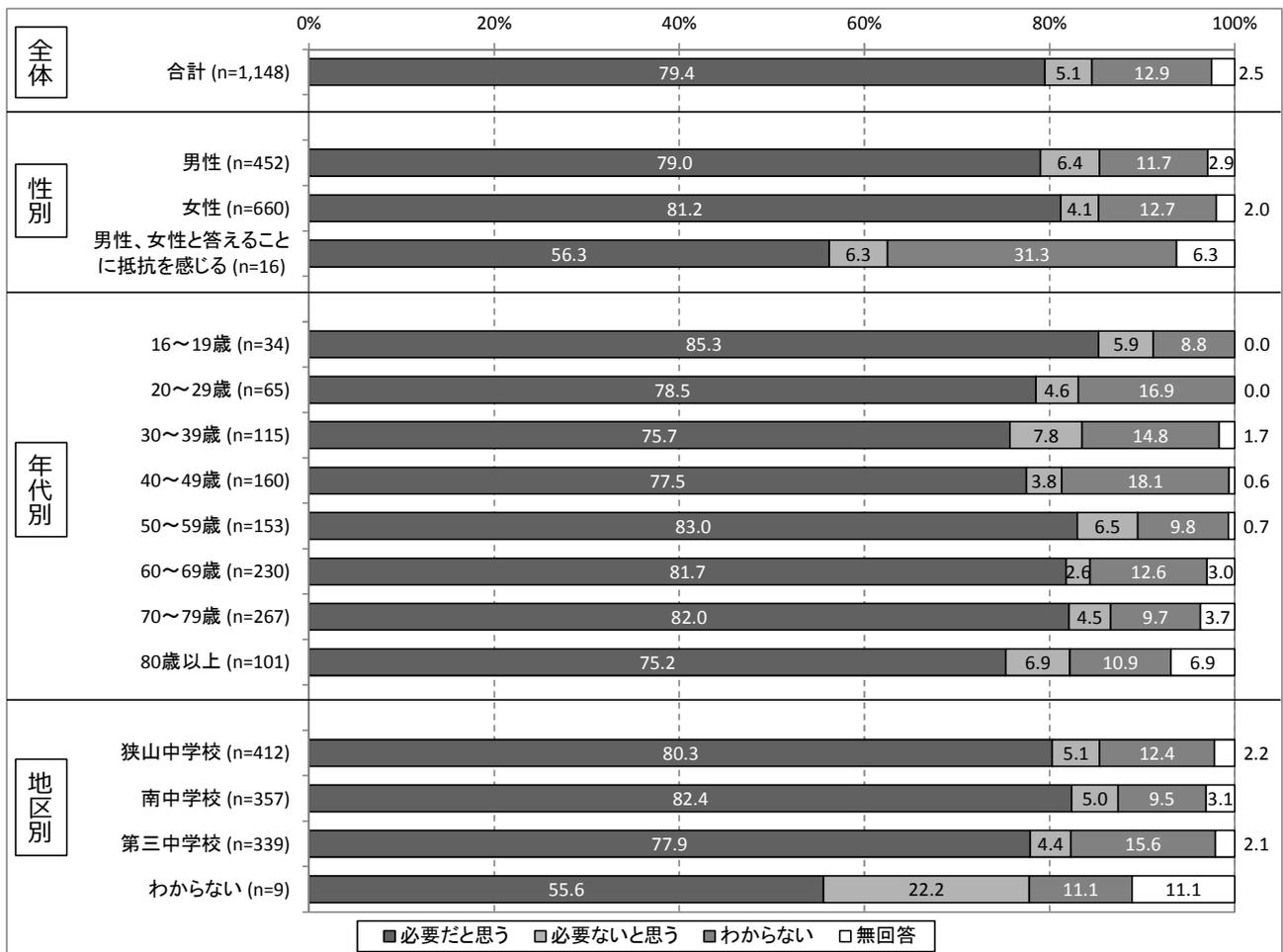
性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

年齢による大きな違いは見られない。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



問6-6 あなたは、防災対策についてどのように思いますか。(項目ごとに○は1つずつ)

①災害時の備えや避難所の位置などについて日頃から確認している

【全体】

『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）は75.0%で、全体の7割以上が災害時の備えや避難所の位置などについて日頃から確認している。

【性別】

女性は、男性に比べ『思う』の比率が高い。

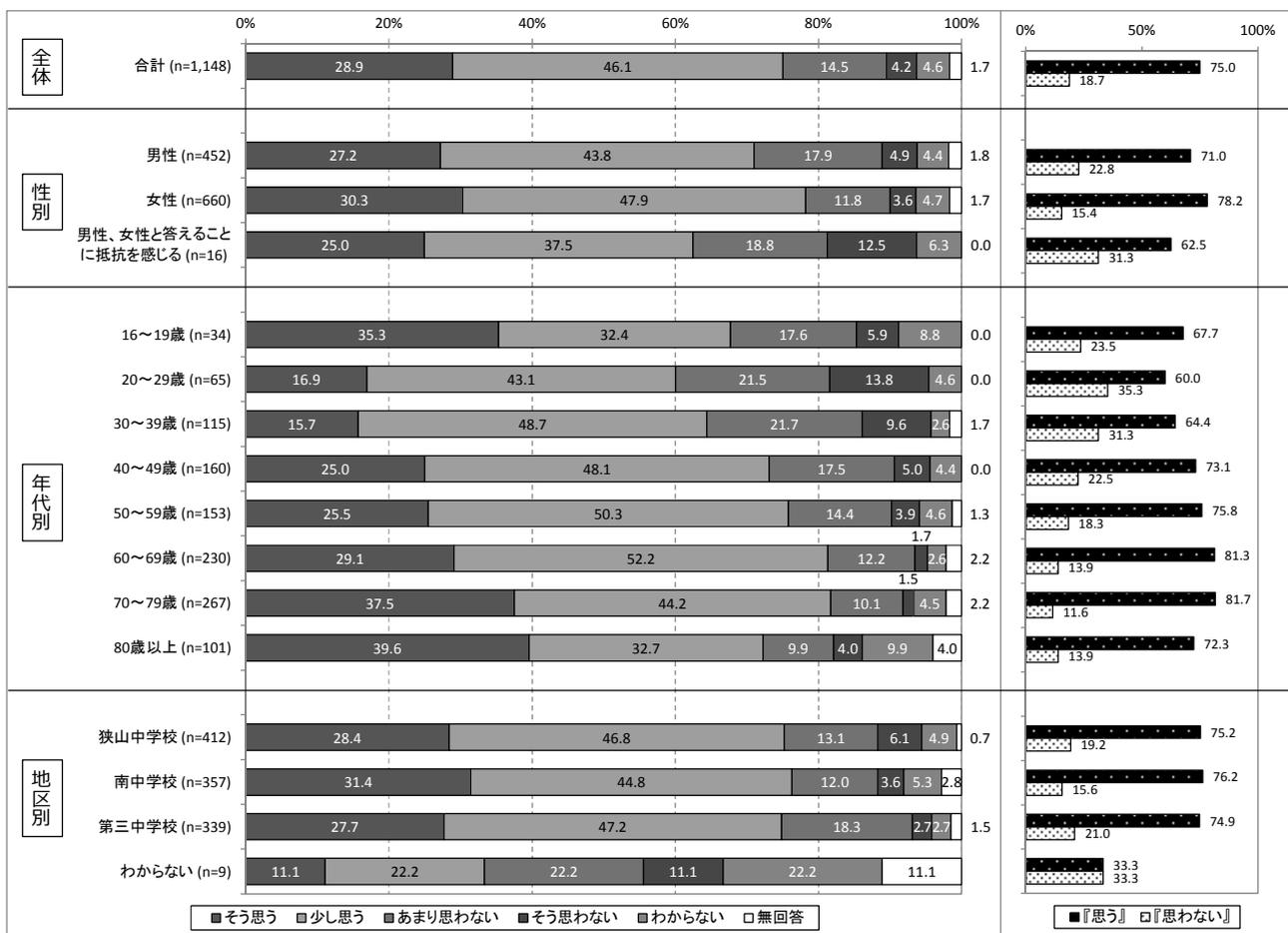
【年齢別】

20歳代～30歳代は、他の年代に比べ『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）の比率が高い。

60歳代～70歳代は、他の年代に比べ『思う』の比率が高い。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



②地域での防災活動に積極的に参加している

【全体】

『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）は53.3%で、全体の5割以上が地域での防災活動に積極的に参加していない。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

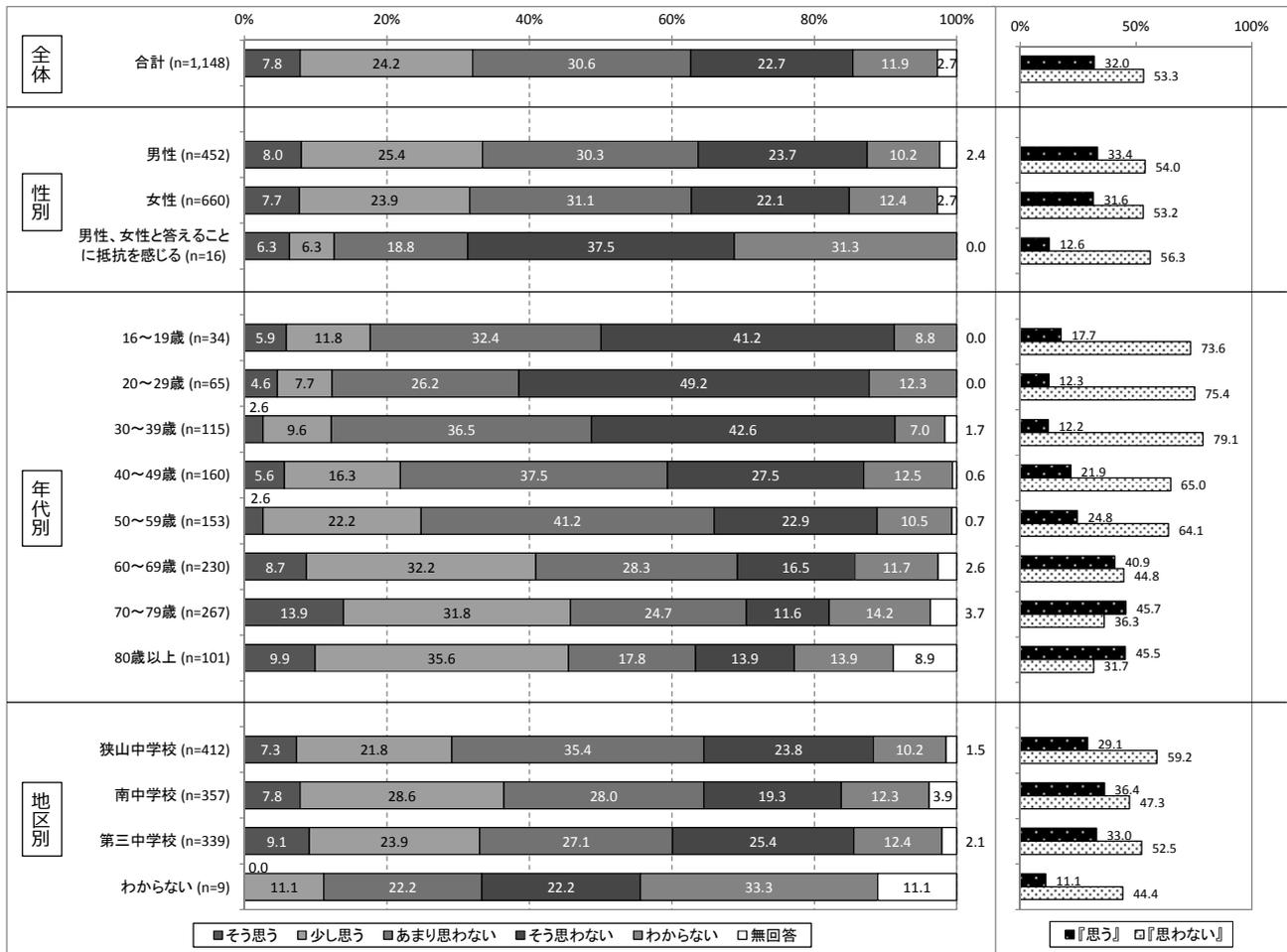
【年齢別】

10歳代～50歳代は、他の年代に比べ『思わない』の比率が高い。

60歳代以上は、他の年代に比べ『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）の比率が高い。

【地区別】

有意な差は認められないが、狭山中学校は、他の地区に比べ『思わない』の比率が高く、南中学校区は『思う』の比率が高い。



③地域の人々と協力している

【全体】

『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）は46.8%で、『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）を上回っている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

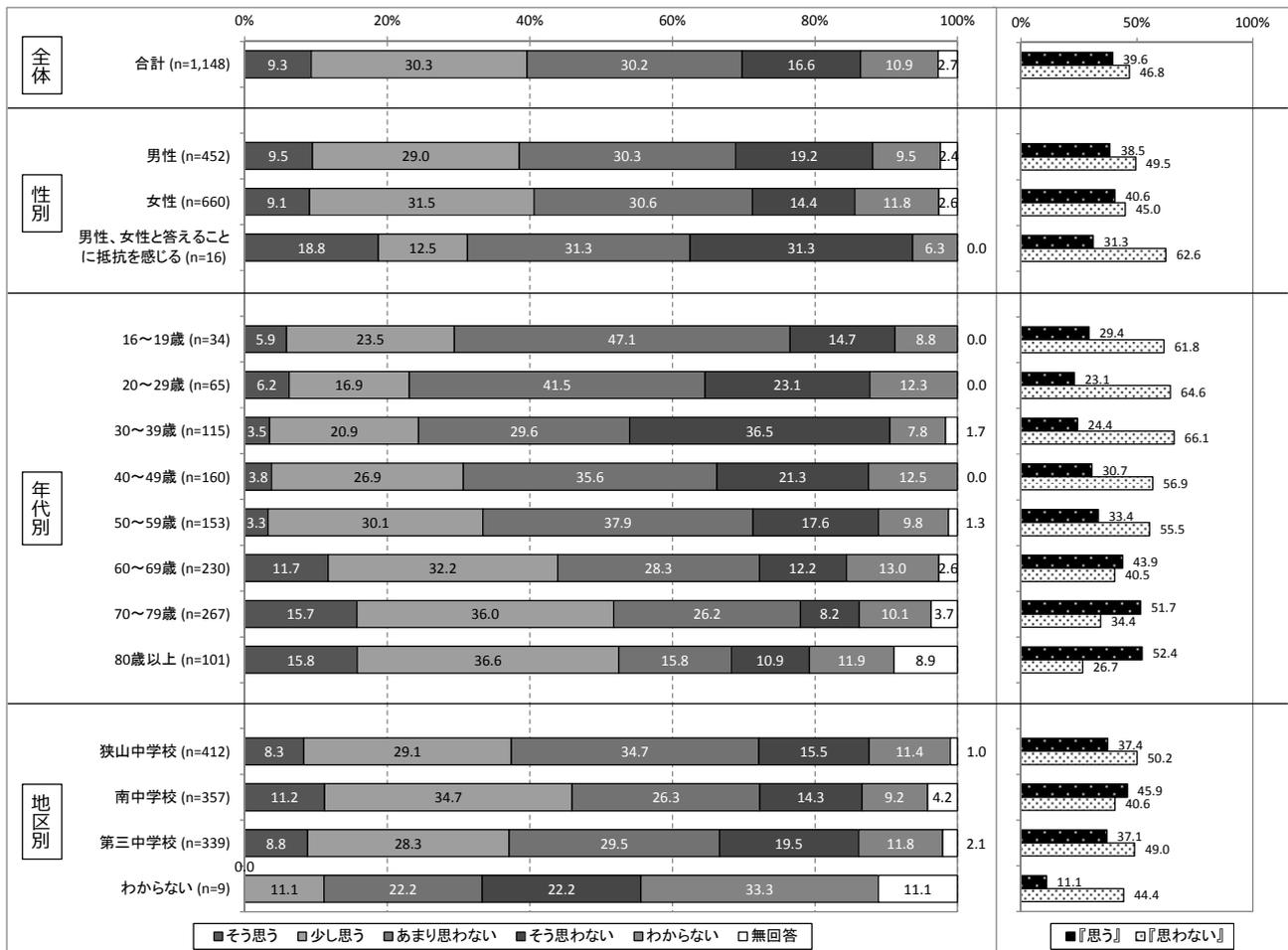
【年齢別】

20歳代～50歳代は、他の年代に比べ『思わない』の比率が高い。

70歳代以上は、他の年代に比べ『思う』の比率が高い。

【地区別】

南中学校区は、他の地区に比べ『思う』の比率が高い。



④大阪狭山市は災害に強いまちだ

【全体】

『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）は42.5%で、『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）を上回っている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

30歳代は、他の年代に比べ『思わない』の比率が高い。

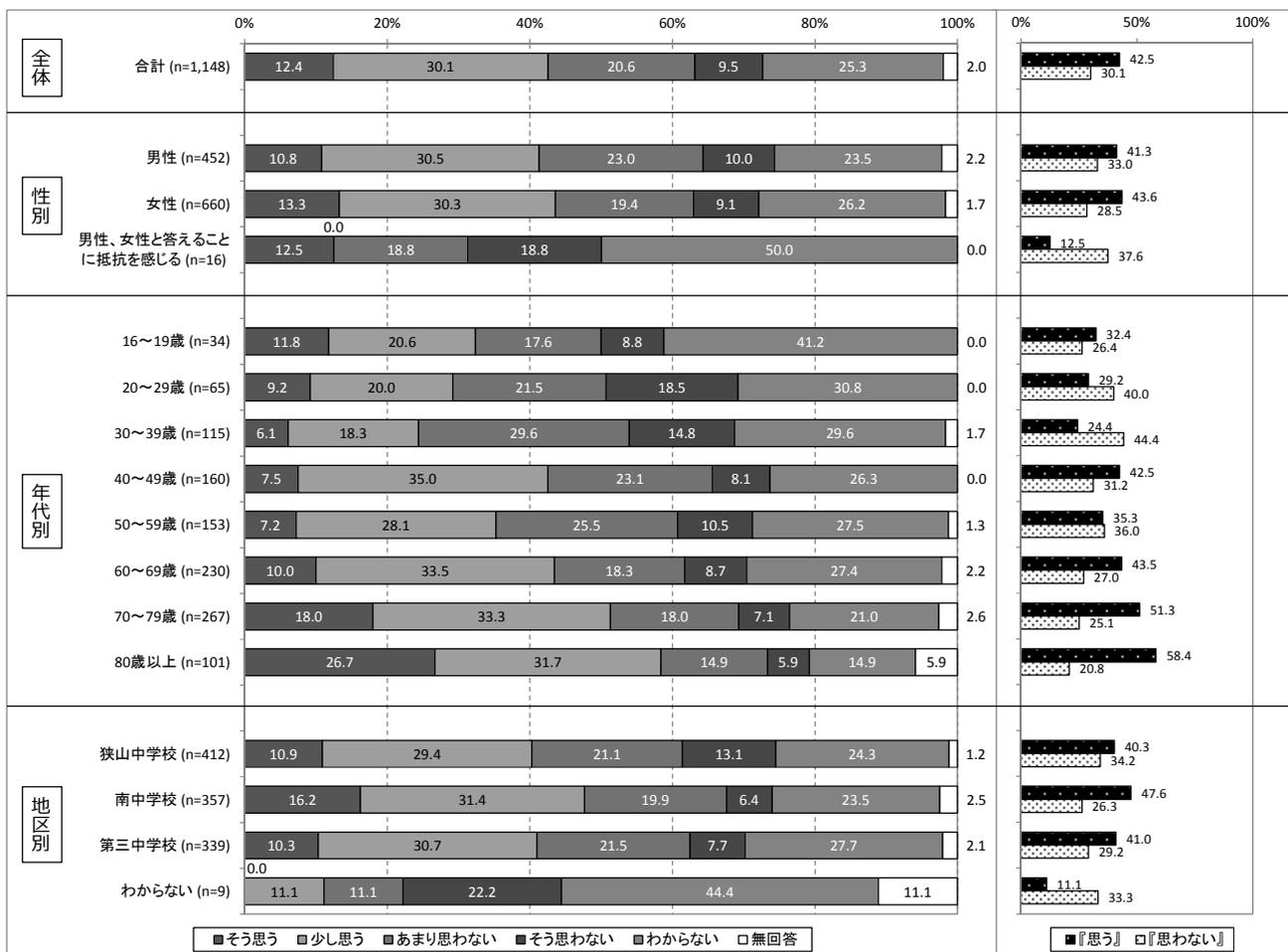
70歳代以上は、他の年代に比べ『思う』の比率が高い。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「そう思わない」の比率が高い。

南中学校区は、他の地区に比べ「そう思う」の比率が高い。

有意な差は認められないが、狭山中学校区は『思わない』の比率が高く、南中学校区は『思う』の比率が高い。



問6-7 あなたは、防犯対策についてどのように思いますか。(項目ごとに○は1つずつ)

①地域での防犯活動に積極的に参加している

【全体】

『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）は56.7%で、全体の6割近くが地域での防犯活動に積極的に参加していない。

【性別】

女性は、男性に比べ「わからない」の比率が高い。

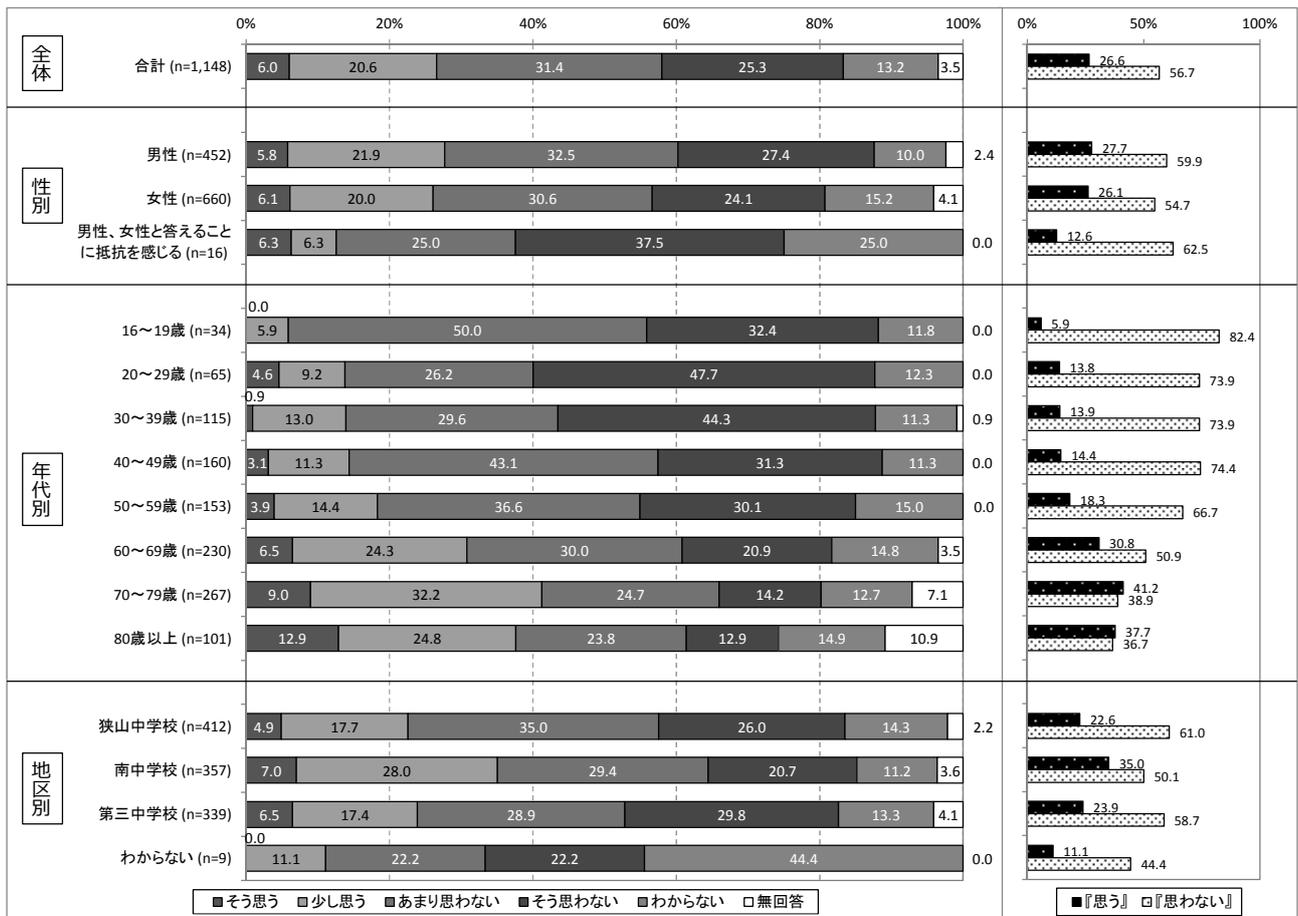
【年齢別】

10歳代～50歳代は、他の年代に比べ『思わない』の比率が高い。

70歳代以上は、他の年代に比べ『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）の比率が高い。

【地区別】

南中学校区は、他の地区に比べ『思う』の比率が高い。



②地域の人々と協力している

【全体】

『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）は49.6%で、『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）を上回っている。

【性別】

男性は、女性に比べ『思わない』の比率が高い。

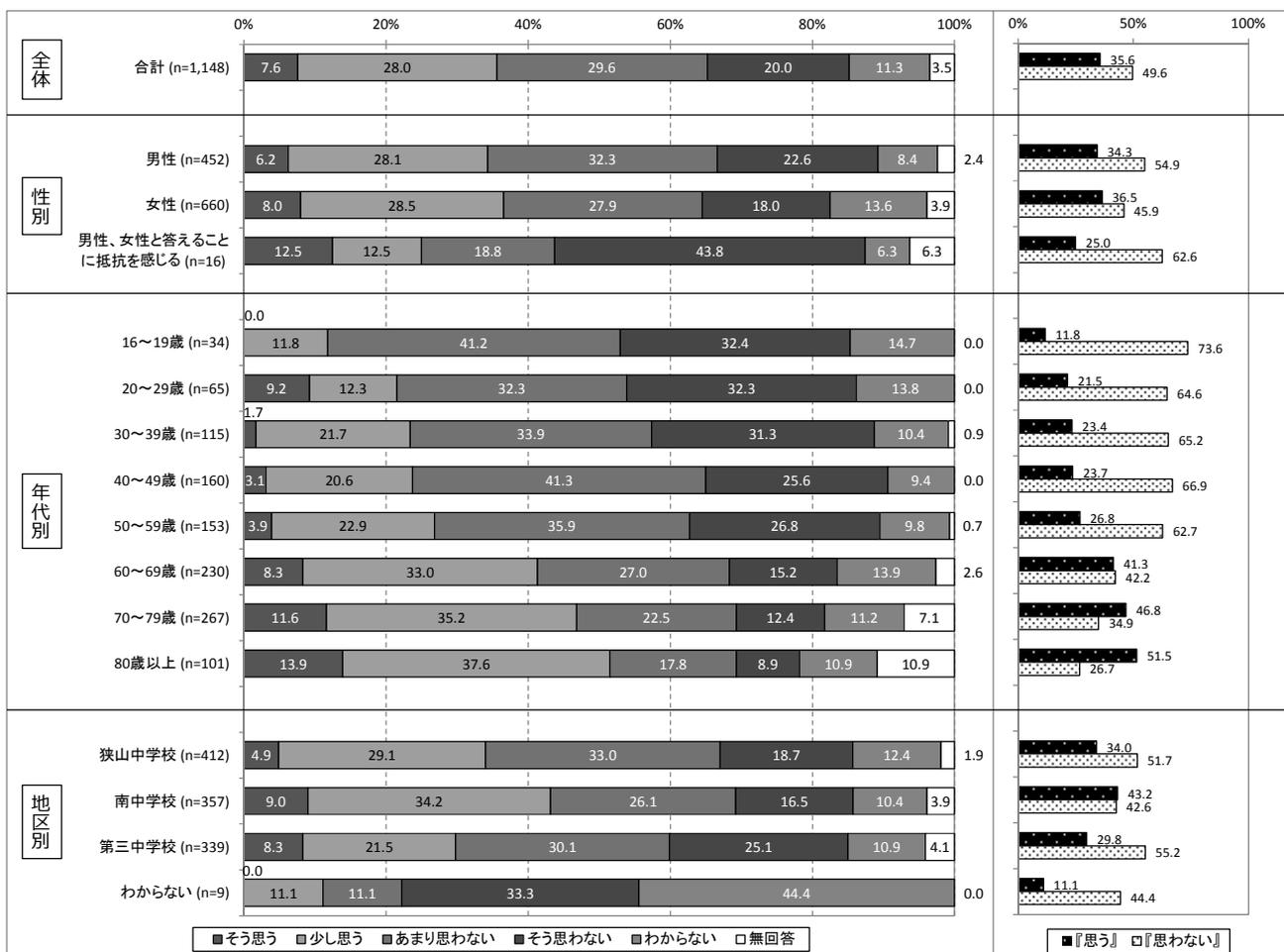
【年齢別】

10歳代～50歳代は、他の年代に比べ『思わない』の比率が高く、60歳代以上は、他の年代に比べ『思う』の比率が高い。概ね年代が高くなるほど『思う』の比率が高くなっている。

【地区別】

南中学校区は、他の地区に比べ『思う』の比率が高い。

第三中学校区は、他の地区に比べ『思わない』の比率が高い。



③自分の住まいなど地域の防犯に気を配っている

【全体】

『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）は59.3%で、全体の6割近くが地域の防犯に気を配っている。

【性別】

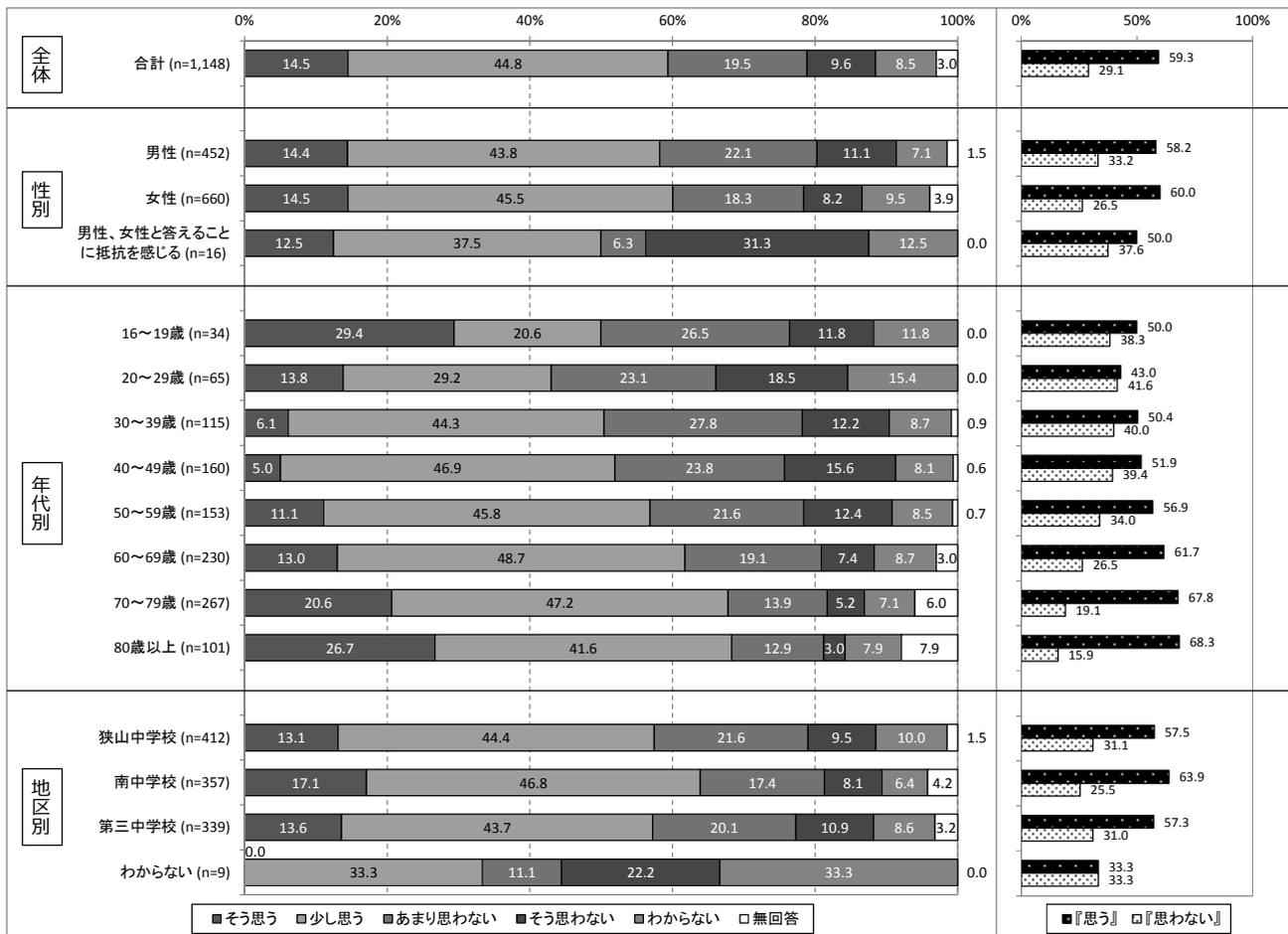
有意な差は認められないが、男性は女性に比べ『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）の比率が高い。

【年齢別】

20歳代～40歳代は、他の年代に比べ『思わない』の比率が高く、70歳代以上は『思う』の比率が高い。概ね年代が高いほど『思う』の比率が高くなっている。

【地区別】

有意な差は認められないが、南中学校区は他の地区に比べ『思う』の比率が高い。



④大阪狭山市は防犯に強いまちだ

【全体】

『思わない』（「あまり思わない」と「そう思わない」の計）は42.9%で、『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）を上回っている。

【性別】

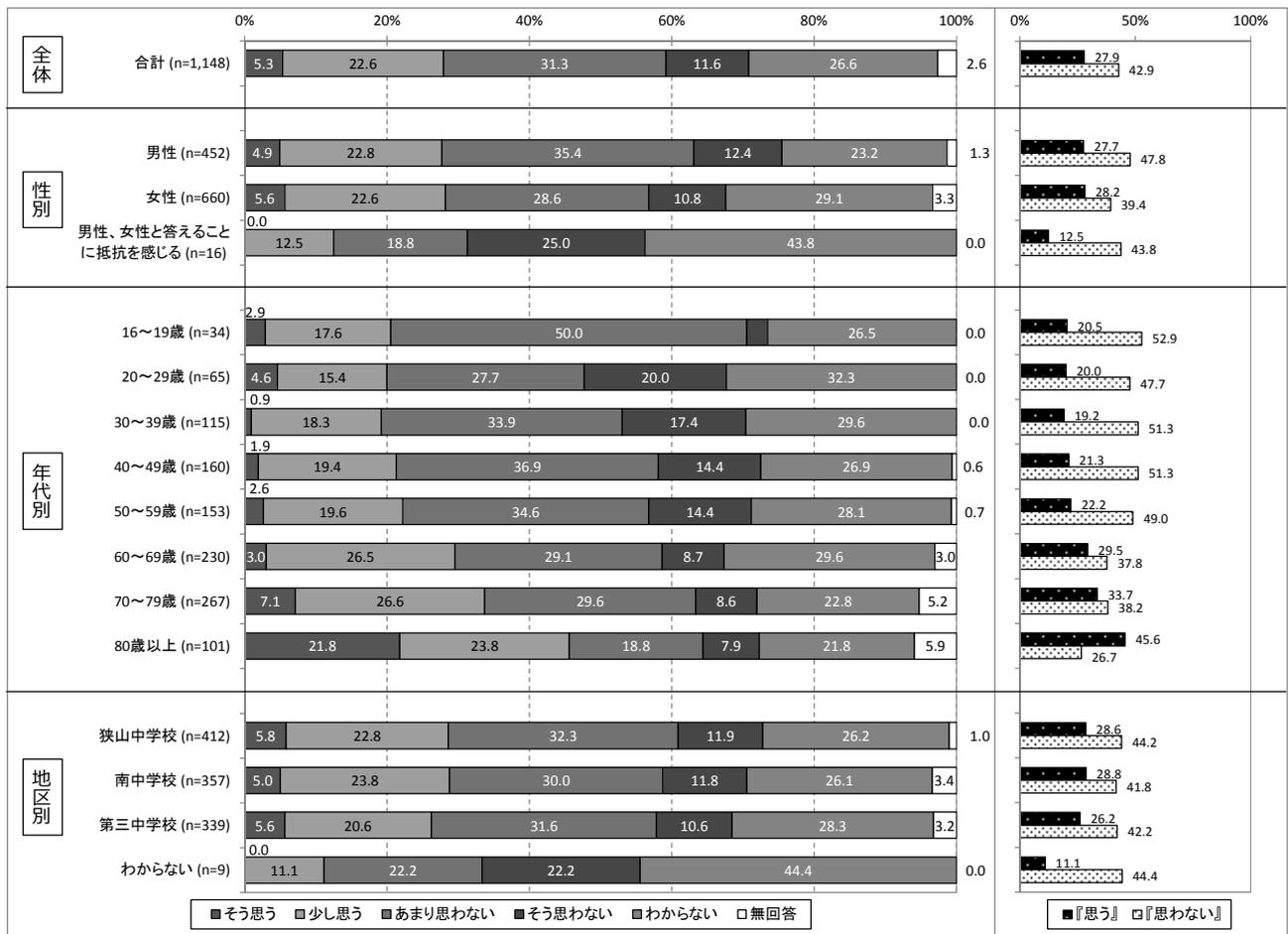
男性は、女性に比べ『思わない』の比率が高い。

【年齢別】

70歳代以上は、他の年代に比べ『思う』の比率が高い。80歳以上では、『思う』が『思わない』を上回っている。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



問6-8 あなたは、企業誘致などの産業振興は必要だと思いますか。(○は1つ)

【全体】

「必要だと思う」が 56.0%で最も多く、全体の 5 割以上が企業誘致などの産業振興を必要だと思っている。

【性別】

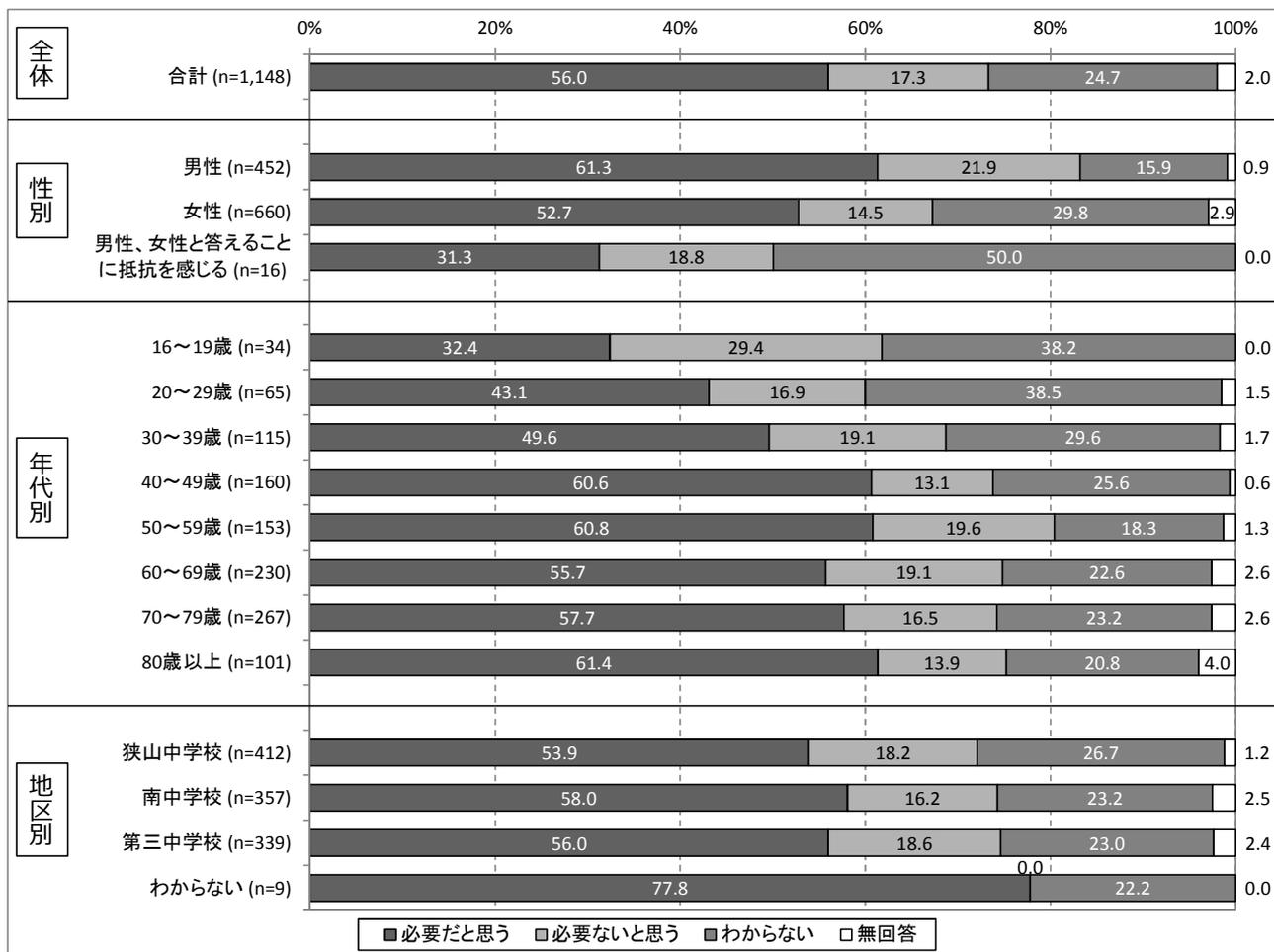
男性は、女性に比べ「必要だと思う」、「必要ないと思う」の比率が高く、女性は「わからない」の比率が高い。

【年齢別】

10 歳代と 20 歳代は、他の年代に比べ「必要だと思う」の比率が低く、20 歳代は「わからない」の比率が高い。

【地区別】

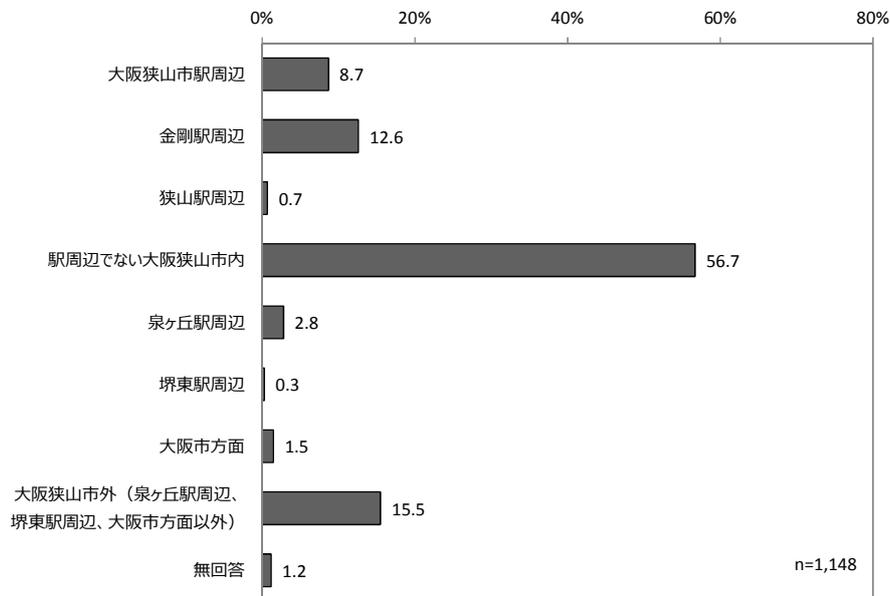
地区による大きな違いは見られない。



問6-9 あなたは、食料品や日用品などの買い物を、主にどの地域でされますか。(〇は1つ)

【全体】

「駅周辺でない大阪狭山市内」が 56.7%で最も多く、「大阪狭山市外（泉ヶ丘駅周辺、堺東駅周辺、大阪市方面以外）」が 15.5%、「金剛駅周辺」が 12.6%で続いている。



【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

20 歳代は、他の年代に比べ「大阪市方面」と「大阪狭山市外（泉ヶ丘駅周辺、堺東駅周辺、大阪市方面以外）」の比率が高い。

30 歳代は、他の年代に比べ「金剛駅周辺」の比率が高い。

50 歳代は、他の年代に比べ「大阪狭山市外（泉ヶ丘駅周辺、堺東駅周辺、大阪市方面以外）」の比率が高く、「大阪狭山市駅周辺」の比率が低い。

70 歳代は、他の年代に比べ「駅周辺でない大阪狭山市内」の比率が高い。

80 歳以上は、他の年代に比べ「堺東駅周辺」の比率が高い。

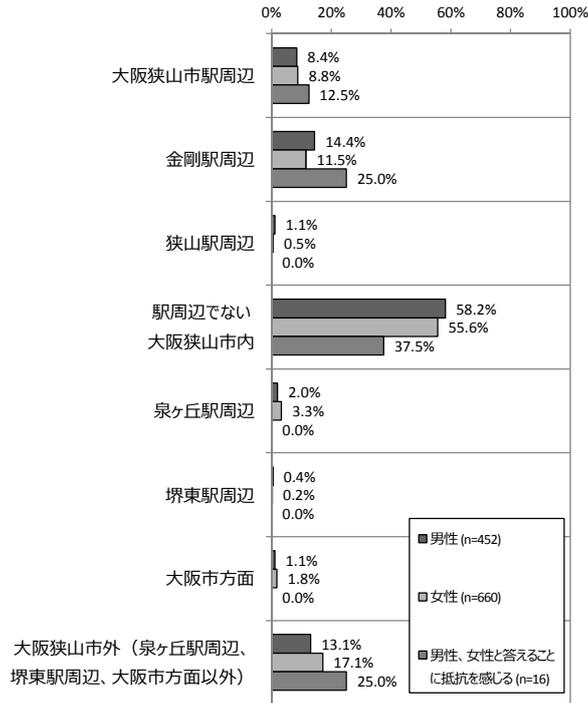
【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「大阪狭山市駅周辺」と「大阪狭山市外（泉ヶ丘駅周辺、堺東駅周辺、大阪市方面以外）」の比率が高い。

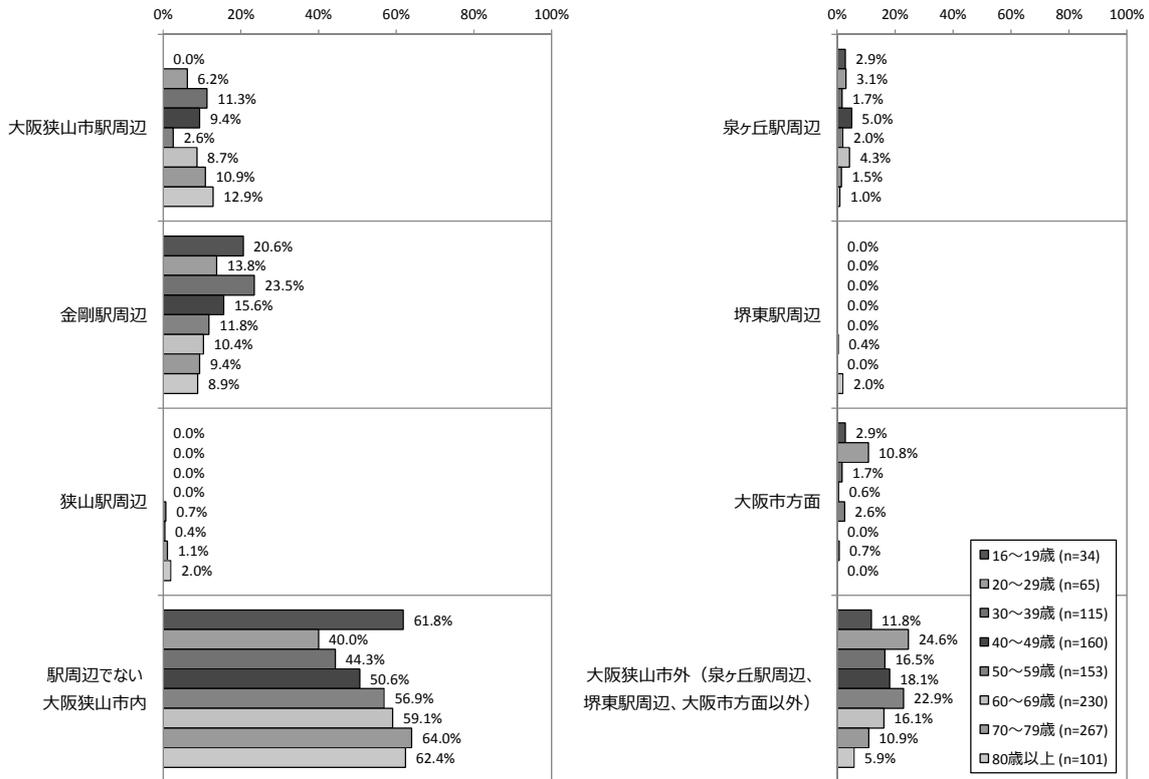
南中学校区は、他の地区に比べ「駅周辺でない大阪狭山市内」と「泉ヶ丘駅周辺」の比率が高く、「金剛駅周辺」の比率が低い。

第三中学校区は、他の地区に比べ「金剛駅周辺」と「駅周辺でない大阪狭山市内」の比率が高い。

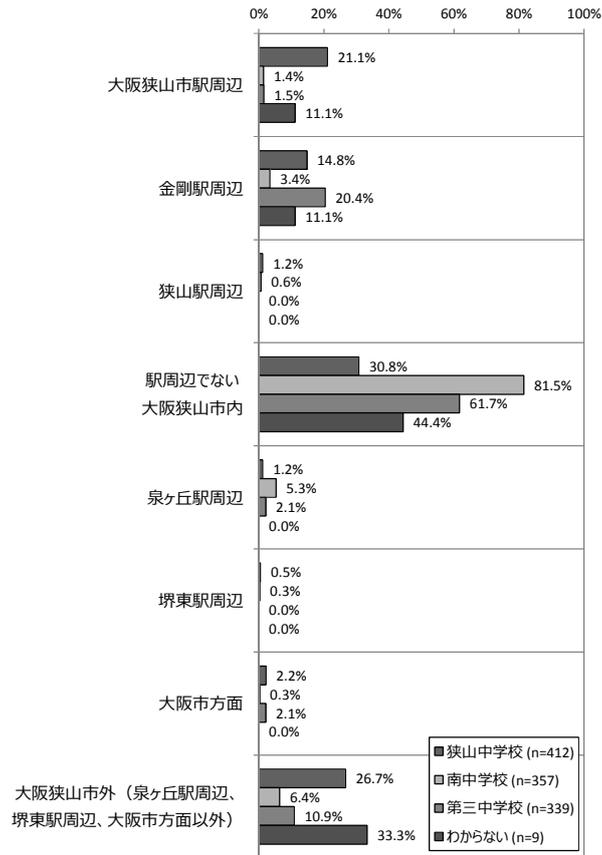
性別



年齢別



地区別



問6-10 あなたは、買い物を主にどのようなお店でされますか。(〇は1つ)

【全体】

「スーパー」が85.5%で最も多く、全体の8割以上が主にスーパーで買い物をしている。

【性別】

男性は、女性に比べ「コンビニエンス・ストア」の比率が高い。

【年齢別】

10歳代～20歳代は、他の年代に比べ「ショッピングモール」と「コンビニエンス・ストア」の比率が高い。

30歳代は、他の年代に比べ「ショッピングモール」の比率が高い。

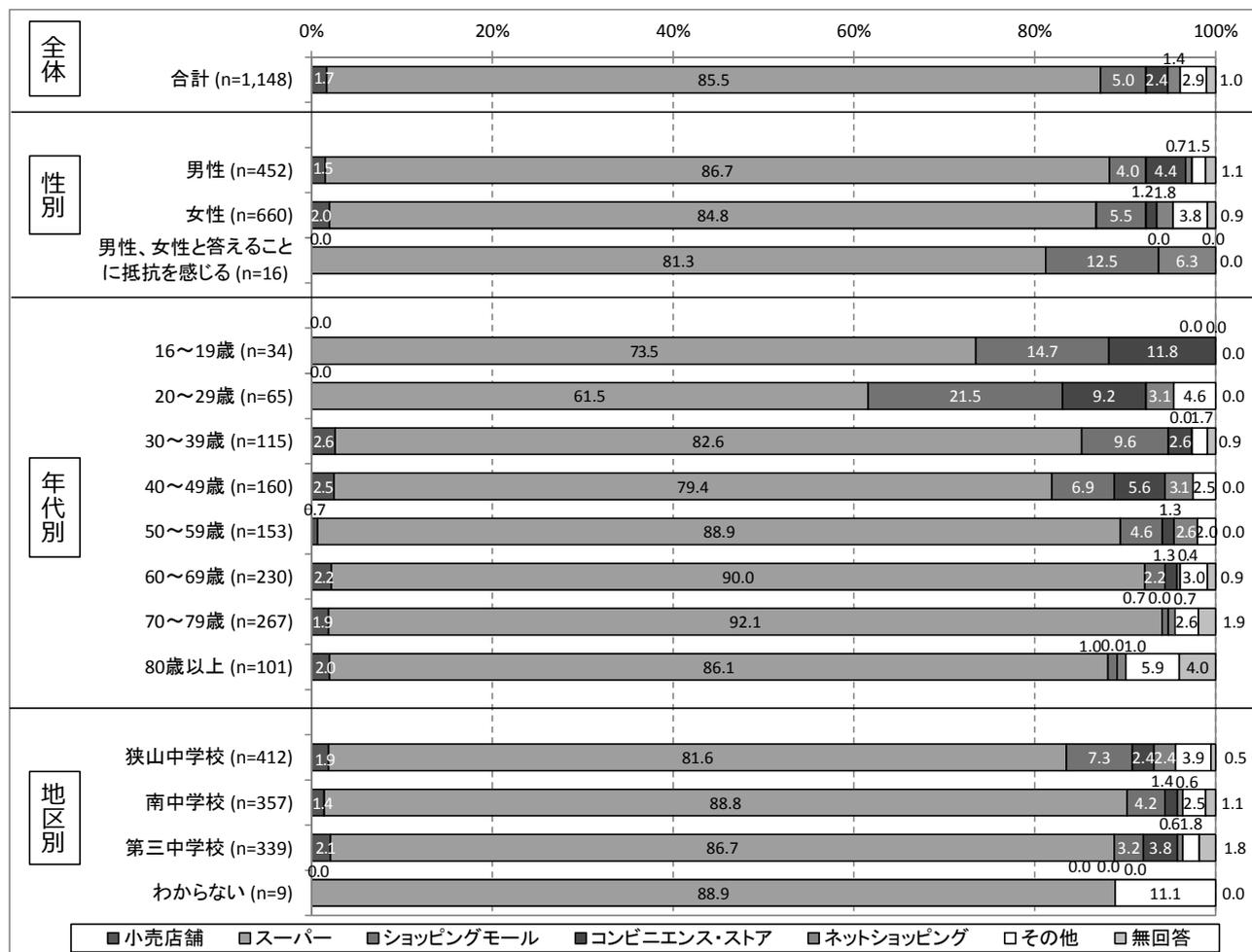
40歳代は、他の年代に比べ「コンビニエンス・ストア」と「ネットショッピング」の比率が高い。

60歳代以上は、他の年代に比べ「スーパー」の比率が高い。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「ショッピングモール」と「ネットショッピング」の比率が高い。

南中学校区は、他の地区に比べ「スーパー」の比率が高い。



【その他について】

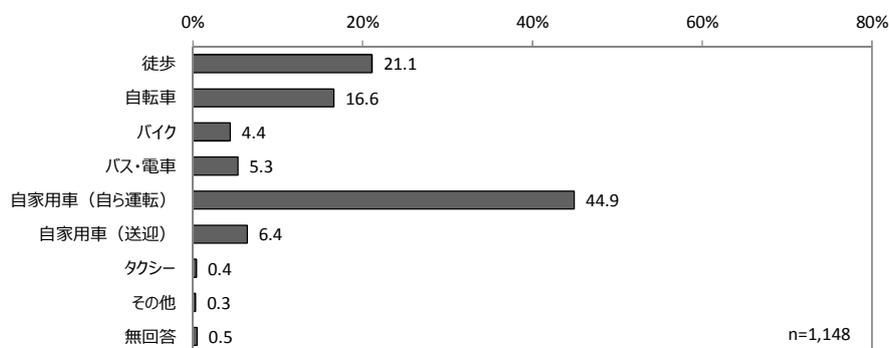
その他には、34件（回答者は34人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。最も多いのは「生協」で、次に多いのが「百貨店」である。

記述内容	件数
生協	14
百貨店	8
ドラッグストア	3
宅配・ネットショッピング	2
コープ	2
その他	4
なし	1

**問6-11 あなたは、買い物を行う際、お店まで主にどのような交通手段で行っていますか。
(〇は1つ)**

【全体】

「自家用車（自ら運転）」が44.9%で最も多く、「徒歩」が21.1%、「自転車」が16.6%が続いている。



【性別】

男性は、女性に比べ「自家用車（自ら運転）」の比率が高い。

女性は、男性に比べ「自転車」、「バス・電車」、「自家用車（送迎）」の比率が高い。

【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ「自転車」と「バイク」の比率が高い。

20歳代は、他の年代に比べ「バス・電車」の比率が高い。

30歳代～50歳代は、他の年代に比べ「自家用車（自ら運転）」の比率が高い。

70歳代は、他の年代に比べ「徒歩」の比率が高い。

80歳以上は、他の年代に比べ「徒歩」と「タクシー」の比率が高い。

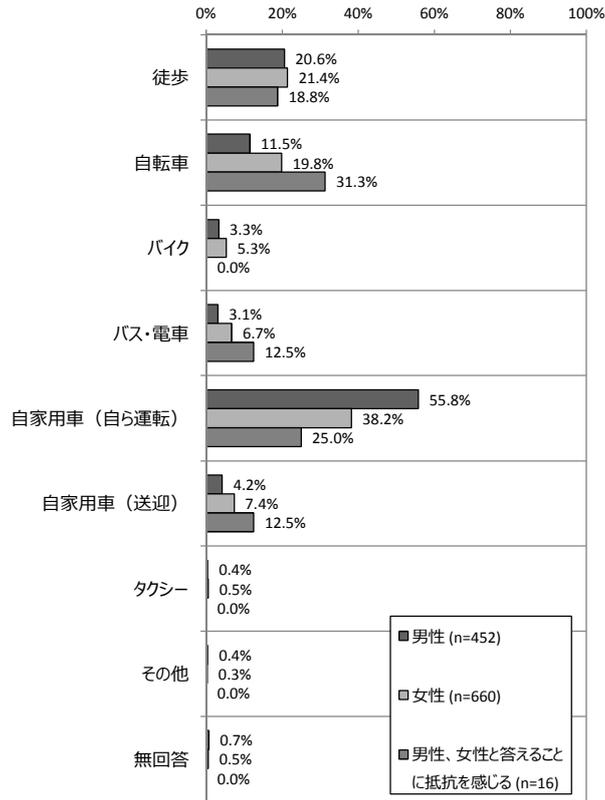
【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「自家用車（送迎）」の比率が高い。

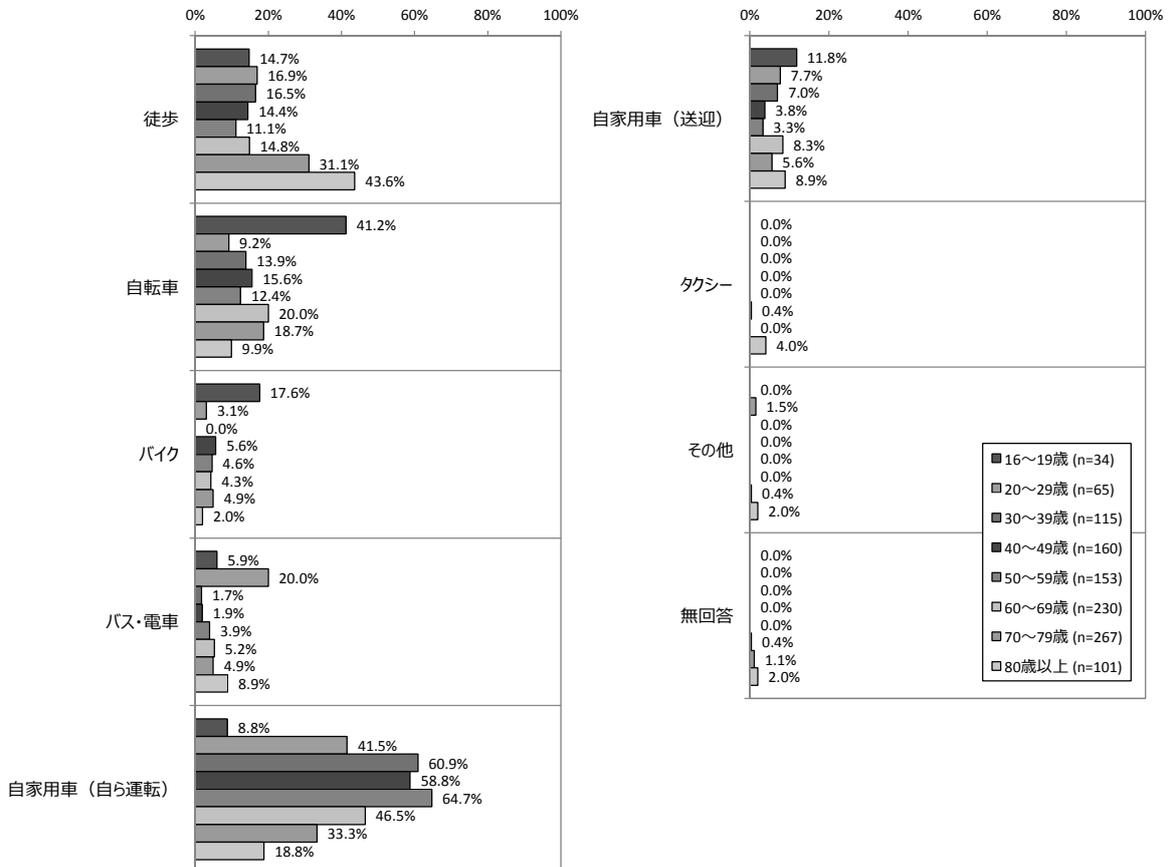
南中学校区は、他の地区に比べ「徒歩」の比率が高い。

第三中学校区は、他の地区に比べ「自家用車（自ら運転）」の比率が高い。

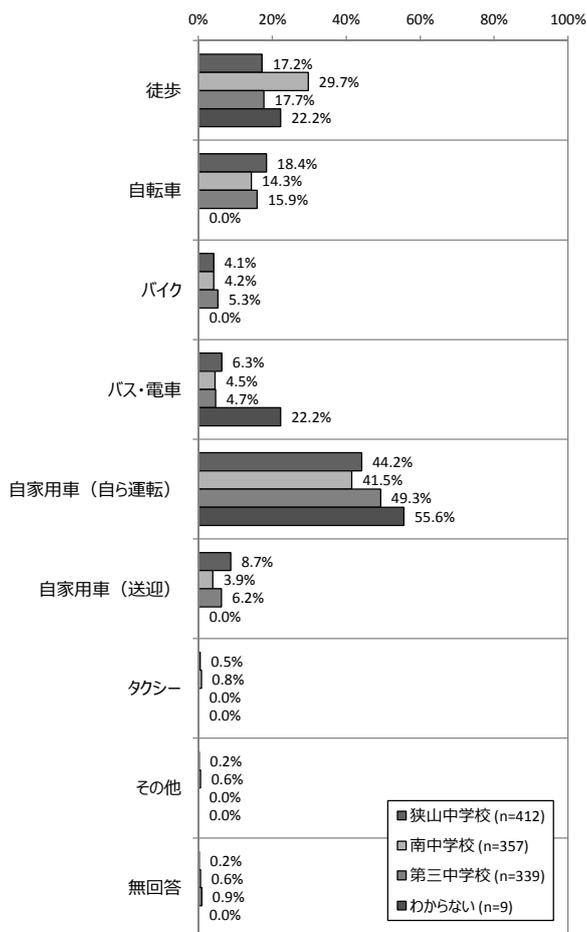
年齢別



年齢別



年齢別



【その他について】

その他には、5件（回答者は5人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

記述内容
手押しショッピングカート
電動車イス
シルバーカー
インターネット
買物に出ない

問6-12 あなたは、悪質商法の被害に遭わないよう、その手口を知るなどの心がけをしていますか。
(○は1つ)

【全体】

「心がけている」が70.7%で最も多くなっている。全体の7割以上が悪質商法の被害に遭わないように心がけている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

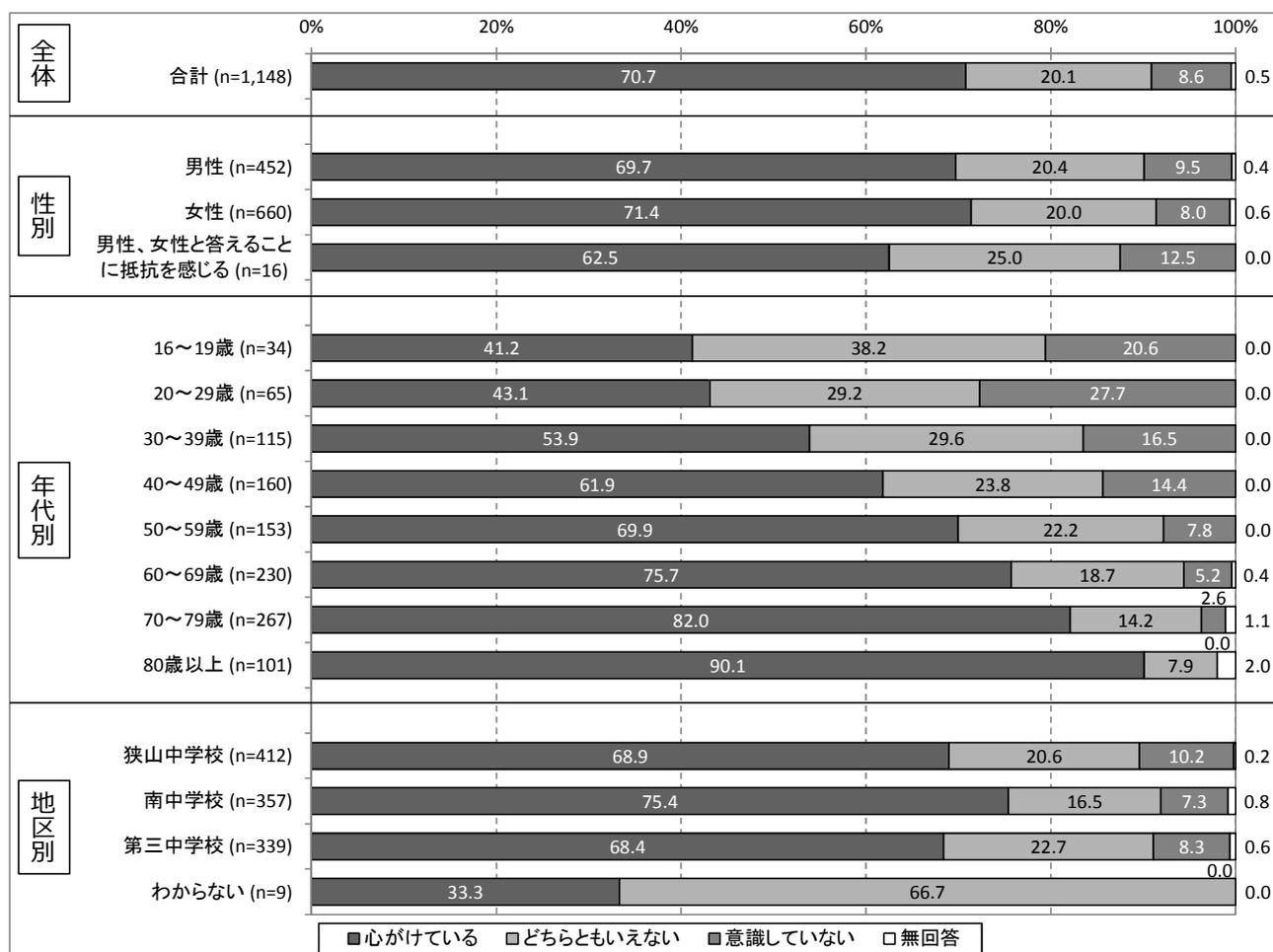
【年齢別】

10歳代～40歳代は、他の年代に比べ「意識していない」の比率が高い。

70歳代以上は、他の年代よりも「心がけている」の比率が高い。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。

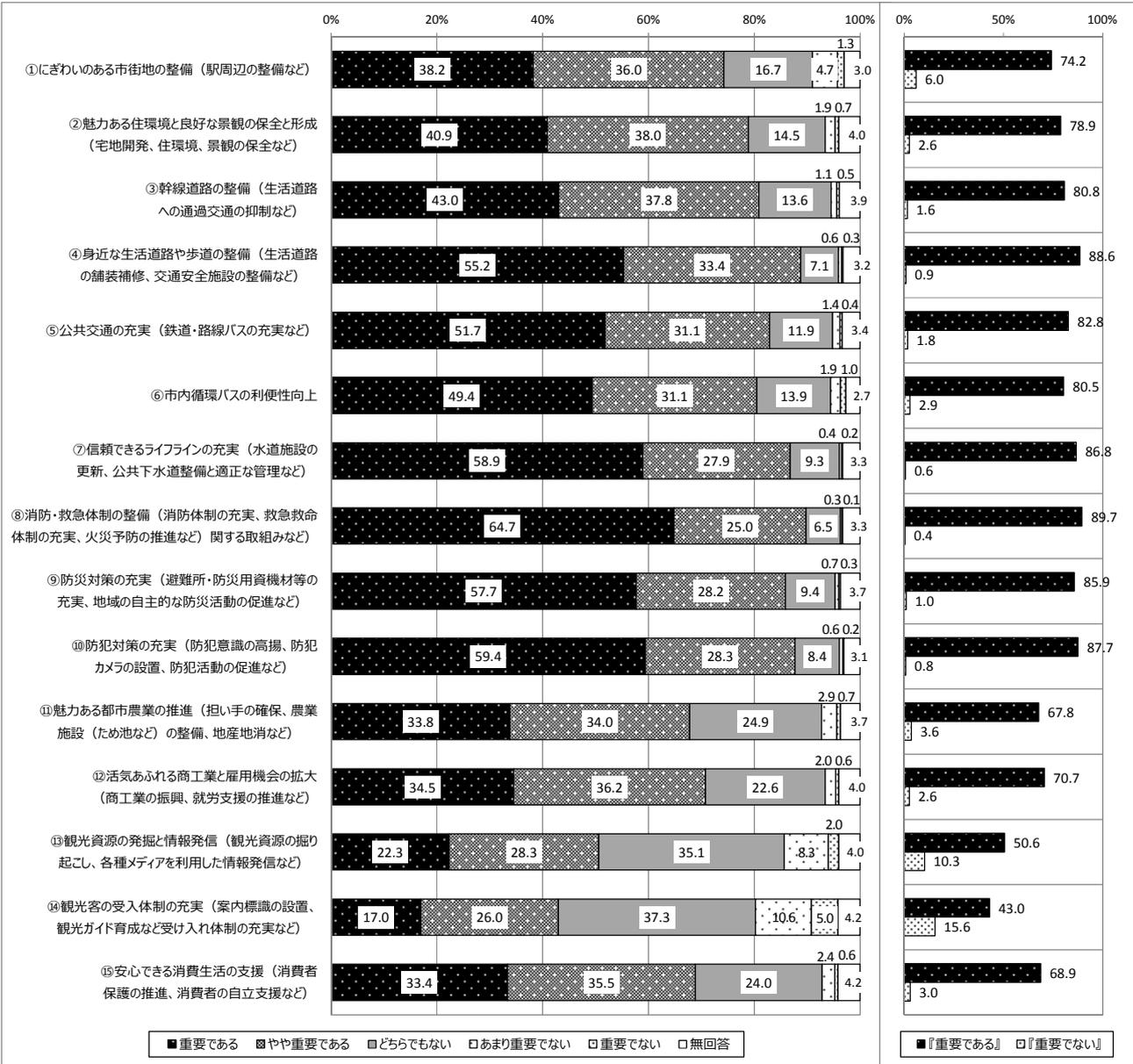


問6-13 現在、大阪狭山市が取り組んでいる次の施策について、その重要度と現状についての満足度をお聞きます。あてはまるものをお選びください。(項目ごとに○は1つずつ)

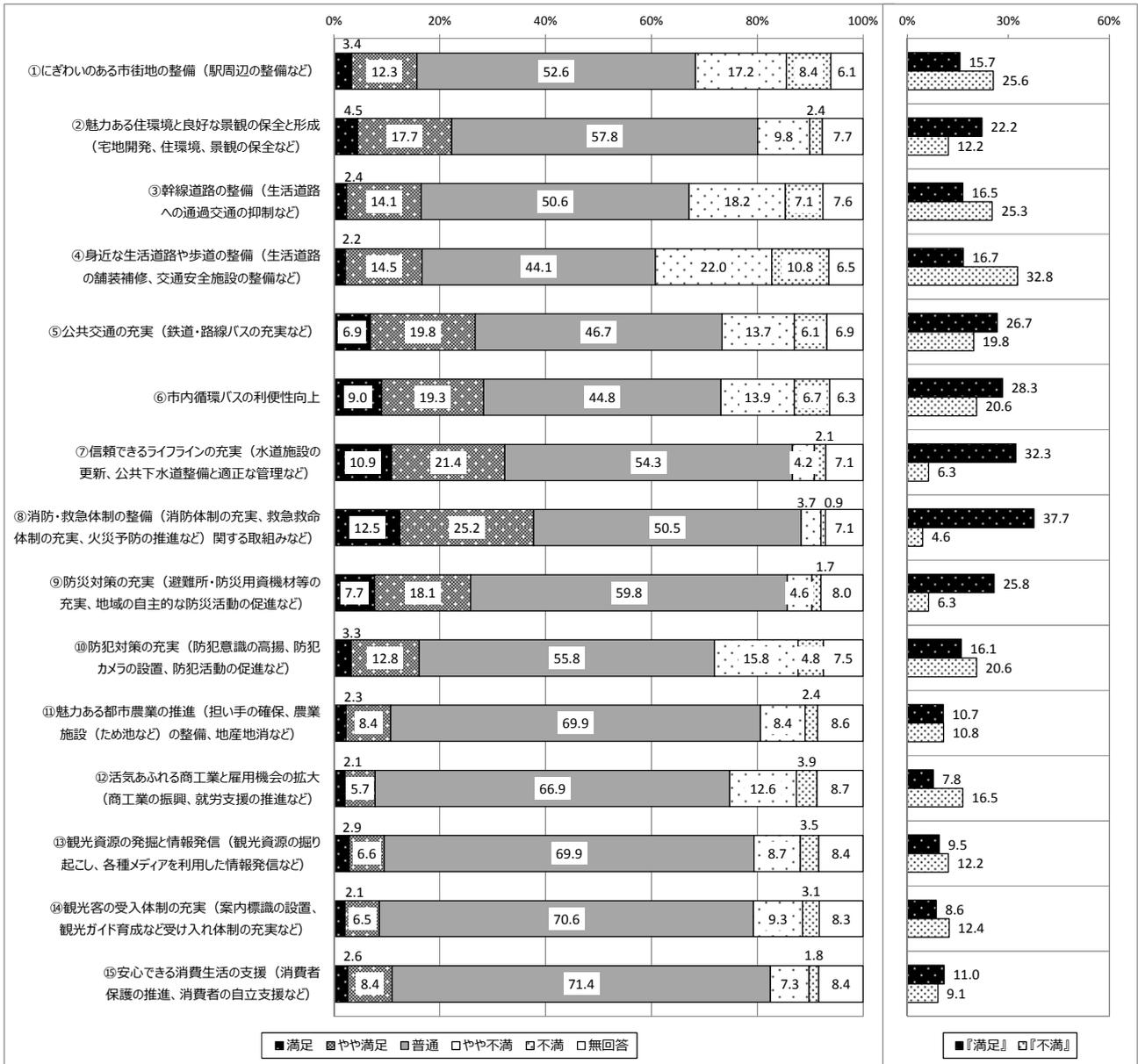
「重要である」と「やや重要である」を合わせた重要度が最も高いものは「消防・救急体制の整備（消防体制の充実、救急救命体制の充実、火災予防の推進など）」（89.7%）で、「身近な生活道路や歩道の整備（生活道路の舗装補修、交通安全施設の整備など）」（88.6%）が続いている。

「満足」と「やや満足」を合わせた満足度が最も高いものは「消防・救急体制の整備（消防体制の充実、救急救命体制の充実、火災予防の推進など）」（37.7%）で、「信頼できるライフラインの充実（水道施設の更新、公共下水道整備と適正な管理など）」（32.3%）が続いている。

【重要度】



【満足度】



◆ 『みんなで創る 持続可能なまち』 について

問7-1 あなたは、日頃、市政や地域の情報を入手する際に、インターネットを利用していますか。
(〇は1つ)

【全体】

「まったく利用していない」が32.5%で最も多く、「たまに利用している」が26.9%、「あまり利用していない」が22.5%で続いている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

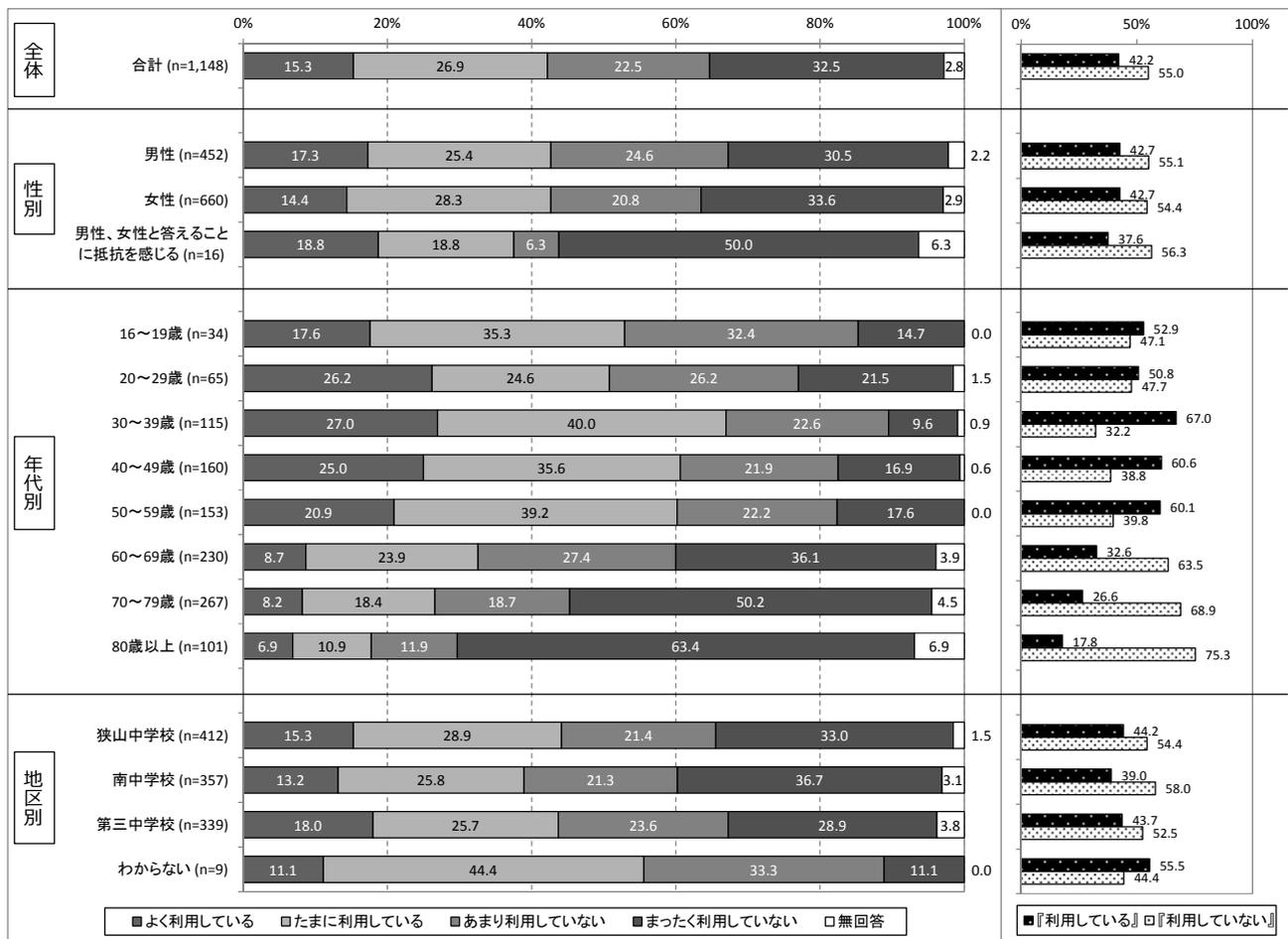
【年齢別】

30歳代～50歳代は、他の年代に比べ『利用している』（「よく利用している」と「たまに利用している」の計）の比率が高い。

60歳代以上は、他の年代に比べ『利用していない』（「あまり利用していない」と「まったく利用していない」の計）の比率が高い。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



問7-2 あなたは、市の広報誌を読んでいますか。(〇は1つ)

【全体】

「よく読んでいる」が49.0%で最も多くなっている。「よく読んでいる」と「たまに読んでいる」を合わせると84.5%となり、全体の8割以上が市の広報誌を読んでいる。

【性別】

女性は、男性に比べ『読んでいる』（「よく読んでいる」と「たまに読んでいる」の計）の比率が高い。

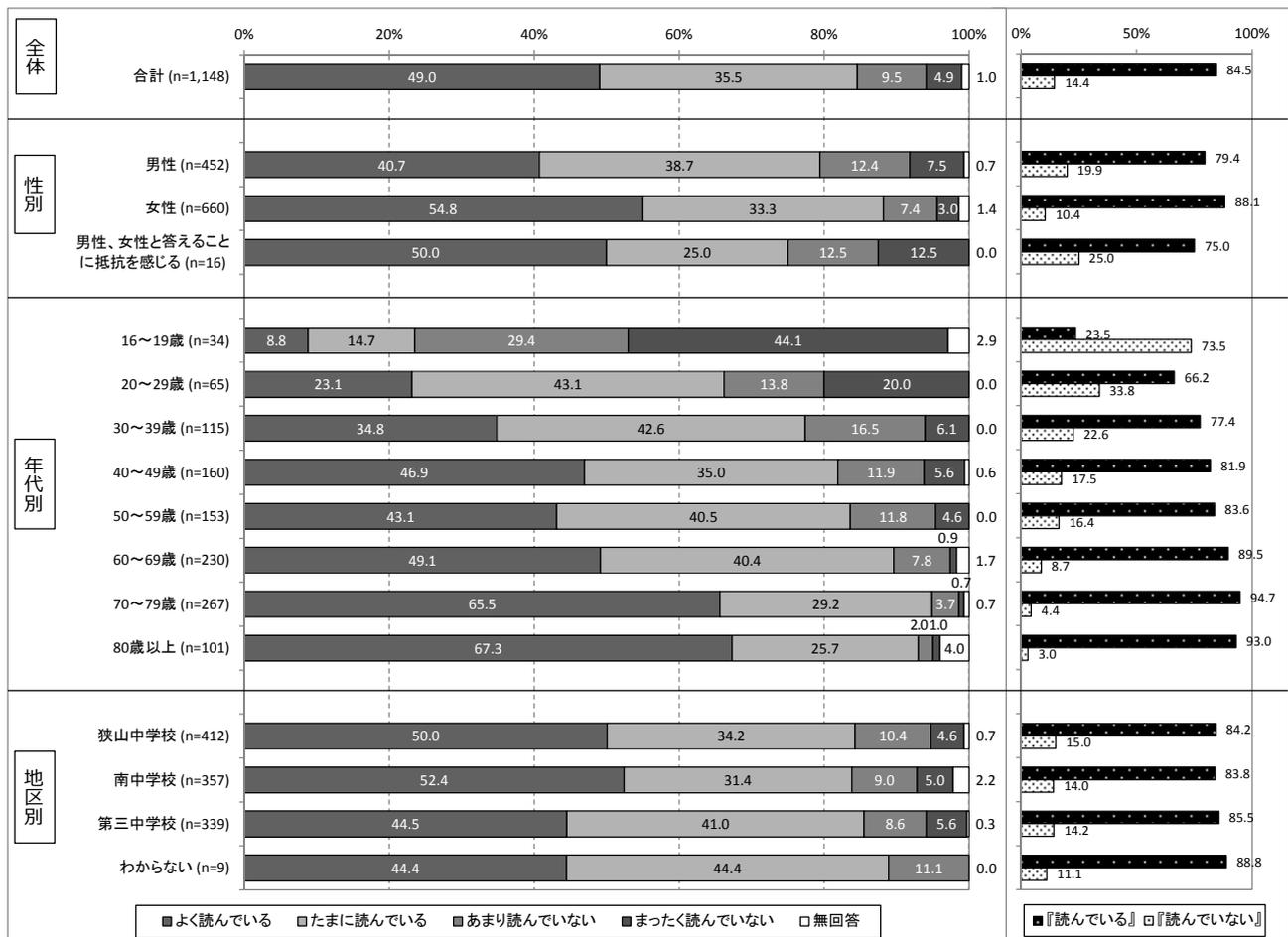
【年齢別】

10歳代～30歳代は、他の年代に比べ『読んでいない』（「あまり読んでいない」と「まったく読んでいない」の計）の比率が高い。

60歳代以上は、他の年代に比べ『読んでいる』の比率が高い。概ね年代が高くなるほど『読んでいる』の比率が高くなっている。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



問7-3 あなたは、次の項目について、さらに市の魅力情報を発信していくためには、何が重要だと思いますか。(〇は1つ)

【性別】

「広報誌」が46.0%で最も多く、「狭山池まつりなどのイベント」が20.0%、「ホームページ」が15.6%で続いている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

10歳代～30歳代は、他の年代に比べ「SNS（Facebook、LINE@など）」と「狭山池まつりなどのイベント」の比率が高い。

40歳代は、他の年代に比べ「ホームページ」と「SNS（Facebook、LINE@など）」の比率が高い。

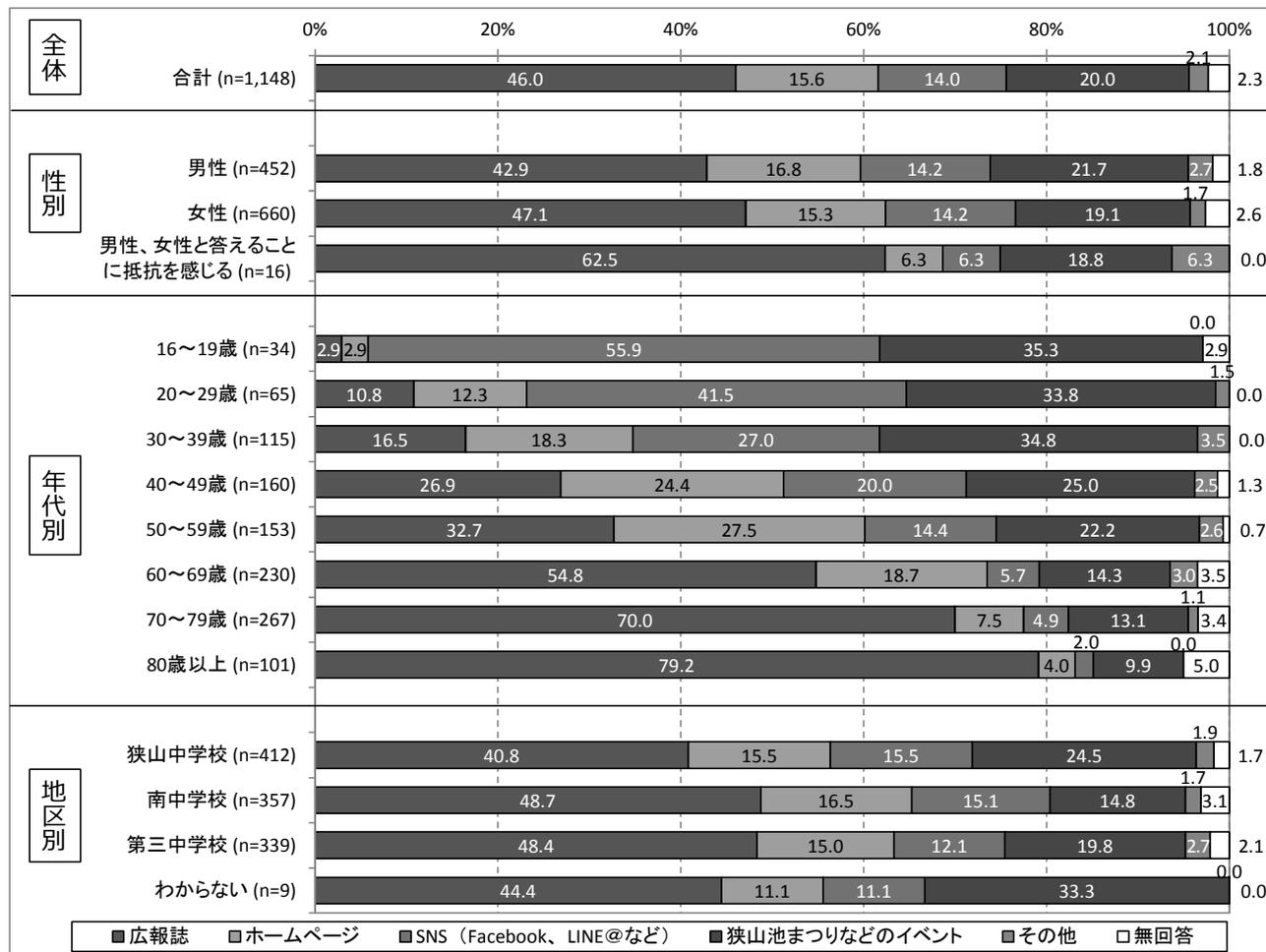
50歳代は、他の年代に比べ「ホームページ」の比率が高い。

60歳代以上は、他の年代に比べ「広報誌」の比率が高い。

年代が高くなるほど「広報誌」の比率が高くなり、「SNS（Facebook、LINE@など）」と「狭山池まつりなどのイベント」の比率が低くなっている。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区よりも「狭山池まつりなどのイベント」の比率が高い。



【その他について】

その他には、21件（回答者は20人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

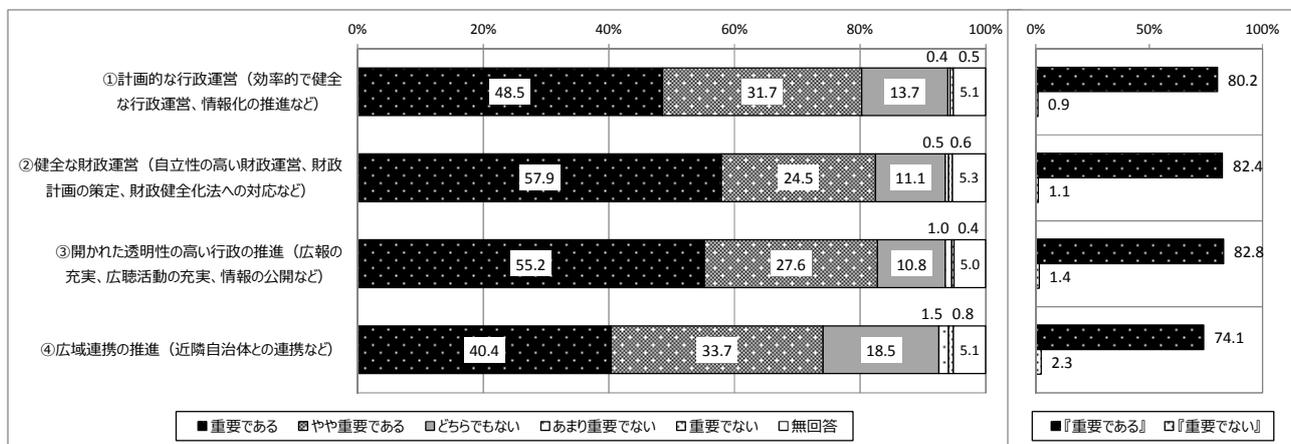
主な記述内容
観光資源創、充実、出来ないと言うところにスタートがある。大阪狭山に来ていただける「しかけ」。
飲食店、まちの面白い地域や人の話題など、市役所の人々の活動など報告。
誰に向けて、何を発信するかによる。
さやかホール
シティマラソン
コマーシャル
ふるさと納税
他にはない取組み
地域をまきこんだイベント
発信力、企画力
議会報告の検討
狭山池まつりなどのイベント取りやめる。
狭山池まつりを秋の涼しい頃にしてほしい。暑くて日中参加するのがしんどい。
春は花見客が多いのだから春こそ屋台を出して盛り上げて欲しい。
わからない。
必要ない。

問7-4 現在、大阪狭山市が取り組んでいる次の施策について、その重要度と現状についての満足度をお聞きます。あてはまるものをお選びください。(項目ごとに○は1つずつ)

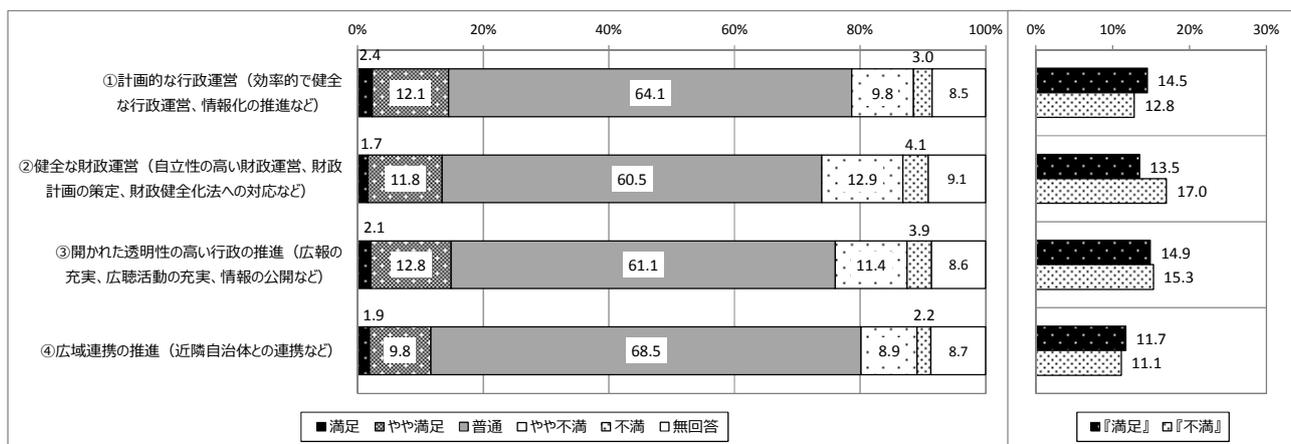
「重要である」と「やや重要である」を合わせた重要度が最も高いものは「開かれた透明性の高い行政の推進（広報の充実、広聴活動の充実、情報の公開など）」（82.8%）で、「健全な財政運営（自立性の高い財政運営、財政計画の策定、財政健全化法への対応など）」（82.4%）が続いている。

「満足」と「やや満足」を合わせた満足度が最も高いものは「開かれた透明性の高い行政の推進（広報の充実、広聴活動の充実、情報の公開など）」（14.9%）で、「計画的な行政運営（効率的で健全な行政運営、情報化の推進など）」（14.5%）が続いている。

【重要度】



【満足度】

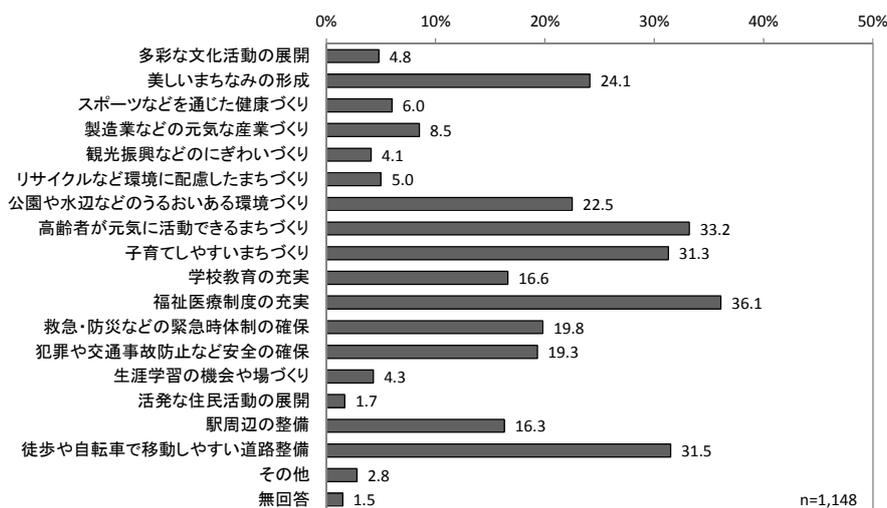


◆ 重点分野等について

問8-1 あなたは、大阪狭山市をずっと住み続けたいと思うまちにするためには、今後どのような分野に力を入れるべきだと思いますか。(○は3つまで)

【全体】

「福祉医療制度の充実」が36.1%で最も多く、「高齢者が元気に活動できるまちづくり」が33.2%、「徒歩や自転車で移動しやすい道路整備」が31.5%が続いている。



【性別】

男性は「スポーツなどを通じた健康づくり」、「公園や水辺などのうるおいある環境づくり」の比率が高く、女性は「福祉医療制度の充実」、「救急・防災などの緊急時体制の確保」、「徒歩や自転車で移動しやすい道路整備」の比率が高い。

【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ「駅周辺の整備」の比率が高い。

20歳代は、他の年代に比べ「子育てしやすいまちづくり」、「学校教育の充実」、「駅周辺の整備」の比率が高い。

30歳代は、他の年代に比べ「公園や水辺などのうるおいある環境づくり」、「子育てしやすいまちづくり」、「学校教育の充実」、「駅周辺の整備」の比率が高い。

40歳代は、他の年代に比べ「駅周辺の整備」の比率が高い。

60歳代は、他の年代に比べ「公園や水辺などのうるおいある環境づくり」、「福祉医療制度の充実」の比率が高い。

70歳代以上は、他の年代に比べ「多彩な文化活動の展開」、「高齢者が元気に活動できるまちづくり」の比率が高い。

「駅周辺の整備」は、概ね年代が低くなるほど比率が高くなっている。

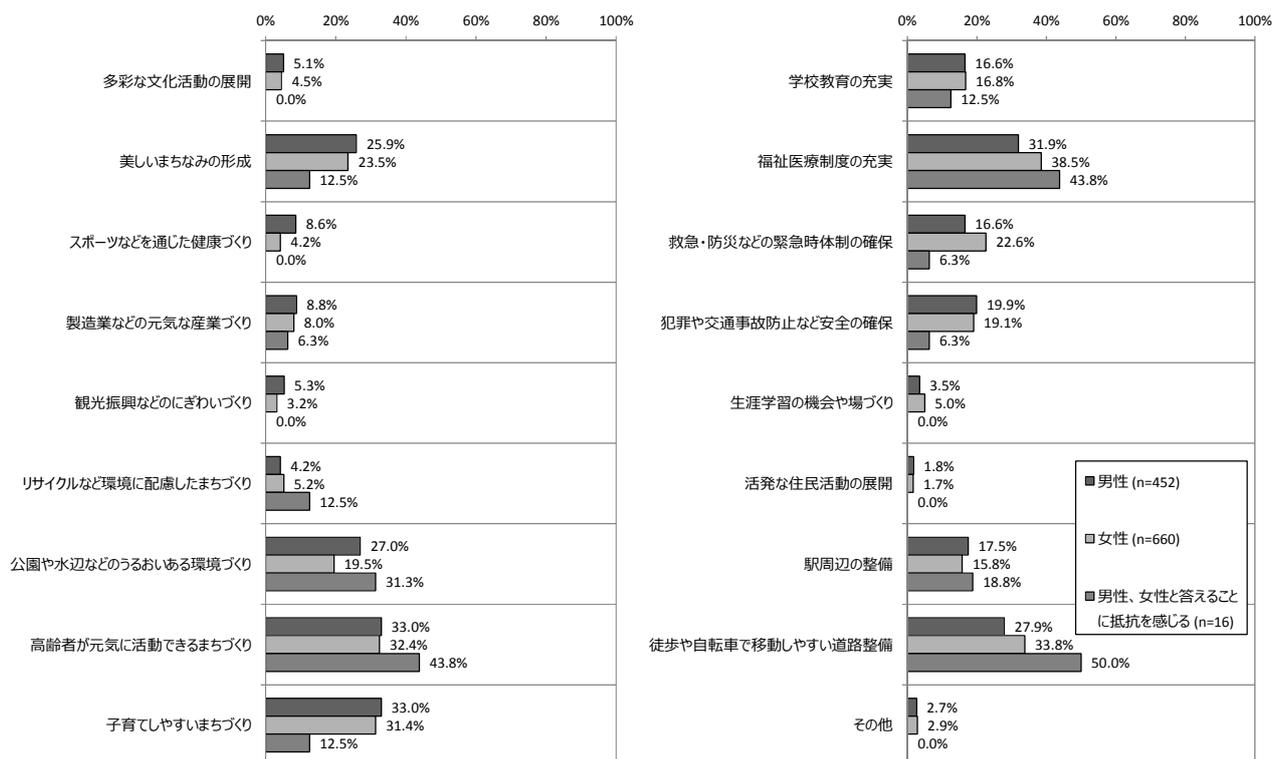
【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「学校教育の充実」、「駅周辺の整備」の比率が高い。

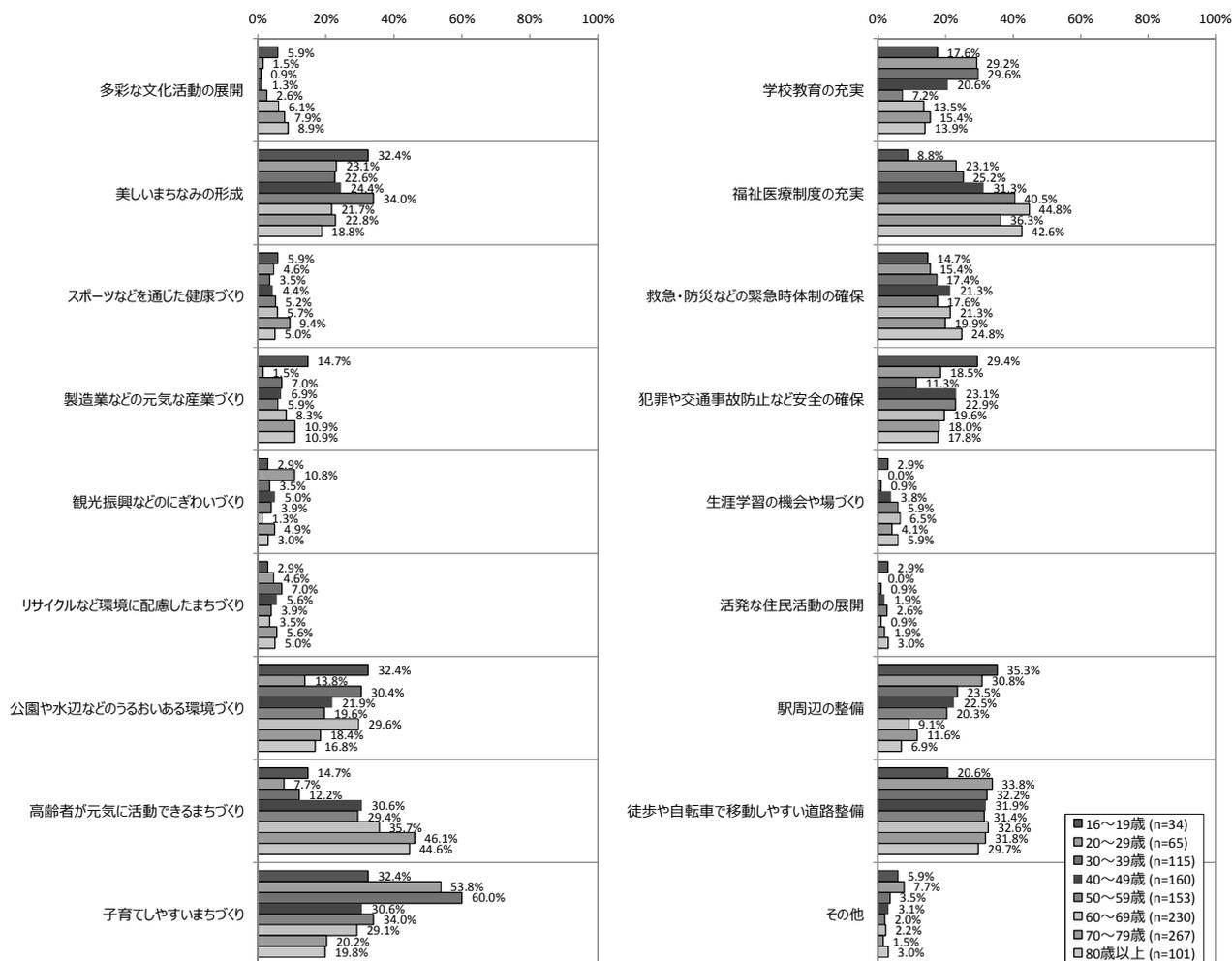
南中学校区は、他の地区に比べ「高齢者が元気に活動できるまちづくり」、「福祉医療制度の充実」の比率が高い。

第三中学校区は、他の地区に比べ「徒歩や自転車で移動しやすい道路整備」の比率が高い。

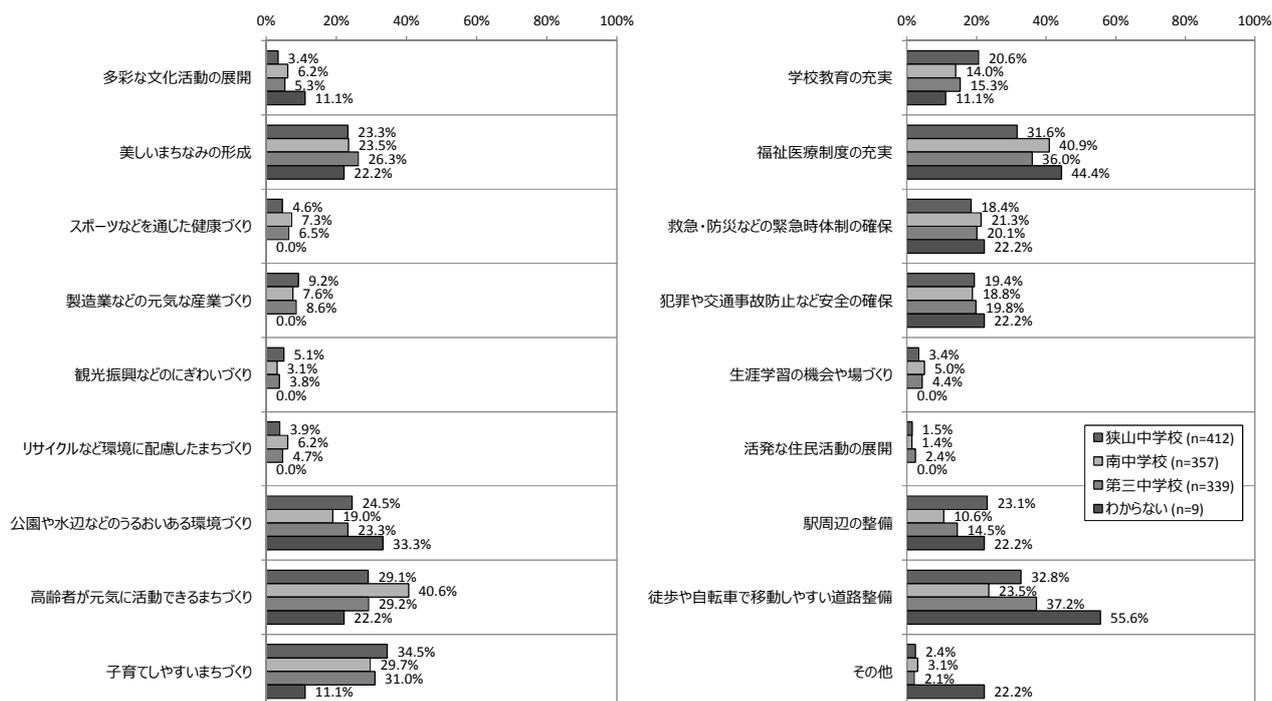
性別



年齢別



地区別



【その他について】

その他には、30件（回答者は30人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。最も多いのは「商業施設について」で、次に多いのが「公共交通について」である。

記述内容	件数	主な記述内容
商業施設について	8	狭山駅近くにスーパーを。
		日常の買い物のできる店を作る。
		商店街、市場の充実。
		充実した商業施設。市外に行かなくてもよいように。
		もっと若い人のため、遊べる場所を増やす。(美味しいお店、カフェなど)
公共交通について	4	公共交通の充実。
		免許返納後生活に不自由のないまちづくり。高齢者の免許証返納をいうのであれば、「そういうまちづくりをしたから、返納して下さい」が筋。
若者支援について	3	若者に魅力のあるまちづくり。
		独身の人の税を安くする。
		現役世代の収入上げる。
公共施設について	3	プール。
		公共施設多様な活用。
		下水のインフラの更新。
近大病院跡地について	3	近大病院の誘致の税収入どうするか。
		大学病院の存続。
		道の駅等の青果物店。(近大跡地)
その他	8	水害対策。
		保育所は増えても学童が足りてない。3年生で入れずとても困っている。放課後、校庭や教室に居場所がほしい。
		一人暮らしの高齢者が安心して生活できる市の経営する費用の安い入居施設。
		雇用問題改善。
		日常的な国際交流。
		北から南へ細長い大阪狭山市は充実している所としていない所の差がありすぎる。
		合併
市民の愛郷心を育む。		
なし	1	

問8-2 あなたは、現在住んでいる場所（地区）について、今後、どのような施設等が必要だと思いますか。（〇は1つ）

【全体】

「商業施設」が26.1%で最も多く、「健康福祉施設」が25.8%、「公園・緑地」が15.2%で続いている。

【性別】

男性は、女性に比べ「公園・緑地」の比率が高い。

女性は、男性に比べ「商業施設」の比率が高い。

【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ「学校」の比率が高い。

20歳代と50歳代は、他の年代に比べ「商業施設」の比率が高い。

30歳代は、他の年代に比べ「公園・緑地」の比率が高い。

70歳代以上は、他の年代に比べ「健康福祉施設」の比率が高い。

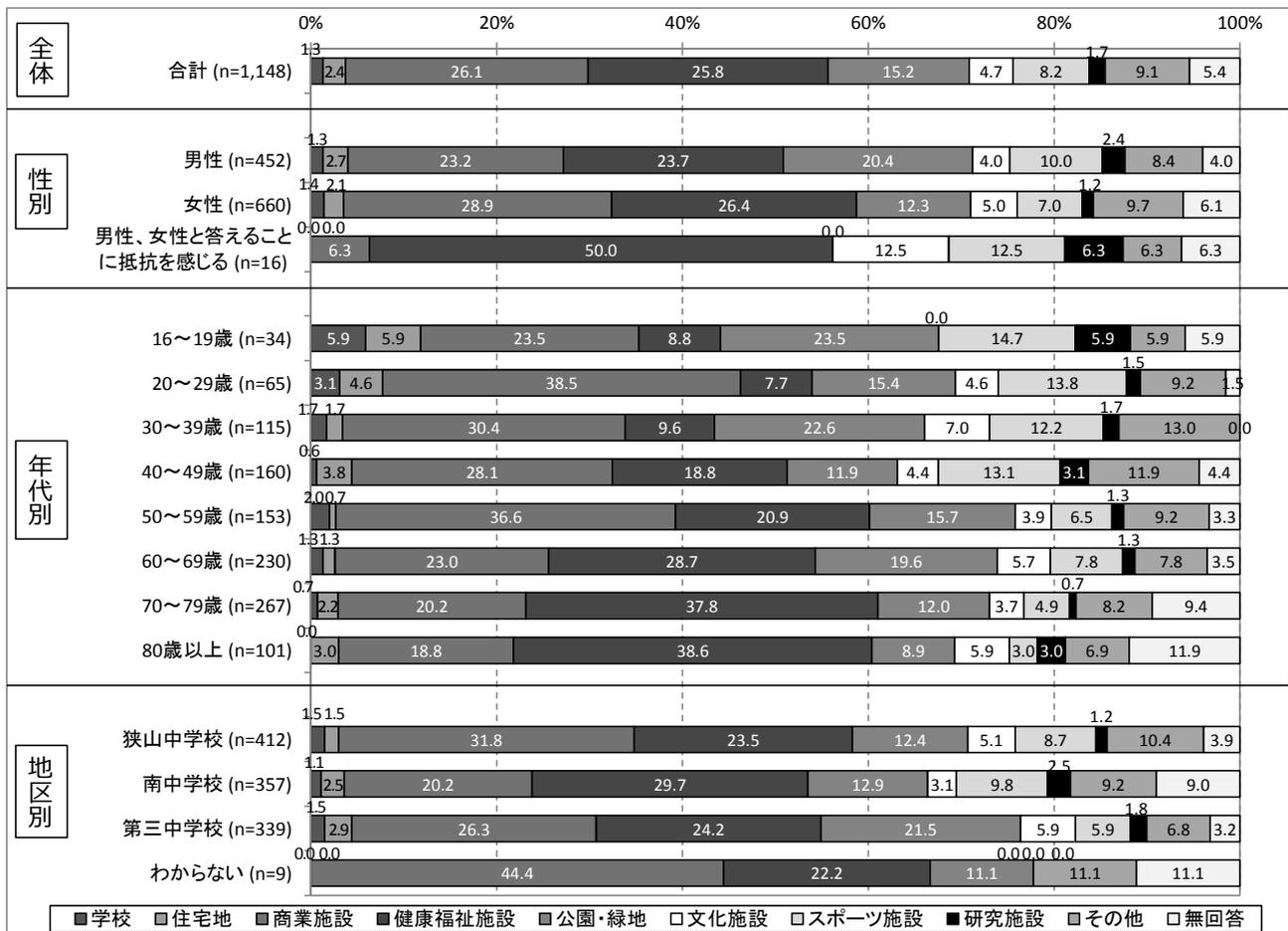
有意な差は認められないが、10歳代～40歳代で「スポーツ施設」の比率が高い。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「商業施設」の比率が高い。

南中学校区は、他の地区に比べ「健康福祉施設」の比率が高い。

第三中学校区は、他の地区に比べ「公園・緑地」の比率が高い。



【その他について】

その他には、99件（回答者は99人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。最も多いのは「医療施設」で、次に多いのが「商業施設」である。

記述内容	件数	主な記述内容
医療施設	19	かかりつけ医となれる病院
		市民病院
		総合病院 近大の跡地
		大学病院もしくは、それに相当する大病院
		大規模病院
		医院。耳鼻科。
		近大附属病院の存続する事(大野台か、金剛イオンに)
		小児科
商業施設	5	スーパー
		道の駅等商業施設
図書館	4	図書館
保育施設等	4	保育園・学童
		長期休み、放課後の子どもの居場所
スポーツ施設	3	市民プール
		プール、スケートリンク
		気軽にキャッチボールできるスペース
飲食店	2	飲食店
コンビニ	2	コンビニ
大学	2	大学
フリースペース	2	市役所内にいこいのスペース、前居住地(京都市上京区)にあり、多くの方が利用されていた。
		フリーに利用できる市民スペース図書館とカフェを一体にした自由空間、運営のため有料でも 広い方がよい
温泉施設	1	温泉施設
学習スペース	1	勉強することができる施設。年齢制限のないところ
公園	1	現在ある公園施設の適切な維持管理
国際交流施設	1	国際交流ができる場所
コミュニティ施設	1	コミュニティ施設
娯楽施設	1	楽しめる施設
駐車場	1	駐車スペース(イベント来客用)
プラネタリウム	1	プラネタリウム
老人施設	1	老人ホーム
その他	14	空家の整備。
		色々な施設を作るのは良いが、今ある施設を使って作るべき。
		これ以上住宅が建たないこと。
		散歩コースの椅子。
		自然を残して欲しい。家の建てすぎ。
		バスの交通網。
		交通機関
		若者を引寄せする要素。
道路		
わからない	1	
ない	32	

◆ 人口減少対策について

問9-1 大阪狭山市の人口は現在約5万8千人ですが、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、人口減少がそのまま進めば令和22年(2040年)には約4万9千人と、現在より2割近く減少すると推計されています。将来、大阪狭山市の人口が減少する予測がされていることをご存知でしたか。(○は1つ)

【全体】

「はい」が53.3%で、「いいえ」を上回っている。

【性別】

男性は、女性に比べ「はい」の比率が高い。

【年齢別】

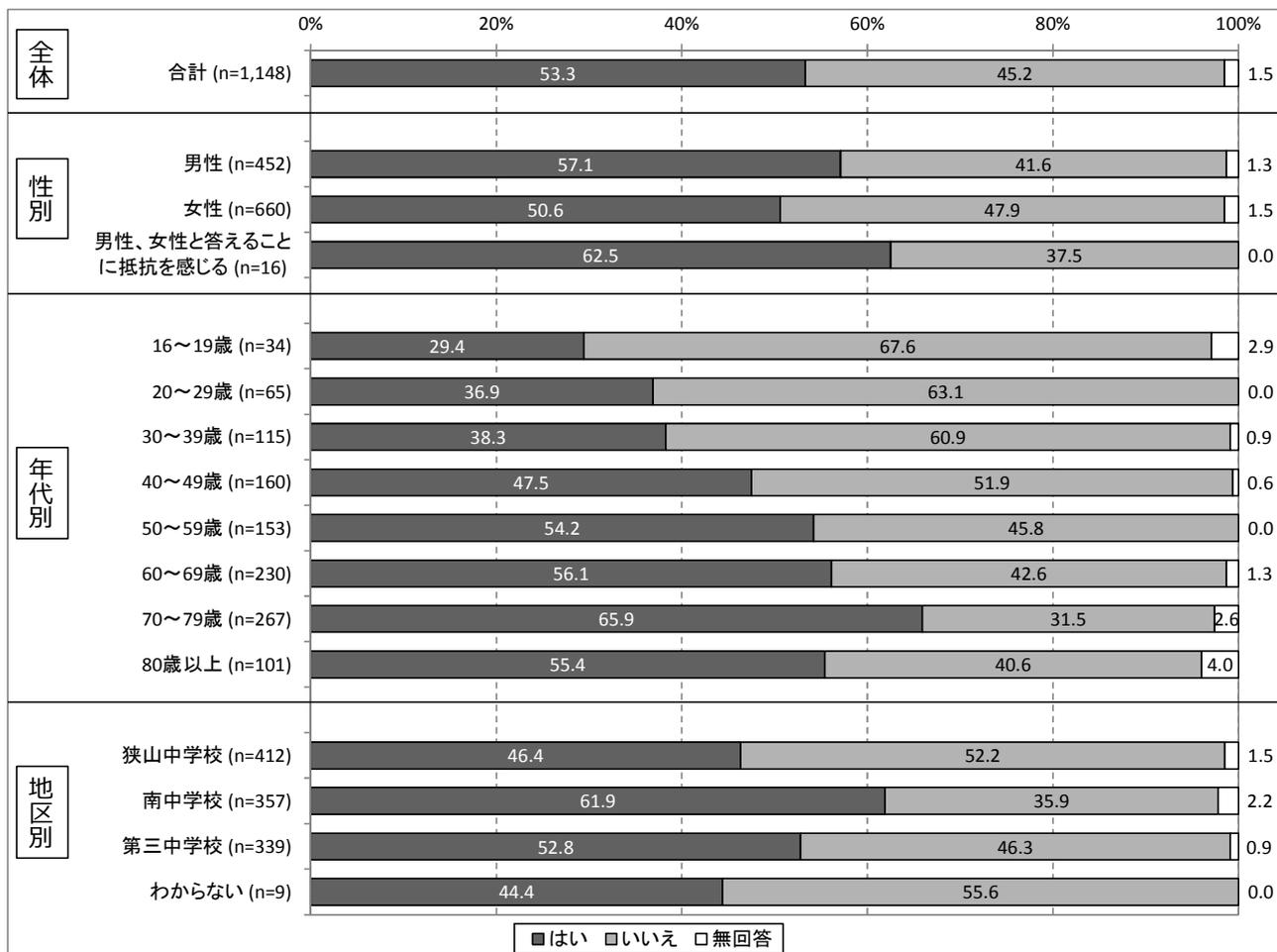
10歳代~30歳代は、他の年代に比べ「いいえ」の比率が高い。

70歳代は、他の年代に比べ「はい」の比率が高い。

【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「いいえ」の比率が高い。

南中学校区は、他の地区に比べ「はい」の比率が高い。



問9-2 人口減少を克服し、活力ある社会をめざして大阪狭山市が取り組むべきことについて、最も重視すべきことは何だと思えますか。(○は1つ)

【全体】

「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」が29.5%で最も多く、「くらしの安全・安心を守る」が25.5%、「地域への新しいひとの流れをつくる」が22.4%で続いている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

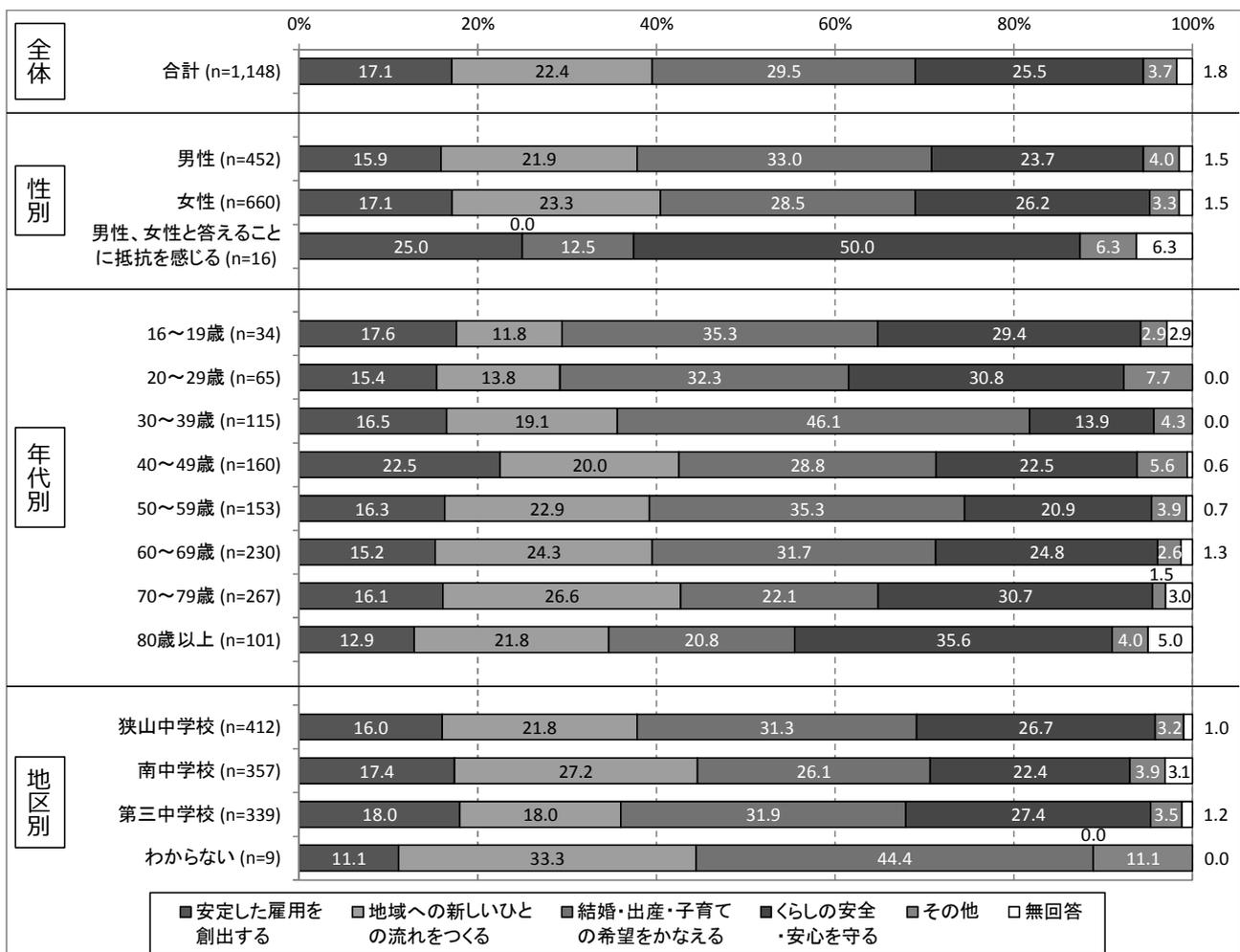
30歳代は、他の年代に比べ「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の比率が高い。

40歳代は、他の年代に比べ「安定した雇用を創出する」の比率が高い。

70歳代以上は、他の年代に比べ「くらしの安全・安心を守る」の比率が高い。

【地区別】

有意な差は認められないが、南中学校区は他の地区に比べ「地域への新しいひとの流れをつくる」の比率が高い。



【その他について】

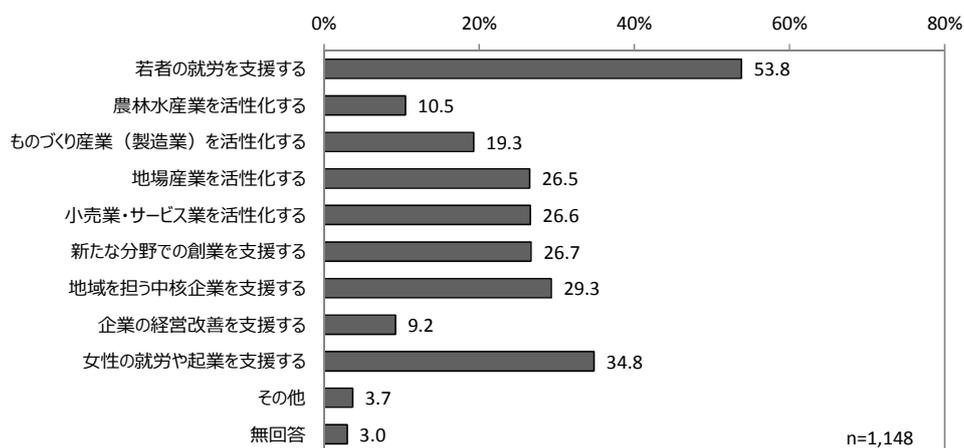
その他には、45件（回答者は37人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

カテゴリー	件数	記述内容
医療	3	医療体制の充実
合併	3	合併 他の地域と合併。 堺市と合併する
若者支援	3	20代～40代への経済的支援。医療費免除。 子ども、老人に対する支援ではなく、働きざかり世代に対する支援を手厚くすべき
教育機関の誘致	3	学校、研究室等の誘致。 財政難にならないような学校などの安全性の高い団体への土地の提供と安全の確保
外国人の受け入れ	2	外国人技能実習生に居住場所と暮らしやすいサービスを提供する。大阪狭山市を拠点に生活してもらえよう。 外国人の居住と受け入れ。
企業誘致	2	商工業の誘致。 財政難にならないような企業への土地の提供と安全の確保。
教育	2	学校教育の向上
公共交通	2	バス、電車の無償化。 駅までに行く交通手段が不便である。
子育て支援	2	20代～40代への経済的支援。結婚・出産・子育ての希望を叶える。 育児サービスと補助金の充実。
社会保障	2	健康保険料等の見直し
情報発信	2	対外的に現在の大阪狭山市の良い所をもっと広くアピールする。良い市だが知名度がなさすぎる。
人口減少	2	減少した人口でやっていく方法を模索すべき、世界中で。 人口減少によりどういう問題が発生するのか、何が問題なのかを示さないと何をすべきかは論じられないのではないか？
病院誘致	2	近大病院移転後の病院誘致
福祉	2	福祉の充実
税金	2	税金の見直し
地域コミュニティ	2	年がいても安心して地域で連携していける仕組み。 世代間交流の場づくり
利便性	2	何をしても不便。 企業（南海とか）と協力して利便性が向上すべき
高齢者支援	1	老人が逃げ出さない町。
住宅	1	住環境の整備
商業施設	1	外食するところも、おいしい店もない。
生活の利便性	1	生活の利便性。
保育・学童	1	学童の待機をなくす
その他	2	

**問9-3 安定した雇用を創出する（仕事をつくり、安心して働けるようにする）ため、大阪狭山市は
 といったことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）**

【全体】

「若者の就労を支援する」が53.8%で最も多く、「女性の就労や起業を支援する」が34.8%、「地域を担う中核企業を支援する」が29.3%で続いている。



【性別】

男性は、女性に比べ「新たな分野での創業を支援する」と「企業の経営改善を支援する」の比率が高い。
 女性は、男性に比べ「女性の就労や起業を支援する」の比率が高い。

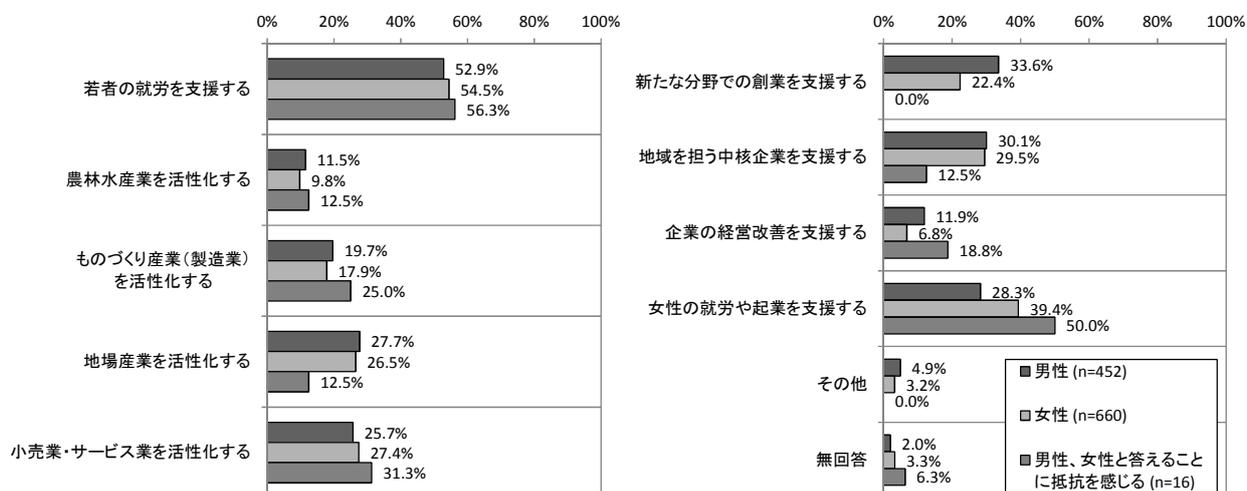
【年齢別】

50歳代は、他の年代に比べ「小売業・サービス業を活性化する」の比率が高い。
 80歳以上は、他の年代に比べ「ものづくり産業（製造業）を活性化する」の比率が高い。

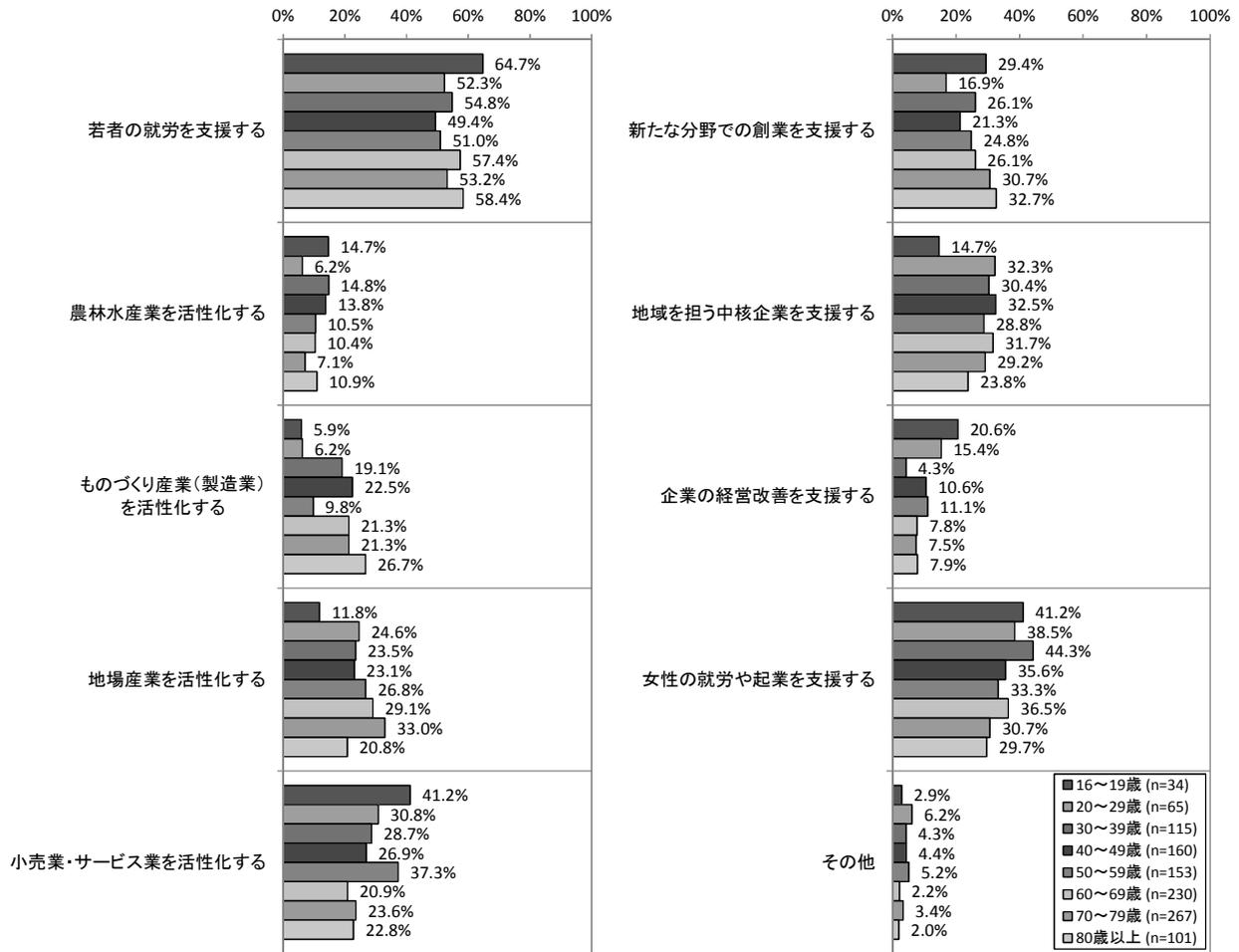
【地区別】

地区による大きな違いは見られない。

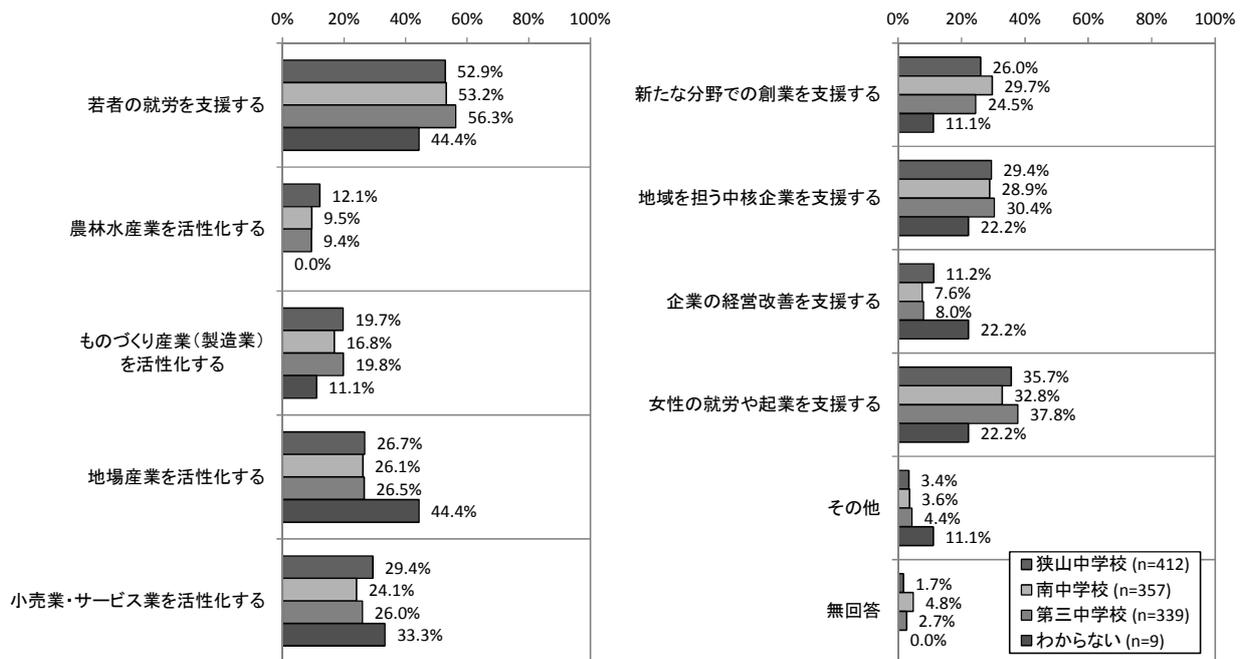
性別



年齢別



地区別



【その他について】

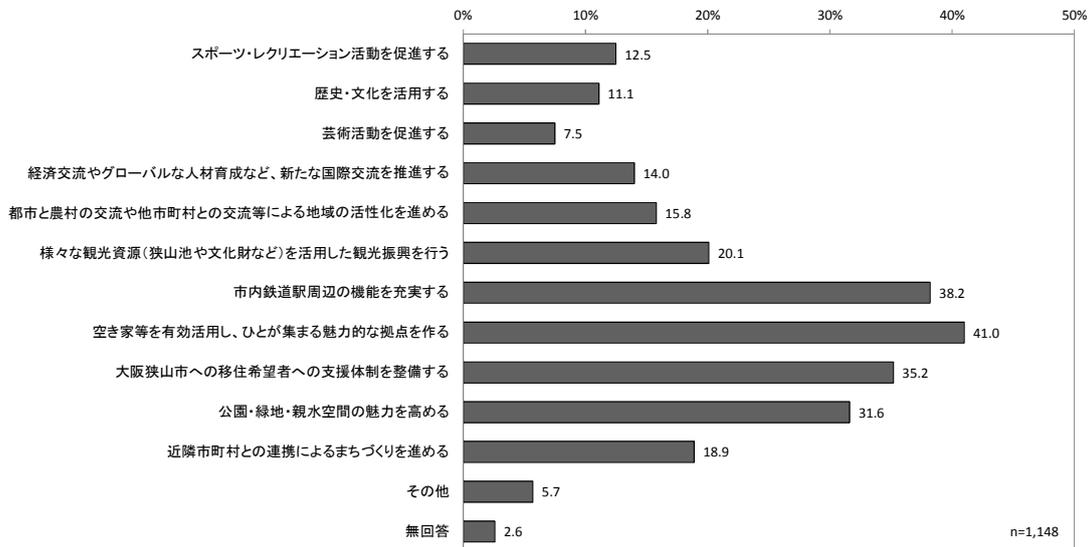
その他には、44件（回答者は40人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。最も多いのは「企業誘致」で、次に多いのが「雇用の促進」である。

記述内容	件数	主な記述内容
企業誘致	11	AI産業を呼ぶ。
		IT産業などを積極的に大阪狭山市に呼び込む取り組みが必要。
		優良企業誘致
雇用の促進	6	中高年の雇用支援。
		まだ働ける老人が多く存在する。それに対して雇用は少なく、企業の求めている人材にあてはまりにくい。そこを改善すれば雇用が生まれてくるはず。学校のPTA活動の中には地域の老人が替わって担える仕事もある。共働き家庭が多い又はシングルマザーなど学校行事の準備に時間を割けない人も多い。時間のある老人にお手伝いとこづかい稼ぎにも良いと思う。
		障がい者雇用強化
		幼稚園までの子どもを持つ母親の就労を支援する。
保育・学童の充実	4	保育園をつくる
		保育所、学童に希望者が全員入れるようにする。
病院誘致	3	近大病院の誘致。病院が無くなると、治安も悪化、地価も下がる。
		病院の誘致。
企業への優遇措置	2	企業・法人に対する税を下げる。
		近大や浅野歯車、ミノルタ、ホンダ学園が大阪狭山市から撤退しない様に、税などで優遇を忘れない事。
土地の活用	2	空き地の格安貸し出し。
		近大病院跡地の活用。
市の認知度の向上	2	市外イベントへの積極的な出展。
		大阪狭山市出身有名人へのPR依頼。知名度向上活動からスタートすべきと思う。
大学誘致	2	大学誘致
		健全であった大学2校を復活させる。
駅周辺の活性化	1	駅周辺の活性化。
観光振興	1	南河内広域の観光施策。医療インバウンドの推進等(近大跡地の活用)。民間ファンドの活用。(オリックス等大和ハウス不動産リート)
産業振興	1	観光(創出)難しい。他に何が創れるか。産業の創出→今、分からないことを行政・市長一体で一つ一つ確かめていく。
自然環境の保全	1	農地の確保と緑地の創造。
商業振興	1	地元での消費を活発にする。
生活環境の向上	1	安らげる居住のための環境づくり。
賃金の引き上げ	1	実働労働時間長い人の賃金が安すぎる。
特産品の活用	1	ぶどうを生かした物づくりをする。
その他	2	
わからない	2	

問9-4 大阪狭山市への新しいひとの流れをつくる（新たにひとを呼び込む）ため、大阪狭山市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

【全体】

「空き家等を有効活用し、ひとが集まる魅力的な拠点を作る」が41.0%で最も多く、「市内鉄道駅周辺の機能を充実する」が38.2%、「大阪狭山市への移住希望者への支援体制を整備する」が35.2%で続いている。



【性別】

男性は、女性に比べ「スポーツ・レクリエーション活動を促進する」、「歴史・文化を活用する」、「様々な観光資源（狭山池や文化財など）を活用した観光振興を行う」、「公園・緑地・親水空間の魅力を高める」の比率が高い。

女性は、男性に比べ「近隣市町村との連携によるまちづくりを進める」の比率が高い。

【年齢別】

10歳代、30歳代、60歳代は、他の年代に比べ「公園・緑地・親水空間の魅力を高める」の比率が高い。

20歳代は、他の年代に比べ「大阪狭山市への移住希望者への支援体制を整備する」の比率が高い。

40歳代～50歳代は、他の年代に比べ「市内鉄道駅周辺の機能を充実する」の比率が高い。

70歳代は、他の年代に比べ「歴史・文化を活用する」と「様々な観光資源（狭山池や文化財など）を活用した観光振興を行う」の比率が高い。

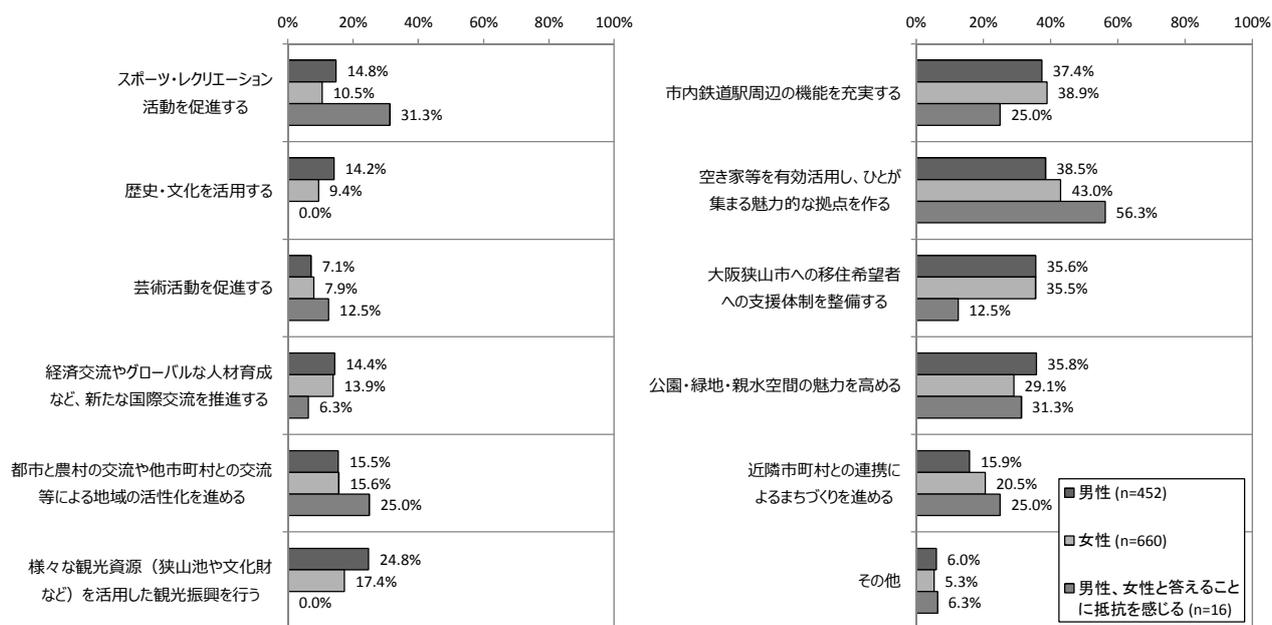
80歳以上は、他の年代に比べ「様々な観光資源（狭山池や文化財など）を活用した観光振興を行う」、「大阪狭山市への移住希望者への支援体制を整備する」、「近隣市町村との連携によるまちづくりを進める」の比率が高い。

【地区別】

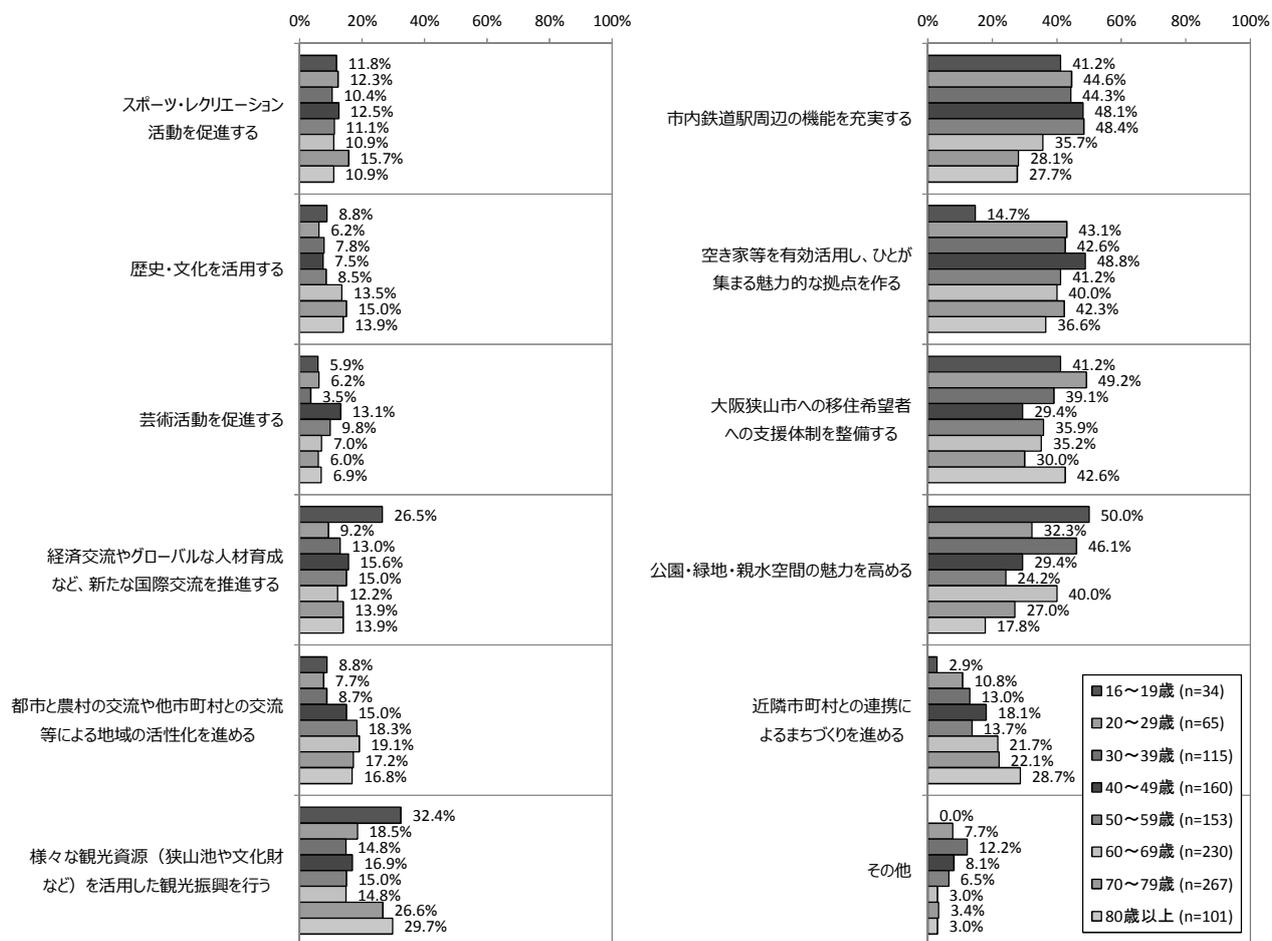
狭山中学校区は、他の地区に比べ「市内鉄道駅周辺の機能を充実する」と「公園・緑地・親水空間の魅力を高める」の比率が高い。

南中学校区は、他の地区に比べ「空き家等を有効活用し、ひとが集まる魅力的な拠点を作る」と「大阪狭山市への移住希望者への支援体制を整備する」の比率が高い。

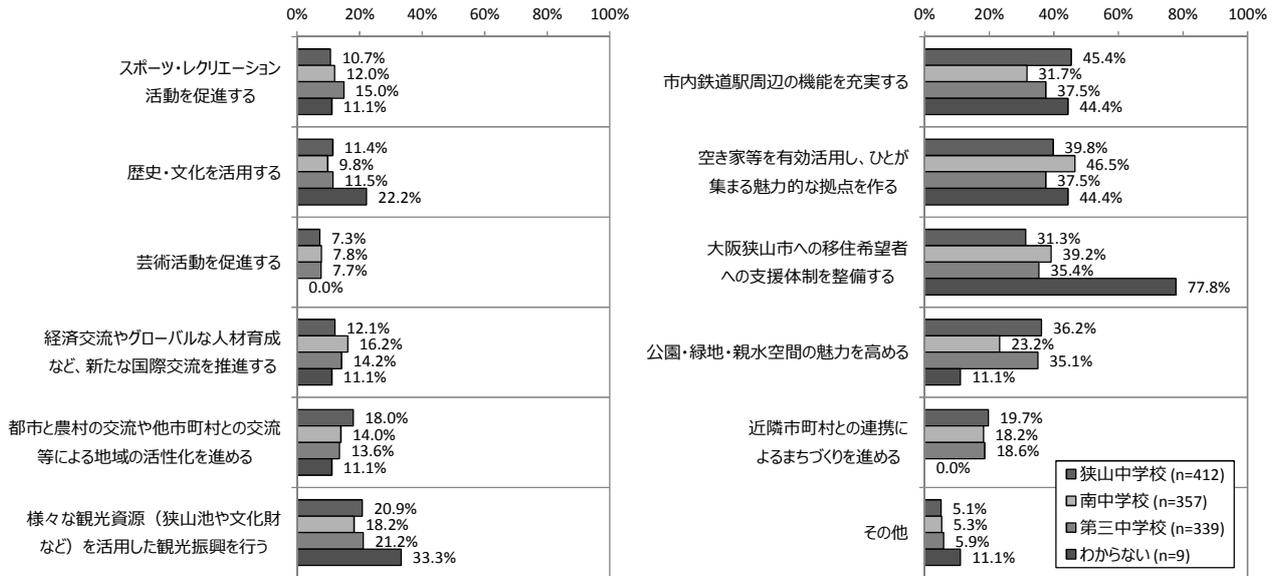
性別



年齢別



地区別



【その他について】

その他には、73件（回答者は60人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。最も多いのは「産業・交流」に関する記述で、次に多いのが「行財政」に関する記述である。

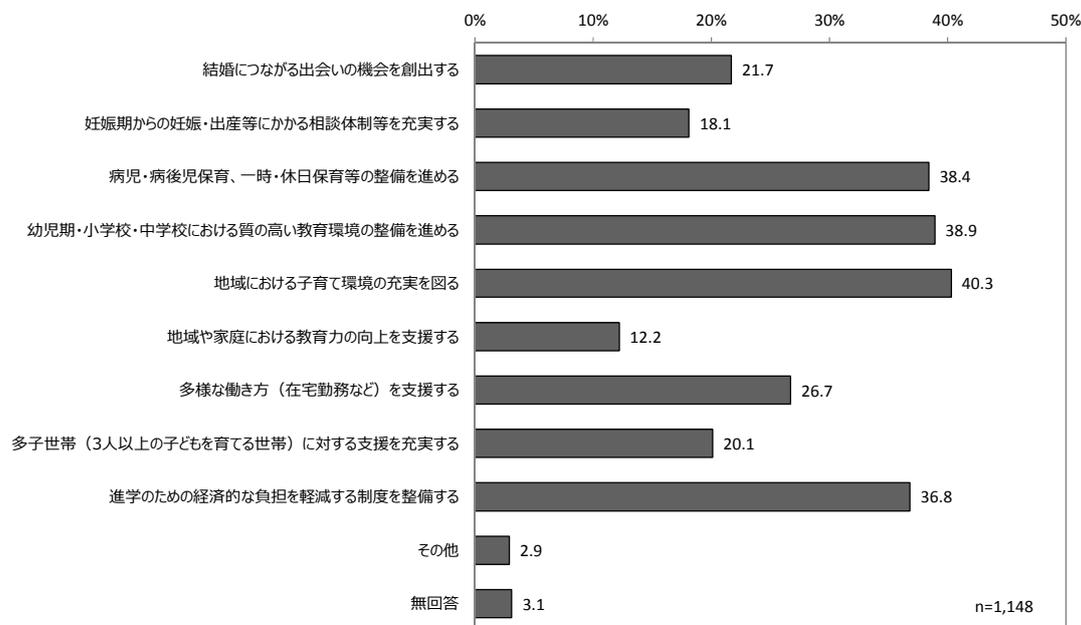
カテゴリー		件数	主な記述内容
産業・交流	商業施設の設置	17	道の駅等誘致
			ショッピングモール等の誘致
			大型商業施設の設置
			魅力ある商業施設の誘致（日常用品←（食料及び衛生用品）以外ほとんど市外にて買物している）
	企業誘致		企業誘致、IT
	商工業等誘致		
	第3次産業に着目する企業誘致		
	雇用の促進	雇用支援	
	農業振興	農業	
行財政	情報発信	16	育児バックや、子育て支援センターの設備など、子育てするのに良い環境が整っている、魅力をもっと発信する。
			出身有名人からPRしてもらう
			大阪狭山市名物となる飲食や施設公園などをつくる。→規模は小さいが、例えばドラマや撮影の提供などテレビなどで話題づくり。二次的に観光地として人が増える。
	魅力的な政策の展開		設問の1～12は全部正解、正解でない物に取り組むことはどうだろうか。
			河南町が実施している政策を参考にする。
			市としての特性を打出す必要を感じます。例えば学力の向上、福祉の充実、子育てしやすい等1つに的を絞って特化させる。
	公共施設の改善		20代～40代の収入を上げさせ、税収をふやす。
			公民館を改修して、インターネットや電子書籍を使える施設にする。
	税負担の軽減		図書館遠い
			税金・固定資産税をなくす
その他	住民税を下げる		
	明るい町。		
	市長、市議は最低時給700円		
	家賃やローンの補助制度		
	外の地域と合併すること		

カテゴリー		件数	主な記述内容
社会基盤	公共交通の整備	12	鉄道での移動の強化など
	住宅の整備		大阪市から移住してきて思う事は行政が劣る事。交通を改善すれば人は増える。
			住宅誘致
	都市基盤の整備		電車駅徒歩 15 分圏内での施設や住宅地の充実、ニュータウンが遠い
	土地活用		ガスインフラの整備(都市ガス)
			道が狭すぎ、すぐ渋滞。引っ越し業者も大阪狭山市は道が狭いという
	駅周辺や街並みの整備		近大病院跡、帝塚山学院大学跡の有効利用
その他	近大病院の跡地利用で雇用をみこめる物を建築する		
子ども・教育	子育て支援	9	駅周辺の施設
			特徴ある街並の整備をして発信する
	教育の充実		駅周辺ばかりに力を入れずはしっこに住む者の事も考えて欲しい
			住みやすい町。
魅力的な政策の展開	出産、育児の補助		
	子どもの支援体制		
保健・医療・福祉	病院誘致	6	保育所、学童に入れるようにする
	医療の充実		小、中学校のレベルを上げる。実際に教育レベルが高いということで知人が大阪狭山市に来ています
	福祉の充実		教育充実の支援を核とした街づくりで人を呼べるようにすべきと思う(教育イメージ強化)
文化	大学、教育機関誘致	4	子育て充実の支援を核とした街づくりで人を呼べるようにすべきと思う(子育てイメージ強化)
			学校給食をオーガニックにし、若い世代・子育て世代にアピールする(農薬・添加物遺伝子組み換えは使わない)
防災・安全	安心・安全なまちづくり	3	近大病院移転後の病院誘致
	防災の推進		医療を充実
環境保全	緑化の推進	2	大阪市から移住してきて思う事は行政が劣る事。福祉が改善すれば人は増える。
地域社会	外国人受け入れ体制の推進	2	福祉、医療機関との連携
	その他		研究施設等誘致
わからない		1	大学や私立学校の誘致
なし		1	大学の流出を考察、文化都市づくり
			大学誘致

問9-5 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、大阪狭山市はどういったことに力を入れるべきだと思いますか。(○は3つまで)

【全体】

「地域における子育て環境の充実を図る」が40.3%で最も多く、「幼児期・小学校・中学校における質の高い教育環境の整備を進める」が38.9%、「病児・病後児保育、一時・休日保育などの整備を進める」が38.4%で続いている。



【性別】

男性は、女性に比べ「多子世帯（3人以上の子どもを育てる世帯）に対する支援を充実する」の比率が高い。

女性は、男性に比べ「病児・病後児保育、一時・休日保育等の整備を進める」の比率が高い。

【年齢別】

10歳代と30歳代は、他の年代に比べ「妊娠期からの妊娠・出産等にかかる相談体制等を充実する」、「多様な働き方（在宅勤務など）を支援する」の比率が高い。

20歳代と40歳代は、他の年代に比べ「進学のための経済的な負担を軽減する制度を整備する」の比率が高い。

50歳代～60歳代は、他の年代に比べ「病児・病後児保育、一時・休日保育等の整備を進める」の比率が高い。

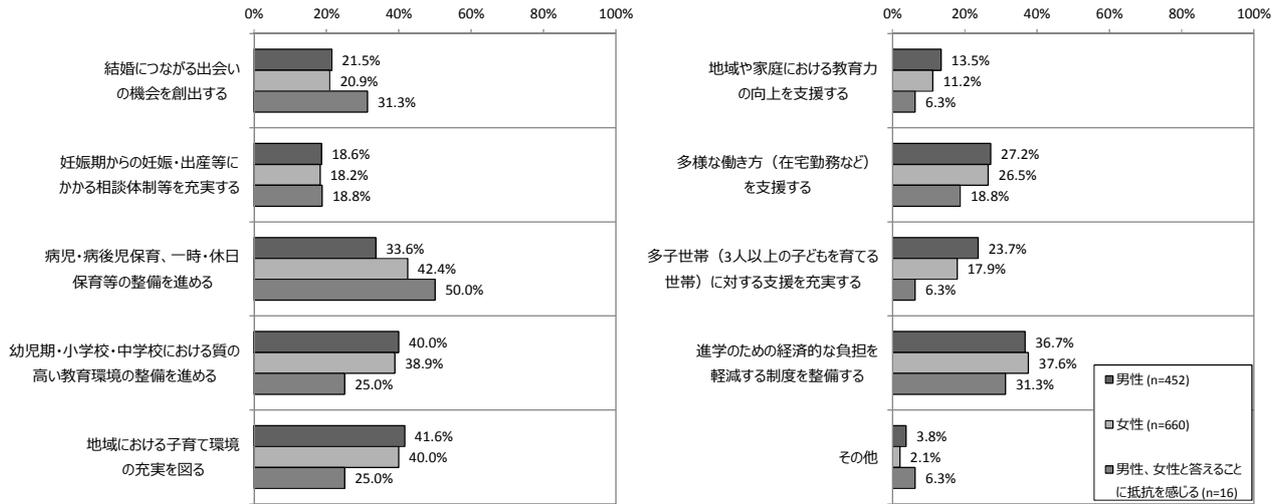
60歳代は、他の年代に比べ「地域における子育て環境の充実を図る」の比率が高い。

70歳代以上は、他の年代に比べ「結婚につながる出会いの機会を創出する」と「多子世帯（3人以上の子どもを育てる世帯）に対する支援を充実する」の比率が高い。

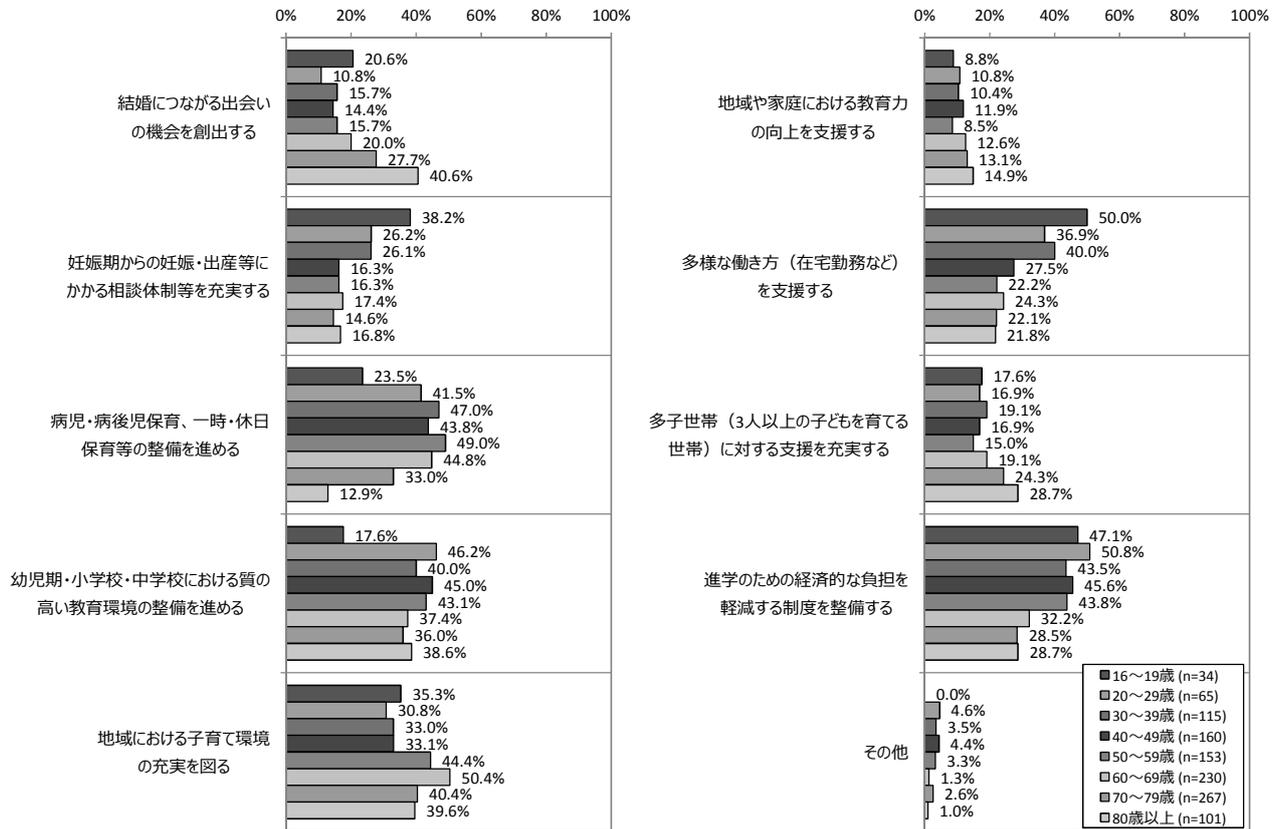
【地区別】

狭山中学校区は、他の地区に比べ「妊娠期からの妊娠・出産等にかかる相談体制等を充実する」の比率が高い。

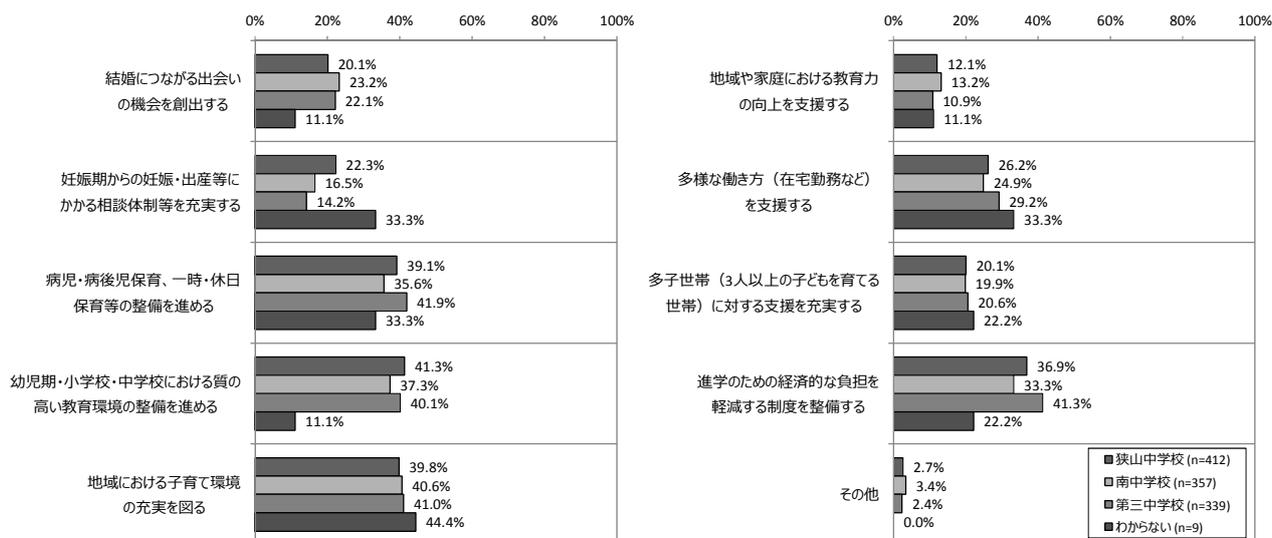
性別



年齢別



地区別



【その他について】

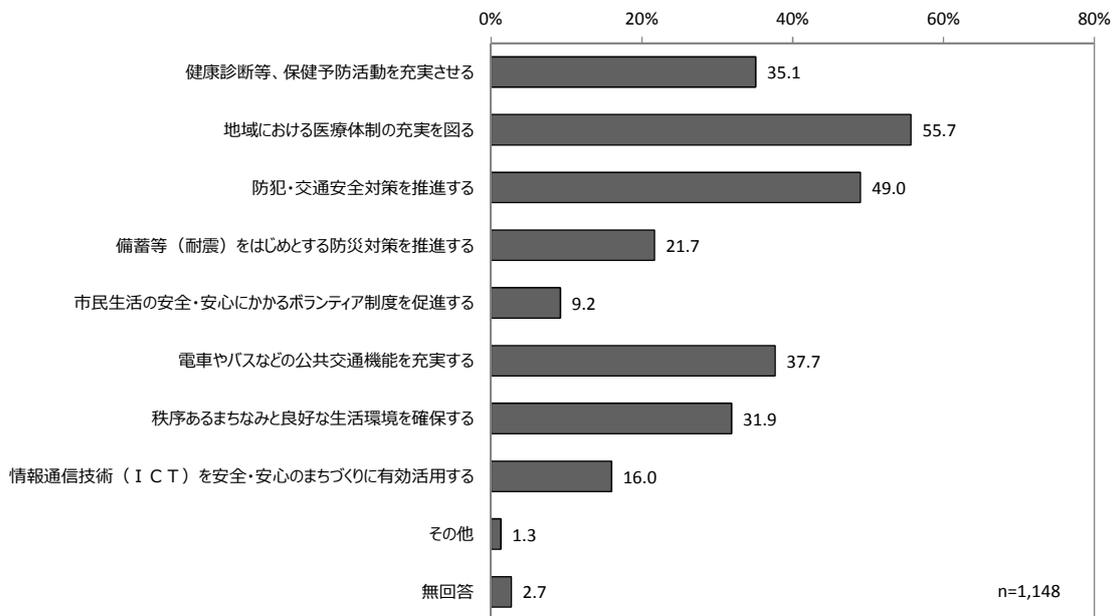
その他には、31件（回答者は30人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。最も多いのは「保育・学童の充実」で、次に多いのが「金銭的な支援」である。

記述内容	件数	主な記述内容
保育・学童の充実	5	保育園の長時間預かり。
		保育所の充実。安全で安心して子供を預ける事ができる。
		学童保育体制拡充。
金銭的な支援	4	被扶養者に係る税を下げる。若者にかかる税を下げる。
		結婚時、生活費用等の融資。
		子育て家庭1人でも支援、減税等、住民支援をやる。
妊娠期、不妊治療の支援	3	婦人科の充実
		不妊などで困っている方の支援
		妊娠期からの妊娠、出産時にかかる資金を市が全額負担
医療費の支援	3	医療費の助成（現）15歳まで→18歳まで
		高校生までの医療費負担
住宅支援	3	若い夫婦がここで暮らしたいと思う、ここなら家を持てる賃貸できると思えるよう住宅支援。
		衣・食・住→空き家を安く買えるとか。
教育に関する支援	3	他の事と比較して、幼稚園の補助金も少ないので増やすべき。
		幼児期～中学校無償化。（全て）
		障がい児教育の充実。
その他	3	道路と公園をきれいにする。
		負担を軽減するより、できる子供を応援する。
		親の、心遣い、思いやり、助け合いの考え方を道徳的にすること。
十分である・必要ない	3	
わからない	3	
ない	1	

問9-6 暮らしの安全・安心を守るため、大阪狭山市はどういったことに力を入れるべきだと考えますか。(〇は3つまで)

【全体】

「地域における医療体制の充実を図る」が 55.7%で最も多く、「防犯・交通安全対策を推進する」が 49.0%、「電車やバスなどの公共交通機能を充実する」が 37.7%で続いている。



【性別】

男性は、女性に比べ「健康診断等、保健予防活動を充実させる」と「防犯・交通安全対策を推進する」の比率が高い。

女性は、男性に比べ「備蓄等（耐震）をはじめとする防災対策を推進する」と「電車やバスなどの公共交通機能を充実する」の比率が高い。

【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ「情報通信技術（ICT）を安全・安心のまちづくりに有効活用する」の比率が高い。

50歳代は、他の年代に比べ「電車やバスなどの公共交通機能を充実する」の比率が高い。

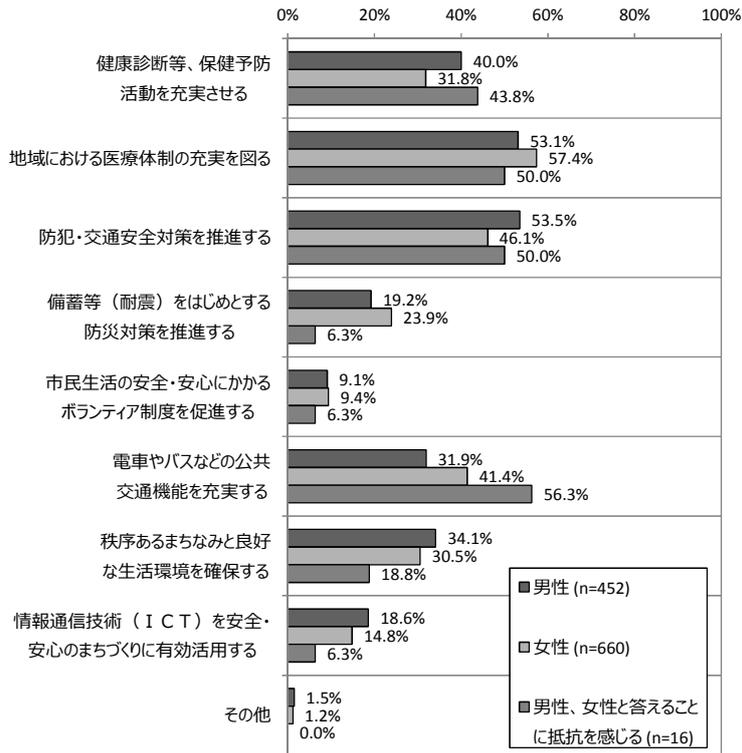
60歳代～70歳代は、他の年代に比べ「地域における医療体制の充実を図る」の比率が高い。

70歳代以上は、他の年代に比べ「市民生活の安全・安心にかかるボランティア制度を促進する」の比率が高い。

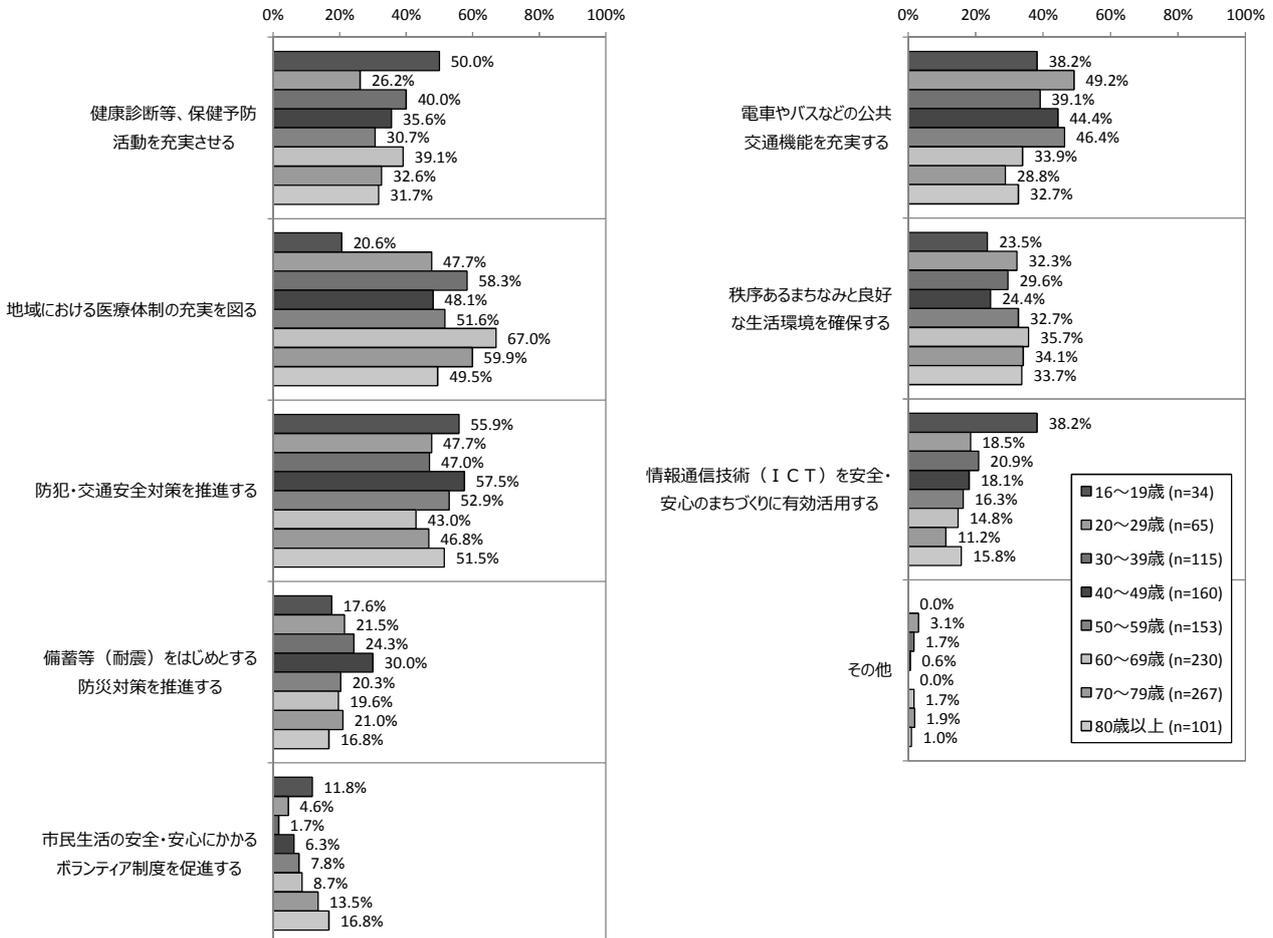
【地区別】

有意な差は認められないが、第三中学校区は他の地区に比べ「電車やバスなどの公共交通機能を充実する」の比率が高い。

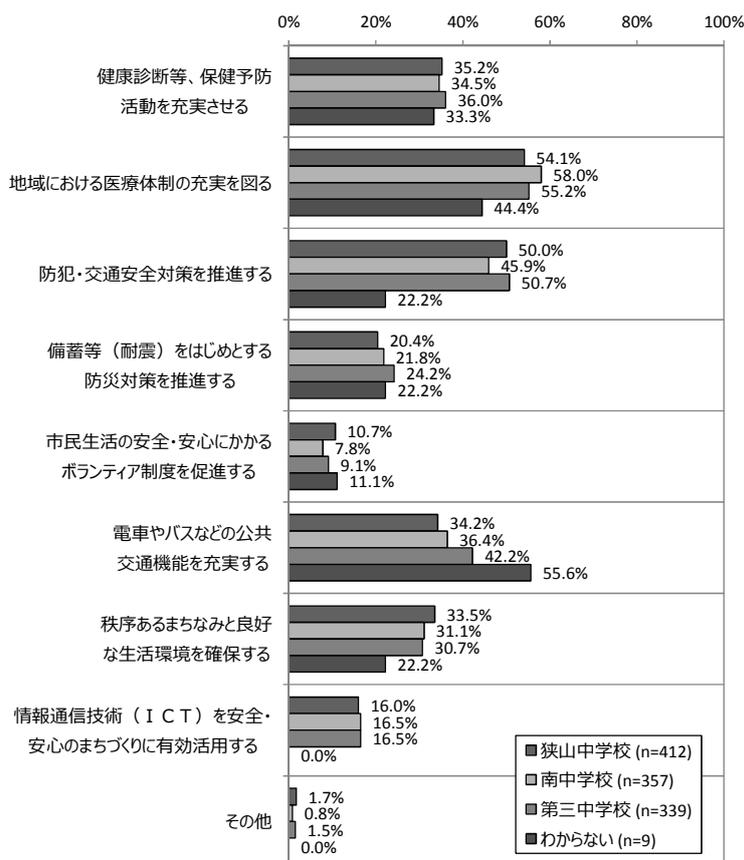
性別



年齢別



地区別



【その他について】

その他には、13件（回答者は13人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

記述内容
老人ではなく、若い世代に対して金を使うべき。
子育て支援。
75才以上は免許証返納。
高齢者の情報、連絡等に力を入れる。
老人の優遇バス(バス等)
自転車専用道の整備。
大阪狭山市内の道路が非常に狭い。
交番が空(人がいない)の時の方が多い(池尻駅前交番)
防犯カメラの設置。
近大病院跡地の活用法を市民に意見を求める。医療に決めず。
近畿大病院が泉ヶ丘に移転する事は本当に残念だ。
わからない。
なし。

問9-7 あなたは、大阪狭山市は子育てのしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

【全体】

「少し思う」が42.4%で最も多くなっている。『思う』（「そう思う」と「少し思う」の計）は64.4%で、全体の6割以上が大阪狭山市を子育てのしやすいまちだと感じている。

【性別】

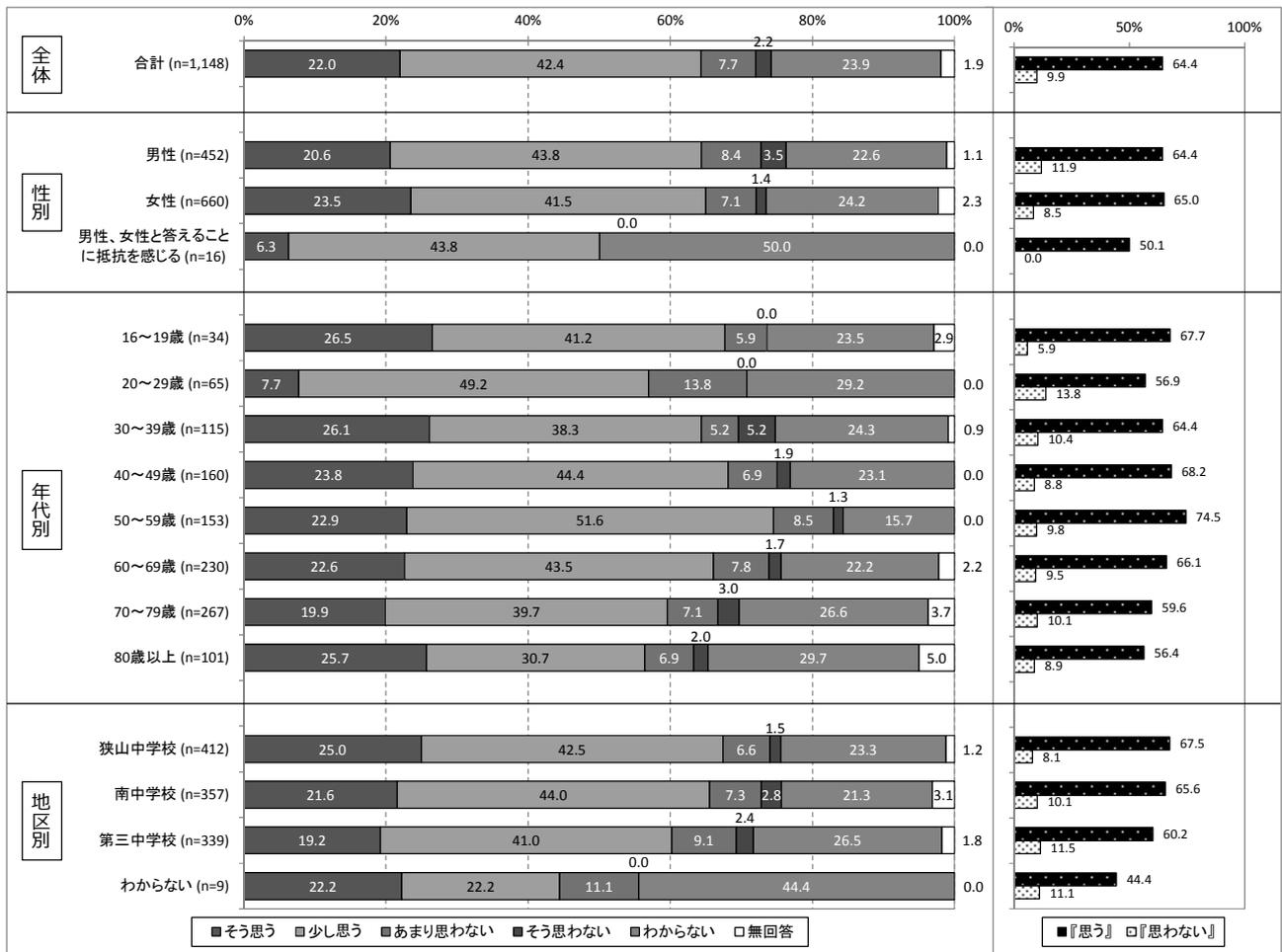
有意な差は認められないが、男性は女性に比べ「そう思わない」の比率が高い。

【年齢別】

有意な差は認められないが、50歳代は『思う』の比率が高く、20歳代と70歳代以上は低くなっている。

【地区別】

有意な差は認められないが、第三中学校区は他の地区に比べ『思う』の比率が低くなっている。



問9-8 子どもがのびのびと育つためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は1つ)

【全体】

「安定した家庭環境（経済状況を含む）」が 50.2%で最も多く、「保育を充実するなど、子育てと仕事の両立」が 18.8%、「公園や学校など、自宅の周辺環境の充実」が 13.0%で続いている。

【性別】

男性は、女性に比べ「公園や学校など、自宅の周辺環境の充実」の比率が高い。

女性は、男性に比べ「地域の子育て力」の比率が高い。

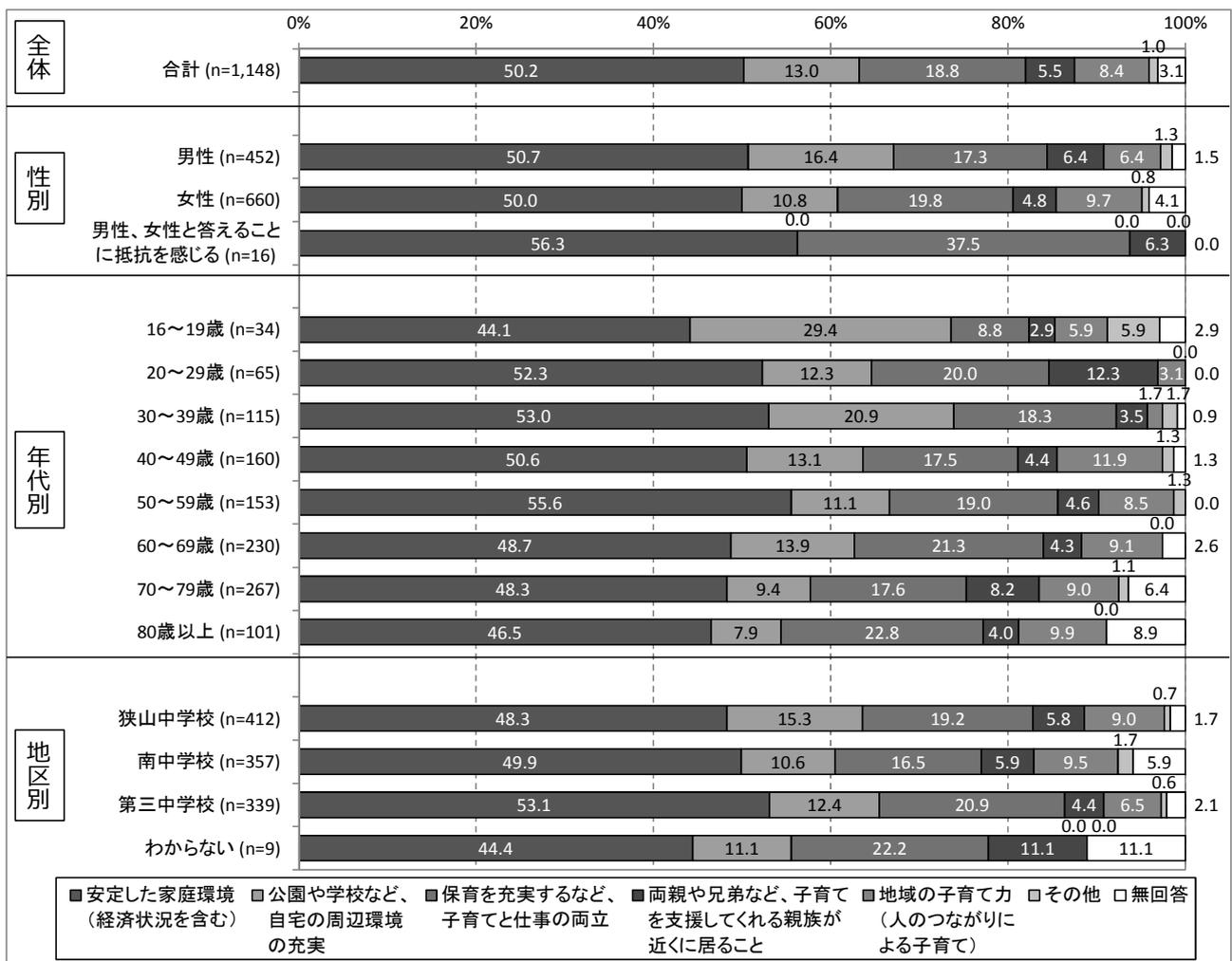
【年齢別】

10歳代と30歳代は、他の年代に比べ「公園や学校など、自宅の周辺環境の充実」の比率が高い。

20歳代と70歳代は、他の年代に比べ「両親や兄弟など、子育てを支援してくれる親族が近くに居ること」の比率が高い。

【地区別】

有意な差は認められないが、南中学校区は「保育を充実するなど、子育てと仕事の両立」の比率が低い。



【その他について】

その他には、10件（回答者は10人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

記述内容
安全の確保。
公園でボールとか使える様にして欲しい。
学童の待機をなくす。
子供の虐待調査と改善。
親子のコミュニケーション。幼少期は特に。
学校家庭で公共の福祉に反した個人の人権は認められない事を教育する。
親自身の向上。
親の自覚が必要。
わからない。全部あてはまる感じがする。
なし。

◆ 自治基本条例について

問10-1 「大阪狭山市自治基本条例」を知っていますか（○は1つ）

【全体】

「まったく聞いたことがない」が58.3%で最も多く、「読んだことはないが、名前を聞いたり、見たりしたことはある」が26.5%で続いている。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

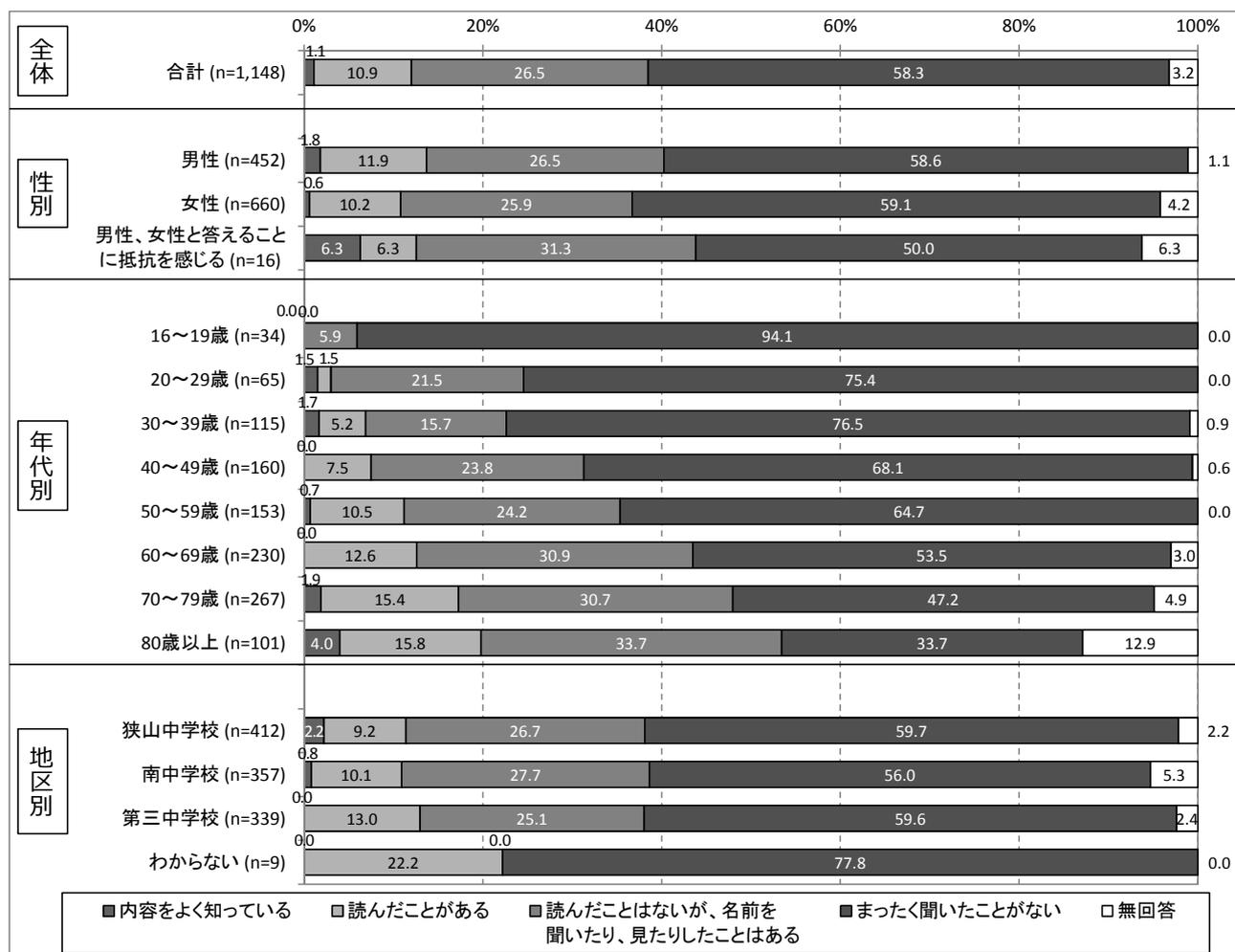
10歳代～40歳代は、他の年代に比べ「まったく聞いたことがない」の比率が高い。

70歳代は、他の年代に比べ「読んだことがある」と「読んだことはないが、名前を聞いたり、見たりしたことはある」の比率が高い。

80歳以上は、他の年代に比べ「内容をよく知っている」、「読んだことがある」、「読んだことはないが、名前を聞いたり、見たりしたことはある」の比率が高い。

【地区別】

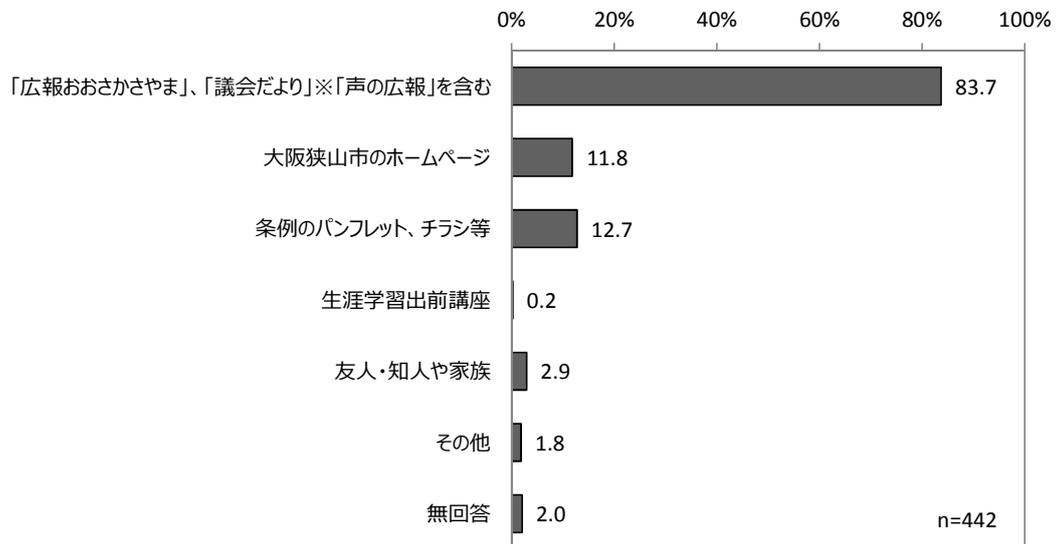
地区による大きな違いは見られない。



問10-2 問10-1で1~3に回答した方にお聞きします。「大阪狭山市自治基本条例」を何で知りましたか。(〇はいくつでも)

【全体】

「広報おおさかさやま、議会だより」が83.7%で最も多く、「条例のパフレット、チラシ等」が12.7%、「大阪狭山市のホームページ」が11.8%と続いている。



【性別】

性別による大きな違いは見られない。

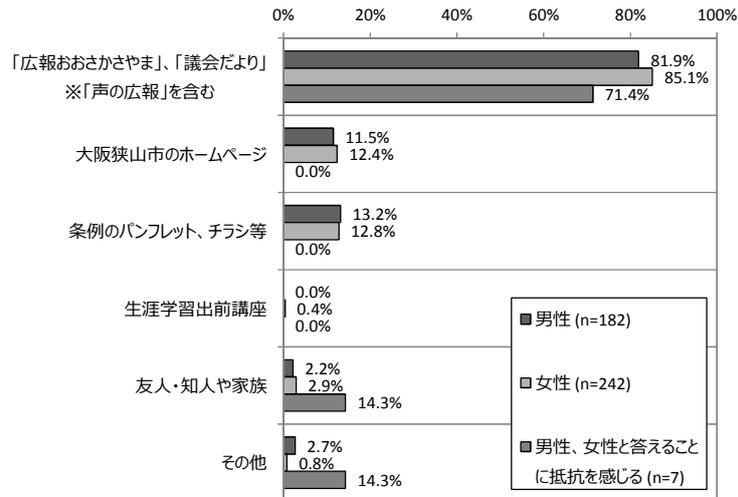
【年齢別】 ※10歳代から30歳代の回答者数が少ないため、16~39歳に分類しなおして考察している。

有意な差は認められないが、10~30歳代は他の年代に比べ「広報おおさかさやま、議会だより」の比率が低い。

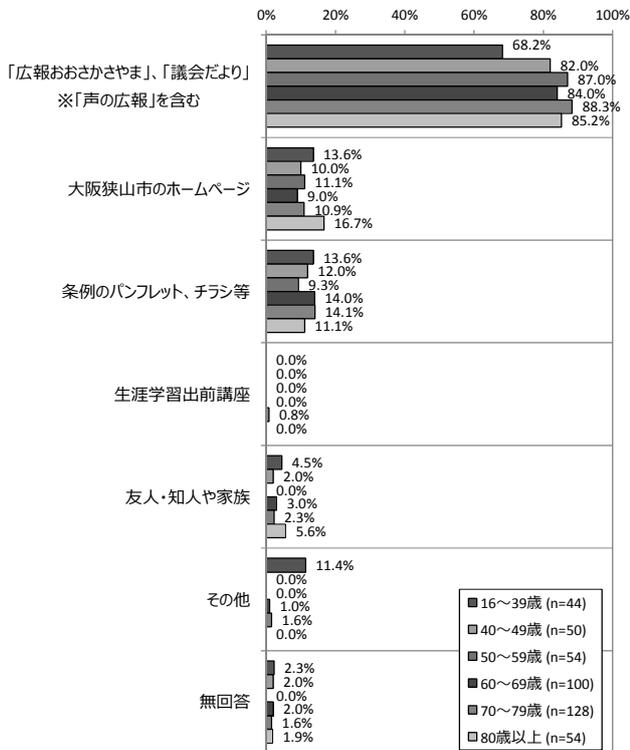
【地区別】

南中学校区は、他の地区に比べ「条例のパフレット、チラシ等」の比率が高い。

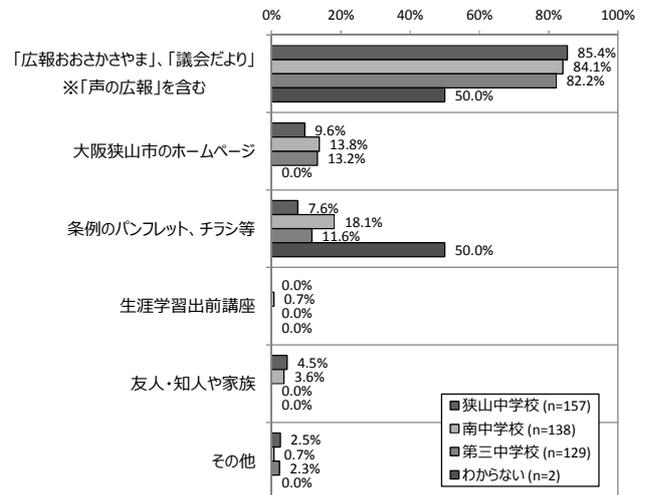
性別



年齢別



地区別



【その他について】

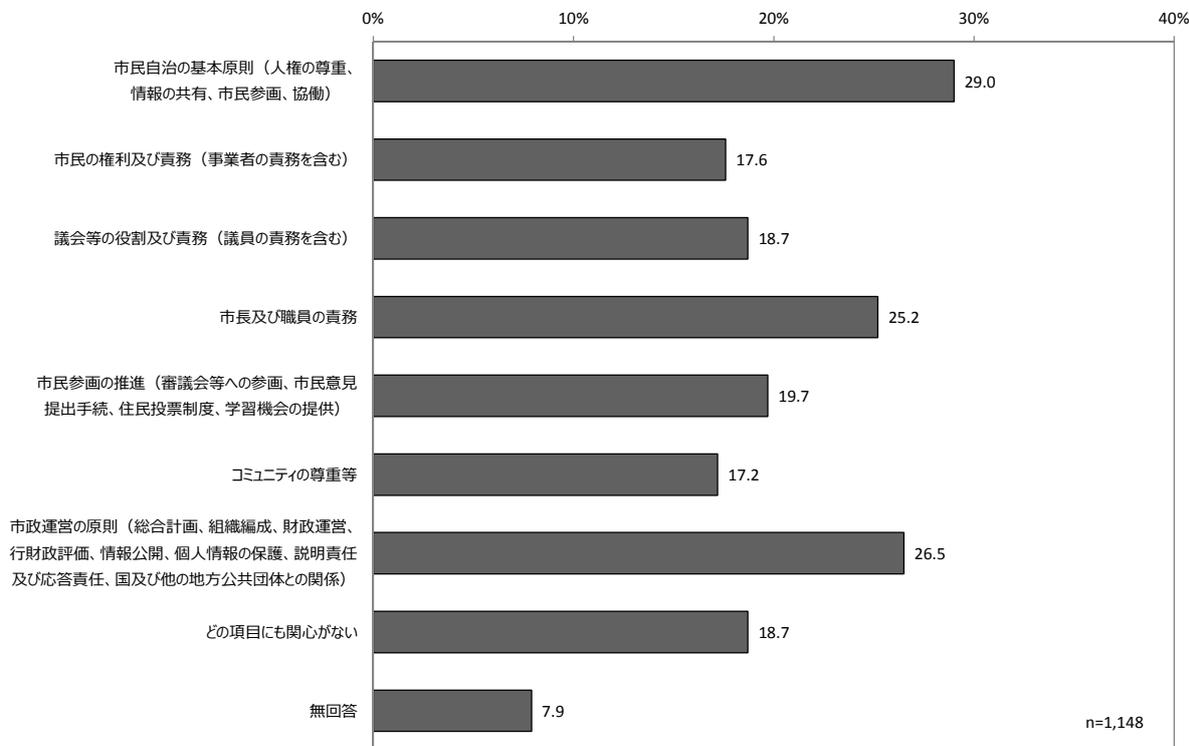
その他には、6件（回答者は6人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

主な記述内容
本アンケートに同封されており、回答前に閲覧した。
同意見なので知っている。
まちづくり研究会。
市役所内。

問 1 0 - 3 「大阪狭山市自治基本条例」では次のような項目があります。あなたはどの項目に関心がありますか。(〇はいくつでも)

【全体】

「市民自治の基本原則」が 29.0%で最も多く、「市政運営の原則」が 26.5%、「市長及び職員の責務」が 25.2%で続いている。



【性別】

男性は、女性に比べ「市民の権利及び責務」、「市民参画の推進」の比率が高い。

女性は、男性に比べ「どの項目にも関心がない」の比率が高い。

【年齢別】

10 歳代は、他の年代に比べ「どの項目にも関心がない」の比率が高く、「市政運営の原則」の比率が低い。

20 歳代と 40 歳代は、他の年代に比べ「どの項目にも関心がない」の比率が高い。

30 歳代は、他の年代に比べ「どの項目にも関心がない」の比率が高く、「コミュニティの尊重等」の比率が低い。

70 歳代は、他の年代に比べ「議会等の役割及び責務」と「市長及び職員の責務」の比率が高い。

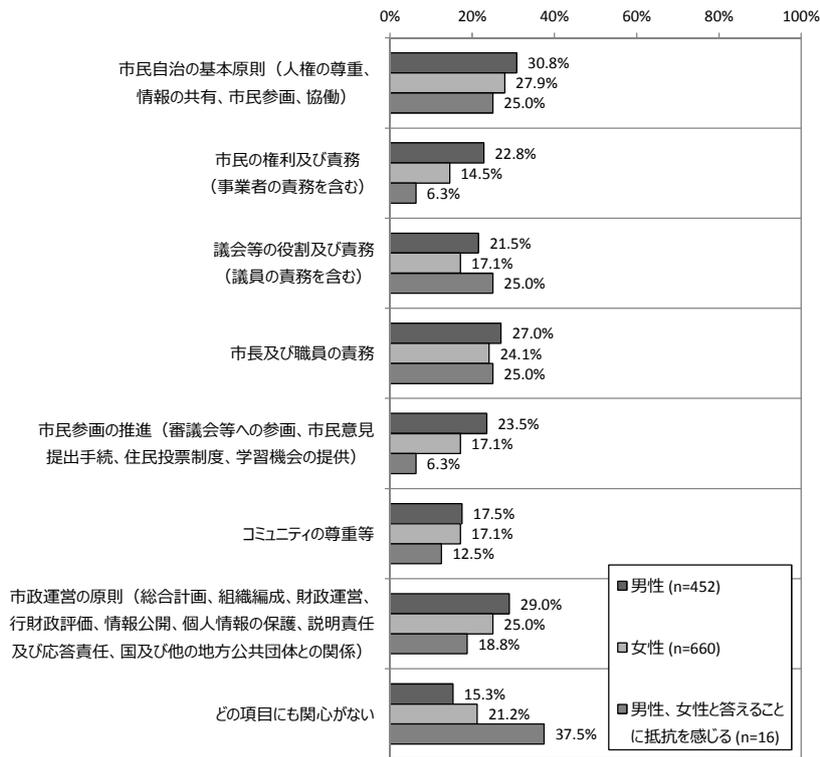
80 歳以上は、他の年代に比べ「市民自治の基本原則」、「議会等の役割及び責務」、「市長及び職員の責務」、「コミュニティの尊重等」の比率が高い。

「議会等の役割及び責務」、「市長及び職員の責務」は、概ね年代が高くなるほど比率が高くなっている。

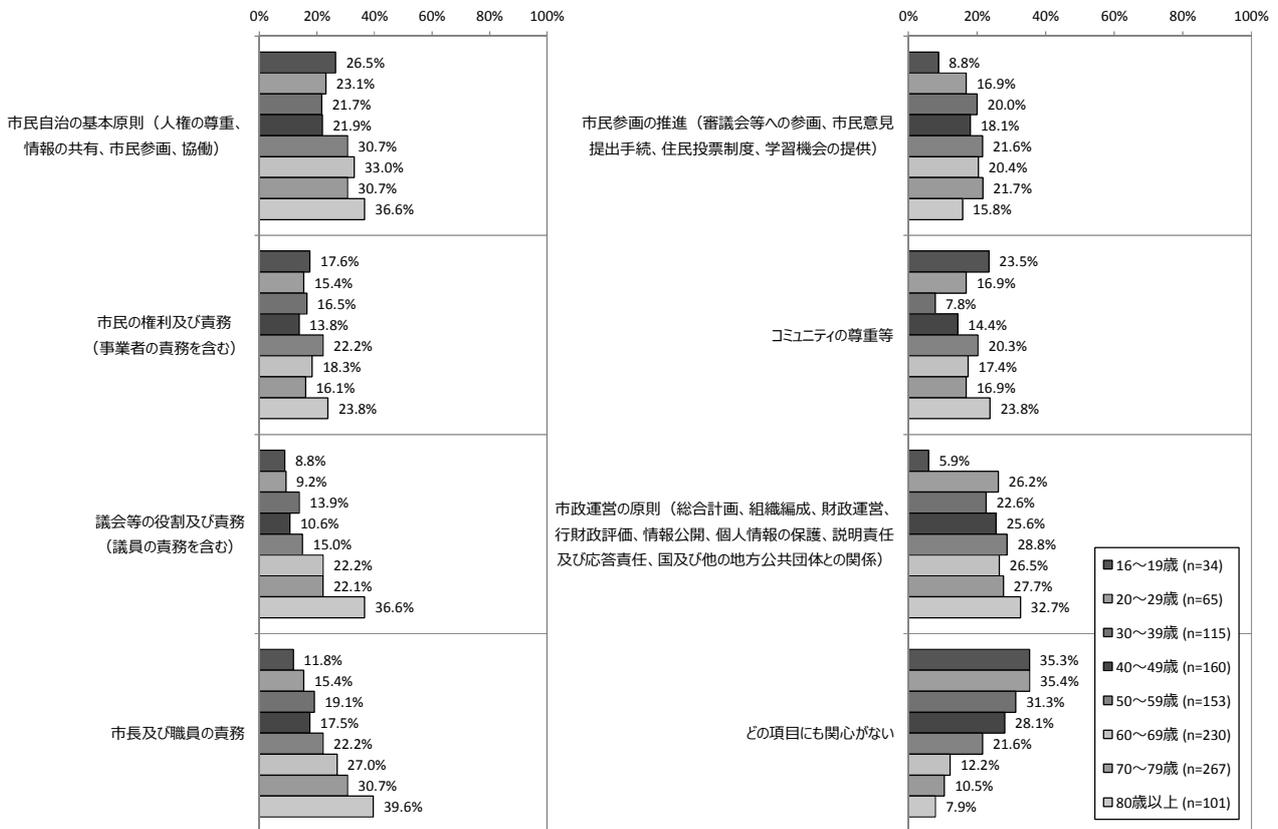
【地区別】

有意な差は認められないが、狭山中学校区は他の地区に比べ「コミュニティの尊重等」の比率が低く、第三中学校区は「市長及び職員の責務」の比率が低い。

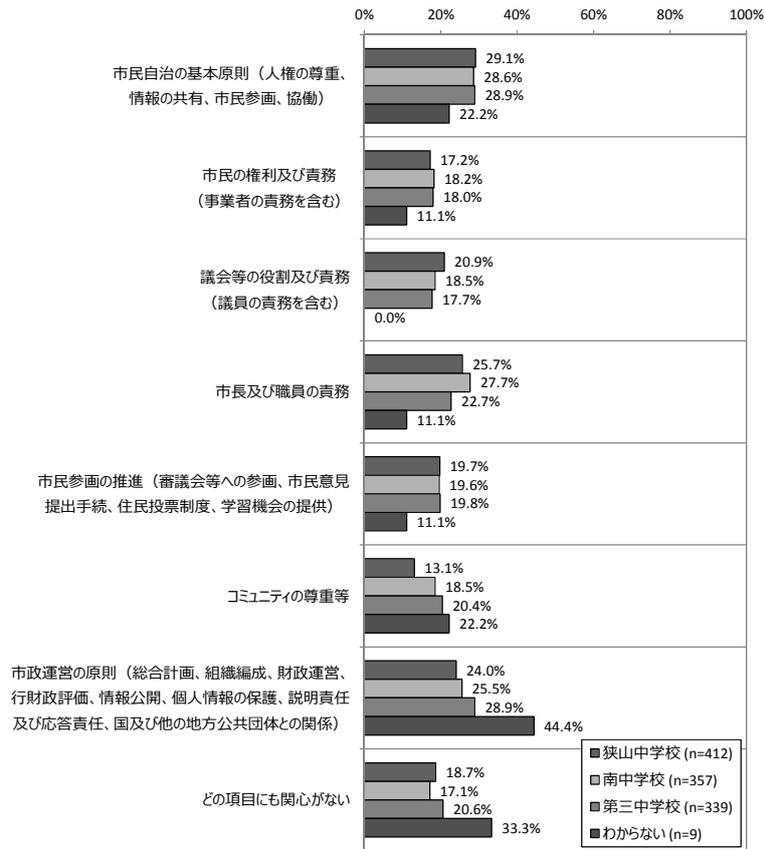
性別



年齢別



地区別



問 10-4 大阪狭山市では市政への市民参画の機会が十分にあると思いますか。(○は1つ)

【全体】

「普通」が 23.0%で最も多く、「あまり機会があると思わない」が 15.8%、「ややあると思う」が 15.1%で続いている。

【性別】

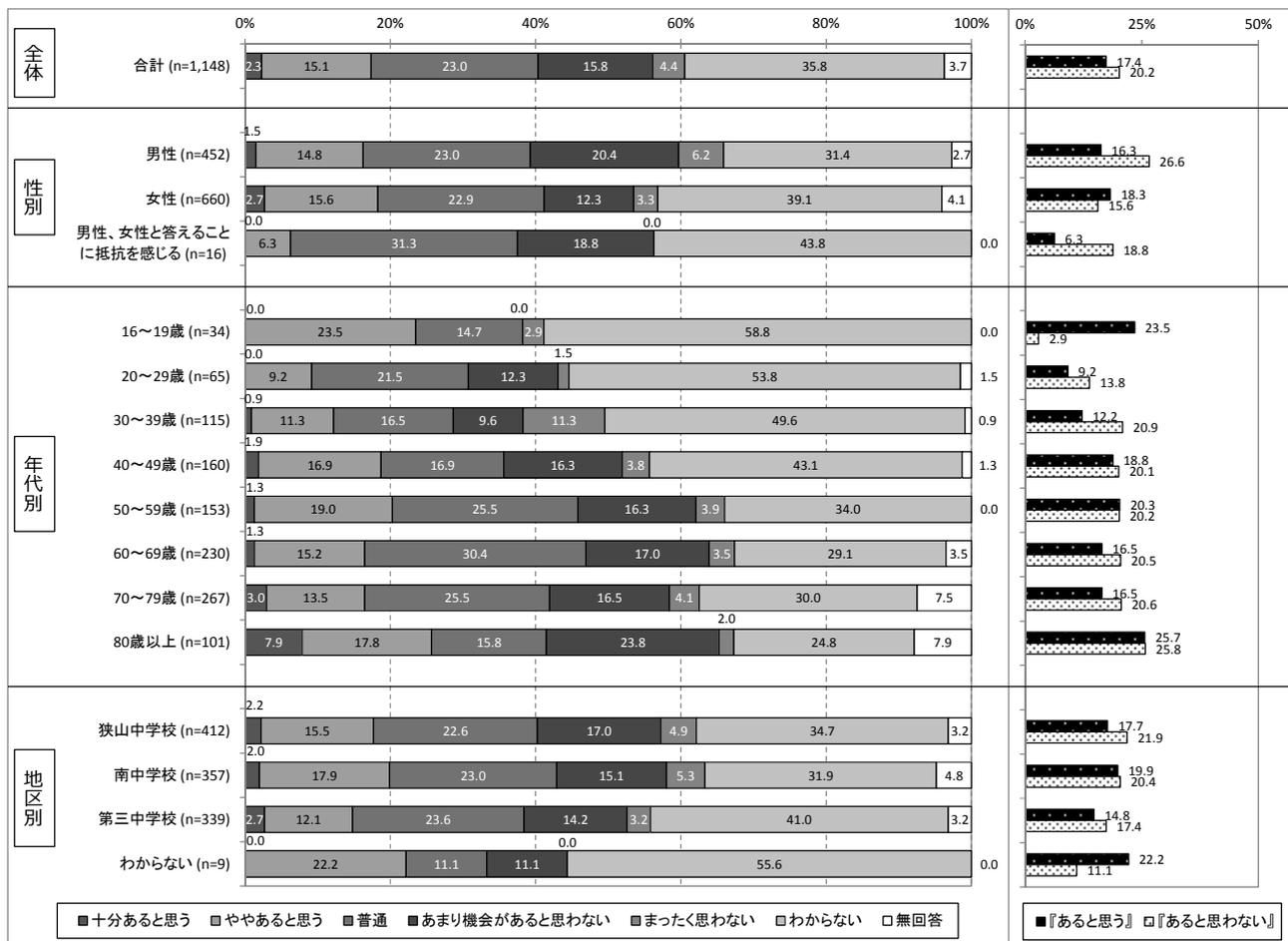
男性は、女性に比べ『あると思わない』（「あまり機会があると思わない」と「まったく思わない」の計）の比率が高い。

【年齢別】

10 歳代は、他の年代に比べ「わからない」の比率が高く、『あると思わない』の比率が低い。
 20 歳代は、他の年代に比べ「わからない」の比率が高い。
 30 歳代は、他の年代に比べ「まったく思わない」と「わからない」の比率が高い。
 60 歳代は、他の年代に比べ「普通」の比率が高い。
 80 歳以上は、他の年代に比べ『あると思う』（「十分あると思う」と「ややあると思う」の計）の比率が高い。

【地区別】

有意な差は認められないが、第三中学校区は他の地区に比べ「わからない」の比率が高い。



問10-5 あなたは、以下のような機会を通じて市政に参画したことがありますか。(項目ごとに〇は1つつ)

①大阪狭山市の計画づくりについての説明会や話し合いの場などに参加したこと

【全体】

「ない」が69.9%で、全体の7割近くが大阪狭山市の計画づくりについての説明会や話し合いの場などに参加したことがない。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

20歳代～30歳代は、他の年代に比べ「制度を知らない」の比率が高い。

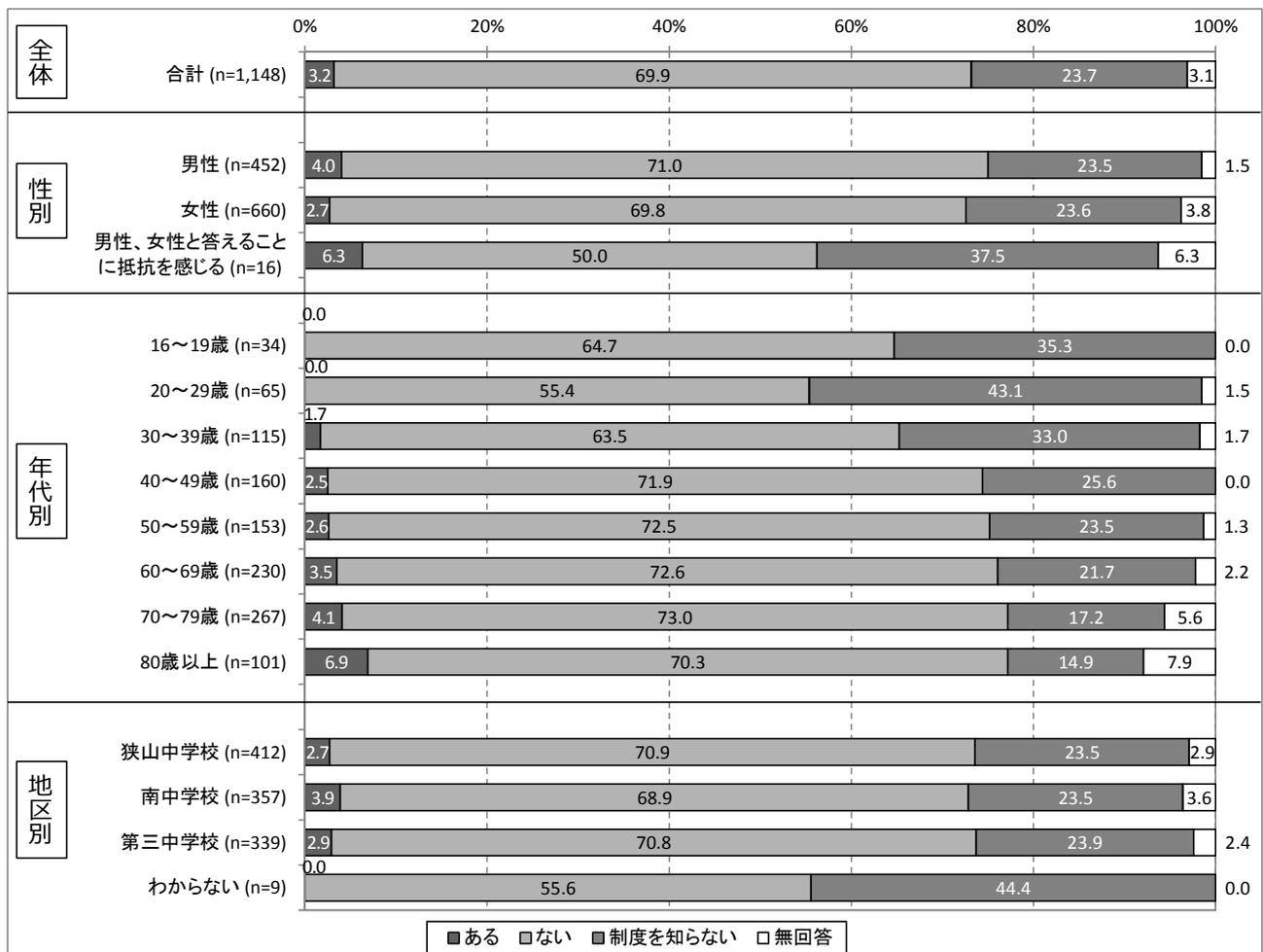
70歳代は、他の年代に比べ「ない」の比率が高い。

80歳以上は、他の年代に比べ「ある」の比率が高い。

「ある」は年代が高いほど比率が高く、「制度を知らない」は概ね年代が低いほど比率が高くなっている。

【地区別】

地区による大きな違いは見られない。



②大阪狭山市の審議会や検討委員会などの委員になったこと

【全体】

「ない」が73.3%で、全体の7割以上が大阪狭山市の審議会や検討委員会などの委員になったことがない。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

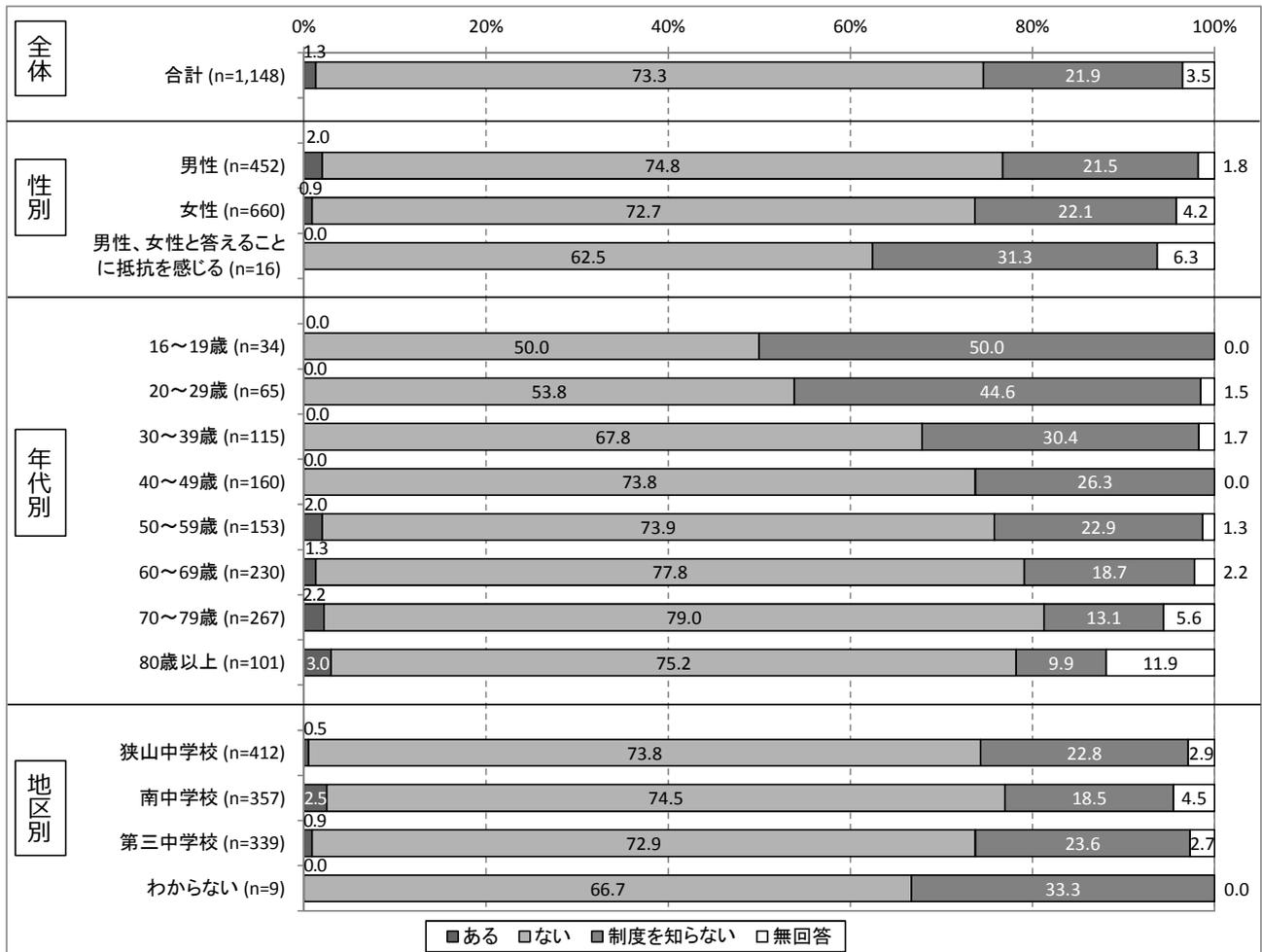
10歳代～30歳代は、他の年代に比べ「制度を知らない」の比率が高い。

70歳代以上は、他の年代に比べ「ない」の比率が高い。

「ある」は年代が高いほど比率が高く、「制度を知らない」は年代が低いほど比率が高くなっている。

【地区別】

有意な差は認められないが、南中学校区は他の地区に比べ「ある」の比率が高い。



③大阪狭山市に対して意見を提出したこと(市長への提言や市民意見提出手続(パブリックコメント)など)

【全体】

「ない」が74.0%で、全体の7割以上が大阪狭山市に対して意見を提出したことがない。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

10歳代～30歳代は、他の年代に比べ「制度を知らない」の比率が高い。

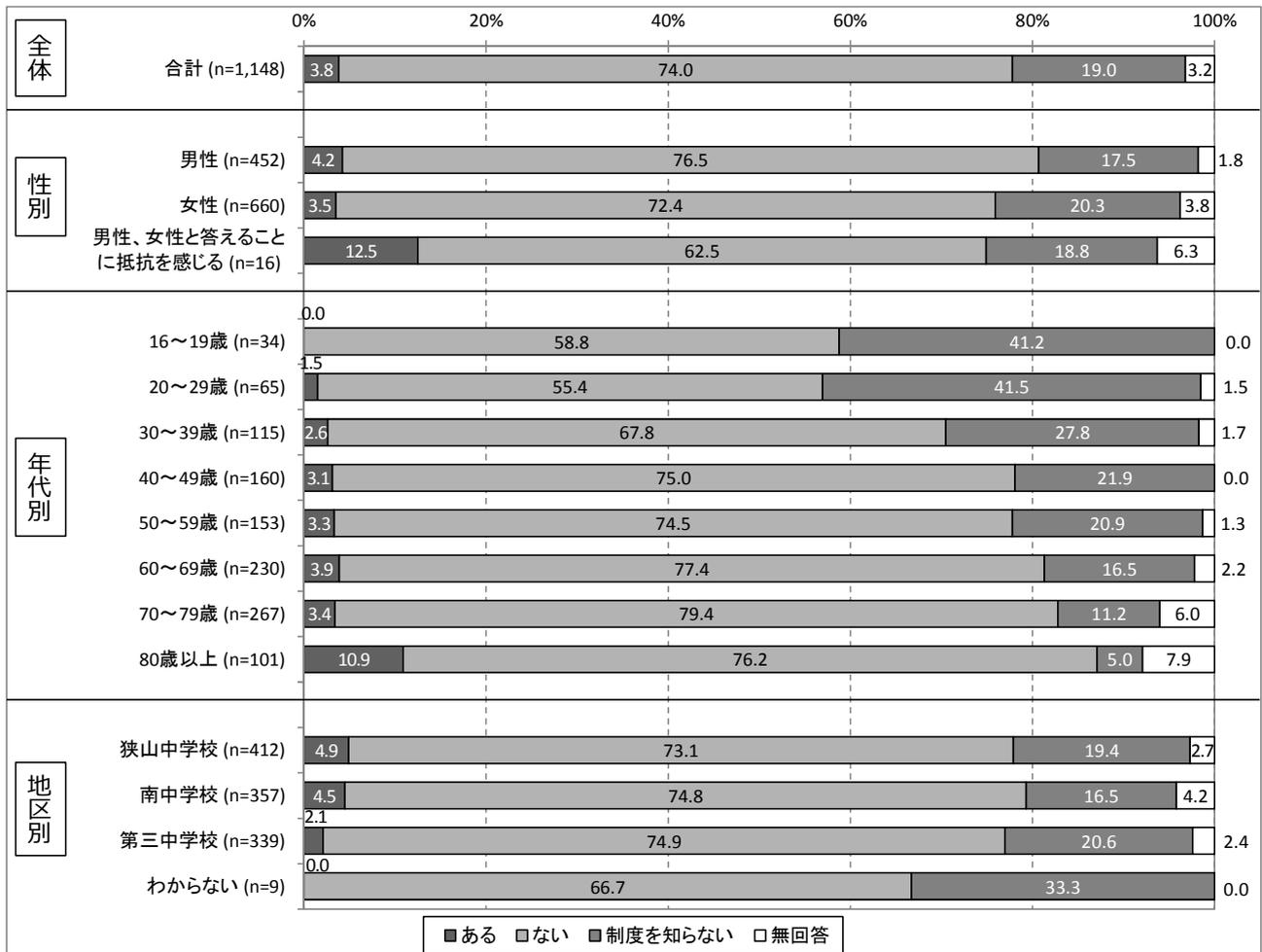
70歳代は、他の年代に比べ「ない」の比率が高い。

80歳以上は、他の年代に比べ「ある」の比率が高い。

「ある」は年代が高いほど比率が高く、「制度を知らない」は概ね年代が低いほど比率が高くなっている。

【地区別】

有意な差は認められないが、第三中学校区は他の地区に比べ「ある」の比率が低い。



④市民活動支援センターの行事や活動に参加したこと

【全体】

「ない」が68.6%で、全体の7割近くが市民活動支援センターの行事や活動に参加したことがない。

【性別】

性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

10歳代～20歳代は、他の年代に比べ「制度を知らない」の比率が高い。

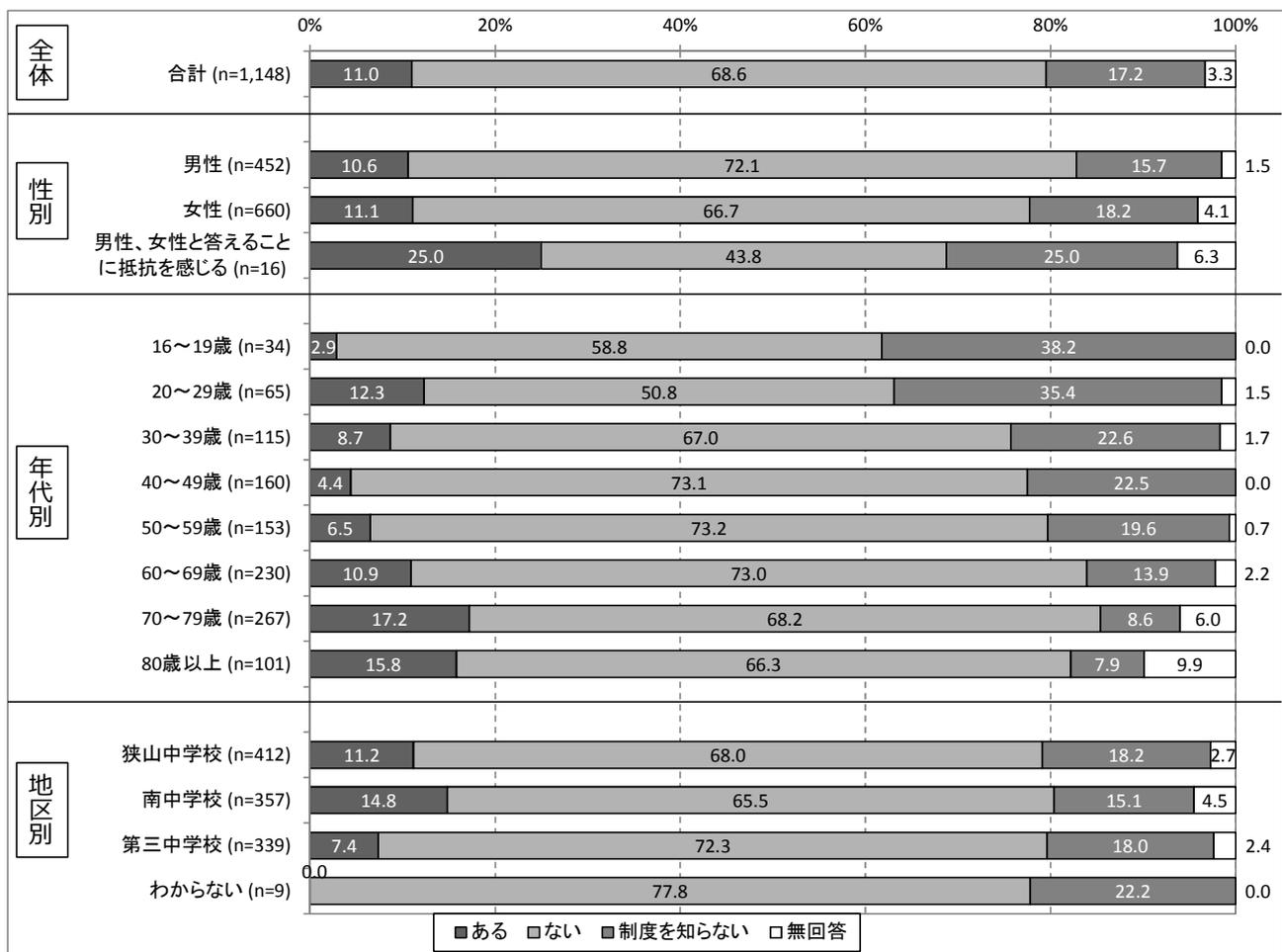
70歳代以上は、他の年代に比べ「ある」の比率が高い。

有意な差は認められないが、10歳代と40歳代～50歳代は他の年代に比べ「ある」の比率が低い。

「制度を知らない」は、年代が低いほど比率が高くなっている。

【地区別】

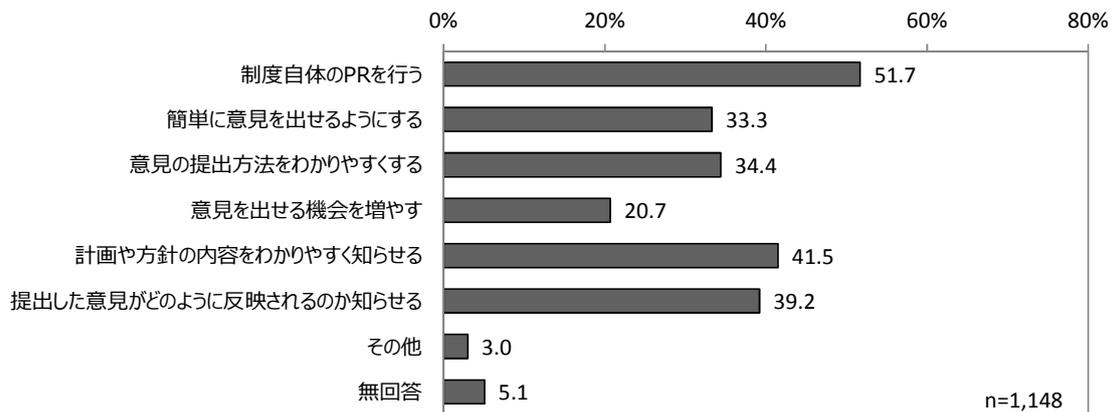
南中学校区は、他の地区に比べ「ある」の比率が高い。



問 10-6 市民意見提出手続（パブリックコメント）を多くの市民に利用してもらうためには、何が重要だと思いますか。（〇はいくつでも）

【全体】

「制度自体のPRを行う」が51.7%で最も多く、「計画や方針の内容をわかりやすく知らせる」が41.5%、「提出した意見がどのように反映されるのか知らせる」が39.2%と続いている。



【性別】

女性は、男性に比べ「提出した意見がどのように反映されるのか知らせる」の比率が高い。

【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ「制度自体のPRを行う」の比率が低い。また、有意な差は認められないが、「計画や方針の内容をわかりやすく知らせる」の比率が高い。

20歳代～30歳代は、他の年代に比べ「簡単に意見を出せるようにする」の比率が高い。

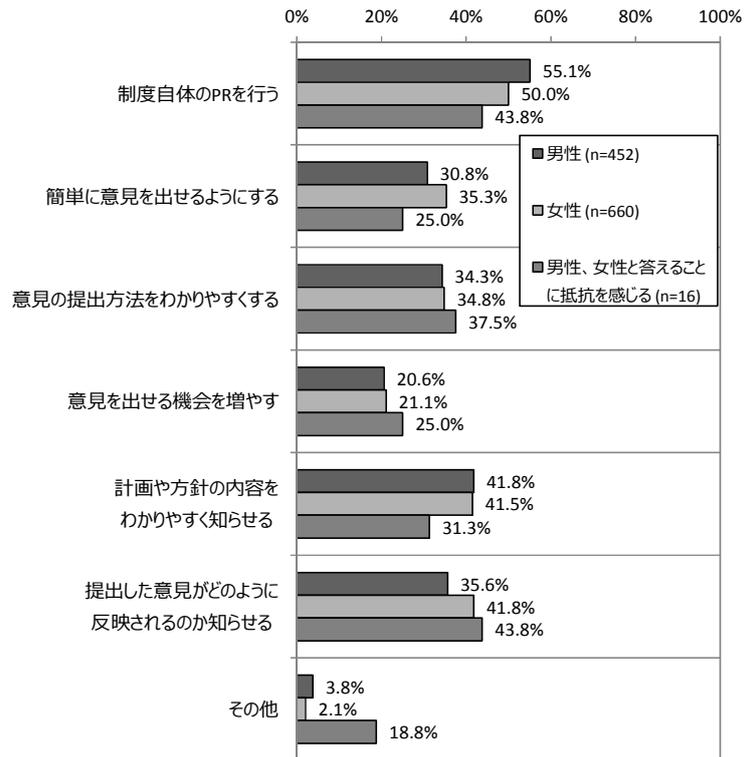
60歳代は、他の年代に比べ「制度自体のPRを行う」の比率が高い。

70歳代は、他の年代に比べ「簡単に意見を出せるようにする」の比率が低い。

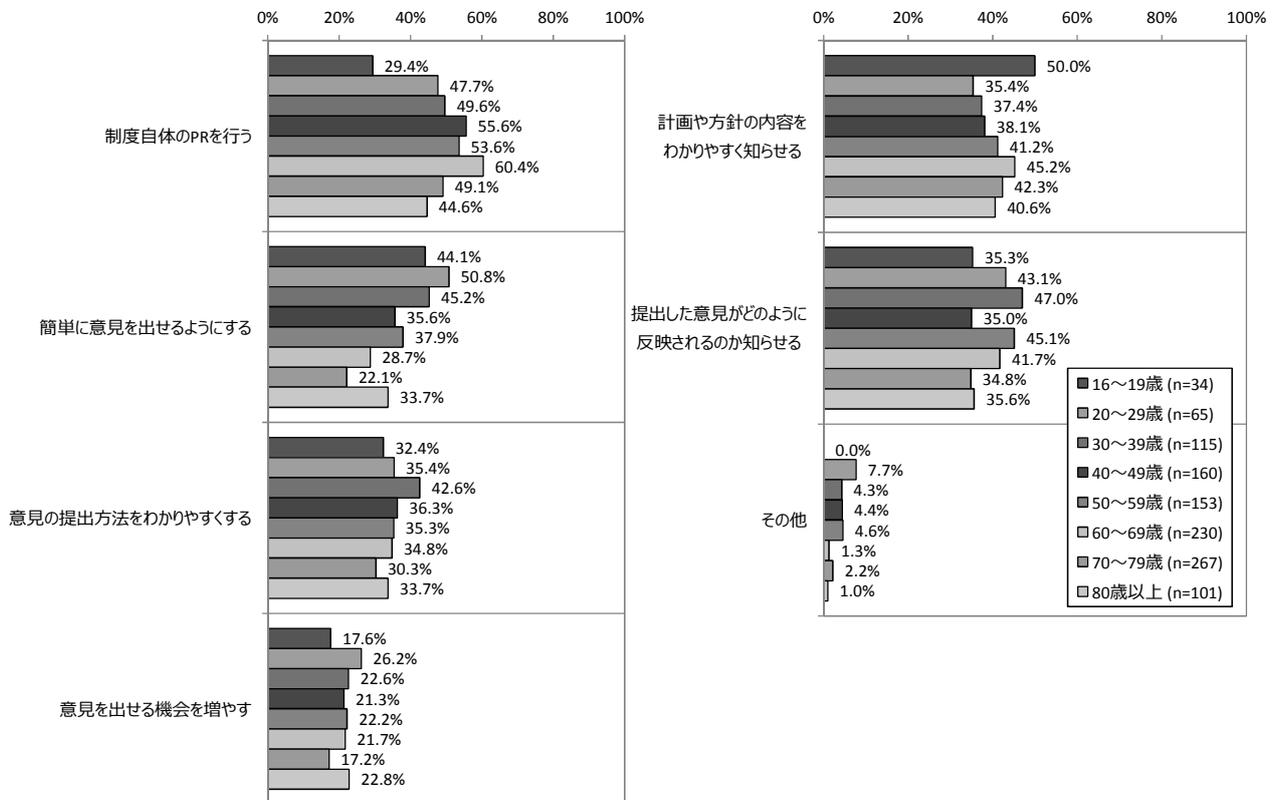
【地区別】

地区による大きな違いは見られない。

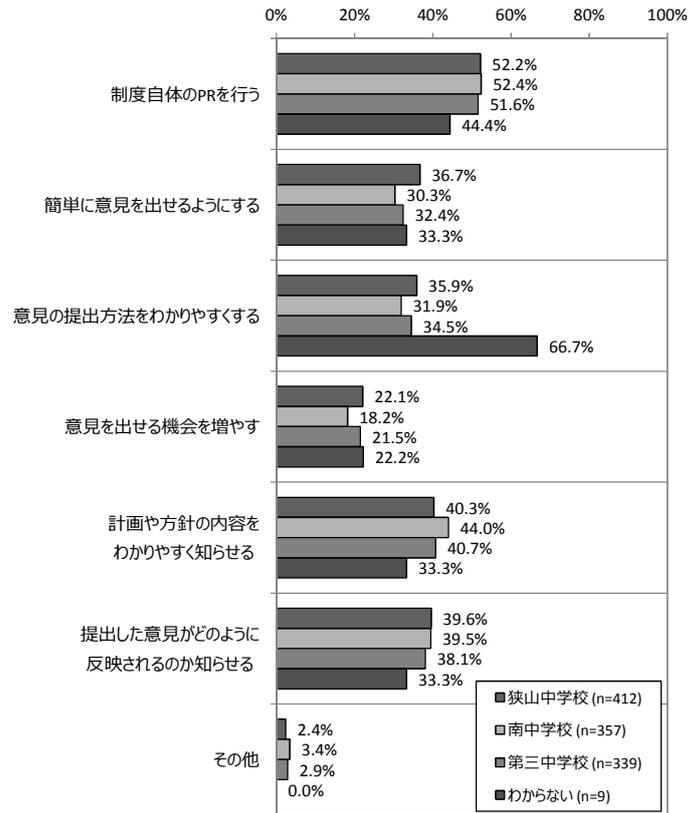
性別



年齢別



地区別



【その他について】

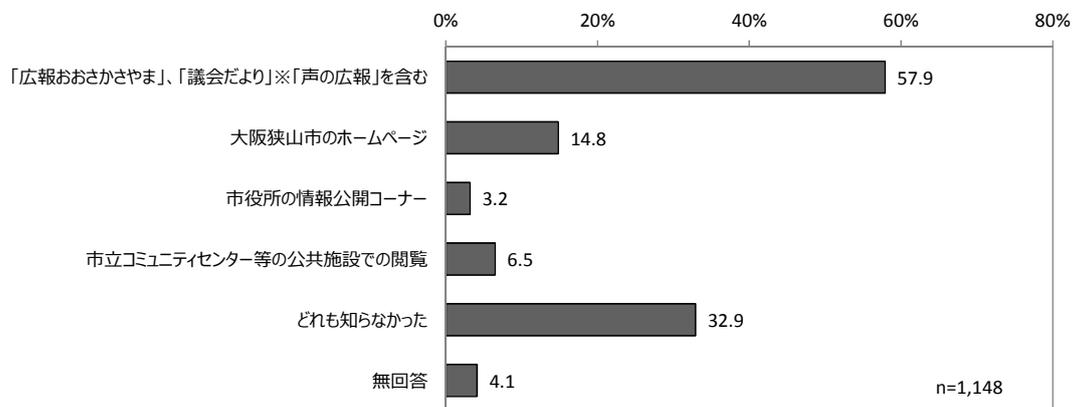
その他には、25件（回答者は25人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

主な記述内容
SNSでの意見募集。
Web
メールアドレス登録を促し、メルマガ配信。
パブコメ募集の広報強化。
意見の出せる場所を多くつくる。
匿名の意見も可能にする。
意見を出したら、1件1000円支給。（非課税）
重要な意見を提出した者に対する表彰・景品授与等の制度を作る。
回答を必ずすること。
行政側がオープンであること。
採用された数を出す。
提出した意見を見れるようにする。
もっと気軽に簡単にできること。
小中学校などで子供の時から参加する事を教える。
今なのか、将来の大阪狭山市なのか分からない。
不要。
なし。
全く知らない。
わからない。

問 10-7 市民意見提出手続（パブリックコメント）の周知方法で、知っているものはどれですか。（〇はいくつでも）

【全体】

「広報おおさかさやま、議会だより」が 57.9%で最も多く、「どれも知らなかった」が 32.9%、「大阪狭山市のホームページ」が 14.8%で続いている。



【性別】

男性は、女性に比べ「大阪狭山市のホームページ」の比率が高い。

【年齢別】

10 歳代～40 歳代は、他の年代に比べ「どれも知らなかった」の比率が高い。

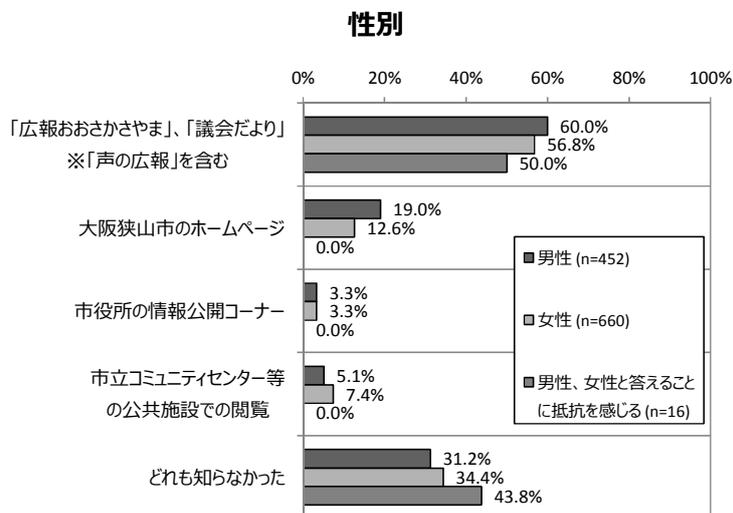
60 歳代以上は、他の年代に比べ「広報おおさかさやま、議会だより」の比率が高い。

70 歳代は、他の年代に比べ「市立コミュニティセンター等の公共施設での閲覧」の比率が高い。

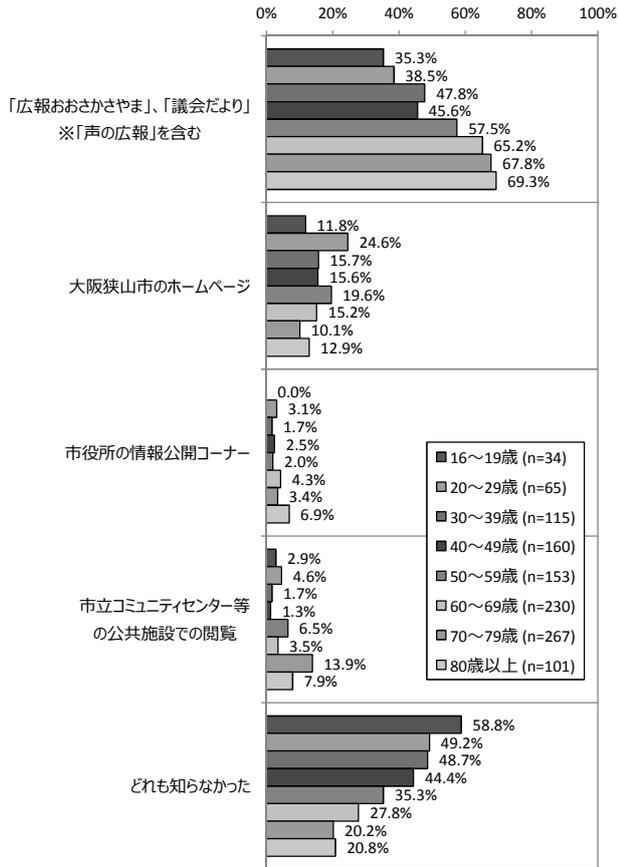
有意な差は認められないが、20 歳代は他の年代に比べ「大阪狭山市のホームページ」の比率が高い。

【地区別】

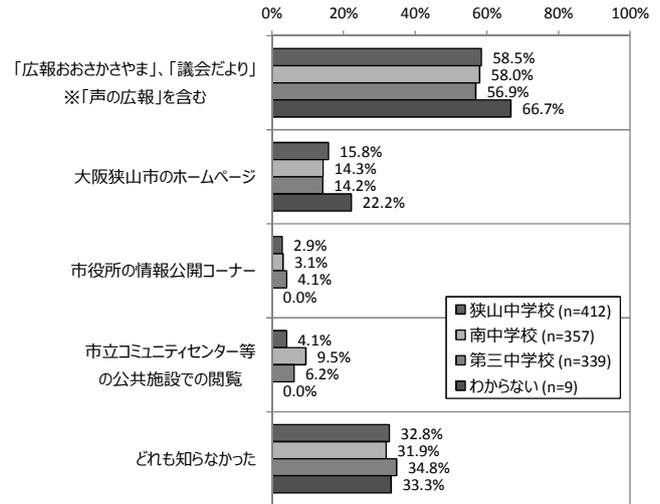
南中学校区は、他の地区に比べ「市立コミュニティセンター等の公共施設での閲覧」の比率が高い。



年齢別



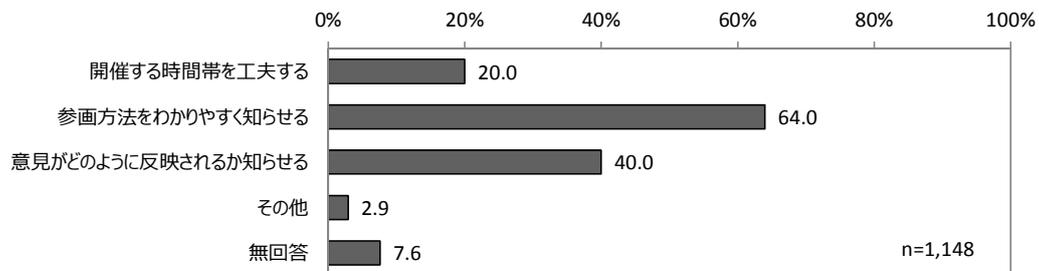
地区別



**問10-8 審議会等へより多くの市民に参画してもらうためには、何が重要だと思いますか。
(〇はいくつでも)**

【全体】

「参画方法をわかりやすく知らせる」が64.0%で最も多く、「意見がどのように反映されるか知らせる」が40.0%で続いている。



【性別】

性別による大きな違いは見られない。

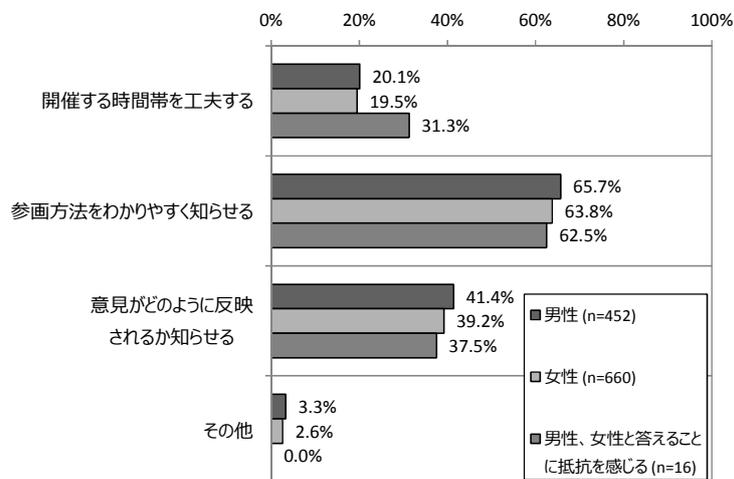
【年齢別】

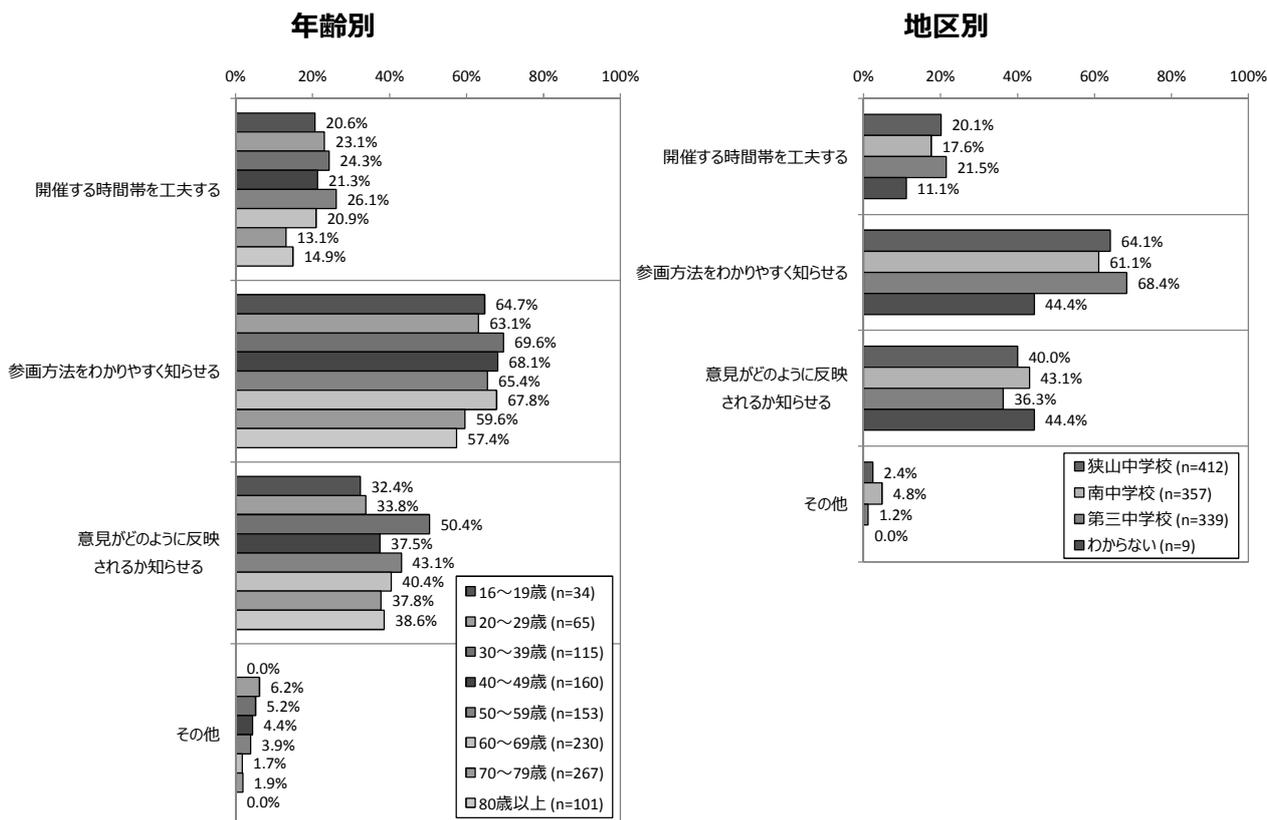
有意な差は認められないが、30歳代は他の年代に比べ「意見がどのように反映されるか知らせる」の比率が高く、70歳代以上は「開催する時間帯を工夫する」の比率が低い。

【地区別】

有意な差は認められないが、第三中学校区は他の地区に比べ「参画方法をわかりやすく知らせる」の比率が高く、「意見がどのように反映されるか知らせる」の比率が低い。

性別





【その他について】

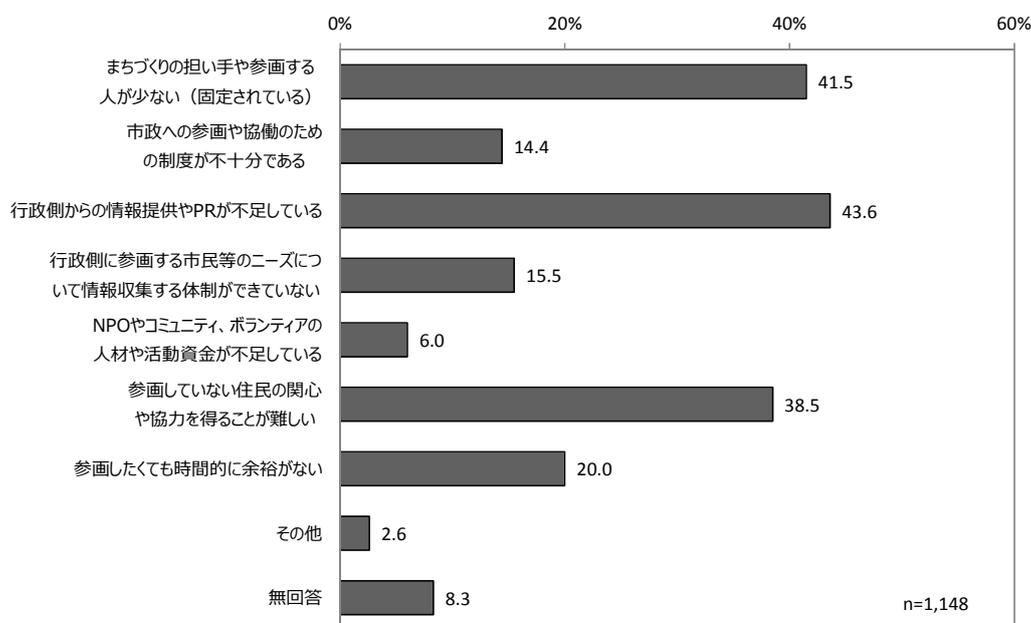
その他には、23 件（回答者は 23 人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

主な記述内容
ホームページで配信する。
メールもしくはDM郵送。
PR
会を SNS で中継。
ネットを使う等して意見できるようにする。
誰でも参加できる仕組み。時間のある人しかできないため。
各地区の自治会まで下ろしていくと具体が出やすいと思います。
気軽に参画できるようにする。
参画の意義をわかりやすく伝える。
参加しようと思わせること。
参加したら賞金、20 代～40 代だけ。
何かメリットが必要。ゴミのシールがもらえとか。
「変わる」という実感。
結果を分かり易く公表する。
現状で充分。
なし。
わからない。

問 10-9 市政への参画、協働を推進するうえで課題と思われるものは何ですか。(〇はいくつでも)

【全体】

「行政側からの情報提供や PR が不足している」が 43.6%で最も多く、「まちづくりの担い手や参画する人がいない（固定されている）」が 41.5%、「参画していない住民の関心や協力を得ることが難しい」が 38.5%で続いている。



【性別】

男性は、女性に比べ「行政側からの情報提供や PR が不足している」の比率が高い。

有意な差は認められないが、男性は「市政への参画や協働のための制度が不十分である」の比率が高く、女性は「参画していない住民の関心や協力を得ることが難しい」の比率が高い。

【年齢別】

20 歳代～40 歳代は、他の年代に比べ「参画したくても時間的に余裕がない」の比率が高い。

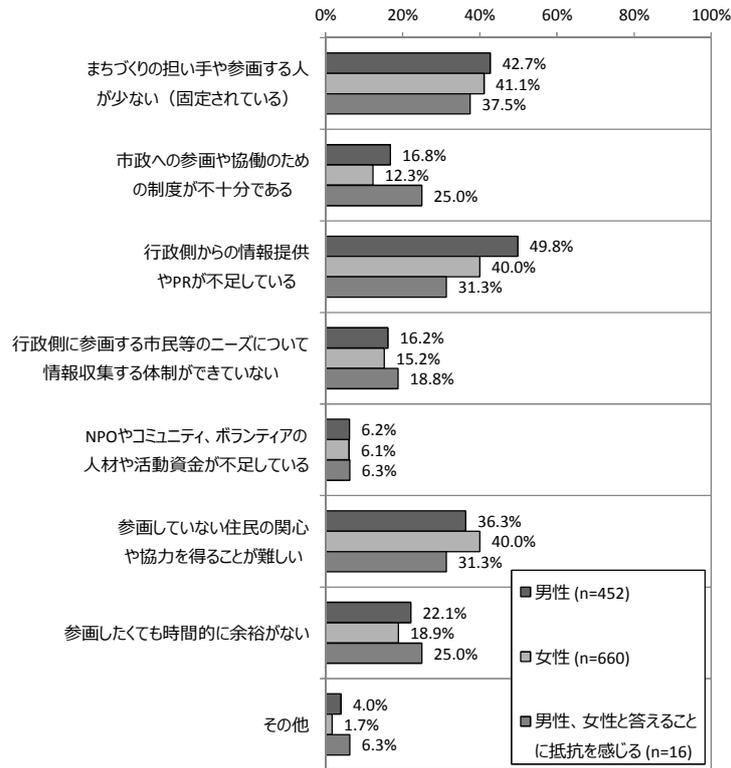
70 歳代は、他の年代に比べ「行政側からの情報提供や PR が不足している」の比率が高い。

有意な差は認められないが、10 歳代は「NPO やコミュニティ、ボランティアの人材や活動資金が不足している」の比率が高く、20 歳代～30 歳代は「参画していない住民の関心や協力を得ることが難しい」の比率が高く、80 歳以上は「市政への参画や協働のための制度が不十分である」の比率が高い。

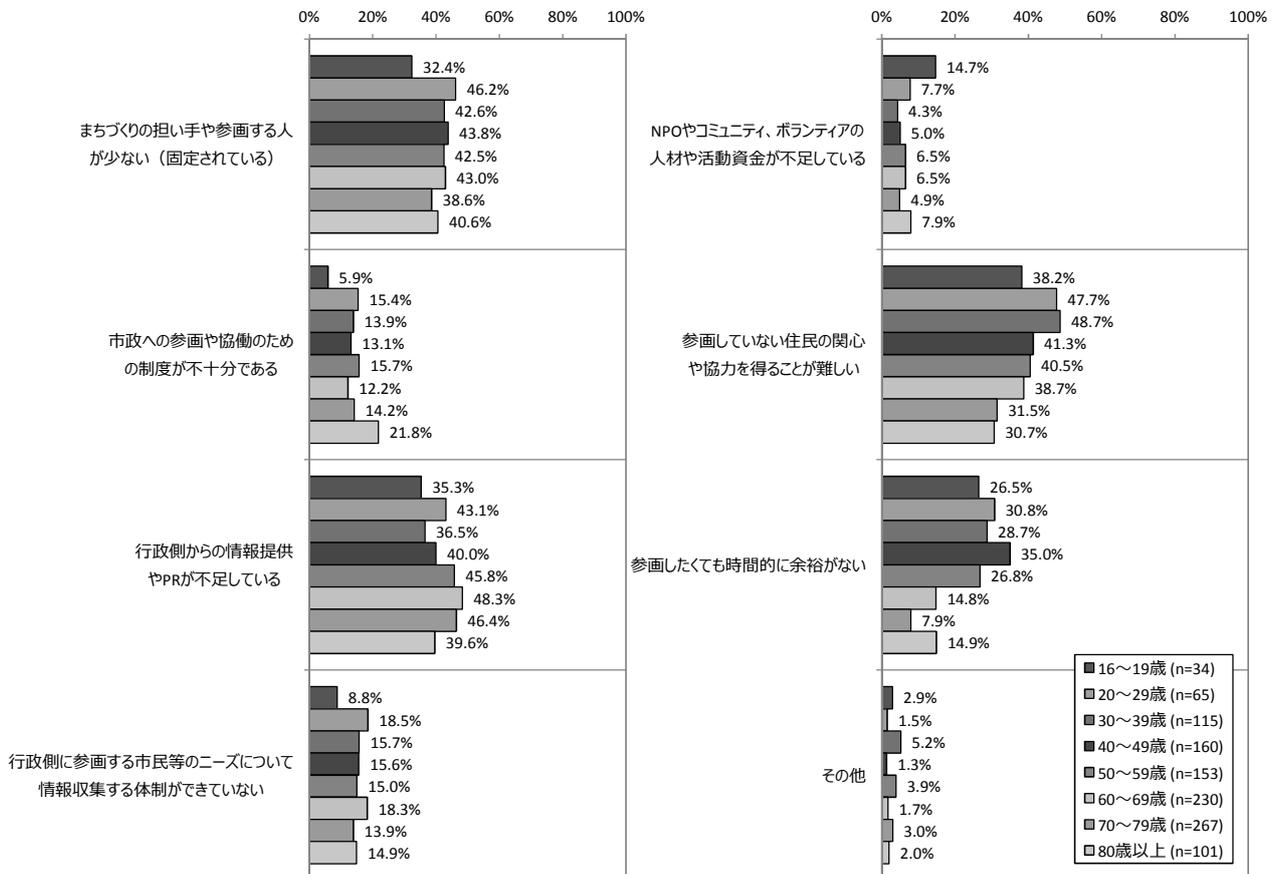
【地区別】

有意な差は認められないが、南中学校区は他の地区に比べ「参画したくても時間的に余裕がない」の比率が低く、第三中学校区は「参画していない住民の関心や協力を得ることが難しい」の比率が低い。

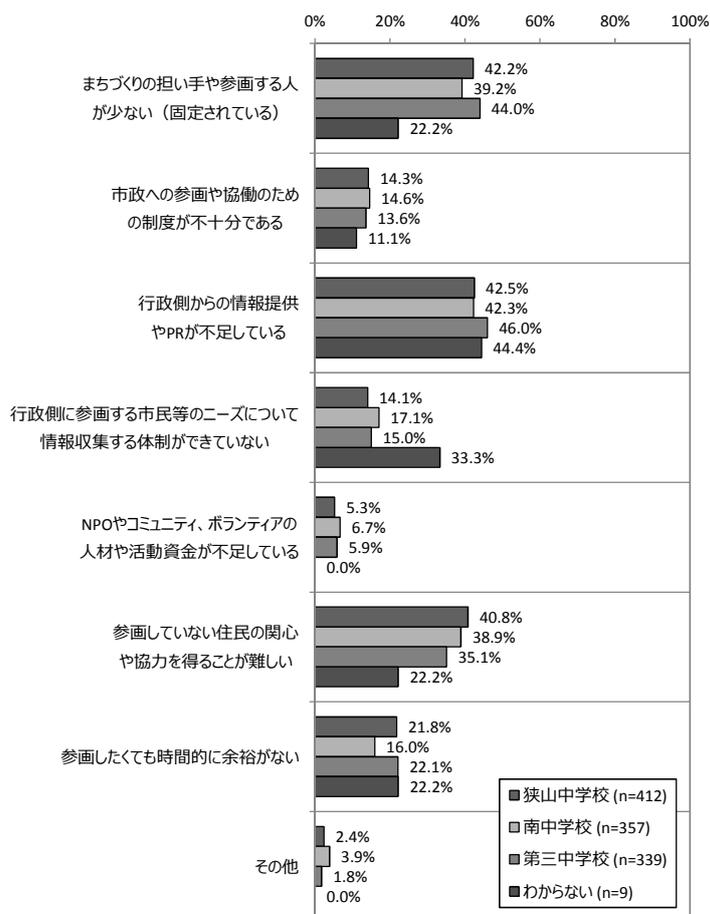
性別



年齢別



地区別



【その他について】

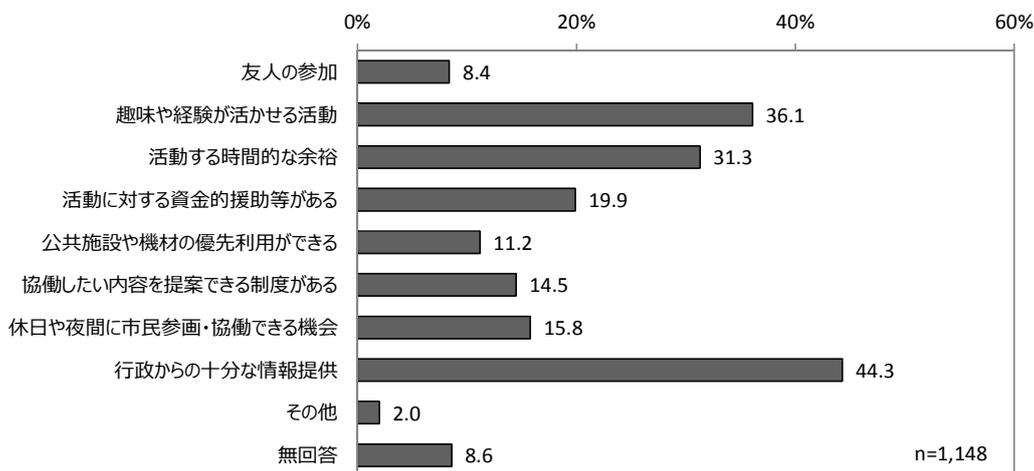
その他には、19件（回答者は19人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

主な記述内容
(適度の)例有償ボランティア制度導入。発想の柔難性。
ボランティア＝高齢者だと思われる。
参画することのメリットをPRできていない。
敷居が高い。
市民は市に税を払っているので、市がすべき事を市民にさせるのはおかしい。出来ない事はやめておけばよい。
参画協働の意義にあまり賛同出来ない。
参画したことがどう反映されるかを知る。
情報提供してほしい。
なし
わからない

問10-10 あなたは、市政への参画、市民と行政との協働をさらに広げていくために、どのような条件があればよいと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

「行政からの十分な情報提供」が44.3%で最も多く、「趣味や経験が活かせる活動」が36.1%、「活動する時間的な余裕」が31.3%で続いている。



【性別】

有意な差は認められないが、男性は女性に比べ「趣味や経験が活かせる活動」と「休日や夜間に市民参画・協働できる機会」の比率が高い。

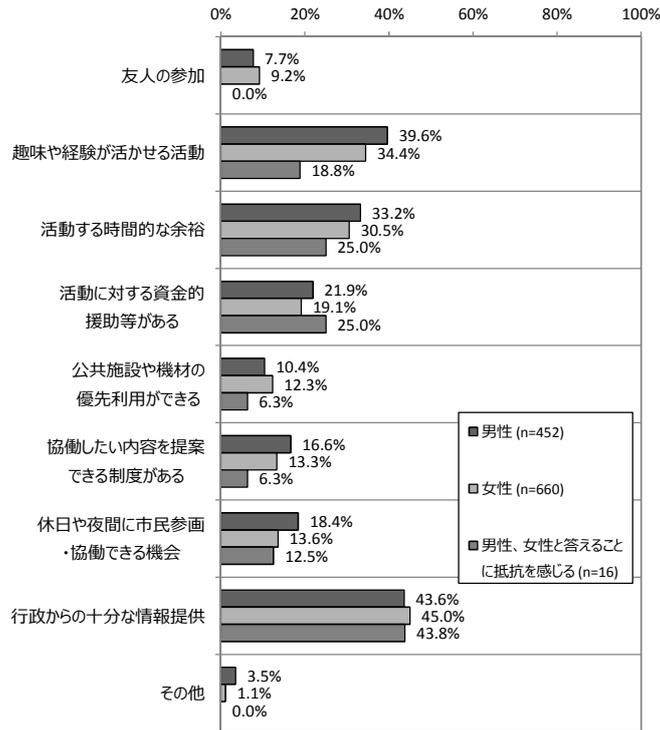
【年齢別】

- 10 歳代は、他の年代に比べ「友人の参加」の比率が高い。
 - 20 歳代～50 歳代は、他の年代に比べ「活動する時間的な余裕」の比率が高い。
 - 30 歳代は、他の年代に比べ「活動に対する資金的援助等がある」の比率が高い。
 - 50 歳代は、他の年代に比べ「休日や夜間に市民参画・協働できる機会」の比率が高い。
 - 60 歳代は、他の年代に比べ「行政からの十分な情報提供」の比率が高い。
 - 70 歳代は、他の年代に比べ「活動する時間的な余裕」の比率が低い。
- 有意な差は認められないが、30 歳代～40 歳代は「趣味や経験が活かせる活動」の比率が高い。

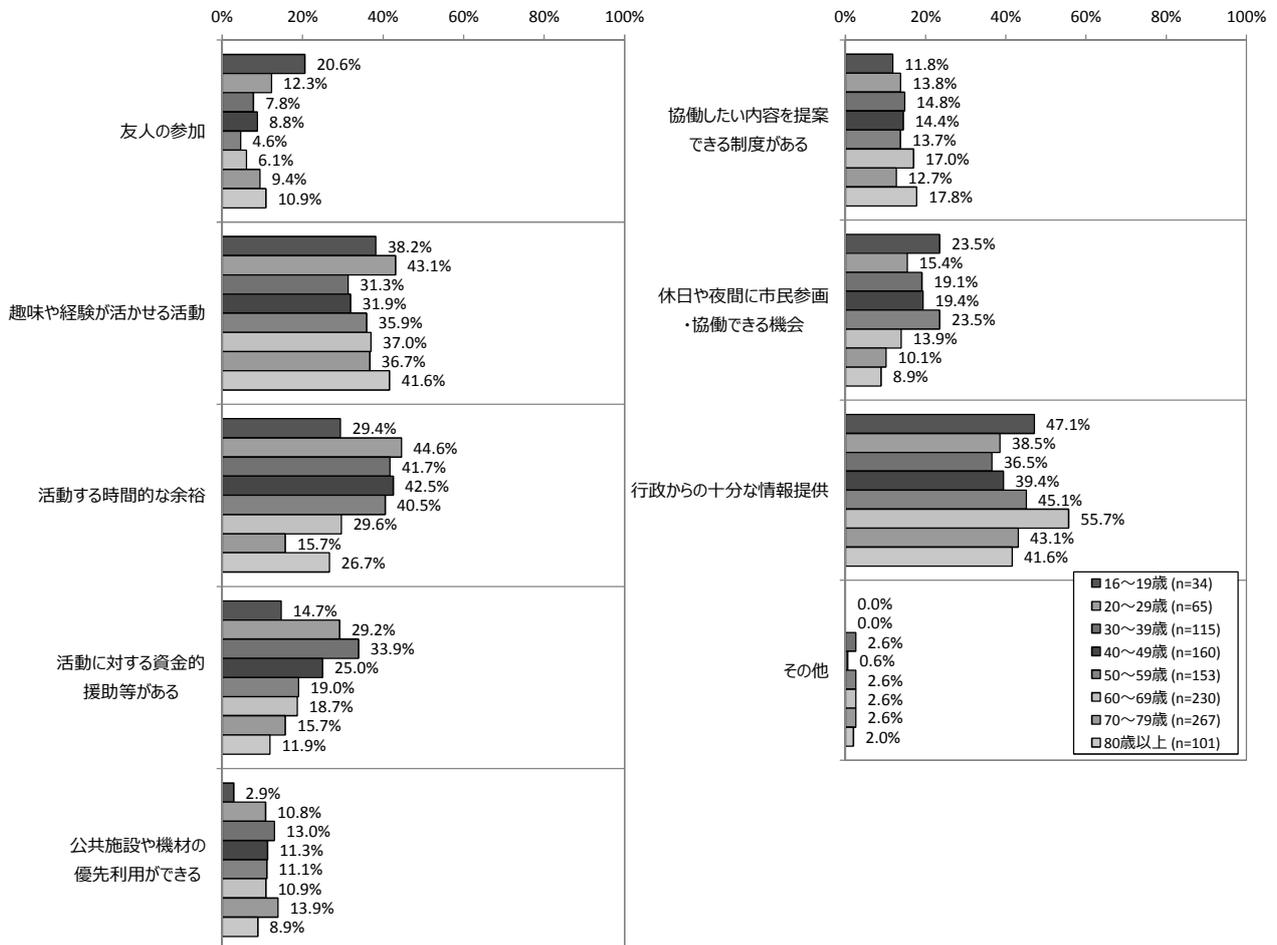
【地区別】

- 狭山中学校区は、他の地区よりも「活動する時間的な余裕」の比率が高い。
- 有意な差は認められないが、南中学校区は「趣味や経験が活かせる活動」と「休日や夜間に市民参画・協働できる機会」の比率が低い。

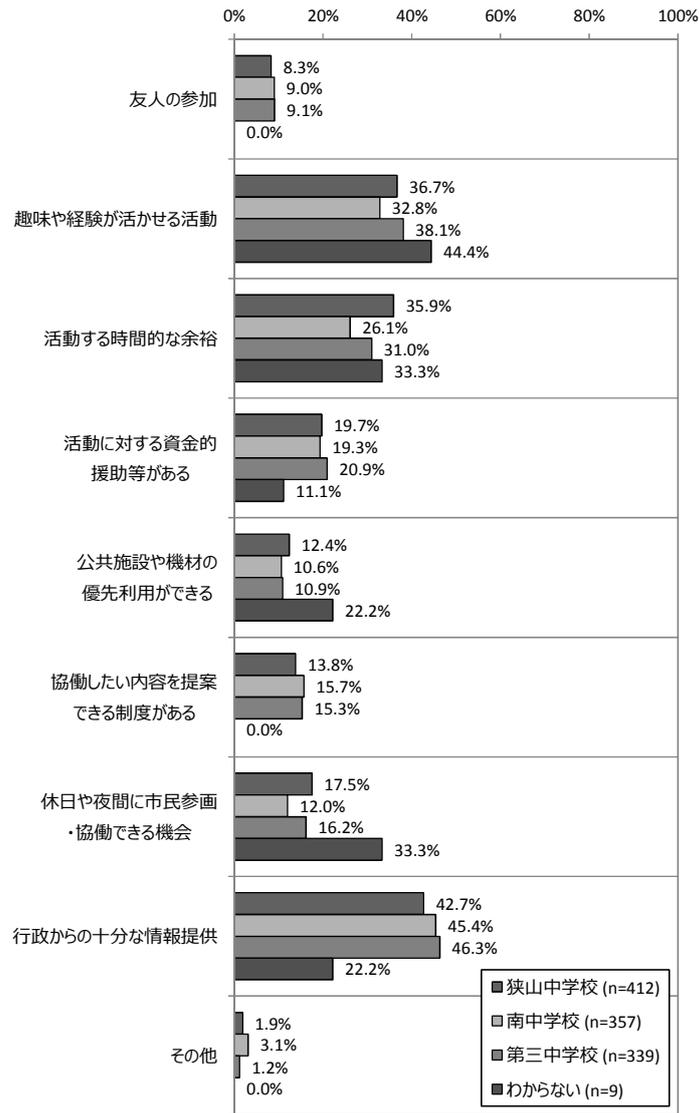
性別



年齢別



地区別



【その他について】

その他には、15 件（回答者は 15 人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

主な記述内容
IT投資。
意見収集へ。掲示板・メールなど IT の活用。
公共施設不足。
参画は必要ないと思う。
市政への参画協働の再考を希望する。
自治会から数名参加義務。
なし。
わからない。

問 1 0 - 1 1 大阪狭山市自治基本条例の条文について、見直すべき点はありますか。(○は1つ)

【全体】

「ない」が 70.9%で、全体の 7 割以上が大阪狭山市自治基本条例の条文について、見直すべき点がないと考えている。

【性別】

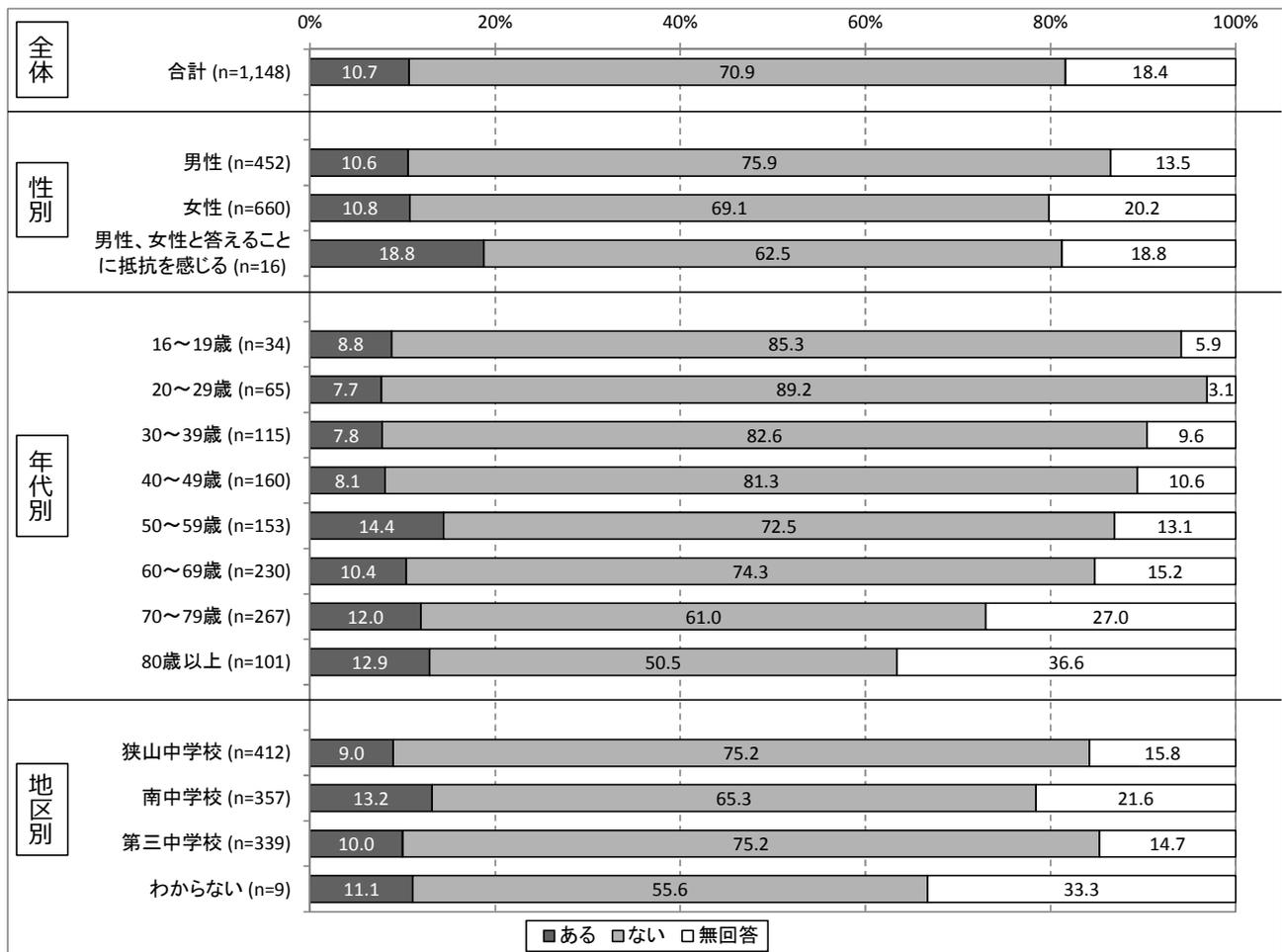
性別による大きな違いは見られない。

【年齢別】

有意な差は認められないが、50 歳代と 70 歳代以上は他の年代に比べ「ある」の比率が高い。

【地区別】

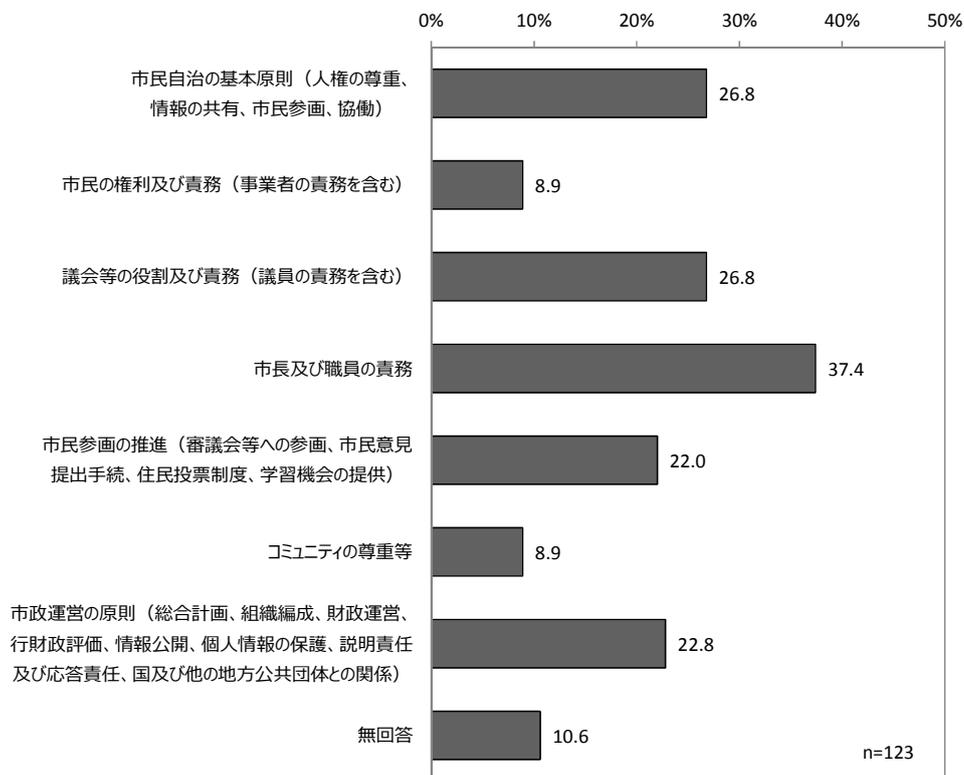
有意な差は認められないが、南中学校区は他の地区に比べ「ある」の比率が高い。



⇒上記で「1. ある」と答えた方にお聞きします。次の項目の中で、見直すべき点はどこだと思いますか。あてはまるものをお選びください。（〇はいくつでも）

【全体】

「市長及び職員の責務」が 37.4%で最も多く、「市民自治の基本原則（人権の尊重、情報の共有、市民参画、協働）」と「議会等の役割及び責務（議員の責務を含む）」が 26.8%で続いている。



【性別】

有意な差は認められないが、男性は「市民参画の推進」の比率が高く、女性は「市長及び職員の責務」と「市政運営の原則」の比率が高い。

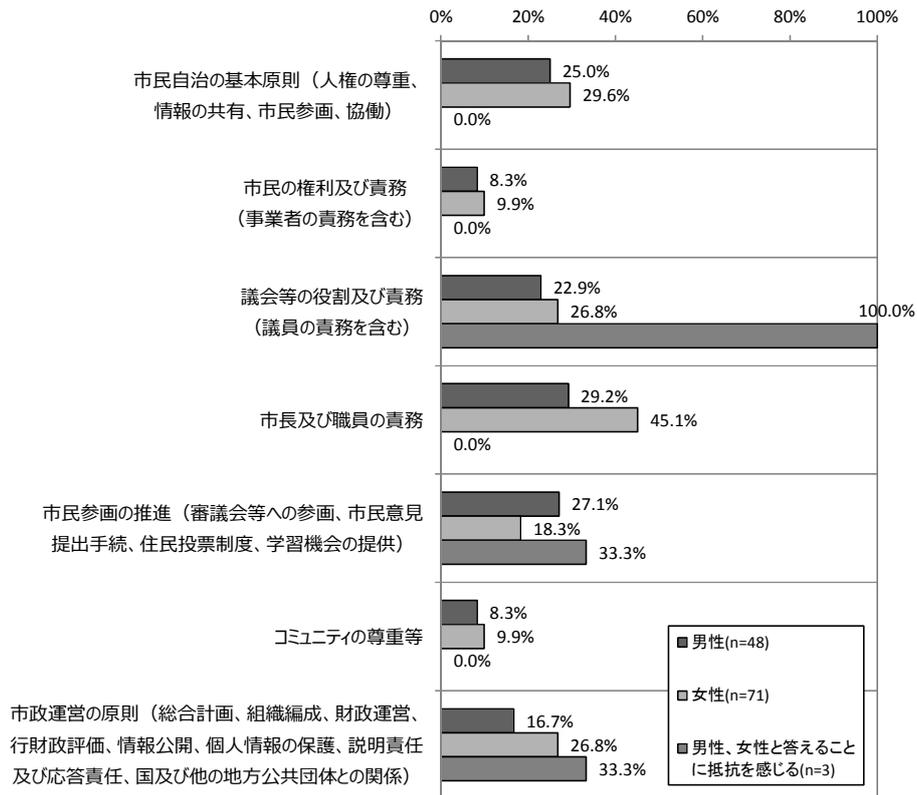
【年齢別】 ※回答者数が少ないため、16～29 歳、30～49 歳、50～69 歳、70 歳以上に分類しなおして考察している。

有意な差は認められないが、10 歳代～20 歳代は「議会等の役割及び責務」の比率が低く、「市政運営の原則」の比率が高い。また、30 歳代～40 歳代は「市民自治の基本原則」、「市長及び職員の責務」、「市民参画の推進」、「コミュニティの尊重等」の比率が低く、50 歳代～60 歳代は「市民の権利及び責務」の比率が高い。

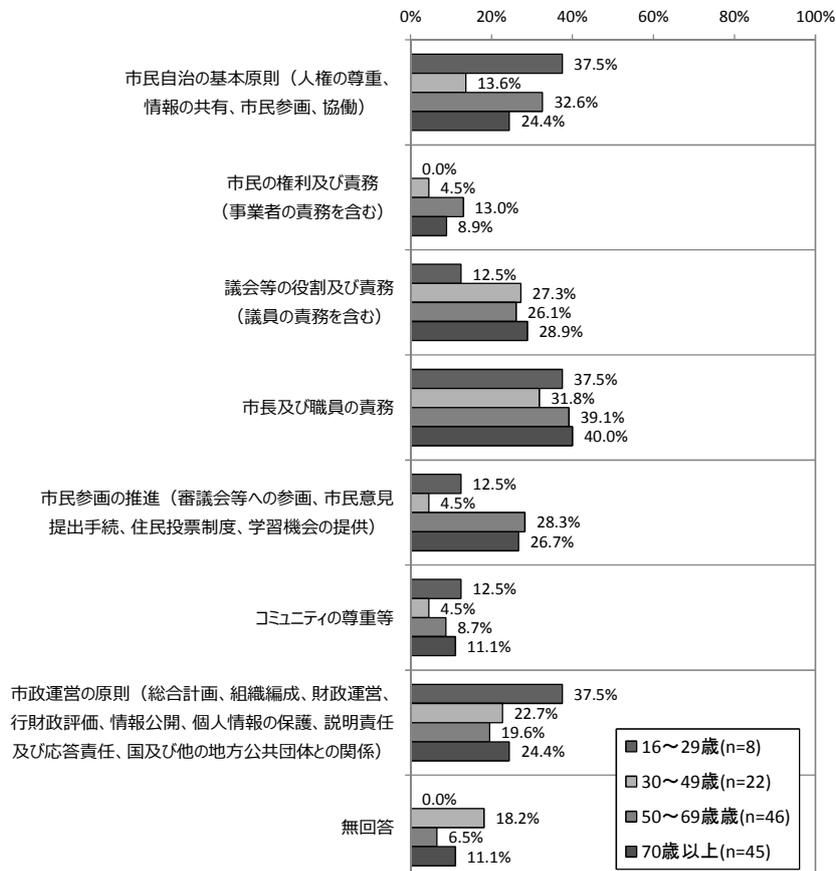
【地区別】

有意な差は認められないが、南中学校区は「市民の権利及び責務」の比率が高く、「議会等の役割及び責務」、「市長及び職員の責務」、「市民参画の推進」の比率が低い。また、第三中学校区は「市民自治の基本原則」、「コミュニティの尊重等」、「市政運営の原則」の比率が低い。

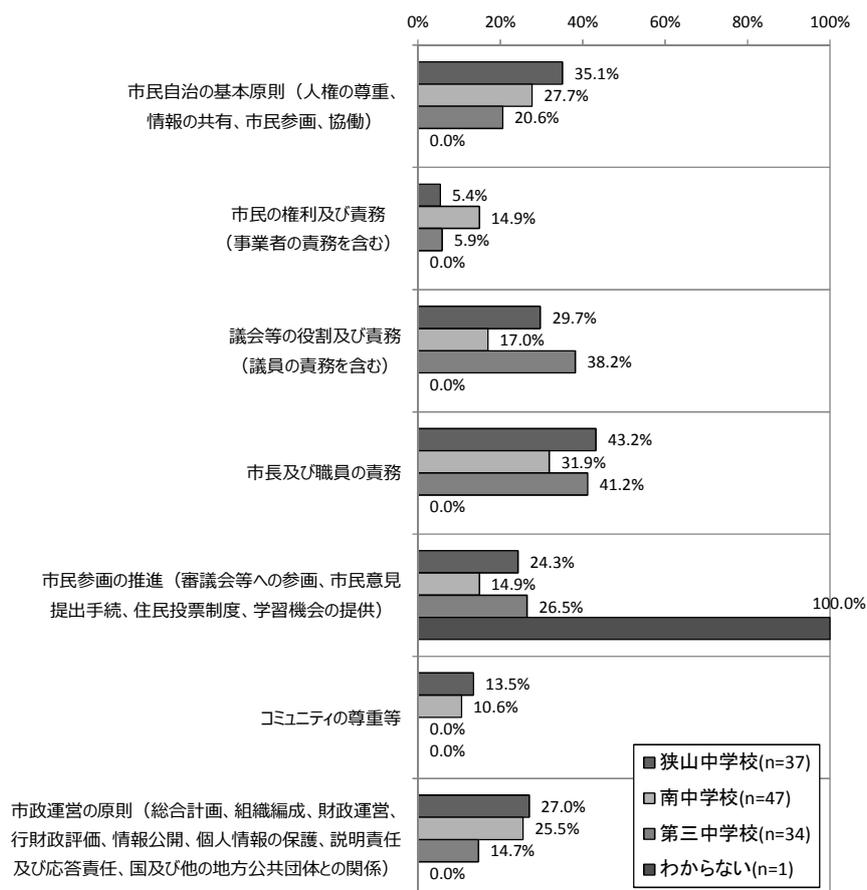
性別



年齢別



地区別



【その他について】

その他には、35件（回答者は32人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

主な記述内容
安心、安全なまちづくりの推進。
市民の定義が広すぎる。
高齢者が増すと、自己主張の強い方が増すと思われる。
地域住民の多数の迷惑となる行為には行政が積極的に是正できる文言の追加（モンスターペアレントには先生だけでなく市も積極的に対処できる文言。但し先生、地域、団体の指導者は義務と責任がある事を認識させる。）
アンケート項目の意図は推測できるが、本条例文も含め共助推進者、並びに参画、参加者の評価→マイナス評価は不要 顕彰制度－仮称大阪狭山市方式、仕組み等を導入して実施する。なお仕事（市長、職員、議会他（給与受給者）はやって当然）対象外。
何年も同じ市長ではなく、最長何年と区切りを決める。
市長は市民の声をもっと聞くべき。ソーラーパネルのことなど。
市長権限の制約。市長が市民の税金を使って行使する際はいくらであっても議会の承認を得ること。
職員の積極的な活動。（押しつけにならない。）
今までの市政運営及び大阪狭山市の規模等から思うことは、市議（市議会議員）過多である3割減程度が望ましいのでは。
議員数削減。落選する人を選ぶ選挙は無駄。
議員の収入と支出の透明化。税金等個人の利益につながるような疑いのある様な事は避ける様に。
市議会議員の人数と報酬は妥当なのか。民間の給料の平均は増えていない状態が続いている。
第12条-2及び第13条-2について活かされているとあまり感じない。したがって議員の定数を減らして、市民に直接還元される市政運営費にお金を回してほしい。
第21条2項「～するものとする。」に関して、コミュニティのための場づくりがあまり行われていないように感じるため、この項に関してものすごく違和感がある。
近大病院跡地の件心配だ。出来るだけ詳細に途中経過など知りたい。
金剛駅、狭山駅構内周辺がもっと開発されれば良いと思う。
時代に沿ったクリエイティブさが欠けてる。先駆的な地方公共団体の事例を参考に取り組む。
市民に責務を言うのはどうか。
第3章9条2の「市民はまちづくりに取り組むよう努めるものとする」は、市民に押し付けがましいと思う。
住民投票の結果の尊重→何らかの形で実施しなければならない。
第8条の市民の権利で、市政情報について知る権利を有するとあるが、市民側にも「知る様に努めなくてはならない」などの努力義務は必要でないか
情報公開を念頭においた制度設計はよいと思う。一方で、市民を含めた市の構成員に責務を掲示しているのに、内容は努力義務がほとんどであり、結局今一つ内容が乏しい様に思う。
第18条1項より「市民の意見に対する市の考え方の公表」はもちろんのこと、「その後のフォロー状況についても伝えていく」ことを定義してはどうかと思う。
近所づき合いの大切や美化清そうの大切を皆に知ってもらおう努力をお願い致したい。根本的な事が理解出来ない為に市民のあり方が希薄であると感じる。自治会の大切さ自治会運営の難しさ、など高齢化社会問題等々、人にやさしい市であり続けて頂きたいと願う。
高齢者の夫が亡くなり役所へ死亡届を提出、水道料金無料になると全く知らなかった。他の地区の知人より2年半後に教えて貰い手続きした。助かった。何故死亡届提出の際に連携できないのか。
動物（ペット）に対しての事を具体的に。ペットに優しいまちづくり。
すべての内容において具体性に欠ける。
第13条2項。分かり易く説明する様に努める。議員が努めているかどうか評価出来る様な文言を入れてほしい。もっとわかりやすい文章にしてほしい。
この答えははっきり言えない。

問10-12 「大阪狭山市自治基本条例」には、「市民、議会及び市がそれぞれ市民自治の担い手であることを自覚し、誰もが主体的にまちづくりに参画し、協働する市民自治の確立」をめざすと、前文にあります。そこで、市民自治の実現のために、望ましいと思う自治のあり方はどれですか。(〇は1つ)

【全体】

「市民、事業者、市民団体等と行政のパートナーシップ（協働）によりそれぞれが役割と責任を果たしながら地域社会を発展させる」が50.4%で最も多く、「地域社会（自治会）のつながりが弱体化しているため、行政が積極的な役割を果たす」が27.1%で続いている。

【性別】

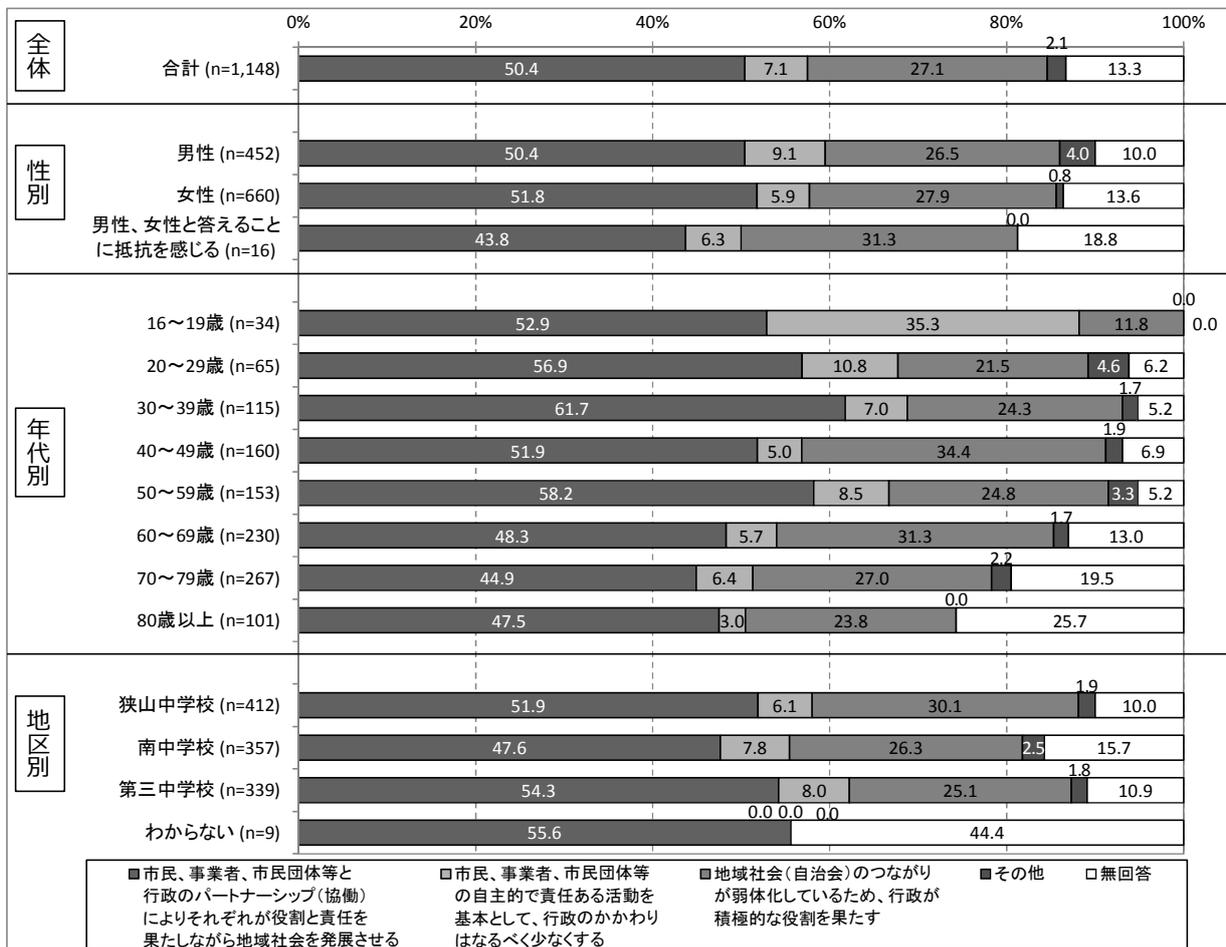
有意な差は認められないが、男性は女性に比べ「市民、事業者、市民団体等の自主的で責任ある活動を基本として、行政のかかわりはなるべく少なくする」の比率が高い。

【年齢別】

10歳代は、他の年代に比べ「市民、事業者、市民団体等の自主的で責任ある活動を基本として、行政のかかわりはなるべく少なくする」の比率が高く、「地域社会（自治会）のつながりが弱体化しているため、行政が積極的な役割を果たす」の比率が低い。

【地区別】

有意な差は認められないが、狭山中学校区は「地域社会（自治会）のつながりが弱体化しているため、行政が積極的な役割を果たす」の比率が高く、南中学校区は「市民、事業者、市民団体等と行政のパートナーシップ（協働）によりそれぞれが役割と責任を果たしながら地域社会を発展させる」の比率が低い。



【その他について】

その他には、17件（回答者は17人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。

主な記述内容
公権力が形だけを整えて、「やっています」という姿になり易いことを憂いている。本当に市民の声を聴くということを、常に行政に関わる人達は自戒してほしい。
20代～40代の意見が通らないと、納税者が減って市は滅亡する。高齢市に金を食いつぶされるため。
「2」の状態では行政の管理能力を高める。
各団体が共存できるよう、主体性を持ち、役割分担し、高い意識を持った組織づくり。
行政は支援のみで、困ったことの窓口をつくる。
決定権は議会にあるのだから、責任の取れる議会になってほしい。
全国レベル、周辺地域の協力が必要。
若い人が積極的に参加したいと思える環境づくり。
参画の定義がわかる、(周知)されている。
わからない。
ない。

◆ 自由意見

問 1 2 大阪狭山市のまちづくりについて、ご自由に意見をお書きください

自由記述では、443 件（回答者は 270 人）の回答があった。記述内容をまとめると以下のとおりである。
記述内容を分類すると、「都市基盤」（109 件）に関する記述が最も多く、「行財政」（89 件）、「自然・環境」（50 件）が続いている。

「都市基盤」では「道路の整備」、「歩道の整備」、「公共交通の整備」についての意見が多かった。

カテゴリー		主な記述内容
都市基盤 (109 件)	道路の整備	細い道路が多くて安心して通れない道ばかり。
		池之原の交差点はスピードを出して進入する車も多く、小さな子どもはそのような車からは見えず危険。歩者分離信号にして安全確保してほしい。
		農地から宅地へ変わっていき、住宅が増えていく中で、車の往来が増えている。生活路が狭く、歩道・車道の境目がなく、とても危険。
		大阪狭山市駅東側商業施設道路が狭いので、舗装し自動車事故が起こらない様にしてほしい。
		大阪狭山市駅周辺をもう少し広くしてほしい。駅踏切で危ない一面がある。
		金剛駅周辺の道路整備をもっと充実させてほしい。金剛駅西口周辺の道幅が交通量の割りに狭すぎて危ない。金剛駅踏み切から 310 号線への道幅を広げてほしい。
		西余川添いの道が中途半端で危ない。
		とにかく道路が狭い。310 号線が 2 車線である事が、車社会の今の時代に合っていない。せめて交差点だけでも右折専用レーンの長さを広げるべき。
		310 号線沿いの道路が狭い。道路から落ちそう(ダイソーの所のすしやの前)。
		狭く、すれ違いづらい道が多く、310 号線は夕方など混むので、車が必要なまちだが、移動に時間がかかるイメージだ。
		特に他市に比べ道路整備が非常に遅れている。舗装が車走行に対し悪い(デコボコ)。
		亀の甲～菜葉木辺りの歩道が自転車で走りにくい。
		狭い道路が多く、自転車が安全に通れるよう道路整備を早急にしてほしい。
		家の前の溝を塞ぐ工事をしてほしい。 用水路などにフタをしてほしい。
		歩道の整備
310 号線も美原に抜ける市役所前から続いている府道も歩道が無いもしくは、狭すぎる。自転車、歩きで利用出来ない。大阪狭山市に住んで 40 年間もなるが、この 40 年間放置。早く府に意見してほしい。		
市内を通る国道 310 号線の混雑のため、混雑時には抜け道を利用しようとする車両が脇道に入る。しかし脇道は専用歩道等の整備がされていないため非常に危険である。		
歩道が狭すぎて危ない。特にベビーカーで通る時にたいへん困った。310 号線のかつ喜のあたり。		
歩道の狭い所が多く、歩行者・自転車危険な箇所が多い。早い改善をお願いしたい。グリーンショップ～金剛駅までの区間、狭い道で人通りも多い。今まで何の改善もない。		
大阪狭山市駅周辺の道路はグリーンゾーンがあるものの歩道がなく危ない。用水路にも柵などない所があり危ない。ぜひ改善して頂きたい。		
狭山駅前等デコボコが多く、車いすでは危ない道路が多い。		
私の住んでいる菜葉木 8 丁目には歩道が少なく、その割に自転車や歩行者が多いので、歩道をつくってほしい。市役所にもお願いしてもなかなか動いてくれない。去年子どもの交通事故があった時は、その場所だけすぐに対応されていた。事前に防ぎたい。		
市内を通る国道 310 号線の混雑がひどすぎる。そのため、混雑時には抜け道を利用しようとする車両が脇道に入る。		
高速道路を通してほしい。 浅野歯車前がいつも道路が混む。緩和してほしい。 交通インフラ等を整備していかないと人は住まなくなるように思う。		

カテゴリー		主な記述内容
都市基盤 (109 件)	公共交通の整備	高齢者の車以外の移動手段(電車・バス)の経済的補助(大阪市内のメロ補助)の充実。
		堺市や大阪市のように市バスの老人の優遇バス等にしてほしい。老人が外出して元気になれば医療費の軽減にもつながると思う。
		年齢を重ねて、運転が出来なくなると移動手段が無くなる。市内循環バスの経路をもう少し広げて、利便性をあげてほしい。
		循環バスの本数を増やしたりコースも増やしてほしい。
		市内循環バスは便利でよく利用しているが、毎年年末になると運行なくなり、買物など不便で困るので、12月30日位までは運行してほしい。
		家の周りのコミュニティバスは1時間に1本しか来ず、利用しづらい。
		市内循環バスをもう少し遅い時間まで運行してほしい。
		コミュニティバスのルートを見直してほしい。なぜスーパーや銀行や病院に停まらないルートが多いのか。
		狭山駅から「狭山北」交差点までの幅狭道路を大型コミュニティバスが通っているが、いつ見ても多くて2~3人しか利用していない。小型バスに切り替えは無理か。
		市循環バス(百円バス)、高齢者利用が多い中、以前の緑色のバスよりも座席数が少なく、立つ方が多い。また後部座席の中央は、急ブレーキがかかると手すりも安全バーもないため、危険である。後部座席中央部はなくすか安全バーを設置すべきである。
		高齢者に対するバス料金やタクシーなどのサービスも充実して頂ければもっと住みやすい町になるのでは。
		ニュータウン内は坂道が多く、高齢者には歩くのも、まして物を持ってとなると大変で、車無くして動けない。免許証返納すると不自由な生活。今のままでは返納したくてもできない。
		高齢者で、病院に行く際、運転ができないのでタクシーを利用している。駅で合乗が出来たらいいなと思う。
		近所のお年寄りからよく聞く困り事で、出かけるのに足がなく家に引きこもってしまったり、買い物難民の一時的解決として異動スーパーはあるものの、本来の買い物ではないとのことである。NPOでの移動手段対策をお願いしたい。
		保健センター等、子育てに関する施設への交通の利便の悪さ、本当に子育てしやすいか。車が運転できない妻がいるがすごく不便を感じている。
	近代病院移転時や移動後に、交通環境が悪化しないような対策をお願いしたい。	
	駅・駅周辺の整備	金剛駅周辺の開発をもっと充実させてほしい。
		大阪狭山市駅(南海)の駅前をもっと魅力的にしてほしい。
		大阪狭山市駅の周辺の整備など環境づくりが大切だと思う。そして、美しいまちなみを守るべきだと思う。
		金剛駅付近の店や道路は利用しやすいように積極的に開発してもらいたい。若い世代が離れてしまう。
金剛駅の存在感の低下が悲しい。もっと発展している未来を想像していた。		
大阪狭山市駅駐車場が高すぎる。時間制にする等、金銭的負担を削減してほしい。		
大阪狭山市駅に北改札を作ってほしい。北側にも家が増えてきているため、便利になる人が多いはず。		
駅周辺のバス停設置。		
インフラの整備	そこそこ良い街だと思うが、インフラ面の整備遅れが気になる。資金の問題もあると思うので、重点的、計画的に取り組みべき。	
開発の規制	住宅開発が進み緑が少なくなった。	
	市内の調整区域を外してほしい。	
	私の住んでいる大野台4丁目も空き家が多く、近頃は家をつぶして、更地になっている。新しい造整地ばかり計画しないで、今ある所を利用する。	
行財政 (89 件)	市議会・市長への意見	議員の数を減らしてほしい
		小さいまちにあれだけの議員は必要か。税金の使い方を考える事も大事だと思う。片寄った考えではなく、皆に平等な考えを。
	市職員への意見	市役所職員の対応をもっと指導してほしい。
		市の職員の正規化をすすめる。市長や一部幹部が市政を私物化をしないようお願いしたい。
		以前自治会活動で、防災、防犯について、市役所に相談に行き、市役所で活動、活用されている資料を頂き、役立てることができた。私達も大阪狭山市民として積極的に取り組んでいかなければならないと実感した。
	気付いたことについては、担当部署にメールで提案している。市民個人の提案にも耳を傾けてほしい。	
	公正・公平なまちづくり	市役所が近いからか。大阪狭山市駅周辺道路は整備されているのに、狭山駅前等デコボコが多く、格差を感じ駅近でも魅力を感じない。
		駅周辺はスーパーや病院が近く、車なしで生活できるが、山本は極端に田舎で、周辺はスーパーも病院も公共機関施設もなく、とにかく不便。かといって、広い公園があるわけもない。税金のかけ方に不平等感が強い。市街地を拠点とするのではなく、まんべんなく便利になるようにすべきではないか。
		図書館、公民館等(保健センター含む)ニュータウンに片寄っている。狭山駅周辺には何もなく市民として不公平に感じる。

カテゴリー	主な記述内容	
行財政 (89件)	情報公開の推進	税金の使い方についてオープンにしてほしい。 条例など難しい言葉を並べられても分からない。 市議会の議事録(市役所の閲覧室・図書館に置いてある印刷物と同じ内容)をPDFにし、HPに掲載する。(数年前) 回答:次年度検討します。 知らない施策多数あり。
	情報発信の推進	ホームページの充実・広報の充実 協働を上手に取り入れられると思うが、PR といつか活動についての情報発信が足りないと感じている。以前「子育て」「高齢者対策」について、インターネットで情報を探したが、ヒットしなかった。熟年大学等の公だけに頼らない取り組み、市民の文化等の意識の高さを知らしめる工夫(キーワード)を考えてみてはいかかが。
	個人情報の適正な管理と情報セキュリティ対策の徹底	市のホームページのセキュリティーは安全なのか。アンケート依頼をQRコードなどで読み込ませて、スマホやPCからアクセスできるようにしてほしい。
	市民が意見を伝えやすい環境の整備	近大移転の合意を出す前に住民の意見を聞いてほしかった。
	市の認知度の向上	良いまちなのに知名度が低く、さみしい。がんばってほしい。 ずっと大阪市内中心部に働いているが、「大阪狭山市ってどこ?」と聞かれる事がほとんどであり、ほとんどの人が堺市らへんと答えていると思う。もっと出身有名人などを使って大阪狭山市の知名度を上げてほしい。そうすることによって人口流入に繋がると思う。 今の若い世代が大阪に住むとしたら大阪市より北が良いという人が多いと思う。大阪狭山市の魅力発信はもちろんのこと、大阪南部のイメージ向上を図らないと南北格差はより広がり、大阪狭山市は衰退していくと思う。近隣の他自治体、南海など地元と密接している企業等とより一層協力して南河内のイメージアップをしなければ今以上に活性化することはないと思う。
	近隣市町村との連携	近隣の市町村との協力・連携をとって街の整備を進めることも必要な場合、どちらに相談することが可能なのか。要望を申請する窓口はあるのかと、わからないことがある。 大阪狭山市民であっても、堺市の図書館を利用できるように、相互連携をお願いしたい。
	近隣市町村との合併	町づくりを活性化させるためにも、堺市との合併を再検討してもいいかなと思っている。是非進めて頂きたい。 大阪狭山市もいずれどこかの市と合併しなくてはいけなくなるだろう。その時は大阪狭山市は堺市との合併を希望する。
	人口減少への対策	人口減少対策に充実してほしい。 市政についてあまり考えたことが無かったので、どの設問もよくわからないというのが本当のところだ。人口が減っているのに、増えるような施策をしていただき商業・事業・学校・病院等が市内に留まって暮らしやすい大阪狭山市になってほしい。
	若者の定住促進	新婚住居手当をつくってほしい。 若い人たちが結婚しても住み続けたいと思うまちにしないと、年寄ばかりの町になってしまうと思うし、現になりかかっている。 よりよい環境にしてベッドタウンとして若者を呼び込めるようにした方がよい。
	近大病院・大学移転について	近大病院跡の計画を最優先課題として取り組んでゆく必要がある。大阪府、南海電鉄等と連携していってもらいたい。大阪狭山市役所だけでは負担が大きと思われる。 近大付属病院移転後の対策をきちっと考えないと、大阪狭山市に未来はないと思う。他に魅力はない。 大学2校撤退は、どうお考えか。1校も存在しなくなると、文化都市とは言えない。
	アイデアや意見	良い町だと思うが、積極的に住みたいと思わせる魅力はあまりないと思う。 観光に力を入れても観光資源が少ないのだから無理に力を入れても無駄と思う。 工業、商業、製造業を伸ばすということではなく、都市近郊地域即ちベッドタウンとして、住環境の充実、教育機関の充実、医療機関の充実などへの対策が必要な地域であると思われる。財政面からは、市民税、住民税が伸びるよう努めるべき。全国的に似た環境にある自治体での対策と効果を研究し、参考にすべきであると思われる。 人と同じでまちにも得意・不得意がある。近隣や他市がしていることに倣うばかりでなく、得意なことを伸ばす、そして不得意なことはやらない勇気を持ってほしいと思う。昔からやっている事業は、今も必要なのか、そのやり方で効率的なのか、行政がすべきか市民や民間に任せられるか、今一度見直してほしい。サービス事業等は、何でもかんでも行政がしなくてもいいと思う。小さな市だからこそできることもたくさんあると思うので今後に期待している。 他の地域でまねできない大阪狭山市を創り上げるべき。 福祉を整備していかないと人は住まなくなるように思う。 これからはもっと広い視野で、企業や発展している自治体などのアドバイスを受け、未来志向で街づくりしてほしい。魅力的な街には人は集まると思う。 住みやすい町には程遠い。小さな街でも整備すれば、住みやすい町になる。 西山台、大野台の高齢化に歯止めをかける。

カテゴリー	主な記述内容		
行財政 (89件)	健全な財政運営	<p>近大移転などもあるので、企業誘致などを進め財政力を上げていかないとまちづくりの案がただの案で終わる。</p> <p>近大病院の移転、帝塚山学院大学の移転など地域医療、経済等不安である。多くの課題があり大変だと思うが、住みやすい町であり続けるために努力していただきたい。</p> <p>近大病院の移転、大学移転など大阪狭山市は大きな財源がだんだんなくなると、市民の税金を上げるしかないのではと、年金生活者にとって心配です。</p> <p>市民から集めた税金は、市民のために使ってほしい。</p> <p>吟味して、みんなが本当にもとめている物に税金を使ってほしい。</p> <p>水道工事の看板に「予算～円」とかいてあるのを見た時、行政の透明化への取り組みは本気だと、頼もしく思った。当たり前のことのように思うが、「自治基本条例」と明言するのが大切。</p>	
	税金の負担減	<p>市民税等のUPが気になる。</p> <p>単身者、若年層の税金を安く。子育て世帯の待遇が良すぎる。単身者には待遇ないので、若年層は一層離れると思う。</p>	
	公共施設の管理	<p>公共施設をもっと自由に使えるようにしてほしい。大人も子供も自由に使える自習室(自習スペース)や提供される日時が固定されない交流の場のようなもの。</p> <p>手軽に体育館利用が可能など、スポーツを通じたまちづくりも大切。</p> <p>サヤカホールも、まちづくりに重要な施設だと思うが、うまく運営されていないと思う。情報の発信と、苦情の受け入れ先を明確に。他にないので借り方は、我慢を強いられている。もっと努力してほしい。</p> <p>スポーツ施設がある程度充実しているので、そこを有効活用し市内の人口呼び込みが出来るのではと思う。(サッカー、野球、バスケの大会を実施するなど)</p> <p>図書館の中身を充実してほしい。</p> <p>狭山池など素敵な自然は残しつつ、魅力ある施設は作っていいと思います</p> <p>新しい施設(UPつぶ)など作るのには良い事かも知れないが、周りの県や市に影響されるばかりではなく、大阪狭山市だけのもの(昔からの幼稚園や学校の施設をリノベーションするなど)があってもよいのではないかと。ムダな税金を使うのではなく、昔からのものを大事に。</p> <p>小学校の空き教室を利用する。</p> <p>無駄な公共施設をなくす。</p>	
	自然・環境 (50件)	自然環境の保全と活用	<p>緑や自然が多いので、それを残しうまく活用して皆が憩える町であってほしい。</p> <p>住み始めた頃に比べて田畑などの自然環境が失われ、とても美しい町とは言えないと感じている。</p> <p>緑を大切に。特にすでにある大木を無くさない。</p> <p>自然については、狭山池はとても良いと思う。</p> <p>狭山池について、とても気になるのは、どんどん水かさが減っていることだ。</p> <p>狭山池周辺を自然を守りつつ、もっと人が集まるよう活用すべきでは。</p>
		緑化の推進	<p>駐車場の全面アスファルト舗装をストップしてほしい。芝生又は自然雑草を組み合わせた駐車場は少し見かけるが、大きな商業施設や、公民館等の公共施設の駐車場はほとんど全面アスファルト。昔からの道は大切に。コンクリートや舗装で緑地部分を覆ってほしくない。</p> <p>町全体に緑が少ない。まちをグリーン化すべき。</p> <p>大型商業施設やアミューズメント施設等はそのまま作らず、緑化活動・福祉活動に資金を充ててほしい。大阪狭山市に来る人、住む人は、そういった混雑など求めていると思うし、大阪狭山市でなくて市外で遊ぶことが多いと思う。</p>
		公園の整備	<p>整備が目玉である狭山池に集中しており、市内の身近な公園や遊歩道の劣化、老衰化が著しいと感じている。桜をはじめとする樹木の枯れ死や花壇の崩れもあるし、それに対する新しい樹木の植え替えも足りない。これまでは安定した住環境が保持されてきたが、このところそのクオリティは低下している。対処を求めたい</p> <p>狭山池公園の遊具をもう少し増やしたり、拡大してほしい。狭山池まつりで人がいろんな所から集まり、やっぱりあの遊具ではもの足りない感じがある。富田林の錦織公園のように、もう少し遊具があれば、もっと人も集まり、外で遊ぶ子供も増えると思う。また、やっぱり狭山遊園があった頃のプールがまた戻ってきたらなあ、いつも大阪狭山市の友達と話している。</p> <p>子供が遊べる公園が少ない。</p> <p>広い公園を増やしてほしい。</p>
		景観の保全	<p>多くのため池に「発電パネル」を設置しているが、景観を損なっているし、野鳥が少なくなっている様に思われる。反対する。</p> <p>住民の了解なしに近くの池に発電パネルを設置するのはおかしいと思う。逆効果</p> <p>大鳥池のソーラーパネルは本当に必要なのか。池は池のままがいい。</p>
		公害対策の推進	<p>狭山中学踏切辺りにカラスが多数出没していた時がある。夏、フン害に困っている。</p> <p>公営団地で空室が長い期間ほったらかしにされて、ベランダにハトやカラスが集まり、住人が困っているが管理している所が個人情報重要で積極的に介入してくれない。なんとかしてほしい。</p>
		環境美化の推進	<p>狭山池の夏場の臭いを改善してほしい。</p> <p>緑が多いわりに手入れされていない街並み。</p> <p>農業用水路も掃除されず汚い。そうじできないなら水路をふさいだり鉄板などでゴミが入らないようにしてほしい。</p> <p>全体的に整備や美化が行き届いており、暮らしやすいと思います。</p>

カテゴリー	主な記述内容		
自然・環境 (50件)	マナー・モラルの向上	<p>ペットに対して優しい町になることを願う。まち全体で犬猫の保護活動などにも力を入れてほしい。</p> <p>犬の散歩はいいが、やはり恐い人、嫌いな人もいるので必ずリードをつけてほしい。</p> <p>フンだらけの道。</p> <p>地域みんなが誇りに思う場所、狭山池はぜひ禁煙にすべき。吸い殻が多く落ちており残念に思う。</p> <p>環境がいいと言っても、ポイ捨てゴミの落ちていない道路、植えこみはほぼ皆無。家でマナー守っても外ではどうでもいいというような意識レベルなんとかならないものか。</p> <p>近隣の農家の方が野焼きをしても危険。畑で農作物を作られている方は、年中燃やすので、どうかしてほしい。</p>	
	ゴミ収集に関する不満	<p>粗大ゴミを、周りの市、特に堺市の方が、ご自身のところでは、ゴミが捨てにくいと、大阪狭山市の方をお願いして捨てている。政令都市のゴミを、大阪狭山市が、負担するのは、おかしい。</p> <p>ゴミ収集の際に、シールを貼る必要性を感じられない。なくなったら有料で購入しなければならないことにも不満。</p> <p>高知の方ではゴミシールではなく、袋に印刷してスーパー、コンビニなどで販売している。住民がそれを買ってゴミを出している。住民は皆節約して使っている。出し方もきれい。大阪狭山市もどうか。</p> <p>大野台2丁目に住んでいた時は、古紙は回収に来てくれていた(シール不要)。東池尻5丁目は、粗大ゴミの日に要シールで出さないといけない。市内でなぜ差が出るのか。</p>	
	産業 (40件)	都市農業の推進	<p>農業振興を計り、宅地造成を減らす。</p> <p>農業の担い手がいらない。農業を続けられない。</p>
		企業誘致	<p>行政が企業を大阪狭山市に持ってくる。ここは住宅地域で、工場等は無理だと思う。IT産業とか、情報系の企業の呼び込みなどを考えていくこと。</p> <p>近大病院に変わる新しい企業を誘致してほしい。</p>
	商工業の振興	<p>地場産業を活用化する。市内に住む方のどれほどの人が大阪狭山市の地場産業とは何かを明確に答えられるだろうか。意識改革の啓蒙。</p>	
	商業施設の充実	<p>大阪狭山市駅の周辺に商業施設が必要。</p> <p>狭山駅周辺にスーパーをつくってほしい。狭山駅周辺は何もなく、すごく不便。お年寄りの方が困っている。</p> <p>金剛駅西口ロータリー周辺にも、コンビニや、パン屋さんがほしい。通勤、通学者には、ありがたい。</p> <p>近大の跡地へ大型商業施設(ショッピングモール)を作る事を検討してもらえないか。我が家は休日(七道)のイオンショッピングモール等まで出掛ける。食品、衣料、日用品すべてそろい、子供を遊ばせるスペース、親も呼んで食事の出来るスペースがあるからだ。市民も便利になり、他市からの集客もあり、就業先も増え、市もうるおうのではと思う。現在大阪狭山市内には小さいスーパーしかなく、ダイエー(現イオン)も若者にとって楽しい場所ではない。このままでは、若者はほとんど外へ出て行ってしまい、高齢化が進む一方だ。</p> <p>高齢者が買い物に困らない住みやすいまちをつくってほしい。</p> <p>スーパーの少なさ、本当に子育てしやすいか。車が運転できない妻がいるが、すごく不便を感じている。</p> <p>子どもが多いのに本屋さんがない。</p> <p>国道310号線、森屋狭山線等、主要幹線道路沿いは、商業も含めて発展可能な場所だと思う。</p> <p>娯楽施設がほしい。</p> <p>自分のこれからを考えると、地域に昼食時間帯で食事提供されるレストラン、カフェがあればと思う。そうすると、地域交流にもつながるのではないかと思う。そこでは文化的なお稽古や交流会・催物などができるとよい。</p>	
	観光振興	<p>一番の売りである狭山池は、駐車場の認知が低く、車で行くにくいところにあるなあと通り過ぎる事が多いという感じだ。</p> <p>狭山池は、よく整備されていて、春には桜、冬はイルミネーションで秋は祭りのイメージ。</p> <p>狭山池の一部やため池を利用して、高齢者や家族連れで魚釣りを出来る様なスペースを設けると、特に老人は喜ぶと思う。</p> <p>狭山池に貸ボートを。</p> <p>道の駅があればいい。</p>	
	その他	<p>大阪狭山市の良い所としてパチンコがない所だと思っている。治安維持するためにも、この政策はぜひ続けてほしい。</p> <p>住宅地なのに飲食店(自宅を改造して)が出来るのはやめてほしい。風向にかかわらず臭いの我慢できない。駐車スペースもないのに、周りの家の前に駐車するのはどうかと思う。</p>	
	子育て・教育 (36件)	子育て支援の推進	<p>子育て世代のサポート、まちづくりを進めてほしい。</p> <p>子育てしやすいまちとよく言われているがあまり感じない。自治活動や市政に力を注ぐ前に将来を持つ子育てに力を入れるべき。</p> <p>河内長野のようにベッタウンを目指している感じはあるが、それなら子育て・教育を強化して、大阪狭山市からよりよい子どもがどんどん育ち、世の中が良くなる様になったら良いと思う。</p> <p>「教育・子育て」に魅力のある街であってほしいと思う。特化して特長を出していくのも1つの市政になるのではと思う。</p>

カテゴリー		主な記述内容
子育て・教育 (36件)	経済的支援	幼稚園の保育料の高さ等、本当に子育てしやすいか。
		富田林市から引越してきて出産、育児サービスの悪さにびっくり。2人目の出産はない。
		子どもに掛かる費用を無料にしてもらえたらとても助かる。
		子どもの医療費免除を高校卒業まで引き延ばしてほしい。
		子どもを何人かほしいと思っても、経済的な事が気になるので、支援があると助かる。
	保育・学童の充実	保育園など入りやすく、仕事に就きやすくしてほしい。
		以前住んでいた堺市ではリフレッシュ目的でも気軽に一時保育を利用でき、助かっていた。一時保育を利用していたこども園では、一時保育の子どもにスタッフが1~2名がついてくださっていた(通常保育とは別に)ため、そういったことが可能だったと思う。病院へ行きたいときなど、大阪狭山市でも一時保育を気軽に使いたい。
		それと病後保育は知らない。必要なのは病児保育。 学童に入りたくても入れない子がいる。親はどうすればいいのか。
	公共施設の整備	子育て支援センターが新たにできて、とても嬉しい。
		あぶつづを利用した際、スタッフの方と受付で少し話をするにはあるが、室内であそんでいる時、様子を見に来てくれることがなかった。せつかくの機会なので相談か話相手になってもらえるとよいと思う。 子供達のためにも楽しめる場所も増やしてほしい。
	学校教育の充実	となりの堺市とのちがいが、学校を整備していかないと人は住まなくなるように思う。
		東小はクラス数が多すぎるので教育が手薄にならないのか不安もある。大規模校のよさもあるかもしれないが、線路を渡ったり危ない面もおおいのもう一学校あってもよいと思う。
狭山高校の質を高めてほしい。教育が大事。		
学校が古すぎ、雨漏りがしているなんて信じられない。これで子育てを援助しようと計画しようと思っておられるのか。		
青少年の健全育成	小学校・中学校のいじめについて。弁護士の人に年1回学校で、こういう事がいじめになる等の話を生徒にしてほしい。している市があり良いらしい。そしていじめにあったら、学校と弁護士の両方に相談出来る様にして、早期発見早期解決に努めてほしい。	
	祭りがあるからと言って、未成年の飲酒や喫煙を促していいとは思わない。	
	学校教育、モラルの大切さを広めてもらいたい。	
大学誘致	大阪狭山市から大学が全くなくなるのは寂しい。教育環境を充実させるためにも新たな大学等を誘致してはどうか。	
	近大医学部、帝塚山学院の転出は非常に淋しい限りである。大学や高校の誘致に努めていただきたい。	
雇用の促進	近年、少子高齢化が進んで一つの要因は、女性が仕事優先になり、結婚時期もしくは、出産時期が遅れるためである。仕事場でも充分過ぎる休暇を取ってほしい。	
安心・安全 (29件)	防災対策の推進	台風のブルーシートの配布・災害ゴミの臨時積載所(辻本病院横)の情報等が自治会からもなく、知ることが出来なかった。今後災害があったときには色々な情報が回ってこないのではと不安になりました
		大阪府と大阪の市町村全部で震災にあった時に、役所が機能しなくても大阪府全体で対応出来る助け合いのシステムを作ってほしい。
		新しく開発されている住宅地は袋地(入口と出口が同じ)が多く、道路も狭い緊急時の通行確保に問題有り
		地震や台風が少なく、避難施設が近くの市に比べ、意識が低く、避難所の開設が悪い時あり。今後のことを考え、市長、職員の意識改革をお願いしたい。
		交番の数を増してほしい。
	防犯対策の推進	警察の巡回をもっと増してほしい。
		防犯カメラの充実
		大阪狭山市と富田林市の境界附近に住んでおりますが、交通状態(車の往来)で歩行者が危険な状態な場所がある。
		朝や夕方の自転車のマナーが非常に悪い。
		駅までの道路も歩行者や自転車にとって危険がいっぱいです。 悪質自動車走行の取り締まりを警察と協力して、推進してもらいたい。特に金剛駅から東村付近までの間。
ライフラインの整備	水不足を感じる時はあります。(水道はしっかり管理されているイメージ)	
保健・医療 (15件)	医療体制の充実	近大病院が移転するので医療の不安はある。休日診療も富田林市に頼らず、大阪狭山市独自で運営してほしい。
		大病院をぜひつくてほしい
		近大が移転するので跡地にも病院ができてほしい。
	健康づくりの推進	町全体が高齢化している。頭の体操に1ヶ月1回に時間を定めて移動図書館の自動車があればと思う。 明るく健康に過ごしていける環境づくり。高齢者においても同じ。病気になる前の予防が大事だと思う。
保険事業の推進	高齢の両親を見ていると、保険料等が上がり、高齢者が「生きにくい」と感じる。「長生きできないよな」「早く死なないと」という言葉が出るのはおかしくないか。大阪狭山市はもともと福祉に力を入れていたと思う。これからの世代も大切だろうが、人口割合の多い老人への優しさを考えてほしい。	

カテゴリー		主な記述内容
まちの印象・将来像 (15件)	アイデアや意見	現在は高齢者が多い市だと思うので、新しい人の流れを作ることも重要だが、今、生活している人達が安心して安全にそしてそれぞれが充実した日々を送れるようなまちづくりをお願いしたい。 笑顔で歩ける楽しい町になるように。歴史に残る秋祭りをお願いしたい。 安心、安全、楽しく住んで良かったと思うまちづくり。
	住みやすいまち	落ち着いた雰囲気でも個人的に住みやすいです。よりよい町になってほしいと思います 全国住みやすいランキングで注目を浴びるほど良い街だと思います。
地域社会・市民協働 (13件)	コミュニティの活性化	高齢化に伴い地域社会(自治会)の弱体化が目立ちます。退会者も多く、又、新しく転入された方の多くは自治会加入されておりません。今後、市社会福祉協議会(日赤奉仕団)地域社会と自治会が一体になるような組織が望ましいと思います。それに伴い、大阪狭山市の防犯防災に役立つと思われ shere 金沢(が理想とするような)のように、お互いメリットが感じられるような社会が出来たらいいと思う
	地域活動等の促進	引退後は大阪狭山市のためにボランティアを考えているので、広報やホームページで告知してほしい ボランティア清掃活動をもっと回数を多くしてほしい
	協働の推進	まちづくりの参画(←市民協働(ボランティア))に市の職員、市のOBの参加が少ない 八尾や高槻など、市民参加を促す行政の取り組みが多いように思う。30~40代の若い人がこれからの街を考える活動と、コミュニティづくりを行政主導でできないか。(スタートは旗振り役が必要)
高齢者福祉 (3件)	人材の活用	高齢化になって定年された方でも、手に職を持った方もたくさんいらっしゃる。まちづくりにおいて協力してもらえるところは低賃金で協力を仰いだり、子供達のため遊びや勉強など、定期的に地域で参加出来るイベントを考えボランティアを募ったり、今までの経験で出来る事はたくさんあると思う。 老人が活躍できる町。老人の力を利用してほしい。外に連れ出す意味にもなる→ホームヘルパーになっもらう。
	雇用の促進	高齢者が働きやすい雇用推進してほしい。
アンケートへの意見 (20件)		
その他 (20件)		
ない・わからない (4件)		

◆ 大阪狭山市が取り組んでいる施策についての満足度・重要度まとめ

問 2-8、3-6、4-6、5-4、6-13、7-4

現在、大阪狭山市が取り組んでいる次の施策について、その重要度と現状についての満足度をお聞きします。あてはまるものをお選びください。(項目ごとに○は1つずつ)

<全体・重要度>

「重要」と「やや重要」の合計を『重要』（以後『重要』と表す）とすると、もっとも『重要』が高かったのは、「水と緑を守り、親しむことができる環境づくり」、「うるおいのある美しいまちづくり」が同率で91.0%となっている。ついで「いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進」が90.9%となっている。

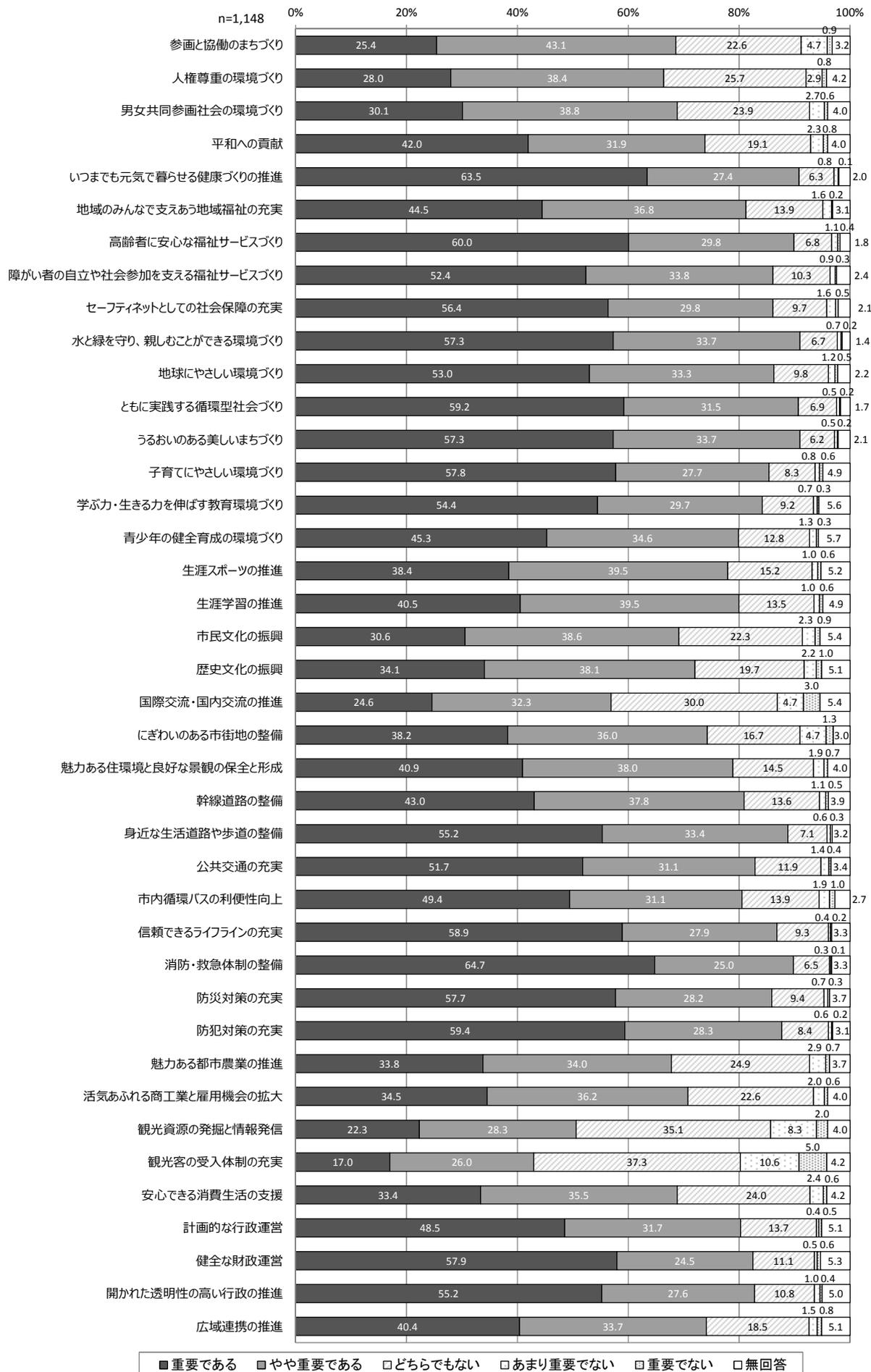
<全体・満足度>

「満足」と「まあ満足」の合計を『満足』（以後『満足』と表す）とすると、もっとも『満足』が高かったのは、「水と緑を守り、親しむことができる環境づくり」で46.2%、ついで「消防・救急体制の整備」が37.7%となっている。

重要度の高い項目			満足度の高い項目	
1	10 水と緑を守り、親しむことができる環境づくり	91.0%	10 水と緑を守り、親しむことができる環境づくり	46.2%
2	13 うるおいのある美しいまちづくり(1位同率)	91.0%	29 消防・救急体制の整備	37.7%
3	5 いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進	90.9%	28 信頼できるライフラインの充実	32.3%
4	12 ともに実践する循環型社会づくり	90.7%	13 うるおいのある美しいまちづくり	29.8%
5	7 高齢者に安心な福祉サービスづくり	89.8%	12 ともに実践する循環型社会づくり	29.5%

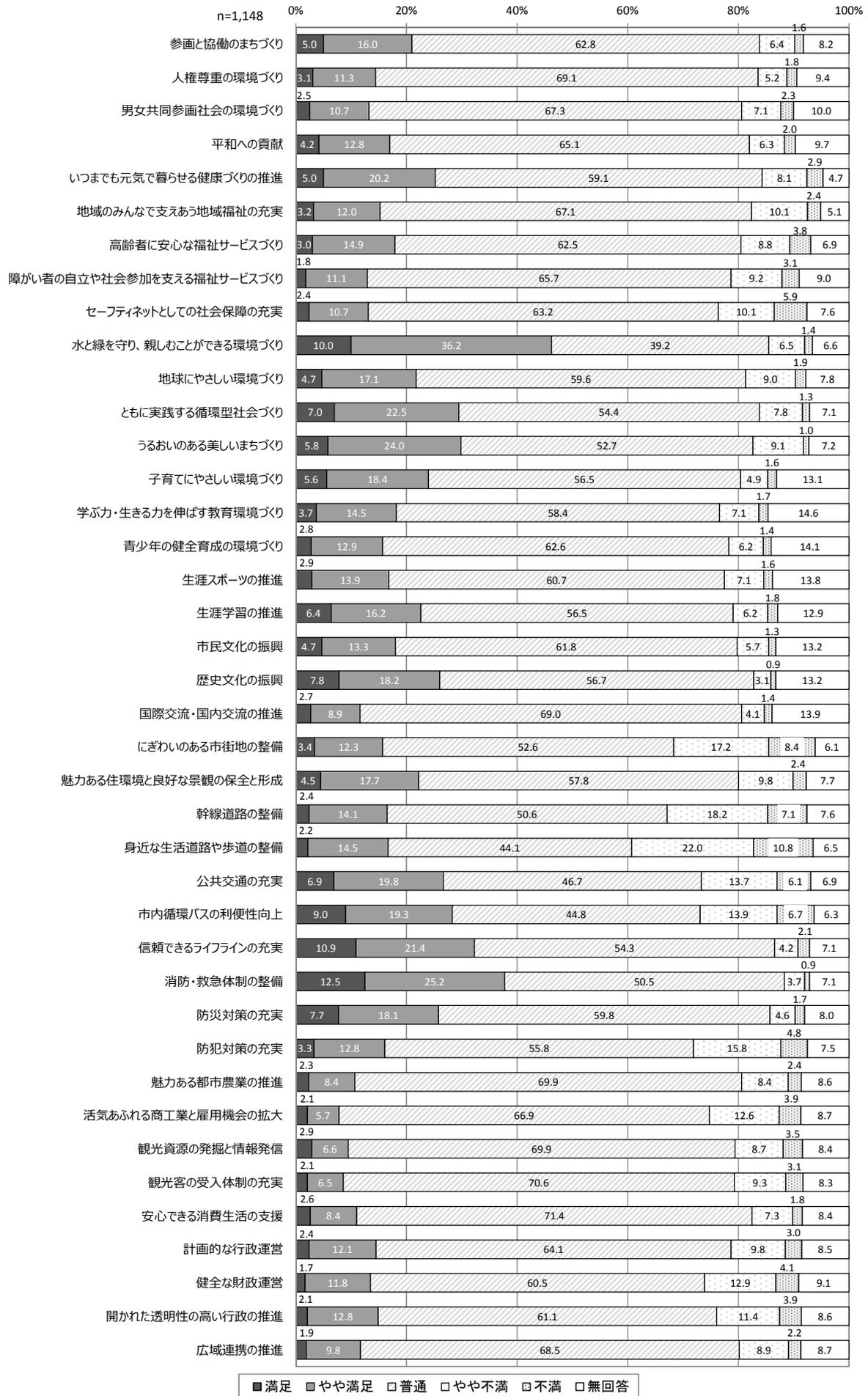
【全体・重要度】

	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	
1	参画と協働のまちづくり	25.4%	43.1%	22.6%	4.7%	0.9%	3.2%
2	人権尊重の環境づくり	28.0%	38.4%	25.7%	2.9%	0.8%	4.2%
3	男女共同参画社会の環境づくり	30.1%	38.8%	23.9%	2.7%	0.6%	4.0%
4	平和への貢献	42.0%	31.9%	19.1%	2.3%	0.8%	4.0%
5	いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進	63.5%	27.4%	6.3%	0.8%	0.1%	2.0%
6	地域のみんで支えあう地域福祉の充実	44.5%	36.8%	13.9%	1.6%	0.2%	3.1%
7	高齢者に安心な福祉サービスづくり	60.0%	29.8%	6.8%	1.1%	0.4%	1.8%
8	障がい者の自立や社会参加を支える福祉サービスづくり	52.4%	33.8%	10.3%	0.9%	0.3%	2.4%
9	セーフティネットとしての社会保障の充実	56.4%	29.8%	9.7%	1.6%	0.5%	2.1%
10	水と緑を守り、親しむことができる環境づくり	57.3%	33.7%	6.7%	0.7%	0.2%	1.4%
11	地球にやさしい環境づくり	53.0%	33.3%	9.8%	1.2%	0.5%	2.2%
12	ともに実践する循環型社会づくり	59.2%	31.5%	6.9%	0.5%	0.2%	1.7%
13	うるおいのある美しいまちづくり	57.3%	33.7%	6.2%	0.5%	0.2%	2.1%
14	子育てにやさしい環境づくり	57.8%	27.7%	8.3%	0.8%	0.6%	4.9%
15	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	54.4%	29.7%	9.2%	0.7%	0.3%	5.6%
16	青少年の健全育成の環境づくり	45.3%	34.6%	12.8%	1.3%	0.3%	5.7%
17	生涯スポーツの推進	38.4%	39.5%	15.2%	1.0%	0.6%	5.2%
18	生涯学習の推進	40.5%	39.5%	13.5%	1.0%	0.6%	4.9%
19	市民文化の振興	30.6%	38.6%	22.3%	2.3%	0.9%	5.4%
20	歴史文化の振興	34.1%	38.1%	19.7%	2.2%	1.0%	5.1%
21	国際交流・国内交流の推進	24.6%	32.3%	30.0%	4.7%	3.0%	5.4%
22	にぎわいのある市街地の整備	38.2%	36.0%	16.7%	4.7%	1.3%	3.0%
23	魅力ある住環境と良好な景観の保全と形成	40.9%	38.0%	14.5%	1.9%	0.7%	4.0%
24	幹線道路の整備	43.0%	37.8%	13.6%	1.1%	0.5%	3.9%
25	身近な生活道路や歩道の整備	55.2%	33.4%	7.1%	0.6%	0.3%	3.2%
26	公共交通の充実	51.7%	31.1%	11.9%	1.4%	0.4%	3.4%
27	市内循環バスの利便性向上	49.4%	31.1%	13.9%	1.9%	1.0%	2.7%
28	信頼できるライフラインの充実	58.9%	27.9%	9.3%	0.4%	0.2%	3.3%
29	消防・救急体制の整備	64.7%	25.0%	6.5%	0.3%	0.1%	3.3%
30	防災対策の充実	57.7%	28.2%	9.4%	0.7%	0.3%	3.7%
31	防犯対策の充実	59.4%	28.3%	8.4%	0.6%	0.2%	3.1%
32	魅力ある都市農業の推進	33.8%	34.0%	24.9%	2.9%	0.7%	3.7%
33	活気あふれる商工業と雇用機会の拡大	34.5%	36.2%	22.6%	2.0%	0.6%	4.0%
34	観光資源の発掘と情報発信	22.3%	28.3%	35.1%	8.3%	2.0%	4.0%
35	観光客の受入体制の充実	17.0%	26.0%	37.3%	10.6%	5.0%	4.2%
36	安心できる消費生活の支援	33.4%	35.5%	24.0%	2.4%	0.6%	4.2%
37	計画的な行政運営	48.5%	31.7%	13.7%	0.4%	0.5%	5.1%
38	健全な財政運営	57.9%	24.5%	11.1%	0.5%	0.6%	5.3%
39	開かれた透明性の高い行政の推進	55.2%	27.6%	10.8%	1.0%	0.4%	5.0%
40	広域連携の推進	40.4%	33.7%	18.5%	1.5%	0.8%	5.1%



【全体・満足度】

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
1 参画と協働のまちづくり	5.0%	16.0%	62.8%	6.4%	1.6%	8.2%
2 人権尊重の環境づくり	3.1%	11.3%	69.1%	5.2%	1.8%	9.4%
3 男女共同参画社会の環境づくり	2.5%	10.7%	67.3%	7.1%	2.3%	10.0%
4 平和への貢献	4.2%	12.8%	65.1%	6.3%	2.0%	9.7%
5 いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進	5.0%	20.2%	59.1%	8.1%	2.9%	4.7%
6 地域のみんで支えあう地域福祉の充実	3.2%	12.0%	67.1%	10.1%	2.4%	5.1%
7 高齢者に安心な福祉サービスづくり	3.0%	14.9%	62.5%	8.8%	3.8%	6.9%
8 障がい者の自立や社会参加を支える福祉サービスづくり	1.8%	11.1%	65.7%	9.2%	3.1%	9.0%
9 セーフティネットとしての社会保障の充実	2.4%	10.7%	63.2%	10.1%	5.9%	7.6%
10 水と緑を守り、親しむことができる環境づくり	10.0%	36.2%	39.2%	6.5%	1.4%	6.6%
11 地球にやさしい環境づくり	4.7%	17.1%	59.6%	9.0%	1.9%	7.8%
12 ともに実践する循環型社会づくり	7.0%	22.5%	54.4%	7.8%	1.3%	7.1%
13 うるおいのある美しいまちづくり	5.8%	24.0%	52.7%	9.1%	1.0%	7.2%
14 子育てにやさしい環境づくり	5.6%	18.4%	56.5%	4.9%	1.6%	13.1%
15 学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	3.7%	14.5%	58.4%	7.1%	1.7%	14.6%
16 青少年の健全育成の環境づくり	2.8%	12.9%	62.6%	6.2%	1.4%	14.1%
17 生涯スポーツの推進	2.9%	13.9%	60.7%	7.1%	1.6%	13.8%
18 生涯学習の推進	6.4%	16.2%	56.5%	6.2%	1.8%	12.9%
19 市民文化の振興	4.7%	13.3%	61.8%	5.7%	1.3%	13.2%
20 歴史文化の振興	7.8%	18.2%	56.7%	3.1%	0.9%	13.2%
21 国際交流・国内交流の推進	2.7%	8.9%	69.0%	4.1%	1.4%	13.9%
22 にぎわいのある市街地の整備	3.4%	12.3%	52.6%	17.2%	8.4%	6.1%
23 魅力ある住環境と良好な景観の保全と形成	4.5%	17.7%	57.8%	9.8%	2.4%	7.7%
24 幹線道路の整備	2.4%	14.1%	50.6%	18.2%	7.1%	7.6%
25 身近な生活道路や歩道の整備	2.2%	14.5%	44.1%	22.0%	10.8%	6.5%
26 公共交通の充実	6.9%	19.8%	46.7%	13.7%	6.1%	6.9%
27 市内循環バスの利便性向上	9.0%	19.3%	44.8%	13.9%	6.7%	6.3%
28 信頼できるライフラインの充実	10.9%	21.4%	54.3%	4.2%	2.1%	7.1%
29 消防・救急体制の整備	12.5%	25.2%	50.5%	3.7%	0.9%	7.1%
30 防災対策の充実	7.7%	18.1%	59.8%	4.6%	1.7%	8.0%
31 防犯対策の充実	3.3%	12.8%	55.8%	15.8%	4.8%	7.5%
32 魅力ある都市農業の推進	2.3%	8.4%	69.9%	8.4%	2.4%	8.6%
33 活気あふれる商工業と雇用機会の拡大	2.1%	5.7%	66.9%	12.6%	3.9%	8.7%
34 観光資源の発掘と情報発信	2.9%	6.6%	69.9%	8.7%	3.5%	8.4%
35 観光客の受入体制の充実	2.1%	6.5%	70.6%	9.3%	3.1%	8.3%
36 安心できる消費生活の支援	2.6%	8.4%	71.4%	7.3%	1.8%	8.4%
37 計画的な行政運営	2.4%	12.1%	64.1%	9.8%	3.0%	8.5%
38 健全な財政運営	1.7%	11.8%	60.5%	12.9%	4.1%	9.1%
39 開かれた透明性の高い行政の推進	2.1%	12.8%	61.1%	11.4%	3.9%	8.6%
40 広域連携の推進	1.9%	9.8%	68.5%	8.9%	2.2%	8.7%



<地区別・重要度>

狭山中学校区では、もっとも『重要』が高かったのは「うるおいのある美しいまちづくり」で、「水と緑を守り、親しむことができる環境づくり」が続いており、環境に関するものが上位にある。

南中学校区では、もっとも『重要』が高かったのは「いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進」で、「高齢者に安心な福祉サービスづくり」が続いており、健康・福祉に関するものが上位にある。

第三中学校区では、もっとも『重要』が高かったのは「消防・救急体制の整備」で、「身近な生活道路や歩道の整備」となっており、安全に関するものが上位にある。

<地区別・満足度>

すべての地区で上位3位までが共通しており、もっとも『満足』が高かったのは「水と緑を守り、親しむことができる環境づくり」で、「消防・救急体制の整備」、「信頼できるライフラインの充実」と続いている。

狭山中学校区

	重要度の高い項目		満足度の高い項目	
1	13 うるおいのある美しいまちづくり	93.2%	10 水と緑を守り、親しむことができる環境づくり	49.3%
2	10 水と緑を守り、親しむことができる環境づくり	92.3%	29 消防・救急体制の整備	37.9%
3	12 とともに実践する循環型社会づくり	91.1%	28 信頼できるライフラインの充実	32.1%
4	29 消防・救急体制の整備	90.5%	12 とともに実践する循環型社会づくり	31.3%
5	5 いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進	90.0%	13 うるおいのある美しいまちづくり	30.9%

南中学校区

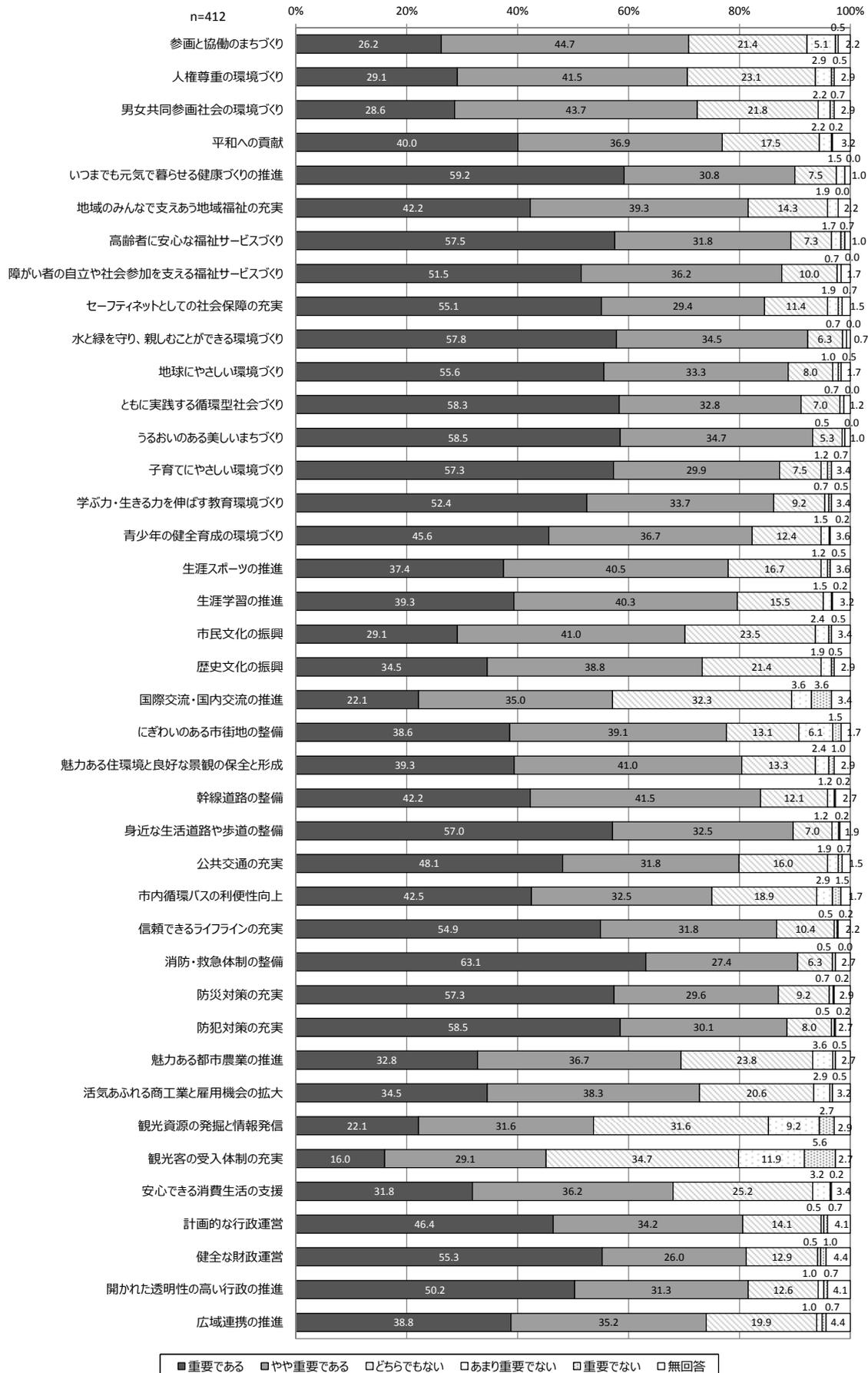
	重要度の高い項目		満足度の高い項目	
1	5 いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進	92.5%	10 水と緑を守り、親しむことができる環境づくり	48.1%
2	7 高齢者に安心な福祉サービスづくり	91.1%	29 消防・救急体制の整備	42.0%
3	10 水と緑を守り、親しむことができる環境づくり	90.8%	28 信頼できるライフラインの充実	37.8%
4	12 とともに実践する循環型社会づくり	90.5%	27 市内循環バスの利便性向上	32.5%
5	13 うるおいのある美しいまちづくり(1位同率)	89.4%	13 うるおいのある美しいまちづくり	32.2%

第三中学校区

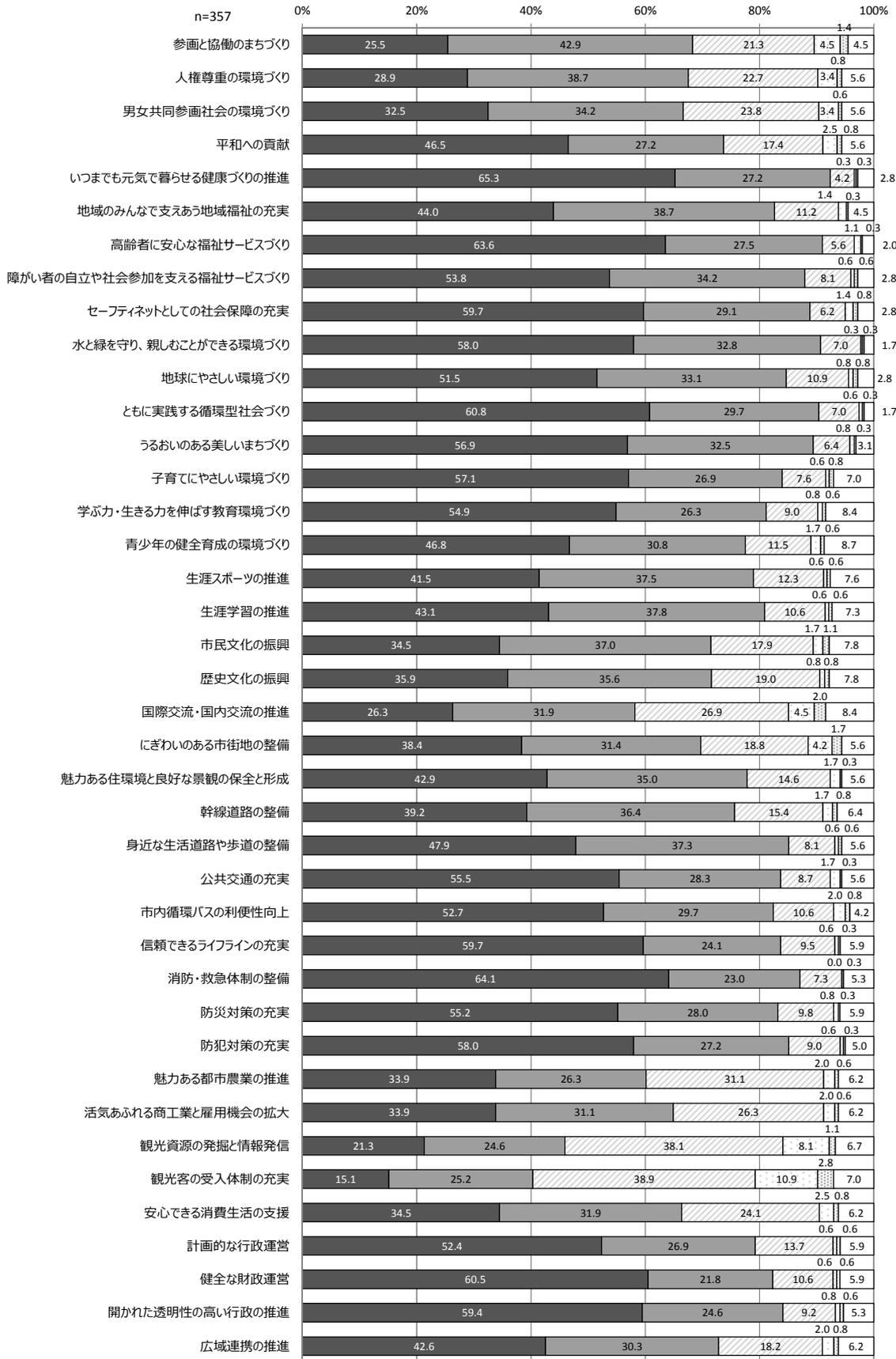
	重要度の高い項目		満足度の高い項目	
1	29 消防・救急体制の整備	92.1%	10 水と緑を守り、親しむことができる環境づくり	41.9%
2	25 身近な生活道路や歩道の整備	91.8%	29 消防・救急体制の整備	34.2%
3	12 とともに実践する循環型社会づくり	91.7%	28 信頼できるライフラインの充実	27.7%
4	5 いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進	91.2%	27 市内循環バスの利便性向上	26.5%
5	10 水と緑を守り、親しむことができる環境づくり	90.5%	13 うるおいのある美しいまちづくり	26.3%
			20 歴史文化の振興	26.3%

【地区別・重要度】

狭山中学校区

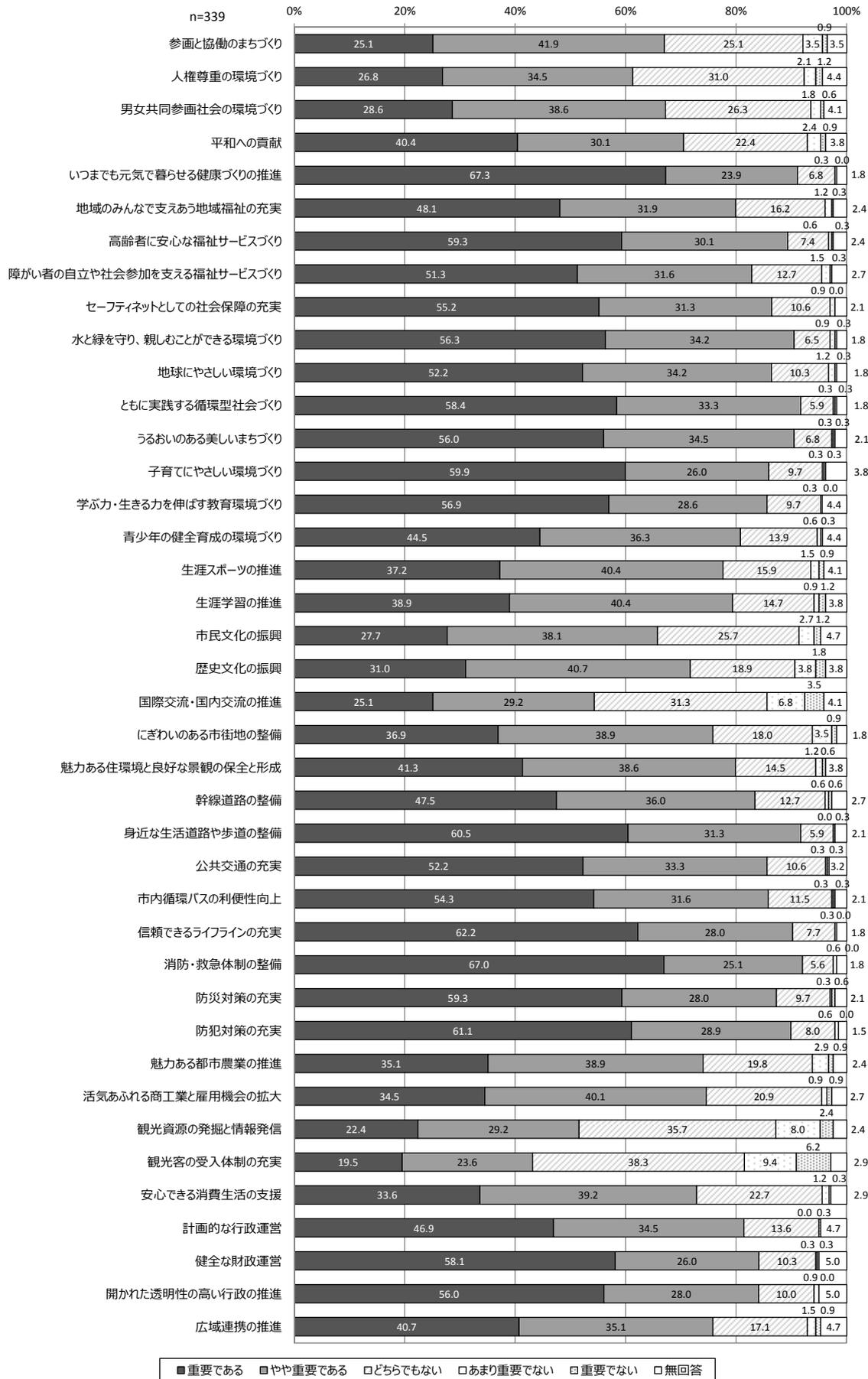


南中学校区



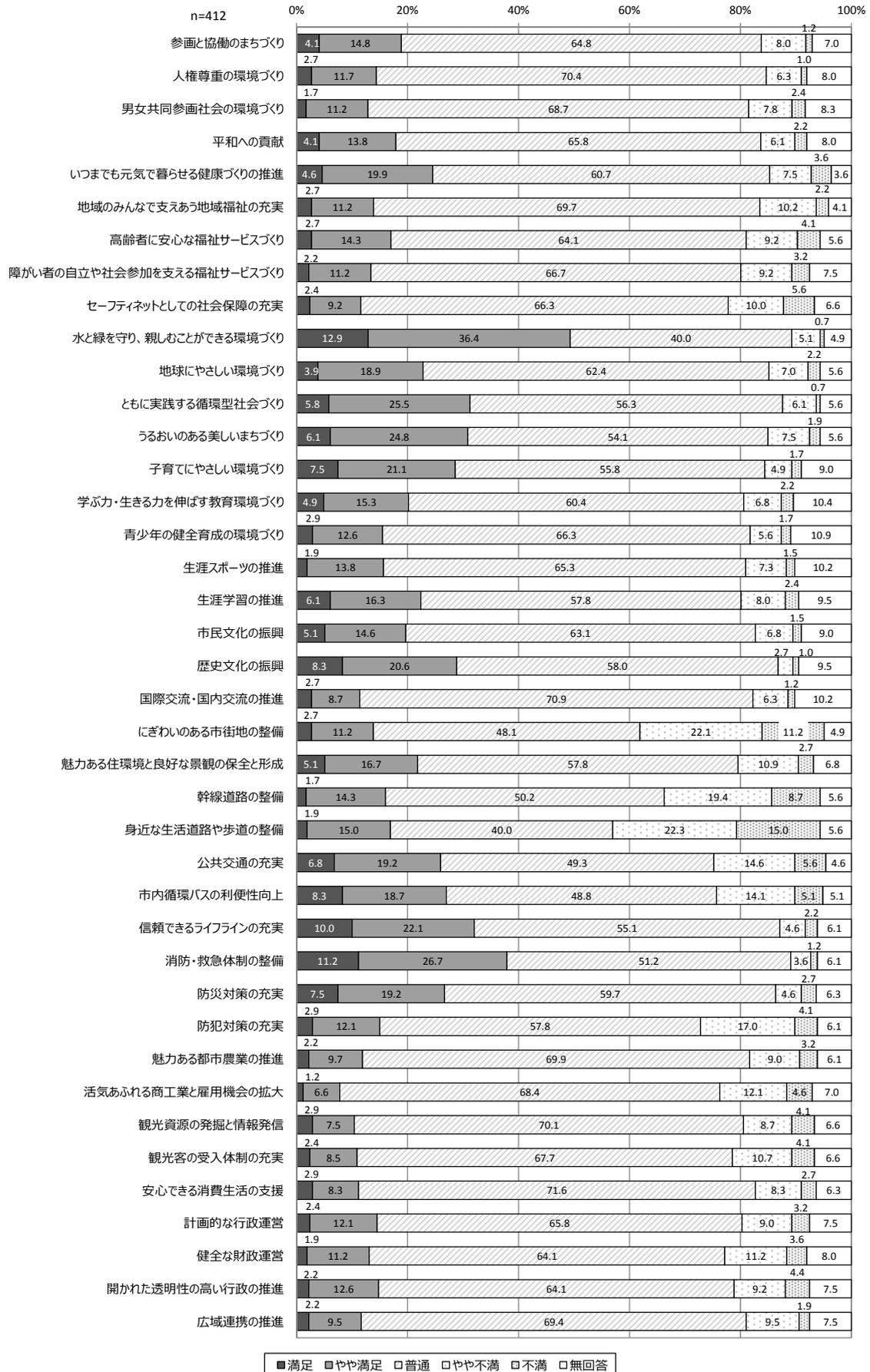
重要である
 やや重要である
 どちらでもない
 あまり重要でない
 重要でない
 無回答

第三中学校区

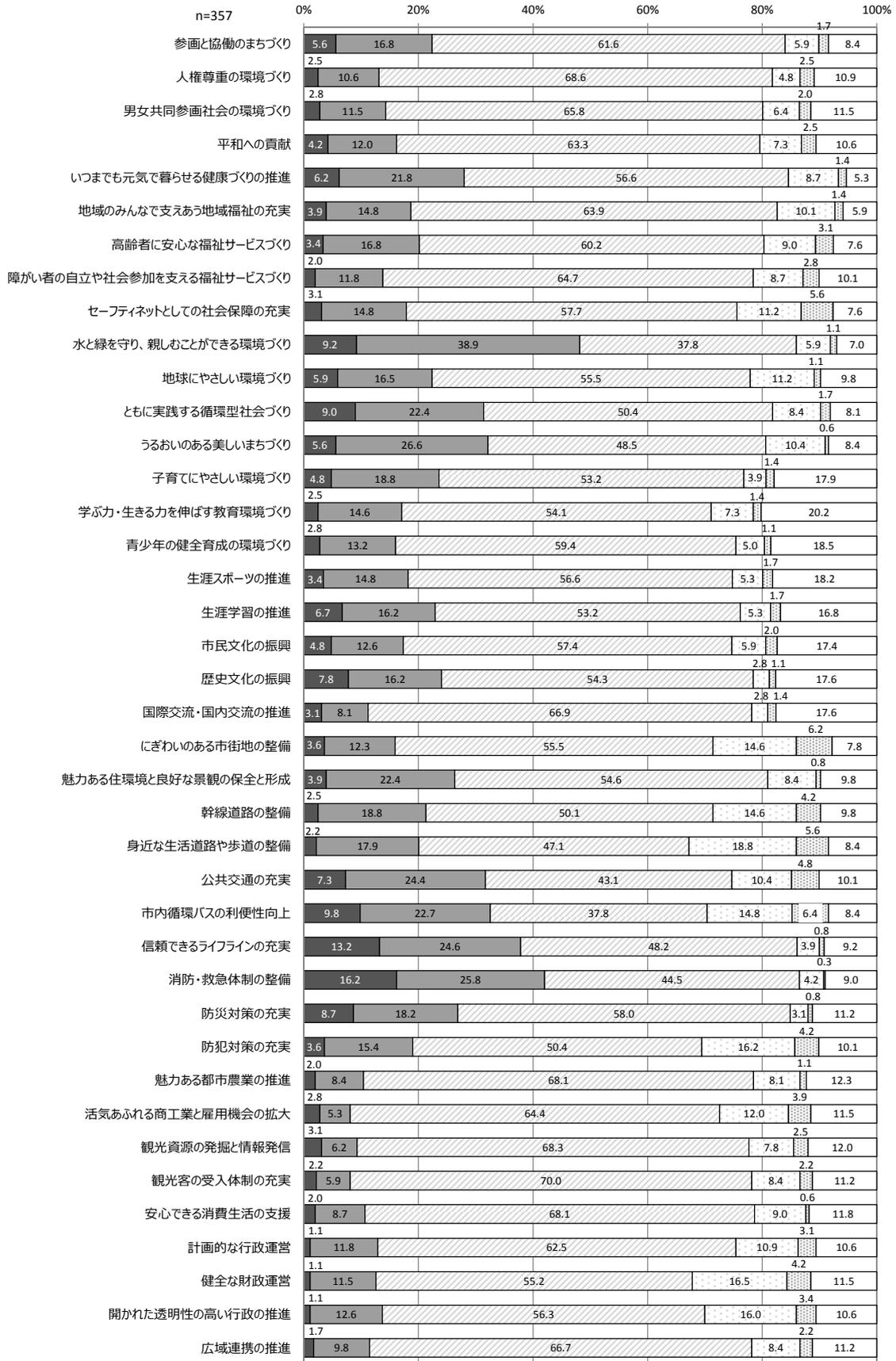


【地区別・満足度】

狭山中学校区

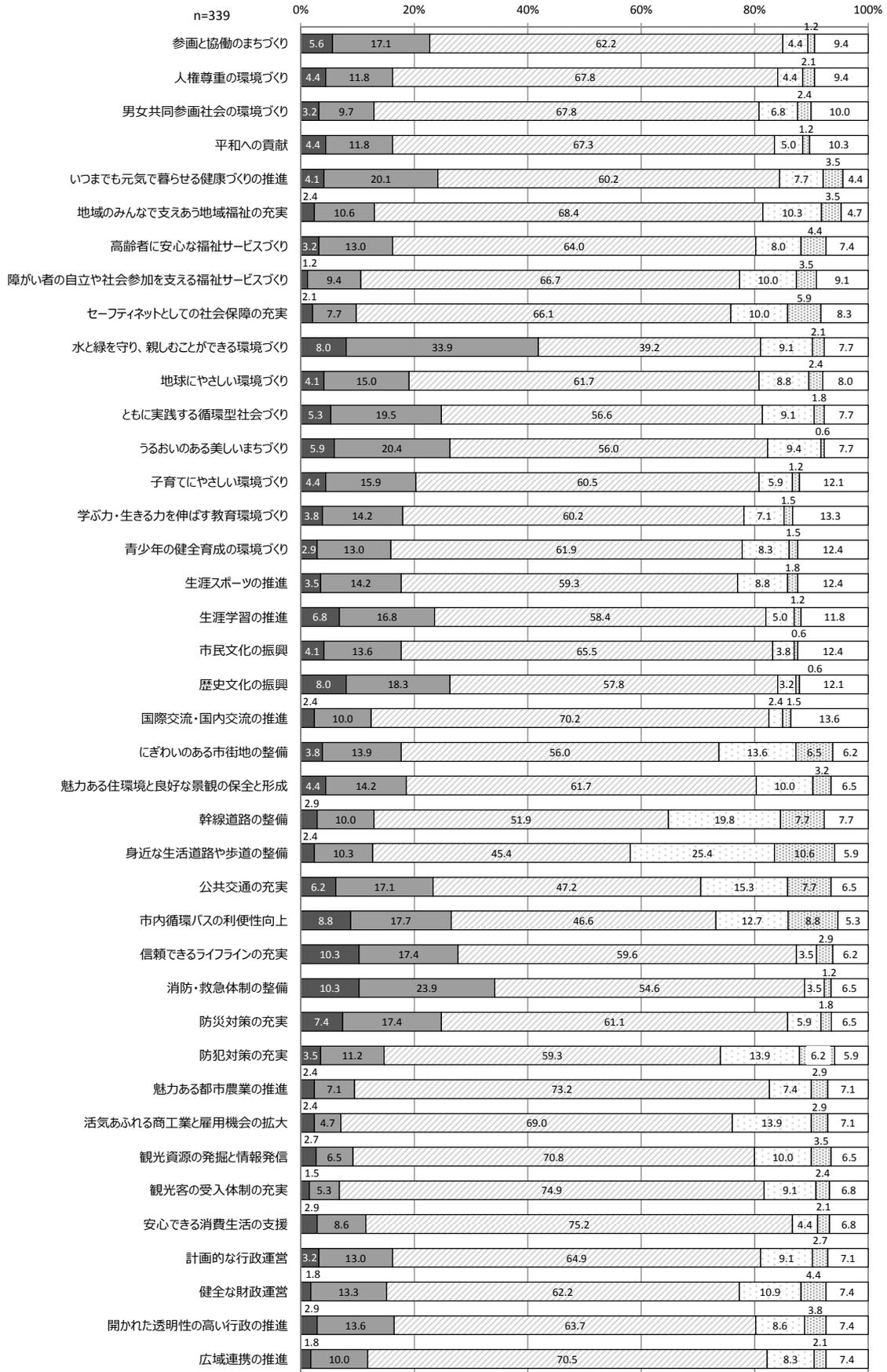


南中学校区



■満足 □やや満足 □普通 □やや不満 □不満 □無回答

第三中学校区



■満足 ■やや満足 □普通 □やや不満 □不満 □無回答

施策の満足度・重要度の相対分析

ここでは、問2から問7の施策40項目について、以下の方法で、満足度と重要度の得点化を行った後、平均値を算出し、散布図を作成した。

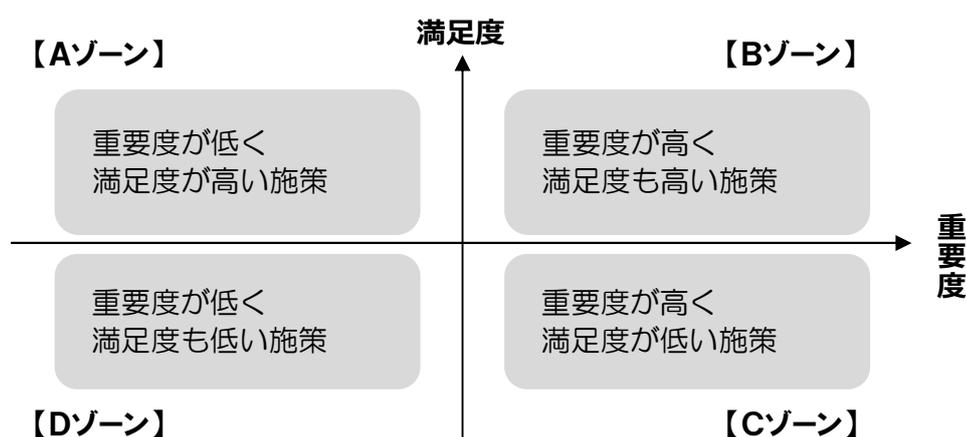
<算出方法>

満足：2 やや満足：1 どちらともいえない：0 やや不満：-1 不満：-2

重要：2 やや重要：1 どちらともいえない：0 あまり重要でない：-1 重要でない：-2

※各項目について、母数1,148から「無回答」と「わからない」を除き、平均値を算出

満足度と重要度の得点が0で交差する座標（下図）の4つの象限をそれぞれ「Aゾーン」、「Bゾーン」、「Cゾーン」、「Dゾーン」とする。このとき、重要度が高いにも関わらず、満足度が低い「Cゾーン」に位置する項目が、特に住民ニーズの高い施策になると考えられる。



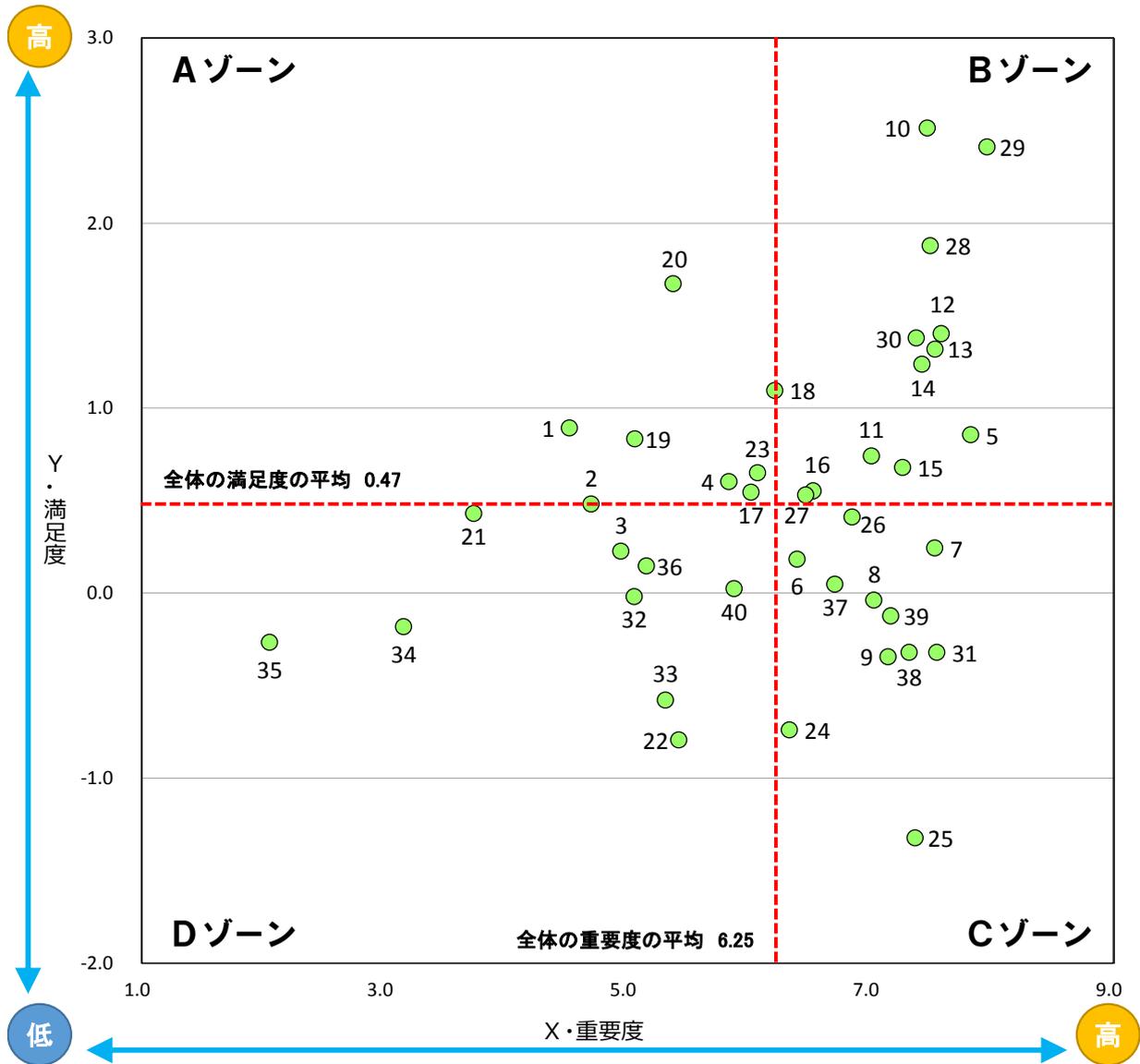
さらに、すべての施策40項目の平均値を算出することによって、0とは別の交差軸を示している。これは、40項目の中で相対的に住民ニーズの高い取組みをさらに絞り込んだ結果となる。

ただし、これはあくまでも一つの指標であるため、最終的には各種条件と合わせて総合的に判断することが必要である。

<全体>

施策40項目を相対的に比較すると、Cゾーンエリアの「31.防犯対策の充実」に関する住民ニーズが極めて高く、また「7.高齢者に安心な福祉サービスづくり」、「25.身近な生活道路や歩道の整備」、「38.健全な財政運営」、「39.開かれた透明性の高い行政の推進」、「9.セーフティネットとしての社会保障の充実」、「8.障がい者の自立や社会参加を支える福祉サービスづくり」、「26.公共交通の充実」、「37.計画的な行政運営」、「6.地域みんなで支えあう地域福祉の充実」、「24.幹線道路の整備」が、相対的に住民ニーズが高い施策となっている。

【施策の満足度・重要度の相対分析】



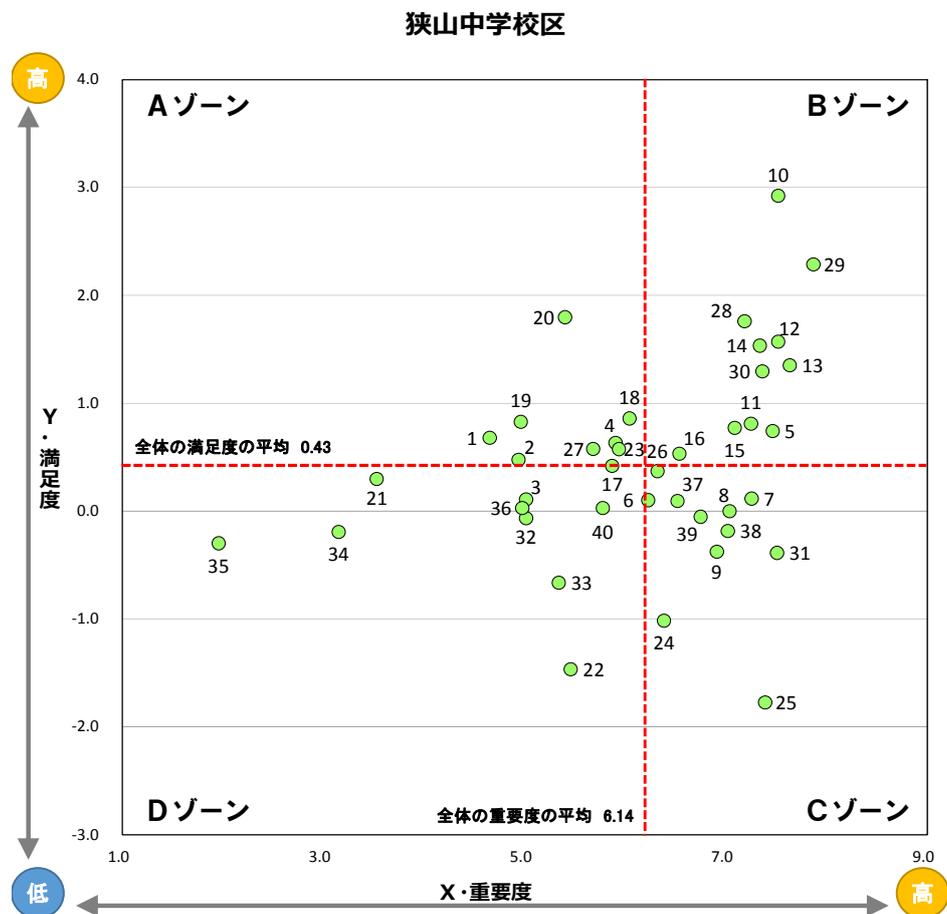
1	参画と協働のまちづくり	15	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	29	消防・救急体制の整備
2	人権尊重の環境づくり	16	青少年の健全育成の環境づくり	30	防災対策の充実
3	男女共同参画社会の環境づくり	17	生涯スポーツの推進	31	防犯対策の充実
4	平和への貢献	18	生涯学習の推進	32	魅力ある都市農業の推進
5	いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進	19	市民文化の振興	33	活気あふれる商工業と雇用機会の拡大
6	地域のみんなで支えあう地域福祉の充実	20	歴史文化の振興	34	観光資源の発掘と情報発信
7	高齢者に安心な福祉サービスづくり	21	国際交流・国内交流の推進	35	観光客の受入体制の充実
8	障がい者の自立や社会参加を支える福祉サービスづくり	22	にぎわいのある市街地の整備	36	安心できる消費生活の支援
9	セーフティネットとしての社会保障の充実	23	魅力ある住環境と良好な景観の保全と形成	37	計画的な行政運営
10	水と緑を守り、親しむことができる環境づくり	24	幹線道路の整備	38	健全な財政運営
11	地球にやさしい環境づくり	25	身近な生活道路や歩道の整備	39	開かれた透明性の高い行政の推進
12	ともに実践する循環型社会づくり	26	公共交通の充実	40	広域連携の推進
13	うるおいのある美しいまちづくり	27	市内循環バスの利便性向上		
14	子育てにやさしい環境づくり	28	信頼できるライフラインの充実		

<地区別>

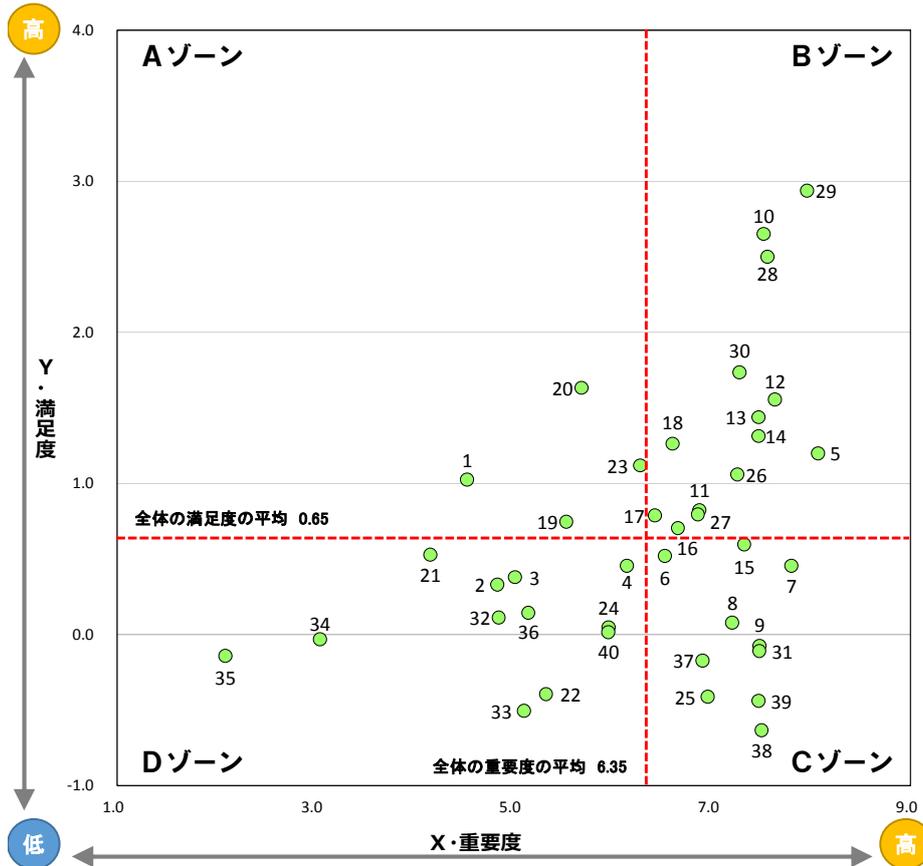
狭山中学校区では、「25.健全な財政運営」、「31.防犯対策の充実」、「24.幹線道路の整備」、「9.セーフティネットとしての社会保障の充実」、「38.健全な財政運営」、「7.高齢者に安心な福祉サービスづくり」、「8.障がい者の自立や社会参加を支える福祉サービスづくり」、「39.開かれた透明性の高い行政の推進」、「37.計画的な行政運営」、「6.地域みんなで支えあう地域福祉の充実」、「26.公共交通の充実」が、住民ニーズが高い施策となっている。

南中学校区では、「38.健全な財政運営」、「39.開かれた透明性の高い行政の推進」、「25.身近な生活道路や歩道の整備」、「37.計画的な行政運営」、「31.防犯対策の充実」、「9.セーフティネットとしての社会保障の充実」、「8.障がい者の自立や社会参加を支える福祉サービスづくり」、「7.高齢者に安心な福祉サービスづくり」、「15.学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり」、「6.地域みんなで支えあう地域福祉の充実」が、相対的に住民ニーズが高い施策となっている。

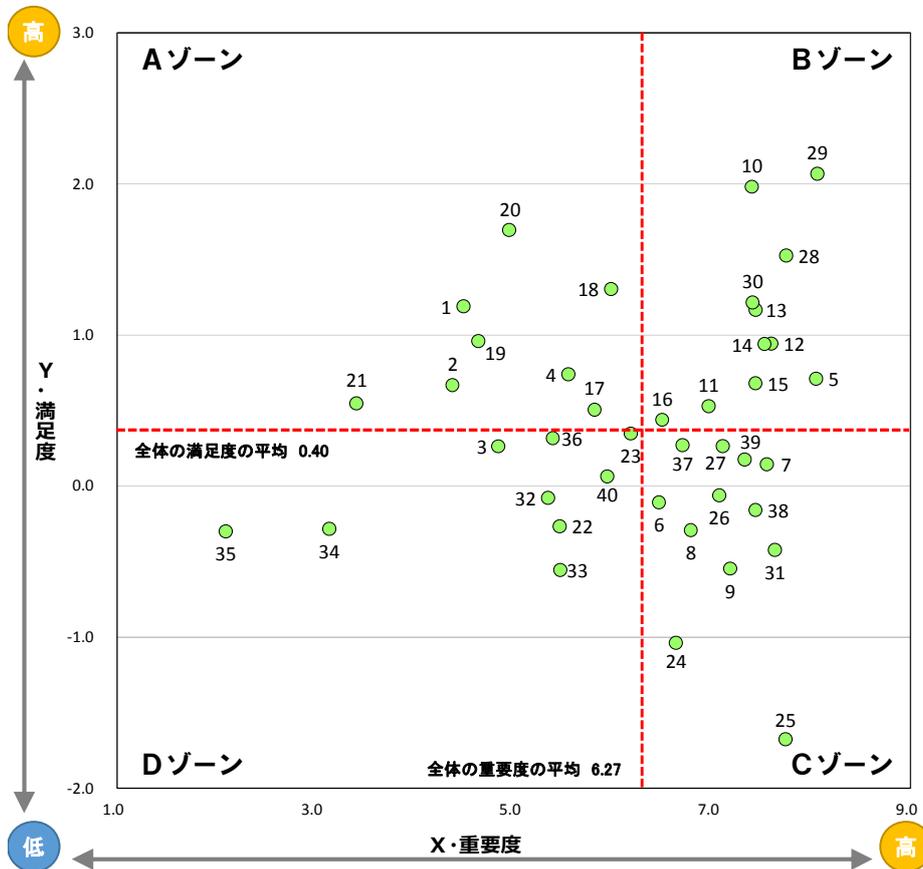
第三中学校区では、「25.身近な生活道路や歩道の整備」、「24.幹線道路の整備」、「9.セーフティネットとしての社会保障の充実」、「31.防犯対策の充実」、「8.障がい者の自立や社会参加を支える福祉サービスづくり」、「38.健全な財政運営」、「6.地域みんなで支えあう地域福祉の充実」、「26.公共交通の充実」、「7.高齢者に安心な福祉サービスづくり」、「39.開かれた透明性の高い行政の推進」、「27.市内循環バスの利便性向上」、「37.計画的な行政運営」が、相対的に住民ニーズが高い施策となっている。



南中学校区



第三中学校区



アンケート調査票

『第五次大阪狭山市総合計画』 の策定に関する市民意識調査

調査のお願い

市民の皆様には、日頃より本市のまちづくりにご協力いただき、誠にありがとうございます。さて、本市では、「第五次大阪狭山市総合計画」の策定を進めています。この計画は、令和3年度（2021年度）を初年度とする10年間の大阪狭山市のまちづくりの方針を定めるものです。

本調査は、総合計画に関する市民の皆様のご意見を聞かせていただくものであり、本市にお住まいの16歳以上の方を無作為に3,000人選ばせていただき、ご協力をお願いしています。

お手数ですが、アンケート調査票に回答いただき、同封の返信用封筒（切手を貼る必要はありません）に入れ、次の返送期限までにご返送くださいますようお願いいたします。

ご返送期限：5月10日（金）

この調査は、無記名で回答いただき、その結果は統計的に処理して利用させていただきます。また、市政運営以外の目的で使用することはありません。

お忙しいところ恐れいりますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成31年（2019年）4月

●記入にあたってのお願い●

1. 回答は、あて名のご本人にお願いします。
なお、病気などやむをえない事情によって、ご本人に回答いただけない場合は、16歳以上で同居されている家族の方に回答いただきますようお願いいたします。
2. 回答は、番号に「〇」をつけていただくものと、回答を1つ選んで回答欄に「〇」をつけていただくものがあります。設問によっては、回答していただく「〇」の数が、「〇は1つ」、「〇は3つまで」などと限定されている場合があります。
3. 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、() 内にその内容を具体的にご記入ください。
4. 設問によっては、回答いただく必要がない場合があります。
5. 返信用封筒に、ご住所・お名前を記入いただく必要はありません。

●お問い合わせ先●

大阪狭山市政策推進部企画グループ

TEL 072-366-0011 （内線 220・226）

FAX 072-367-1254

アンケート調査票

問 1 大阪狭山市の印象などについて

問 1 - 1 あなたにとって、大阪狭山市は住みよいまちだと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 非常に住みよい | 2. 住みよい | 3. どちらともいえない |
| 4. 住みにくい | 5. 非常に住みにくい | |

問 1 - 2 現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 現在の場所に住み続けたい【問 1-3 へ進む】 | 2. 市内で引っ越したい【問 1-4 へ進む】 |
| 3. 市外へ引っ越したい【問 1-4 へ進む】 | 4. わからない【問 2 へ進む】 |

問 1 - 3 問 1 - 2 で「1. 現在の場所に住み続けたい」と答えた方にお聞きします。それはどのような理由からですか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 生まれ育ったところである | 11. 保健・医療体制が整っている |
| 2. 長年住んでいて、なじみがある | 12. 子育て環境が良い |
| 3. 買い物など日常生活が便利である | 13. 治安が良い |
| 4. 勤務先・通学先に近く便利である | 14. 道路などの都市基盤の整備がされている |
| 5. 鉄道・バスなどの公共交通機関が整っている | 15. 大気汚染や騒音などの公害が少ない |
| 6. 物価が安い | 16. 集中豪雨や地震などの自然災害が少ない |
| 7. 近所づきあいがうまくいっている | 17. 緑や水辺などの自然環境が多い |
| 8. 今の住宅条件（広さ・家賃など）が良い | 18. まちのイメージが良い |
| 9. 教育文化施設が多く、内容が充実している | 19. ラブホテル・パチンコ遊技場がない |
| 10. 社会福祉に対する取組みが行き届いている | 20. その他（) |

問 1 - 4 問 1 - 2 で「2. 市内で引っ越したい」または「3. 市外へ引っ越したい」と答えた方にお聞きします。それはどのような理由からですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 今住んでいる場所になじめない | 11. 保健・医療体制が整っていない |
| 2. 建物が密集していて、住み心地が良くない | 12. 子育て環境が良くない |
| 3. 買い物など日常生活が不便である | 13. 治安が良くない |
| 4. 勤務先・通学先に遠く不便である | 14. 道路などの都市基盤の整備が遅れている |
| 5. 鉄道・バスなどの公共交通機関が整っていない | 15. 大気汚染や騒音などの公害が多い |
| 6. 物価が高い | 16. 集中豪雨や地震などの自然災害が多い |
| 7. 近所づきあいがうまくいっていない | 17. 緑や水辺などの自然環境が少ない |
| 8. 今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない | 18. まちのイメージが良くない |
| 9. 教育文化施設が少なく、内容が充実していない | 19. その他（) |
| 10. 社会福祉に対する取組みが行き届いていない | |

問2 『大阪狭山らしさを創出する 自立と協働のまち』について

問2-1 あなたは、大阪狭山市のまちづくりに関心がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. おおいに関心がある | 2. 関心がある | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり関心がない | 5. まったく関心がない | |

問2-2 あなたの地域活動（自治会、まちづくり円卓会議、PTA、子ども会、地域清掃など）への参加についてお聞きします。(○は1つ)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 積極的に参加している | 2. つきあい程度に参加している |
| 3. あまり参加していない | 4. まったく参加していない |

問2-3 あなたは、地域活動（自治会、まちづくり円卓会議、PTA、子ども会、地域清掃など）の必要性について、どんな感想をお持ちですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. おおいに必要 | 2. ある程度は必要 |
| 3. どちらかというとも必要 | 4. あまり必要とは思わない |

問2-4 あなたのボランティア活動やNPO（非営利組織）活動への参加についてお聞きします。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. 参加している | 2. 参加したことがある | 3. 参加したことはない |
|-----------|--------------|--------------|

問2-5 あなたは、今後、ボランティア活動やNPO（非営利組織）に参加したいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|----------------|--------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. 機会があれば参加したい | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり参加したいとは思わない | 5. 参加したくない | |

問2-6 あなたは、日頃、生活の中で地域の人と次のような交流がありますか。(○はそれぞれ1つ)

同世代との交流

- | | | |
|------------------|--------------|-----------|
| 1. 相談したり助けあったりする | 2. あいさつをする程度 | 3. ほとんどない |
|------------------|--------------|-----------|

世代を超えた交流

- | | | |
|------------------|--------------|-----------|
| 1. 相談したり助けあったりする | 2. あいさつをする程度 | 3. ほとんどない |
|------------------|--------------|-----------|

周辺地域の方との交流

- | | | |
|------------------|--------------|-----------|
| 1. 相談したり助けあったりする | 2. あいさつをする程度 | 3. ほとんどない |
|------------------|--------------|-----------|

問2-7 あなたの日頃の考えについて、あてはまるものを選んでください。

(項目ごとに○は1つずつ)

	そう思う	少し思う	あまり思わない	そう思わない	わからない
①市民一人ひとりの人権意識は高くなっている	1	2	3	4	5
②男女が性別にかかわらず、共に個性や能力を発揮できる社会になっている	1	2	3	4	5

問2-8 現在、大阪狭山市が取り組んでいる次の施策について、その重要度と現状についての満足度をお聞きします。あてはまるものをお選びください。(項目ごとに○は1つずつ)

	重要度					現状の満足度				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
①参画と協働のまちづくり（自治会・まちづくり円卓会議等の活動支援、コミュニティ活動の促進、ボランティア活動への支援など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②人権尊重の環境づくり（人権教育・啓発の推進、人権擁護活動の充実など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③男女共同参画社会の環境づくり（男女共同参画社会の実現に向けた啓発、教育の推進、相談事業の充実など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④平和への貢献（平和の尊さを共有できるまちなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問3 『健康で安心して暮らし続けられる 思いやりのあるまち』について

問3-1 あなたが大阪狭山市で生活する上で、次のことについてどのように思いますか。

(項目ごとに○は1つずつ)

	そう思う	少し思う	あまり思わない	そう思わない	わからない
①自分の健康づくりを意識している	1	2	3	4	5
②適切な医療サービスを身近で受けられる体制が整っている	1	2	3	4	5
③あなたの住んでいる地域では、市民がともに支えあう仕組みが整っている	1	2	3	4	5

問3-2 あなたは、大阪狭山市のがん検診を受診したことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. ある【問3-4へ進む】 | 2. ない【問3-3へ進む】 |
|----------------|----------------|

問3-3 問3-2で「2. ない」と答えた方にお聞きします。受診したことがない理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 医療機関で受診しているから | 6. 面倒だから |
| 2. 人間ドックを受診しているから | 7. がんと言われるのが不安だから |
| 3. 忙しくて時間がないから | 8. どうすれば受けられるかわからないから |
| 4. がん検診の対象年齢ではないから | 9. その他 () |
| 5. 勤務先で実施していないから | |

※市のがん検診は、子宮頸がん検診は20歳以上の女性、乳がん(超音波)検診は30~39歳の女性、乳がん(マンモグラフィ)検診は40歳以上の女性、胃がん・肺がん・大腸がん検診は40歳以上の男性と女性、前立腺がん検診は50歳以上の男性が対象で、市が指定する医療機関で受診できます。(詳しくは、「保健センターだより」、または市ホームページをご覧ください。)

問3-4 あなたは、大阪狭山市において、子どもや高齢者、障がいのある人などが暮らしやすい環境が整っていると思いますか。(〇は1つ)

- | | | | | |
|---------|-----------|--------------|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない | 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|--------------|--------------|-----------|

問3-5 あなたは、子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちにするための課題は何だと思えますか。(〇は3つまで)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 歩道が整備されていないなど外出しにくい | 7. 親子で遊べる場所がない |
| 2. 公共交通機関が利用しにくい | 8. リハビリや療養のための施設が少ない |
| 3. 利用しやすい公共施設が少ない | 9. 身近に働く場所がない |
| 4. 買い物などが不便 | 10. 地域住民の理解や協力が少ない |
| 5. 日常生活を支えるサービスが少ない | 11. 生活の悩みを相談できる窓口が少ない |
| 6. 利用しやすい医療機関がない | 12. その他 () |

問3-6 現在、大阪狭山市が取り組んでいる次の施策について、その重要度と現状についての満足度をお聞きします。あてはまるものをお選びください。(項目ごとに〇は1つずつ)

	重要度					現状の満足度				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
①いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進 (健康づくり、母子保健、医療体制など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②地域みんなで支えあう地域福祉の充実(地域で支え合う仕組み、地域福祉の担い手づくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	重要度					現状の満足度				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
③高齢者に安心な福祉サービスづくり(自立を支える地域社会、介護予防、介護保険事業など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④障がい者の自立や社会参加を支える福祉サービスづくり(社会参加促進、自立支援サービスなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤セーフティネットとしての社会保障の充実(生活保護制度、国民年金、国民健康保険など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問4 『人と自然が共生する 環境にやさしいまち』について

問4-1 あなたの日頃の行動や考えについて、あてはまるものをお選びください。

(項目ごとに○は1つずつ)

	そう思う	少し思う	あまり思わない	そう思わない	わからない
①ごみの分別収集や地域の資源回収に努めている	1	2	3	4	5
②日常生活において環境に配慮した行動を心がけている	1	2	3	4	5

問4-2 あなたが大阪狭山市で生活する上で、次のことについてどのように思いますか。

(項目ごとに○は1つずつ)

	そう思う	少し思う	あまり思わない	そう思わない	わからない
①あなたがお住まいの地域のまちなみは美しい	1	2	3	4	5
②水辺や緑のそれぞれの特性を生かした魅力ある空間が確保できている	1	2	3	4	5

問4-3 あなたは、大阪狭山市内の水辺を身近に感じますか。(○は1つ)

1. 身近である	2. まあまあ身近である	3. あまり身近ではない	4. 身近ではない
----------	--------------	--------------	-----------

問4-4 あなたは、大阪狭山市内で緑の豊かさを身近に感じますか。(○は1つ)

1. 身近である	2. まあまあ身近である	3. あまり身近ではない	4. 身近ではない
----------	--------------	--------------	-----------

問4-5 もっとも親しんでいる、身近であると感じる水辺・緑はどこですか。(○はそれぞれ1つずつ)

水辺・・・1. 狭山池 2. それ以外のため池 3. 河川・水路 4. その他 ()

緑・・・1. あまの街道 2. 公園 3. 農地 4. 緑地(今熊市民の森) 5. その他 ()

問4-6 現在、大阪狭山市が取り組んでいる次の施策について、その重要度と現状についての満足度をお聞きます。あてはまるものをお選びください。(項目ごとに○は1つずつ)

	重要度					現状の満足度				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
①水と緑を守り、親しむことができる環境づくり(自然環境の保全、公園・緑地の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②地球にやさしい環境づくり(地球温暖化対策、再生可能エネルギーの活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ともに実践する循環型社会づくり(ゴミの減量化、資源リサイクルなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④うるおいのある美しいまちづくり(環境美化、公害対策など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問5 『ともに学び 世代をつないで 人を育むまち』について

問5-1 あなたは大阪狭山市内の歴史や伝統文化について興味がありますか。(○は1つ)

1. 興味がある 2. やや興味がある 3. どちらでもない 4. あまり興味がない 5. 興味がない

問5-2 あなたは大阪狭山市の教育について、どのように思われますか。(項目ごとに○は1つずつ)

	そう思う	少し思う	あまり思わない	そう思わない	わからない
①市が実施している小学校や中学校での学力向上に関する施策は充実している	1	2	3	4	5
②市立小中学校の安全管理や学習環境など教育施設的环境が整っている	1	2	3	4	5
③市立小中学校には相談しやすい雰囲気がある	1	2	3	4	5
④学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っている	1	2	3	4	5
⑤図書館や公民館などにおいて生涯学習のための機会が整っている	1	2	3	4	5

問5-3 あなたの過去一年間の行動や活動についてお聞きします。あてはまるものをお選びください。
(項目ごとに○は1つずつ)

	はい	いいえ
①学習活動（習い事、講座・講習会など）に参加したことがありますか	1	2
②スポーツ活動（テニス、スポーツクラブなど）に参加したことがありますか	1	2
③文化・芸術活動（自ら行ったり、鑑賞するなど）に参加したことがありますか	1	2

問5-4 現在、大阪狭山市が取り組んでいる次の施策について、その重要度と現状についての満足度をお聞きします。あてはまるものをお選びください。(項目ごとに○は1つずつ)

	重要度					現状の満足度				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
①子育てにやさしい環境づくり（就学前教育・保育の充実、地域における子育て支援など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり（ともに育つ教育、教育施設・環境の整備など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③青少年の健全育成の環境づくり（地域ぐるみの健全育成、活動の場や機会の提供など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④生涯スポーツの推進（健康づくりやスポーツに親しめる機会の提供など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤生涯学習の推進（生涯学習、公民館活動、図書館サービスなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥市民文化の振興（優れた文化・芸術に触れる機会の提供、市民の文化・芸術活動の支援など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦歴史文化の振興（文化財・（狭山池など）歴史資産の保存と活用など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧国際交流・国内交流の推進（姉妹都市・友好都市交流、外国人が暮らしやすいまちづくりなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問6 『にぎわいがあり 安全で快適な暮らしのあるまち』について

問6-1 あなたは、大阪狭山市の中心市街地として、にぎわいのある拠点となる地区が必要だと思いますか。(○は1つ)

1. 必要だと思う【問6-2へ進む】	2. 必要ないと思う（現在の状況でよい）【問6-3へ進む】
3. わからない【問6-3へ進む】	

問6-2 問6-1で「1. 必要だと思う」と答えた方にお聞きします。あなたは、大阪狭山市内の中心市街地はどこだと思いますか。(○は1つ)

1. 金剛駅周辺	4. 市立公民館・図書館周辺	7. 特になし
2. 大阪狭山市駅(市役所)周辺	5. 市立コミュニティセンター周辺	
3. 狭山駅周辺	6. その他()	

問6-3 大阪狭山市の都市計画では、市街化を促進する区域である「市街化区域」と市街化を抑制する区域である「市街化調整区域」を設定して、秩序ある市街地の形成と環境の保全を図っています。あなたは、市街化調整区域(市街化を抑制する区域)について、今後、どのようにすることが望ましいと思いますか。(○は1つ)

<p>1. 貴重な緑の空間や農業生産の場として今後も保全していく</p> <p>2. ある程度の市街地の拡大を認める</p> <p>3. わからない</p> <p>4. その他()</p>	➔	<p>「2」と回答された方にお聞きします。どのような用途を認めるべきだと思いますか</p> <p>1. 住宅地 4. その他</p> <p>2. 商業施設 ()</p> <p>3. 工場等</p>
---	---	---

問6-4 あなたが大阪狭山市で生活する上で、次のことについてどのように思いますか。(項目ごとに○は1つずつ)

	そう思う	少し思う	あまり思わない	そう思わない	わからない
①駅周辺がそれぞれの地域特性をいかした魅力ある空間である	1	2	3	4	5
②大阪狭山市内の道路について、安全な歩行者空間が確保できている	1	2	3	4	5

問6-5 あなたは、空き家対策が必要だと思いますか。(○は1つ)

1. 必要だと思う	2. 必要ないと思う	3. わからない
-----------	------------	----------

問6-6 あなたは、防災対策についてどのように思いますか。(項目ごとに○は1つずつ)

	そう思う	少し思う	あまり思わない	そう思わない	わからない
①災害時の備えや避難所の位置などについて日頃から確認している	1	2	3	4	5
②地域での防災活動に積極的に参加している	1	2	3	4	5
③地域の人々と協力している	1	2	3	4	5
④大阪狭山市は災害に強いまちだ	1	2	3	4	5

問6-7 あなたは、防犯対策についてどのように思いますか。(項目ごとに○は1つずつ)

	そう思う	少し思う	あまり思わない	そう思わない	わからない
①地域での防犯活動に積極的に参加している	1	2	3	4	5
②地域の人々と協力している	1	2	3	4	5
③自分の住まいなど地域の防犯に気を配っている	1	2	3	4	5
④大阪狭山市は防犯に強いまちだ	1	2	3	4	5

問6-8 あなたは、企業誘致などの産業振興は必要だと思いませんか。(○は1つ)

1. 必要だと思う	2. 必要ないと思う	3. わからない
-----------	------------	----------

問6-9 あなたは、食料品や日用品などの買い物を、主にどの地域でされますか。(○は1つ)

1. 大阪狭山市駅周辺	4. 駅周辺でない大阪狭山市内	7. 大阪市方面
2. 金剛駅周辺	5. 泉ヶ丘駅周辺	8. 大阪狭山市外(5~7以外)
3. 狭山駅周辺	6. 堺東駅周辺	

問6-10 あなたは、買い物を主にどのようなお店でされますか。(○は1つ)

1. 小売店舗	2. スーパー	3. ショッピングモール
4. コンビニエンス・ストア	5. ネットショッピング	6. その他()

問6-11 あなたは、買い物を行う際、お店まで主にどのような交通手段で行っていますか。(○は1つ)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. バス・電車
5. 自家用車(自ら運転)	6. 自家用車(送迎)	7. タクシー	8. その他()

問6-12 あなたは、悪質商法の被害に遭わないよう、その手口を知るなどの心がけをしていますか。(○は1つ)

1. 心がけている	2. どちらともいえない	3. 意識していない
-----------	--------------	------------

問6-13 現在、大阪狭山市が取り組んでいる次の施策について、その重要度と現状についての満足度をお聞きます。あてはまるものをお選びください。(項目ごとに○は1つずつ)

	重要度					現状の満足度				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
①にぎわいのある市街地の整備（駅周辺の整備など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②魅力ある住環境と良好な景観の保全と形成（宅地開発、住環境、景観の保全など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③幹線道路の整備（生活道路への通過交通の抑制など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④身近な生活道路や歩道の整備（生活道路の舗装補修、交通安全施設の整備など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤公共交通の充実（鉄道・路線バスの充実など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥市内循環バスの利便性向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦信頼できるライフラインの充実（水道施設の更新、公共下水道整備と適正な管理など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧消防・救急体制の整備（消防体制の充実、救急救命体制の充実、火災予防の推進など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨防災対策の充実（避難所・防災用資機材等の充実、地域の自主的な防災活動の促進など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩防犯対策の充実（防犯意識の高揚、防犯カメラの設置、防犯活動の促進など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪魅力ある都市農業の推進（担い手の確保、農業施設（ため池など）の整備、地産地消など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫活気あふれる商工業と雇用機会の拡大（商工業の振興、就労支援の推進など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬観光資源の発掘と情報発信（観光資源の掘り起こし、各種メディアを利用した情報発信など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑭観光客の受入体制の充実（案内標識の設置、観光ガイド育成など受け入れ体制の充実など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑮安心できる消費生活の支援（消費者保護の推進、消費者の自立支援など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問7 『みんなで創る 持続可能なまち』について

問7-1 あなたは、日頃、市政や地域の情報を入手する際に、インターネットを利用していますか。(○は1つ)

1. よく利用している 2. たまに利用している 3. あまり利用していない 4. まったく利用していない

問8-2 あなたは、現在住んでいる場所（地区）について、今後、どのような施設等が必要だと思えますか。（○は1つ）

- | | | | | |
|---------|-----------|---------|-----------|----------|
| 1. 学校 | 2. 住宅地 | 3. 商業施設 | 4. 健康福祉施設 | 5. 公園・緑地 |
| 6. 文化施設 | 7. スポーツ施設 | 8. 研究施設 | 9. その他（ | ） |

問9 人口減少対策について

問9-1 大阪狭山市の人口は現在約5万8千人ですが、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、人口減少がそのまま進めば令和22年（2040年）には約4万9千人と、現在より2割近く減少すると推計されています。将来、大阪狭山市の人口が減少する予測がされていることをご存知でしたか。（○は1つ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問9-2 人口減少を克服し、活力ある社会をめざして大阪狭山市が取り組むべきことについて、最も重視すべきことは何だと思えますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 安定した雇用を創出する | 4. 暮らしの安全・安心を守る |
| 2. 地域への新しいひとの流れをつくる | 5. その他（ |
| 3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる | ） |

問9-3 安定した雇用を創出する（仕事をつくり、安心して働けるようにする）ため、大阪狭山市はどのようなことに力を入れるべきだと考えますか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 若者の就労を支援する | 6. 新たな分野での創業を支援する |
| 2. 農林水産業を活性化させる | 7. 地域を担う中核企業を支援する |
| 3. ものづくり産業（製造業）を活性化させる | 8. 企業の経営改善を支援する |
| 4. 地場産業を活性化させる | 9. 女性の就労や起業を支援する |
| 5. 小売業・サービス業を活性化させる | 10. その他（ |
| | ） |

問9-4 大阪狭山市への新しいひとの流れをつくる（新たにひとを呼び込む）ため、大阪狭山市はどういったことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

1. スポーツ・レクリエーション活動を促進する
2. 歴史・文化を活用する
3. 芸術活動を促進する
4. 経済交流やグローバルな人材育成など、新たな国際交流を推進する
5. 都市と農村の交流や他市町村との交流等による地域の活性化を進める
6. 様々な観光資源（狭山池や文化財など）を活用した観光振興を行う
7. 市内鉄道駅周辺の機能を充実する
8. 空き家等を有効活用し、ひとが集まる魅力的な拠点を作る
9. 大阪狭山市への移住希望者への支援体制を整備する
10. 公園・緑地・親水空間の魅力を高める
11. 近隣市町村との連携によるまちづくりを進める
12. その他（)

問9-5 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、大阪狭山市はどういったことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

1. 結婚につながる出会いの機会を創出する
2. 妊娠期からの妊娠・出産等にかかる相談体制等を充実する
3. 病児・病後児保育、一時・休日保育等の整備を進める
4. 幼児期・小学校・中学校における質の高い教育環境の整備を進める
5. 地域における子育て環境の充実を図る
6. 地域や家庭における教育力の向上を支援する
7. 多様な働き方（在宅勤務など）を支援する
8. 多子世帯（3人以上の子どもを育てる世帯）に対する支援を充実する
9. 進学のための経済的な負担を軽減する制度を整備する
10. その他（)

問9-6 暮らしの安全・安心を守るため、大阪狭山市はどういったことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

1. 健康診断等、保健予防活動を充実させる
2. 地域における医療体制の充実を図る
3. 防犯・交通安全対策を推進する
4. 備蓄等（耐震）をはじめとする防災対策を推進する
5. 市民生活の安全・安心にかかるボランティア制度を促進する
6. 電車やバスなどの公共交通機能を充実する
7. 秩序あるまちなみと良好な生活環境を確保する
8. 情報通信技術（ICT）を安全・安心のまちづくりに有効活用する
9. その他（)

問9-7 あなたは、大阪狭山市は子育てのしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| 1. そう思う | 2. 少し思う | 3. あまり思わない |
| 4. そう思わない | 5. わからない | |

問9-8 子どもがのびのびと育つためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 安定した家庭環境（経済状況を含む） | |
| 2. 公園や学校など、自宅の周辺環境の充実 | |
| 3. 保育を充実するなど、子育てと仕事の両立 | |
| 4. 両親や兄弟など、子育てを支援してくれる親族が近くに居ること | |
| 5. 地域の子育て力（人のつながりによる子育て） | |
| 6. その他（ | ） |

問10 自治基本条例についてお尋ねします

※大阪狭山市自治基本条例（平成22年4月1日施行）とは

自分たちの地域のことは自分たちで考え、行動するという「市民自治によるまちづくり」を推進することの重要性が、これまで以上に高まっています。大阪狭山市自治基本条例は「市民自治によるまちづくり」を推進するため、市民が積極的に市政に参画し、行政と協働してまちづくりを行っていただけるように、市政運営の原則や、市民参画の方法等を定めています。条文については、別紙「大阪狭山市自治基本条例」を参照してください。

問10-1 「大阪狭山市自治基本条例」を知っていますか(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 1. 内容をよく知っている | } 【問10-2へ進む】 |
| 2. 読んだことがある | |
| 3. 読んだことはないが、名前を聞いたり、見たりしたことはある | |
| 4. まったく聞いたことがない⇒【問10-3へ進む】 | |

問10-2 問10-1で1~3に回答した方にお聞きします。「大阪狭山市自治基本条例」を何で知りましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| 1. 「広報おおさかさやま」、「議会だより」
※「声の広報」を含む | 4. 生涯学習出前講座 |
| 2. 大阪狭山市のホームページ | 5. 友人・知人や家族 |
| 3. 条例のパンフレット、チラシ等 | 6. その他（ |

問 1 1 あなたご自身のことについておたずねします

あてはまるものをお選びください。(項目ごとに○を1つずつ)

あなたの性別は	1. 男性	2. 女性	3. 男性、女性と答えることに抵抗を感じる
あなたの年齢は	1. 16～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上
あなたのお住まいの地区名は	1. 東野西 () 丁目	9. 池尻北 () 丁目	17. 西山台 () 丁目 2. 東野中 () 丁目
	3. 東野東 () 丁目	10. 半田 () 丁目	18. 大野台 () 丁目 4. 東池尻 () 丁目
	5. 狭山 () 丁目	11. 東茱萸木 () 丁目	19. 池之原 () 丁目 6. 金剛 () 丁目
	7. 池尻中 () 丁目	12. 茱萸木 () 丁目	20. 岩室 () 丁目 8. 池尻自由丘 () 丁目
		13. 大野東	21. 山本南 14. 大野中
		15. 大野西	22. 山本中 16. 今熊 () 丁目
			23. 山本北 24. 山本東
あなたのお住まいの中学校区は	1. 狭山中学校	2. 南中学校	3. 第三中学校 4. わからない
同居されている家族の構成は	1. 単身世帯(ひとり暮らし)	4. 3世代世帯(親と子と孫)	
	2. 1世代世帯(夫婦だけ)	5. その他 ()	
	3. 2世代世帯(親と子)		
あなたのお仕事は	1. 会社員・公務員・団体職員	6. 専業主婦・主夫	
	2. 自営業(商業・工業・サービス業)	7. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	
	3. 農業	8. 無職(学生、専業主婦・主夫を除く)	
	4. 自由業(弁護士・税理士・社労士など)	9. その他 ()	
	5. 学生		
あなたの職場、通学先は	働いている方、学生の方のみお答えください		
	1. 大阪狭山市内	2. 大阪狭山市外(大阪府内)	3. 大阪狭山市外(大阪府外)
あなたが お住まいの 住居は	1. 持ち家(一戸建て)	5. 公営賃貸住宅(府営・公団など)	
	2. 持ち家(マンション・公団住宅等の集合住宅)	6. 社宅・学生寮	
	3. 民間の借家(一戸建て)	7. その他 ()	
	4. 民間の借家(マンション・アパートなど)		
あなたはいつ頃から大阪狭山市に住んでいますか	1. 昭和40年以前	5. 昭和56年～60年	9. 平成13年～17年
	2. 昭和41年～45年	6. 昭和61年～平成2年	10. 平成18年～22年
	3. 昭和46年～50年	7. 平成3年～7年	11. 平成23年～27年
	4. 昭和51年～55年	8. 平成8年～12年	12. 平成28年以降

問 1 2 大阪狭山市のまちづくりについて、ご自由に意見をお書きください

ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかご確認の上、返信用封筒に入れて、

5月10日(金)までに切手を貼らずにポストへ入れてください。